

大分市消費者購買実態調査
調査報告書

平成 24 年 3 月

大分市商工労政課

目 次

・調査概要	1
・調査結果	2
1．対象者特性	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	2
(3) 居住地及び勤務地・通学地	3
(4) 居住年数	3
(5) 居住形態	4
(6) 通勤・通学時の交通手段	4
(7) 通勤・通学から帰宅する際の買い物状況	5
2．日常の買い物について	6
(1) 多く利用する買い物場所と店舗形態	6
(2) 日常の買い物が不便と感ずることとその理由	102
3．大分市中心市街地の利用について	105
(1) 大分市中心市街地へ行く頻度	105
(2) 大分市中心市街地へ行く目的	107
(3) 大分市中心市街地へ行く交通手段	108
(4) 大分市中心市街地へ行く際の同伴者	109
(5) 大分市中心市街地へ行ったときの平均滞在時間	110
(6) 大分市中心市街地に行く頻度の変化(1年前比較)	111
(7) 大分市中心市街地に行く頻度が増えた理由	113
(8) 大分市中心市街地に行く頻度が減った理由	114
(9) 商店街別の利用頻度	116
4．わさだタウンの利用について	133
(1) わさだタウンへ行く頻度	133
(2) わさだタウンへ行く目的	135
(3) わさだタウンへ行く交通手段	136
(4) わさだタウンへ行く際の同伴者	137
(5) わさだタウンへ行ったときの平均滞在時間	138

5 . パークプレイスの利用について	139
(1) パークプレイスへ行く頻度	139
(2) パークプレイスへ行く目的	141
(3) パークプレイスへ行く交通手段	142
(4) パークプレイスへ行く際の同伴者	143
(5) パークプレイスへ行ったときの平均滞在時間	144
6 . 市外への買い物について	145
(1) 大分市外の地区への買い物頻度	145
(2) 大分市外の地区へ行く交通手段	151
(3) 大分市外の地区での買い物物品目	157
7 . 調査結果の総括	162
(1) にぎわいのあるまちづくりのために	162
(2) 訪れやすく回遊しやすいまちづくりのために	163
主な調査結果の特徴	164
参考資料：調査票	165

・調査概要

1. 調査目的

大分市に居住する一般市民の方の商品購買の行動や意識等実態を把握し、商業振興の充実に向けた施策を講じるための基礎資料とすることを目的に実施した。

2. 調査地域

大分市内全域

3. 調査対象者

住民基本台帳に登録されている20歳以上の男女個人5,000人を対象とした。

なお、宛先不明などで届かなかった調査票については、同じ地区の中から改めて対象者を定めた。

4. 抽出方法

大分市内を13地区に分類した後、大分市の全人口から各地区の人口比を算出し、それに合わせて対象者数を決定した。

なお、住民基本台帳から等間隔抽出を行った。

5. 調査期間

平成24年2月上旬～2月下旬

6. 調査方法

郵送配布・郵送回収法

7. 調査数と回収数

調査数5,000件に対して有効回収数は2,030件（回収率40.6%）となった。

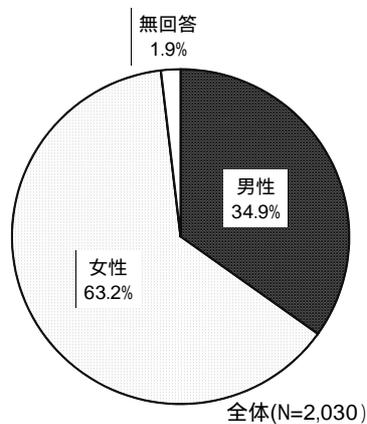
調査数	回収数	有効回収数	回収率
5,000件	2,034件	2,030件	40.6%

・調査結果

1. 対象者特性

(1) 性別

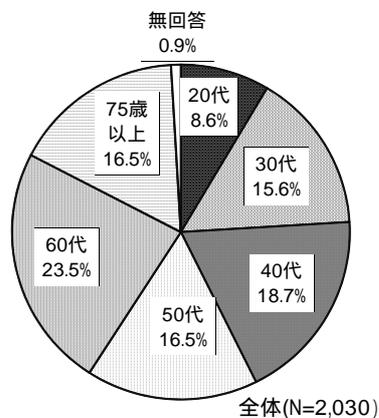
問1 あなたの性別をお知らせください。(は1つ)



性別は、男性が34.9%、女性は63.2%となっている。

(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお知らせください。(は1つ)



年齢は「60代」が23.5%で最も高く、次いで「40代」(18.7%)、「50代」及び「75歳以上」(いずれも16.5%)、「30代」(15.6%)、「20代」(8.6%)の順となっている。

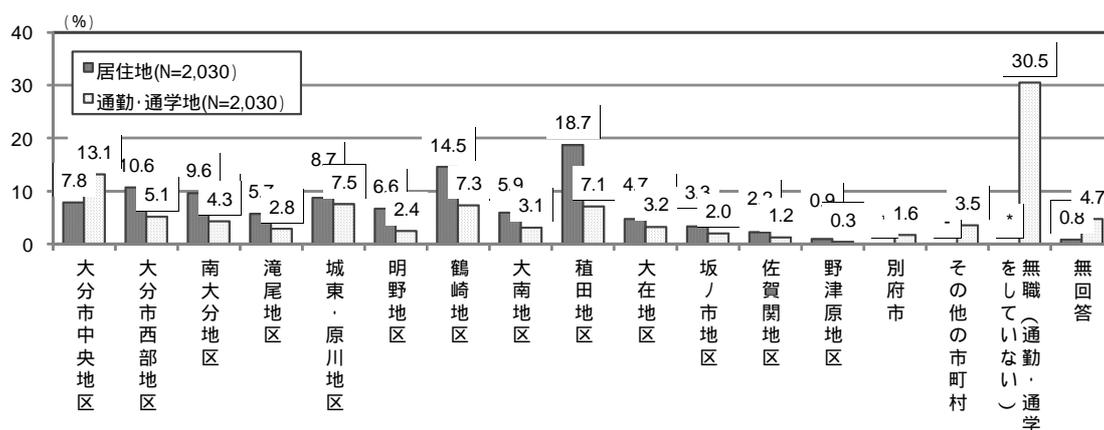
(3) 居住地及び勤務地・通学地

問3 あなたのお住まいはどちらの地区ですか。(は1つ)

問6 あなたの勤務地(学校)はどちらの地区ですか。(は1つ)

居住地は「植田地区」が18.7%で最も高く、次いで「鶴崎地区」(14.5%)、「大分西部地区」(10.6%)、「南大分地区」(9.6%)、「城東・原川地区」(8.7%)の順となっている。

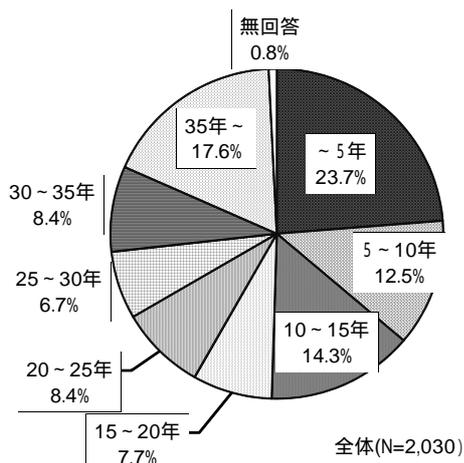
勤務地・通学地は、「大分市中央地区」が13.1%で最も高く、次いで「城東・原川地区」(7.5%)、「鶴崎地区」(7.3%)、「植田地区」(7.1%)の順となっている。なお、居住地と比較すると、「大分市中央地区」は居住地の2倍近くの割合となっている。



はカテゴリーにない項目。

(4) 居住年数

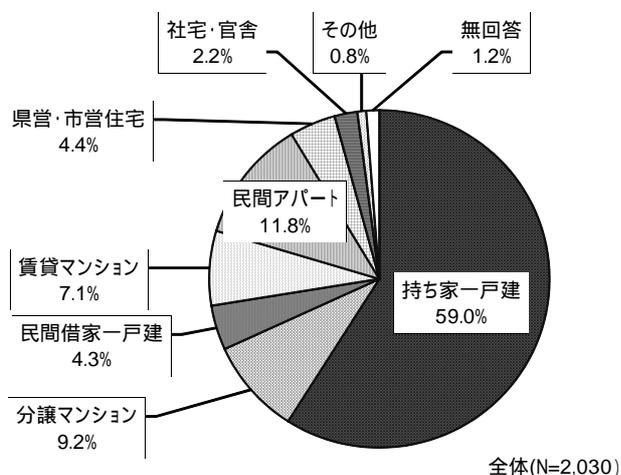
問4 現住所にお住まいになられてから、何年くらいになりますか。(は1つ)



居住年数は「5年未満」が23.7%で最も高く、次いで「35年以上」(17.6%)、「10~15年」(14.3%)、「5~10年未満」(12.5%)の順となっている。

(5) 居住形態

問5 現在お住まいの住居形態は、次のどれにあてはまりますか。(は1つ)

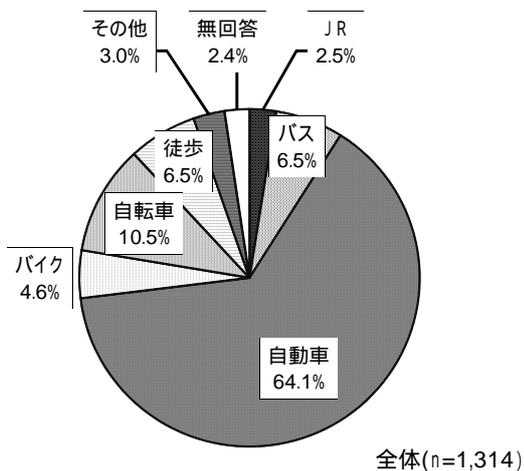


居住形態は「持ち家一戸建」が59.0%で最も高く、全体の6割を占めている。以下、「民間アパート」(11.8%)、「分譲マンション」(9.2%)、「賃貸マンション」(7.1%)の順となっている。

(6) 通勤・通学時の交通手段

問7 あなたはふだん、通勤(通学)には主にどのような交通手段を利用していますか。

(は1つ)



通勤・通学時の交通手段は「自動車」が64.1%と、全体の約6割が利用している。次いで「自転車」(10.5%)、「バス」及び「徒歩」(いずれも6.5%)の順となっている。

(7) 通勤・通学から帰宅する際の買い物状況

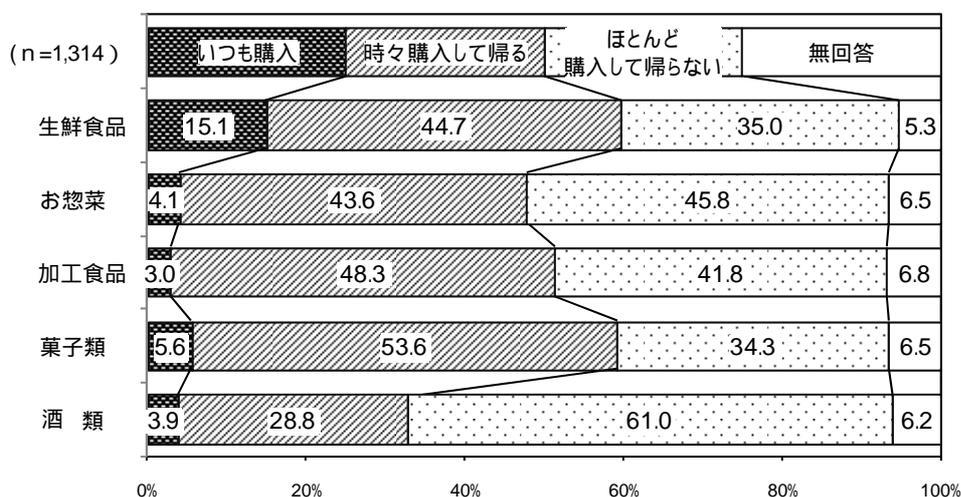
問 8 あなたは、お勤め(学校)の帰りに、次の買い物をすることがありますか。(は1つ)

通勤・通学をしている人(1,314人)の仕事や学校帰りの買い物状況を見ると、生鮮食品は59.8%が『購入して帰る』(「いつも購入して帰る」(15.1%)と「時々購入して帰る」(44.7%)の合計)と回答している。同様に お惣菜は47.7%、加工食品は51.3%、菓子類は59.2%、酒類は32.7%で、それぞれ帰宅途中で買い物をしている。

性別にみると、生鮮食品の『購入して帰る』割合について女性は74.4%と7割を超えて高いほか、酒類を除いて女性の方が男性よりも『購入して帰る』割合は高くなっている。

年齢別にみると、いずれの品目も30~50代は『購入して帰る』割合が比較的高い傾向がみられる。

【通勤・通学から帰宅する際の買い物状況】



(単位: %)

	サンプル数	生鮮食品				お惣菜				加工食品				菓子類				酒類				
		いつも購入して帰る	時々購入して帰る	ほとんど購入して帰らない	無回答																	
全体	1,314	15.1	44.7	35.0	5.3	4.1	43.6	45.8	6.5	3.0	48.3	41.8	6.8	5.6	53.6	34.3	6.5	3.9	28.8	61.0	6.2	
性別	男性	497	5.2	30.8	59.6	4.4	4.4	32.6	57.5	5.4	2.4	34.8	56.9	5.8	1.4	40.6	52.3	5.6	5.2	29.6	60.8	4.4
	女性	803	21.3	53.1	20.0	5.6	4.0	50.4	38.7	6.8	3.5	56.8	32.6	7.1	8.3	61.5	23.4	6.7	3.1	28.6	61.1	7.1
	無回答	14	7.1	57.1	21.4	14.3	-	42.9	35.7	21.4	-	42.9	28.6	28.6	-	57.1	21.4	21.4	-	14.3	64.3	21.4
年齢別	20代	142	7.7	40.8	50.0	1.4	4.2	37.3	57.0	1.4	4.2	47.2	47.2	1.4	7.7	58.5	33.8	-	0.7	26.1	71.8	1.4
	30代	243	10.7	47.7	39.9	1.6	2.5	46.9	49.8	0.8	2.5	47.7	48.1	1.6	7.0	60.9	30.5	1.6	4.9	26.3	67.1	1.6
	40代	300	15.0	47.7	36.0	1.3	3.3	44.3	50.3	2.0	3.0	54.3	40.7	2.0	6.0	60.7	31.7	1.7	4.7	31.3	63.0	1.0
	50代	265	19.2	48.7	30.9	1.1	4.5	54.3	39.2	1.9	4.2	54.3	39.6	1.9	6.4	51.7	40.4	1.5	4.2	40.4	53.6	1.9
	60代	250	20.8	40.0	31.6	7.6	6.0	36.0	47.2	10.8	2.4	44.8	42.4	10.4	4.0	46.0	39.6	10.4	4.8	23.6	61.2	10.4
	70歳以上	107	12.1	35.5	18.7	33.6	4.7	33.6	22.4	39.3	1.9	29.0	26.2	43.0	0.9	33.6	23.4	42.1	0.9	16.8	43.9	38.3
	無回答	7	-	42.9	42.9	14.3	-	42.9	42.9	14.3	-	28.6	57.1	14.3	-	42.9	42.9	14.3	-	-	85.7	14.3

2. 日常の買い物について

(1) 多く利用する買い物場所と店舗形態

問9 あなたのご家庭では、次に上げる ~ の商品を、ふだんどこでお買い求めになりますか。それぞれの商品について、最も多く利用する場所と2番目に多く利用する場所について選択肢一覧(問9の選択肢一覧)の中から選んで、その番号をご記入ください。

問10 問9の ~ の商品について、最も多く利用する場所と2番目に多く利用する場所それぞれのお店の形態について、選択肢一覧(問10の選択肢一覧)から該当するものを1つずつ選んで、その番号をご記入ください。

生鮮食料品

多く利用する場所

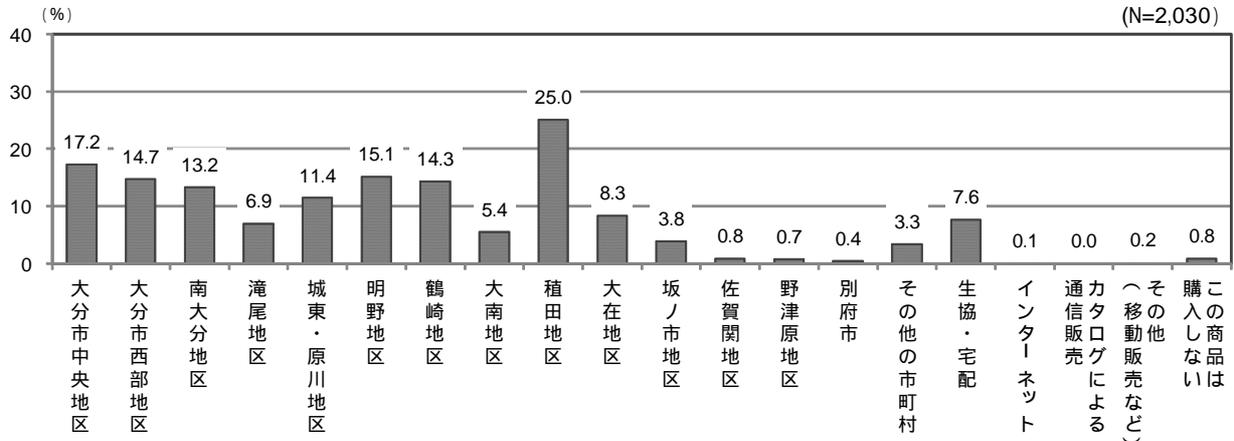
多く利用する買い物場所について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「植田地区」(25.0%)が最も高く、次いで「大分市中央地区」(17.2%)、「明野地区」(15.1%)、「大分市西部地区」(14.7%)、「鶴崎地区」(14.3%)、「南大分地区」(13.2%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高いものの、20代、50代、70歳以上は「大分市中央地区」が約2割みられるほか、40代は「大分市西部地区」(19.3%)が約2割みられる。

居住地別にみると、いずれの地区も、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。

【多く利用する買い物場所(1番目+2番目) 生鮮食料品】



【多く利用する買い物場所（1番目+2番目） 生鮮食料品】

(%)

	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀関地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	信販売	カタログによる通	その他（移動販売など）	この商品は購入しない	無回答
全体	2,030	17.2	14.7	13.2	6.9	11.4	15.1	14.3	5.4	25.0	8.3	3.8	0.8	0.7	0.4	3.3	7.6	0.1	0.0	0.2	0.8	8.9	
性別																							
男性	708	16.7	13.6	12.4	6.1	10.9	16.2	14.7	4.9	26.1	8.6	4.1	0.7	1.1	0.1	3.1	5.5	0.1	-	0.1	1.7	10.6	
女性	1,284	17.7	15.7	13.6	7.6	11.8	14.7	14.1	5.7	24.5	7.9	3.6	0.9	0.5	0.6	3.2	8.7	0.1	0.1	0.2	0.3	7.6	
無回答	38	13.2	2.6	15.8	-	5.3	5.3	13.2	2.6	18.4	18.4	7.9	-	-	-	10.5	10.5	-	-	-	-	23.7	
年齢別																							
20代	173	19.1	15.0	15.6	8.7	11.6	11.0	16.2	5.8	24.9	9.8	2.9	-	-	0.6	2.9	5.8	-	-	-	2.9	4.0	
30代	315	15.2	13.7	15.2	12.7	14.9	18.1	16.2	3.5	25.7	9.8	4.4	-	0.3	0.3	4.1	8.9	0.3	-	-	1.3	2.9	
40代	378	17.5	19.3	9.3	10.3	14.3	14.6	15.9	7.7	21.2	10.8	5.3	1.1	0.8	0.8	4.2	10.3	0.3	-	-	0.5	4.2	
50代	334	18.6	17.7	13.5	5.1	11.4	18.0	14.4	6.9	27.8	8.4	3.3	1.2	0.6	0.6	3.9	7.8	-	-	-	0.3	4.8	
60代	477	16.6	10.9	14.7	4.4	10.1	15.9	14.7	3.8	28.9	6.9	2.7	1.5	1.5	0.2	2.7	7.1	-	-	0.4	0.8	11.3	
70歳以上	334	18.0	12.9	12.0	2.4	6.6	11.1	9.9	5.1	20.4	5.4	4.5	0.3	0.6	0.3	1.2	4.2	-	0.3	0.6	-	22.8	
無回答	19	10.5	10.5	15.8	5.3	10.5	10.5	-	5.3	21.1	5.3	-	-	-	-	15.8	21.1	-	-	-	-	15.8	
居住地別																							
中心部	374	57.5	62.6	7.2	1.9	1.9	1.3	0.3	0.3	11.5	-	-	-	-	0.8	1.6	5.1	0.3	-	-	0.5	7.8	
南大分	194	8.2	8.8	86.6	1.5	-	0.5	0.5	1.0	34.5	-	-	-	-	-	1.5	6.2	-	-	0.5	-	7.2	
城東・明野・滝尾・原川	426	11.3	3.8	4.2	27.2	43.9	38.7	6.8	0.5	4.2	0.2	-	0.2	-	0.7	1.6	6.1	-	-	-	0.9	8.9	
鶴崎	295	5.4	2.0	0.7	2.4	9.8	33.9	74.2	2.0	1.7	6.1	0.3	0.3	-	-	0.3	10.2	-	-	-	1.7	8.8	
大南	119	10.1	1.7	0.8	2.5	0.8	10.9	12.6	76.5	21.0	-	-	-	-	1.7	5.9	13.4	-	-	-	0.8	9.2	
植田・野津原	398	9.3	3.3	12.3	1.3	0.8	1.8	0.3	1.3	85.4	0.3	-	-	3.8	0.3	6.3	10.8	0.3	0.3	0.5	0.5	9.5	
大在・坂ノ市・佐賀関	207	1.9	4.3	0.5	-	1.4	6.3	11.1	0.5	2.9	71.5	37.2	6.8	-	-	6.8	3.9	-	-	0.5	1.0	9.7	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	11.8	5.9	11.8	-	5.9	11.8	5.9	5.9	17.6	5.9	-	-	-	-	23.5	5.9	-	-	-	-	29.4	

多く利用する場所の店舗形態

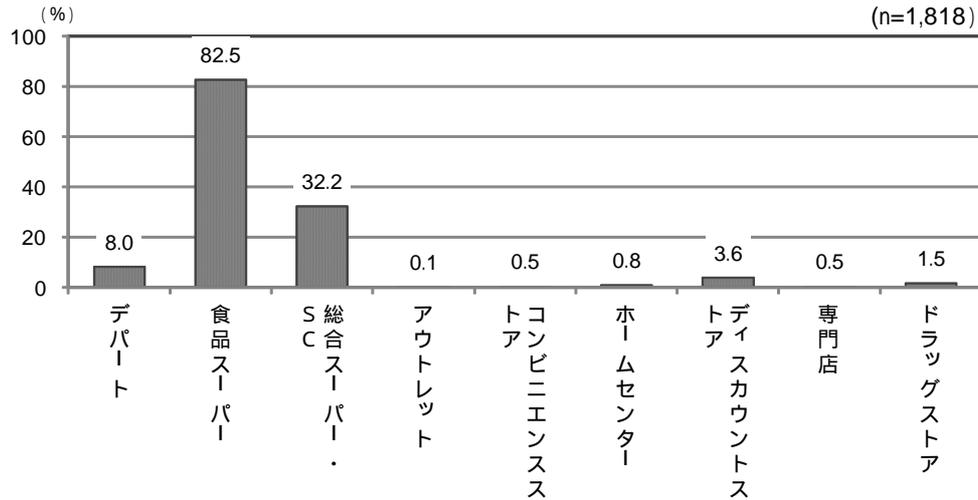
多く利用する場所の店舗形態について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「食品スーパー」(82.5%)が群を抜いて高い。次いで「総合スーパー・SC」(32.2%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「食品スーパー」が群を抜いて高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「食品スーパー」が群を抜いて高い。

居住地別にみると、いずれの地区も「食品スーパー」が群を抜いて高いものの、中心部は「デパート」が1割程度みられ、他の地区を上回っている。

【多く利用する買い物場所の店舗形態(1番目+2番目) 生鮮食料品】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答	
全体		1818	8.0	82.5	32.2	0.1	0.5	0.8	3.6	0.5	1.5	3.0	
性別	男性	617	6.0	83.8	32.3	0.2	1.1	0.5	4.9	0.3	2.1	2.8	
	女性	1172	9.1	82.1	32.1	-	0.1	1.0	3.1	0.6	1.2	3.0	
	無回答	29	6.9	69.0	34.5	-	3.4	-	-	-	-	10.3	
年齢別	20代	161	5.6	82.6	23.6	-	3.1	0.6	8.1	0.6	3.1	1.9	
	30代	301	2.7	87.0	33.9	0.3	0.3	1.3	5.0	0.3	3.3	0.3	
	40代	357	4.8	89.6	28.3	-	0.3	0.8	3.4	0.8	0.8	2.8	
	50代	316	10.8	84.2	31.6	-	0.3	0.6	2.5	-	1.6	0.9	
	60代	413	9.2	80.1	37.3	-	0.2	0.5	2.4	1.0	0.5	3.6	
	70歳以上	255	15.7	68.6	32.5	-	-	1.2	3.1	-	0.8	8.6	
	無回答	15	-	80.0	46.7	-	-	-	-	-	-	6.7	
居住地別	中心部	343	16.3	89.5	19.5	-	0.6	0.3	3.2	0.6	0.9	3.2	
	南大分	179	5.0	81.6	34.6	-	1.1	1.1	5.6	-	1.7	4.5	
	城東・明野・滝尾・原川	381	7.9	80.3	36.0	0.3	0.8	2.1	3.4	0.3	1.6	2.4	
	鶴崎	263	4.6	82.1	38.4	-	-	0.4	2.3	0.8	2.3	3.0	
	大南	104	7.7	85.6	36.5	-	-	-	3.8	2.9	-	2.9	
	植田・野津原	354	5.9	74.3	36.7	-	0.3	0.8	4.5	0.3	1.4	2.3	
	大在・坂ノ市・佐賀関	182	4.9	89.6	24.2	-	0.5	-	3.3	-	2.2	3.8	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	12	8.3	75.0	50.0	-	-	-	-	-	-	8.3	

最も多く利用する場所

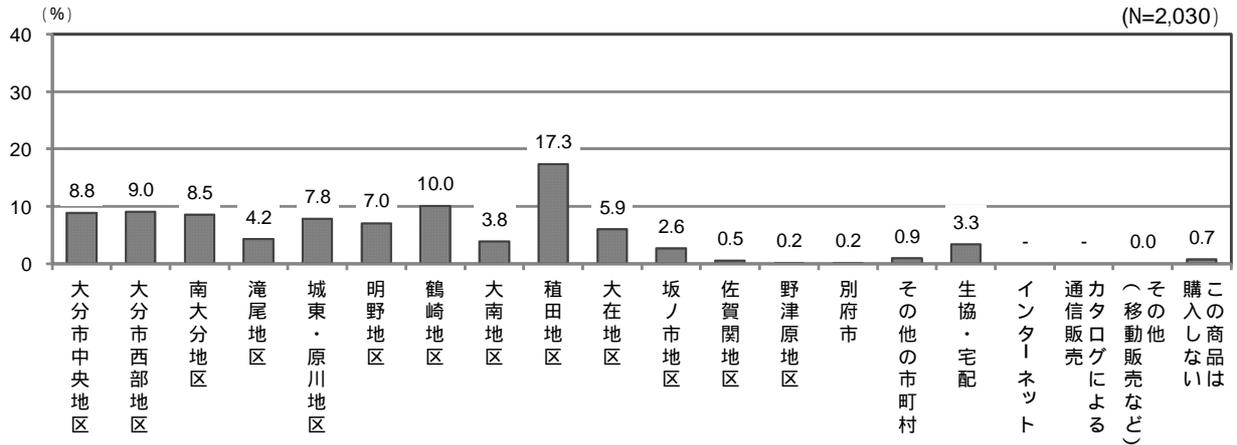
最も多く利用する買い物場所をみると、「植田地区」(17.3%)が最も高くなっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高く、20代及び50代以上は2割程度となっている。

居住地別にみると、いずれの地区も、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。

【最も多く利用する買い物場所 生鮮食料品】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は	無回答
全体	2030	8.8	9.0	8.5	4.2	7.8	7.0	10.0	3.8	17.3	5.9	2.6	0.5	0.2	0.2	0.9	3.3	-	-	0.0	0.7	9.2		
性別																								
男性	708	9.0	8.5	7.2	3.1	7.1	7.1	10.0	4.1	19.5	6.1	2.4	0.3	0.3	-	0.7	2.3	-	-	0.1	1.4	10.9		
女性	1284	8.6	9.5	9.2	5.0	8.3	7.2	10.0	3.7	16.1	5.5	2.6	0.6	0.2	0.4	0.9	4.0	-	-	-	0.3	7.8		
無回答	38	7.9	2.6	10.5	-	5.3	-	10.5	2.6	15.8	13.2	5.3	-	-	-	2.6	-	-	-	-	-	23.7		
年齢別																								
20代	173	11.6	9.8	9.8	5.2	7.5	5.8	9.8	3.5	17.3	7.5	1.7	-	-	-	1.7	2.3	-	-	-	-	2.3	4.0	
30代	315	7.6	8.3	12.4	8.6	8.9	7.0	12.4	2.5	13.7	5.1	3.2	-	0.3	0.3	1.0	4.4	-	-	-	-	1.3	3.2	
40代	378	9.5	11.6	6.1	5.3	9.0	5.8	10.6	5.3	13.8	8.2	3.7	0.5	0.3	0.5	0.8	4.2	-	-	-	-	0.5	4.2	
50代	334	8.4	10.2	9.0	3.3	9.0	8.4	9.0	4.5	19.5	6.0	2.4	0.9	-	0.6	0.9	3.3	-	-	-	-	-	4.8	
60代	477	8.0	6.3	9.0	2.3	7.3	7.1	11.7	3.1	20.3	5.2	1.5	0.8	0.4	-	0.6	3.1	-	-	0.2	0.8	11.9		
70歳以上	334	9.0	9.3	5.7	2.4	4.8	7.8	6.3	3.9	18.3	3.9	3.3	0.3	-	-	0.6	1.5	-	-	-	-	23.1		
無回答	19	10.5	5.3	10.5	-	10.5	-	-	5.3	15.8	5.3	-	-	-	-	5.3	15.8	-	-	-	-	-	15.8	
居住地別																								
中心部	374	38.2	44.1	1.9	0.5	0.5	0.5	-	0.3	2.1	-	-	-	-	0.5	0.5	2.4	-	-	-	-	0.5	7.8	
南大分	194	0.5	1.5	76.8	-	-	-	-	-	9.3	-	-	-	-	-	-	4.1	-	-	-	-	-	7.7	
城東・明野・滝尾・原川	426	3.1	2.1	1.4	18.5	33.8	23.9	1.4	0.2	1.6	0.2	-	-	-	0.5	0.5	2.8	-	-	-	0.9	8.9		
鶴崎	295	2.0	0.3	-	0.7	3.1	11.9	63.1	0.7	0.7	3.1	-	-	-	-	0.3	3.7	-	-	-	-	1.4	9.2	
大南	119	5.0	-	-	-	0.8	2.5	4.2	60.5	5.9	-	-	-	-	0.8	2.5	7.6	-	-	-	-	0.8	9.2	
植田・野津原	398	1.8	0.8	2.5	0.8	0.3	-	-	0.3	76.6	0.3	-	-	1.0	-	1.5	4.3	-	-	-	-	0.3	9.8	
大在・坂ノ市・佐賀閑	207	-	1.0	-	-	-	-	2.4	-	0.5	51.7	25.6	4.8	-	-	1.0	1.0	-	-	0.5	1.0	10.6		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	11.8	-	5.9	-	5.9	-	5.9	5.9	17.6	5.9	-	-	-	-	11.8	-	-	-	-	-	-	29.4	

最も多く利用する場所の店舗形態

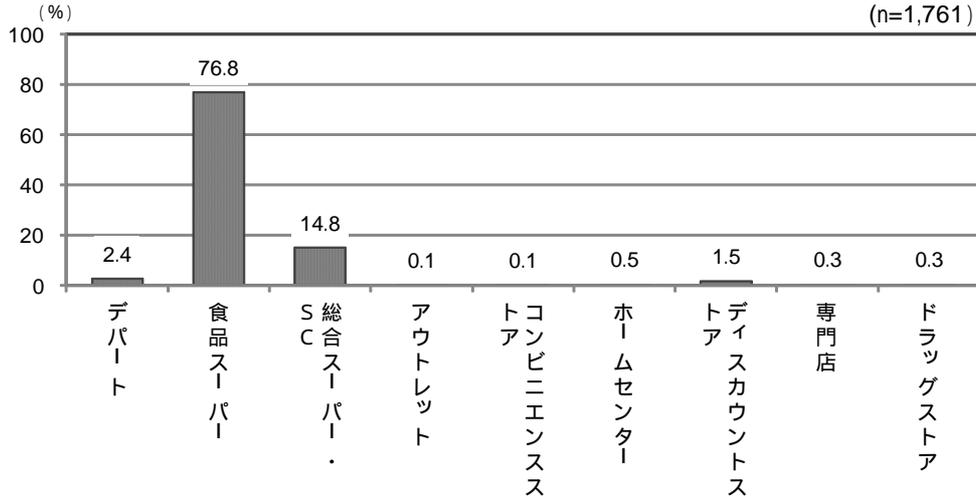
最も多く利用する場所の店舗形態をみると、「食品スーパー」(76.8%)が群を抜いて高い。次いで「総合スーパー・SC」(14.8%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「食品スーパー」が群を抜いて高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「食品スーパー」が群を抜いて高い。

居住地別にみると、いずれの地区も「食品スーパー」が群を抜いて高いが、植田・野津原地区は「総合スーパー・SC」が2割を超えて他の地区を上回っている。

【最も多く利用する買い物場所の店舗形態 生鮮食料品】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答	
全体		1,761	2.4	76.8	14.8	0.1	0.1	0.5	1.5	0.3	0.3	3.1	
性別	男性	604	2.3	77.0	13.6	0.2	0.3	0.5	2.2	0.3	0.7	3.0	
	女性	1,128	2.5	77.0	15.3	-	-	0.4	1.2	0.4	0.2	3.0	
	無回答	29	3.4	65.5	20.7	-	-	-	-	-	-	10.3	
年齢別	20代	158	2.5	79.1	8.9	-	0.6	-	5.1	0.6	1.3	1.9	
	30代	287	0.3	82.9	12.5	0.3	-	1.4	2.1	-	0.3	-	
	40代	344	1.2	84.6	10.2	-	-	0.3	0.9	0.3	-	2.6	
	50代	307	3.3	76.9	17.3	-	0.3	-	1.3	-	-	1.0	
	60代	400	2.3	74.5	17.0	-	-	0.3	0.8	1.0	0.5	3.8	
	70歳以上	252	6.0	61.5	20.6	-	-	0.8	1.2	-	0.4	9.5	
	無回答	13	-	69.2	23.1	-	-	-	-	-	-	7.7	
居住地別	中心部	334	6.3	83.8	6.6	-	-	-	-	0.3	-	3.0	
	南大分	171	0.6	80.1	11.1	-	-	0.6	2.9	-	0.6	4.1	
	城東・明野・滝尾・原川	372	2.2	72.6	18.3	0.3	0.5	1.3	2.4	-	-	2.4	
	鶴崎	253	1.6	77.5	15.0	-	-	0.4	0.8	0.8	0.8	3.2	
	大南	98	4.1	76.5	12.2	-	-	-	2.0	2.0	-	3.1	
	植田・野津原	341	1.5	67.4	24.9	-	-	0.3	2.6	0.3	0.6	2.3	
	大在・坂ノ市・佐賀関	180	-	86.7	7.8	-	-	-	-	-	0.6	5.0	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	12	-	66.7	25.0	-	-	-	-	-	-	8.3	

最も多く利用する場所×店舗形態

最も多く利用する場所別に店舗形態をみると、いずれの場所も「食品スーパー」が群を抜いて高い。なお、明野地区は「総合スーパー・SC」が3割、植田・野津原地区は2割を超えて、他の地区に比べて高くなっている。

(なお、別府市は「総合スーパー・SC」が40.0%と高いものの、サンプル数が少ないため、ここでは参考扱いとする)

【最も多く利用する買い物場所×店舗形態 生鮮食料品】

		サンプル数	デパート	食品スーパー	C総合スーパー・S	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答 (%)
全体		1761	2.4	76.8	14.8	0.1	0.1	0.5	1.5	0.3	0.3	3.1
最も多く利用する買い物場所別	大分市中央地区	178	14.6	73.0	4.5	-	0.6	1.1	-	0.6	0.6	5.1
	大分市西部地区	183	2.2	86.9	5.5	0.5	-	-	-	1.1	-	3.8
	南大分地区	173	0.6	79.8	11.6	-	-	0.6	2.3	-	0.6	4.6
	滝尾地区	86	1.2	87.2	4.7	-	-	2.3	3.5	-	-	1.2
	城東・原川地区	158	1.3	80.4	14.6	-	0.6	-	1.3	-	-	1.9
	明野地区	142	2.1	61.3	33.8	-	-	0.7	0.7	-	-	1.4
	鶴崎地区	203	0.5	82.3	12.3	-	-	1.0	1.0	0.5	1.0	1.5
	大南地区	78	-	85.9	7.7	-	-	-	-	2.6	-	3.8
	植田地区	351	1.1	65.8	26.8	-	-	-	3.7	-	-	2.6
	大在地区	119	-	84.9	10.9	-	-	-	-	-	0.8	3.4
	坂ノ市地区	53	-	86.8	1.9	-	-	-	-	-	1.9	9.4
	佐賀関地区	10	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	野津原地区	4	-	75.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-
別府市	5	20.0	20.0	40.0	-	-	-	20.0	-	-	-	
その他の市町村	18	-	55.6	33.3	-	-	-	5.6	-	-	5.6	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

加工食品（即席・冷凍食品・缶詰など）

多く利用する場所

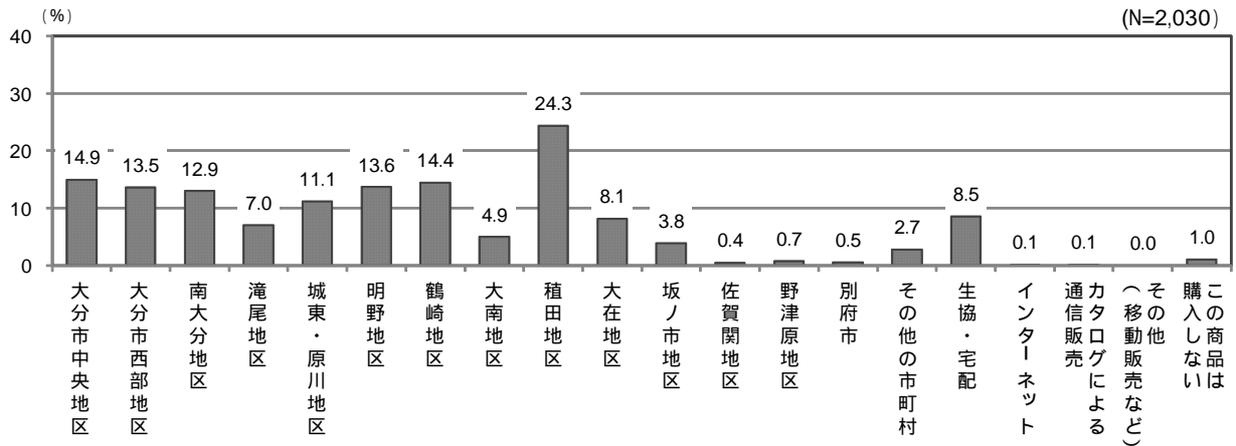
多く利用する買い物場所について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「植田地区」(24.3%)が最も高く、唯一2割を超えている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高いものの、20代、50代は「大分市中央地区」が約2割みられるほか、40代及び50代は「大分市西部地区」が約2割みられる。

居住地別にみると、いずれの地区も、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。

【多く利用する買い物場所（1番目+2番目） 加工食品】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀関地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は	無回答
全体	2,030	14.9	13.5	12.9	7.0	11.1	13.6	14.4	4.9	24.3	8.1	3.8	0.4	0.7	0.5	2.7	8.5	0.1	0.1	0.0	0.0	1.0	11.4	
性別																								
男性	708	14.8	13.3	12.6	6.4	10.7	15.4	14.8	4.7	26.0	8.5	3.8	0.7	1.3	0.1	2.7	4.5	0.1	-	0.1	1.0	12.6		
女性	1,284	15.3	14.0	13.0	7.6	11.4	12.9	14.2	5.1	23.8	7.6	3.7	0.3	0.4	0.7	2.7	10.4	0.2	0.2	-	1.0	10.3		
無回答	38	5.3	2.6	15.8	-	5.3	7.9	15.8	2.6	10.5	18.4	5.3	-	-	-	2.6	18.4	-	-	-	-	28.9		
年齢別																								
20代	173	17.3	14.5	15.0	8.1	10.4	13.3	16.8	5.8	25.4	9.8	3.5	-	-	1.2	2.9	4.0	-	-	-	2.9	3.5		
30代	315	14.9	13.7	15.2	13.0	15.6	15.2	16.8	2.9	24.8	9.8	4.4	0.3	0.3	0.6	3.8	9.2	0.6	0.3	-	1.0	3.8		
40代	378	15.6	18.5	9.3	10.6	14.8	11.9	16.7	7.1	22.2	11.6	5.0	0.5	0.8	0.5	2.9	10.1	0.3	-	-	0.5	4.0		
50代	334	18.3	17.4	14.1	5.4	10.5	15.9	13.2	7.2	26.6	7.5	3.0	0.6	0.6	0.6	3.3	9.9	-	-	-	0.9	6.3		
60代	477	14.0	9.6	14.0	4.0	9.2	14.5	15.3	3.4	27.5	6.5	3.1	0.8	1.0	0.4	2.1	8.4	-	-	0.2	1.3	14.7		
70歳以上	334	11.4	8.7	10.8	3.0	6.3	11.1	9.3	3.6	18.9	4.8	3.9	-	0.9	-	1.5	6.6	-	-	-	0.3	31.4		
無回答	19	5.3	21.1	15.8	5.3	10.5	10.5	-	5.3	21.1	5.3	-	-	-	-	5.3	15.8	-	5.3	-	-	15.8		
居住地別																								
中心部	374	54.3	59.4	7.2	1.3	2.1	1.6	0.3	0.3	11.8	-	-	-	-	0.8	1.3	6.4	0.3	-	-	1.1	9.9		
南大分	194	5.2	9.3	83.0	1.0	-	0.5	0.5	0.5	32.0	-	-	-	-	-	2.1	6.7	-	-	-	1.0	9.8		
城東・明野・滝尾・原川	426	8.9	2.8	3.5	27.9	44.6	33.8	7.3	0.5	4.2	0.5	-	-	-	0.5	0.9	5.9	0.2	-	-	0.7	11.7		
鶴崎	295	3.1	1.7	1.0	2.4	7.5	31.5	74.9	2.0	2.0	6.1	-	0.3	-	-	0.3	9.8	-	-	-	0.7	11.9		
大南	119	8.4	1.7	0.8	3.4	0.8	11.8	10.9	68.1	21.8	-	-	-	-	1.7	6.7	15.1	-	-	-	1.7	10.9		
植田・野津原	398	7.5	2.8	12.6	1.5	0.3	1.8	0.8	1.3	82.9	0.3	0.3	-	3.5	0.8	5.3	11.8	0.3	0.5	-	1.0	11.3		
大在・坂ノ市・佐賀関	207	1.4	1.4	0.5	-	1.0	4.8	10.6	1.0	2.4	69.1	36.7	3.9	-	-	4.8	7.2	-	-	0.5	1.4	13.5		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	-	11.8	23.5	-	5.9	11.8	5.9	5.9	11.8	5.9	-	-	-	-	11.8	5.9	-	-	-	-	29.4		

多く利用する場所の店舗形態

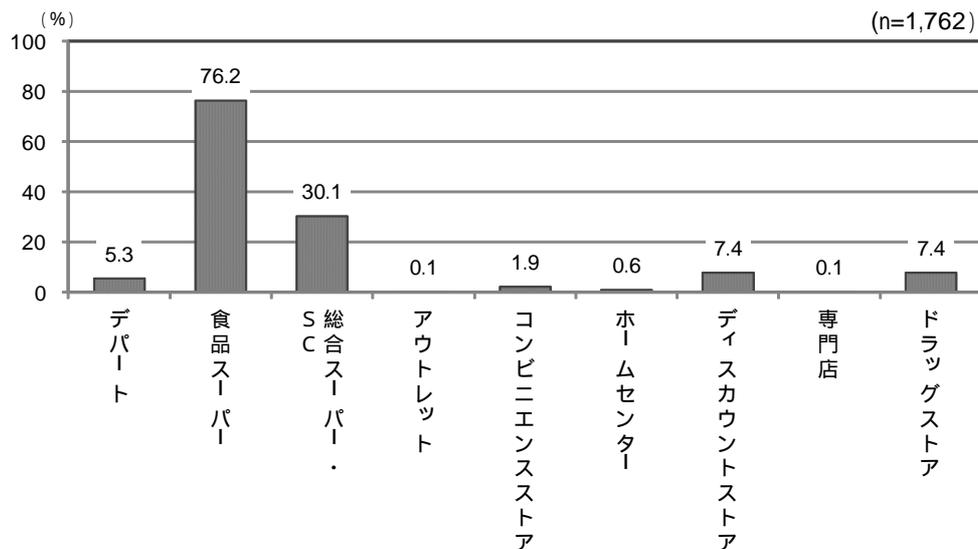
多く利用する場所の店舗形態について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「食品スーパー」(76.2%)が群を抜いて高い。次いで「総合スーパー・SC」(30.1%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「食品スーパー」が群を抜いて高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「食品スーパー」が群を抜いて高いものの、50代~70歳以上は「総合スーパー・SC」が3割程度みられる。

居住地別にみると、いずれの地区も「食品スーパー」が群を抜いて高いものの、中心部は「デパート」が1割程度みられ、他の地区を上回っている。

【多く利用する買い物場所の店舗形態(1番目+2番目) 加工食品】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答	
全体		1762	5.3	76.2	30.1	0.1	1.9	0.6	7.4	0.1	7.4	2.7	
性別	男性	610	3.9	77.5	31.6	0.3	3.6	0.5	7.5	0.2	4.8	2.6	
	女性	1126	6.1	75.8	29.4	-	0.9	0.7	7.4	0.1	8.7	2.6	
	無回答	26	3.8	65.4	23.1	-	3.8	-	3.8	-	11.5	7.7	
年齢別	20代	163	4.3	73.0	23.3	-	4.9	1.2	12.9	-	9.8	1.8	
	30代	301	1.7	74.8	26.6	0.3	2.3	1.0	10.6	0.3	16.6	-	
	40代	357	2.2	76.5	25.2	0.3	2.8	0.6	9.2	-	11.2	3.1	
	50代	307	7.5	79.8	32.2	-	0.7	0.3	6.8	-	4.9	1.0	
	60代	396	7.1	79.0	36.4	-	0.5	0.3	3.8	0.3	1.3	3.5	
	70歳以上	222	10.4	70.3	33.8	-	1.8	0.9	3.6	-	0.9	6.3	
	無回答	16	-	75.0	25.0	-	-	-	-	-	-	12.5	12.5
居住地別	中心部	334	11.4	87.7	18.6	0.3	1.5	-	4.8	-	4.2	2.7	
	南大分	171	2.3	74.9	31.6	-	2.9	1.8	11.7	-	7.6	3.5	
	城東・明野・滝尾・原川	371	4.9	75.5	32.6	0.3	2.2	1.3	6.7	-	7.5	1.3	
	鶴崎	257	1.9	76.3	34.6	-	1.2	0.8	6.2	-	9.7	2.7	
	大南	98	7.1	81.6	37.8	-	-	-	5.1	2.0	4.1	3.1	
	植田・野津原	347	4.3	66.6	36.3	-	2.0	0.3	8.4	-	5.8	2.9	
	大在・坂ノ市・佐賀関	172	3.5	73.3	22.1	-	2.9	-	11.0	-	14.0	3.5	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	12	8.3	75.0	25.0	-	-	-	-	-	-	16.7	8.3

最も多く利用する場所

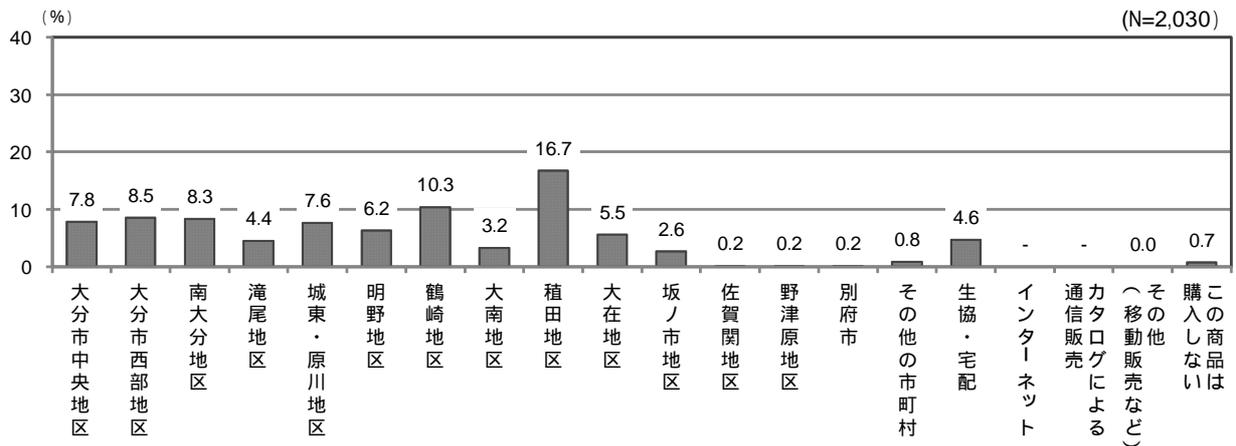
最も多く利用する買い物場所をみると、「植田地区」(16.7%)が最も高くなっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高く、20代及び50代、60代は2割程度となっている。

居住地別にみると、いずれの地区も、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。

【最も多く利用する買い物場所 加工食品】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は購入しない	無回答
全体	2030	7.8	8.5	8.3	4.4	7.6	6.2	10.3	3.2	16.7	5.5	2.6	0.2	0.2	0.2	0.8	4.6	-	-	0.0	0.7	12.0		
性別																								
男性	708	7.9	8.8	7.5	3.4	6.8	6.2	11.2	3.4	18.6	5.9	2.4	0.3	0.4	-	0.6	2.1	-	-	0.1	0.6	13.8		
女性	1284	7.9	8.6	8.6	5.1	8.2	6.3	9.8	3.1	15.8	5.1	2.7	0.2	0.2	0.3	0.9	5.9	-	-	-	0.8	10.5		
無回答	38	2.6	2.6	13.2	-	5.3	2.6	10.5	-	10.5	10.5	2.6	-	-	-	2.6	7.9	-	-	-	-	28.9		
年齢別																								
20代	173	10.4	9.8	9.2	5.8	6.9	7.5	9.8	2.9	17.9	8.1	2.3	-	-	-	1.7	1.7	-	-	-	-	1.7	4.0	
30代	315	6.3	9.5	12.1	8.6	8.9	6.3	14.3	1.9	13.3	4.8	3.5	0.3	-	0.3	1.0	4.4	-	-	-	-	0.6	3.8	
40代	378	9.3	11.4	5.8	6.1	10.3	4.2	10.8	4.5	13.0	8.2	3.2	0.3	0.5	0.3	1.1	6.1	-	-	-	-	0.5	4.5	
50代	334	8.1	10.2	10.2	3.3	8.4	6.0	9.0	4.5	18.3	5.1	2.7	0.3	-	0.6	0.6	5.4	-	-	-	-	0.6	6.9	
60代	477	7.8	5.5	8.0	2.3	6.7	6.7	11.7	2.7	20.3	4.6	1.7	0.2	0.4	-	0.2	4.8	-	-	0.2	0.8	15.3		
70歳以上	334	6.0	6.0	5.7	2.4	4.2	7.2	6.0	2.4	16.8	3.3	2.7	-	0.3	-	0.9	3.3	-	-	-	0.3	32.6		
無回答	19	5.3	15.8	10.5	-	10.5	5.3	-	-	15.8	5.3	-	-	-	-	5.3	10.5	-	-	-	-	-	15.8	
居住地別																								
中心部	374	35.6	42.2	1.9	0.5	1.1	0.8	-	0.3	2.4	-	-	-	-	0.3	0.8	3.7	-	-	-	-	0.5	9.9	
南大分	194	0.5	2.6	74.2	-	-	-	-	-	7.2	-	-	-	-	-	-	4.6	-	-	-	-	1.0	9.8	
城東・明野・滝尾・原川	426	2.8	1.2	1.6	19.5	33.8	20.9	2.3	0.2	0.9	0.2	-	-	-	0.5	0.2	3.1	-	-	-	0.5	12.2		
鶴崎	295	0.7	0.3	0.3	0.7	1.7	9.8	64.1	0.3	0.7	2.4	-	-	-	-	0.3	4.7	-	-	-	0.3	13.6		
大南	119	3.4	-	-	-	0.8	3.4	4.2	50.4	6.7	-	-	-	-	0.8	4.2	11.8	-	-	-	-	1.7	12.6	
植田・野津原	398	1.5	0.5	2.0	0.8	-	-	-	0.3	75.1	0.3	-	-	1.3	-	1.0	5.3	-	-	-	-	0.5	11.6	
大在・坂ノ市・佐賀閑	207	-	-	-	-	-	-	1.9	-	0.5	48.8	25.6	1.9	-	-	0.5	4.3	-	-	0.5	1.4	14.5		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無回答	17	-	11.8	11.8	-	5.9	5.9	5.9	-	11.8	5.9	-	-	-	-	11.8	-	-	-	-	-	29.4		

最も多く利用する場所の店舗形態

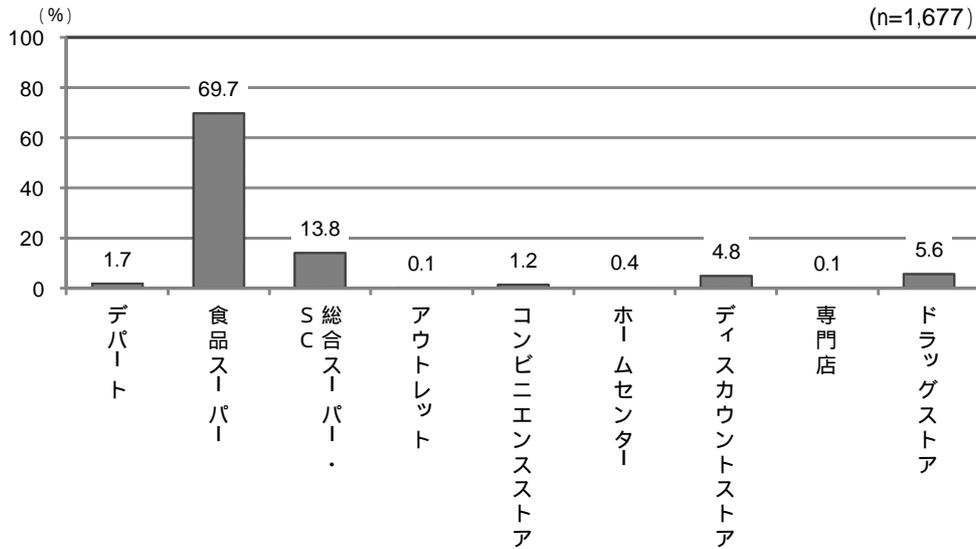
最も多く利用する場所の店舗形態をみると、「食品スーパー」(69.7%)が群を抜いて高い。次いで「総合スーパー・SC」(13.8%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「食品スーパー」が群を抜いて高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「食品スーパー」が群を抜いて高いものの、50代及び60代は「総合スーパー・SC」が1割以上、70歳以上は2割程度みられる。

居住地別にみると、いずれの地区も「食品スーパー」が群を抜いて高いが、植田・野津原地区は「総合スーパー・SC」が2割を超えて他の地区を上回っている。

【最も多く利用する買い物場所の店舗形態 加工食品】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答	
全体		1,677	1.7	69.7	13.8	0.1	1.2	0.4	4.8	0.1	5.6	2.6	
性別	男性	590	1.9	72.4	12.9	0.3	2.2	0.3	4.4	0.2	2.9	2.5	
	女性	1,063	1.5	68.3	14.4	-	0.7	0.5	5.2	-	7.1	2.4	
	無回答	24	4.2	66.7	12.5	-	-	-	-	-	8.3	8.3	
年齢別	20代	160	2.5	65.6	9.4	-	3.1	0.6	10.0	-	6.9	1.9	
	30代	287	0.3	68.6	9.4	0.3	1.0	0.7	5.9	-	13.6	-	
	40代	336	0.3	68.8	8.9	0.3	2.4	0.3	6.5	-	9.2	3.3	
	50代	291	2.1	71.5	18.2	-	0.7	-	4.8	-	2.1	0.7	
	60代	376	1.6	75.3	16.2	-	0.3	0.3	1.6	0.3	1.1	3.5	
	70歳以上	213	4.7	63.8	20.7	-	0.5	0.9	2.8	-	0.9	5.6	
	無回答	14	-	64.3	14.3	-	-	-	-	-	-	7.1	14.3
居住地別	中心部	321	4.7	80.7	5.9	0.3	0.9	-	1.2	-	3.4	2.8	
	南大分	164	0.6	70.1	9.8	-	1.8	1.2	7.3	-	6.1	3.0	
	城東・明野・滝尾・原川	359	1.1	66.9	17.3	0.3	1.9	0.8	4.7	-	5.3	1.7	
	鶴崎	240	0.8	70.4	12.9	-	0.4	0.8	5.4	-	7.5	1.7	
	大南	88	2.3	73.9	13.6	-	-	-	4.5	1.1	2.3	2.3	
	植田・野津原	329	1.2	59.9	23.7	-	1.2	-	6.7	-	4.3	3.0	
	大在・坂ノ市・佐賀関	164	-	70.7	7.3	-	1.2	-	5.5	-	11.6	3.7	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	12	-	66.7	16.7	-	-	-	-	-	-	8.3	8.3

最も多く利用する場所×店舗形態

最も多く利用する場所別に店舗形態をみると、いずれの場所も「食品スーパー」が群を抜いて高い。なお、明野地区は「総合スーパー・SC」が3割、植田地区は2割を超えて、他の地区に比べて高くなっている。

【最も多く利用する買い物場所×店舗形態 加工食品】

		(%)										
		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1677	1.7	69.7	13.8	0.1	1.2	0.4	4.8	0.1	5.6	2.6
最も多く利用する買い物場所別	大分市中央地区	158	8.2	75.9	3.8	0.6	2.5	-	0.6	-	5.7	2.5
	大分市西部地区	173	2.3	85.5	5.8	0.6	1.7	-	0.6	-	0.6	2.9
	南大分地区	169	0.6	68.6	11.2	-	1.8	1.2	6.5	-	6.5	3.6
	滝尾地区	90	1.1	74.4	3.3	-	1.1	1.1	7.8	-	8.9	2.2
	城東・原川地区	155	1.3	76.1	13.5	-	1.9	0.6	1.9	-	3.9	0.6
	明野地区	126	1.6	54.8	34.1	-	0.8	0.8	1.6	-	4.8	1.6
	鶴崎地区	209	0.5	71.3	12.0	-	-	1.0	4.3	-	9.1	1.9
	大南地区	64	-	90.6	6.3	-	-	-	-	1.6	-	1.6
	植田地区	339	1.2	59.0	24.2	-	0.6	-	8.6	-	3.5	2.9
	大在地区	111	-	63.1	10.8	-	0.9	-	11.7	-	11.7	1.8
	坂ノ市地区	53	-	77.4	-	-	-	-	-	-	15.1	7.5
	佐賀関地区	4	-	75.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-
	野津原地区	5	-	40.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-
	別府市	4	-	25.0	25.0	-	-	-	25.0	-	25.0	-
その他の市町村	17	-	41.2	29.4	-	-	-	17.6	-	-	11.8	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

菓子・パン類

多く利用する場所

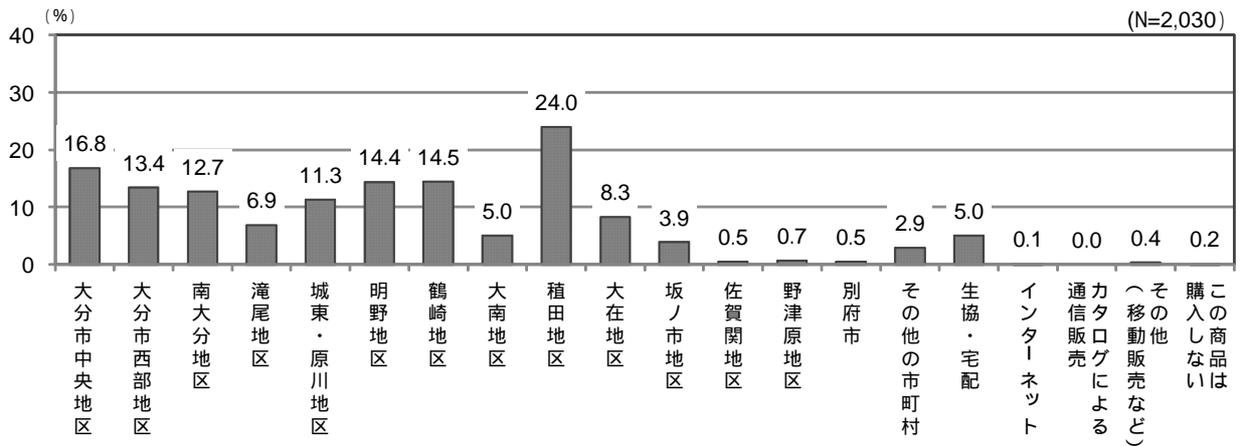
多く利用する買い物場所について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「植田地区」(24.0%)が最も高く、唯一2割を超えている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高いものの、20代、40代及び50代は「大分市中央地区」が約2割みられるほか、40代は「大分市西部地区」が約2割みられる。

居住地別にみると、いずれの地区も、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。

【多く利用する買い物場所(1番目+2番目) 菓子・パン類】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	ない	この商品は購入しない	無回答
全体	2030	16.8	13.4	12.7	6.9	11.3	14.4	14.5	5.0	24.0	8.3	3.9	0.5	0.7	0.5	2.9	5.0	0.1	-	0.4	0.2	11.6		
性別																								
男性	708	16.2	13.1	11.2	6.4	11.3	15.3	15.0	4.5	25.1	8.9	3.8	0.7	1.4	0.3	2.7	3.1	0.1	-	0.1	0.6	13.1		
女性	1284	17.3	14.0	13.5	7.4	11.4	14.2	14.3	5.4	23.6	7.8	3.9	0.5	0.3	0.7	3.0	5.9	0.1	-	0.5	0.1	10.2		
無回答	38	10.5	-	13.2	-	7.9	7.9	13.2	2.6	15.8	15.8	7.9	-	-	-	2.6	7.9	-	-	-	-	28.9		
年齢別																								
20代	173	19.1	15.6	13.3	8.1	11.0	13.3	17.9	5.8	27.7	9.8	2.9	-	-	0.6	2.9	3.5	-	-	-	0.6	2.9		
30代	315	15.9	12.7	15.9	13.3	15.2	15.9	17.5	3.2	25.1	10.8	5.1	0.3	0.6	1.3	4.1	5.4	0.3	-	0.3	-	2.9		
40代	378	18.3	18.0	9.0	10.1	15.1	13.8	17.2	7.1	20.1	11.9	5.3	0.5	0.8	0.8	2.6	4.8	0.3	-	0.3	0.3	4.5		
50代	334	19.8	15.9	14.1	4.8	10.8	17.4	13.5	6.9	26.0	7.2	3.0	0.6	0.9	0.6	3.6	6.9	-	-	0.3	0.9	6.3		
60代	477	16.4	9.9	13.8	4.2	9.4	14.9	15.3	3.8	27.5	6.5	3.4	1.3	0.8	0.2	2.3	4.8	-	-	1.0	-	14.9		
70歳以上	334	12.9	10.8	9.9	2.7	6.6	11.1	7.8	3.9	18.6	5.1	3.9	-	0.6	-	1.5	3.3	-	-	-	-	32.6		
無回答	19	10.5	10.5	21.1	5.3	10.5	10.5	-	5.3	21.1	5.3	-	-	-	-	10.5	15.8	-	-	-	-	15.8		
居住地別																								
中心部	374	58.3	59.6	7.2	1.3	2.4	1.3	-	0.3	10.4	-	-	-	-	0.8	1.3	2.9	-	-	0.5	-	9.1		
南大分	194	7.7	6.7	85.1	1.5	0.5	1.0	0.5	0.5	30.4	0.5	-	-	-	-	2.1	3.1	-	-	0.5	-	9.3		
城東・明野・滝尾・原川	426	9.4	2.8	2.8	27.2	44.6	36.2	7.5	0.5	4.5	0.5	-	-	-	0.5	1.2	4.5	-	-	-	0.5	12.4		
鶴崎	295	3.7	2.0	0.7	2.4	7.8	33.2	75.3	2.0	1.7	5.8	-	0.3	-	-	0.3	7.5	-	-	0.3	0.7	11.5		
大南	119	10.1	2.5	0.8	2.5	2.5	13.4	12.6	71.4	22.7	-	-	-	-	1.7	6.7	6.7	-	-	-	-	12.6		
植田・野津原	398	8.5	2.5	11.8	1.5	0.3	1.8	0.5	1.3	83.7	0.3	-	-	3.5	0.8	6.3	7.0	0.3	-	0.8	0.3	11.8		
大在・坂ノ市・佐賀閑	207	4.8	2.4	-	-	0.5	4.3	10.6	0.5	1.4	71.0	38.6	4.8	-	-	3.9	2.9	0.5	-	0.5	-	14.0		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無回答	17	5.9	5.9	17.6	-	5.9	11.8	5.9	5.9	11.8	5.9	-	-	-	5.9	11.8	5.9	-	-	-	-	29.4		

多く利用する場所の店舗形態

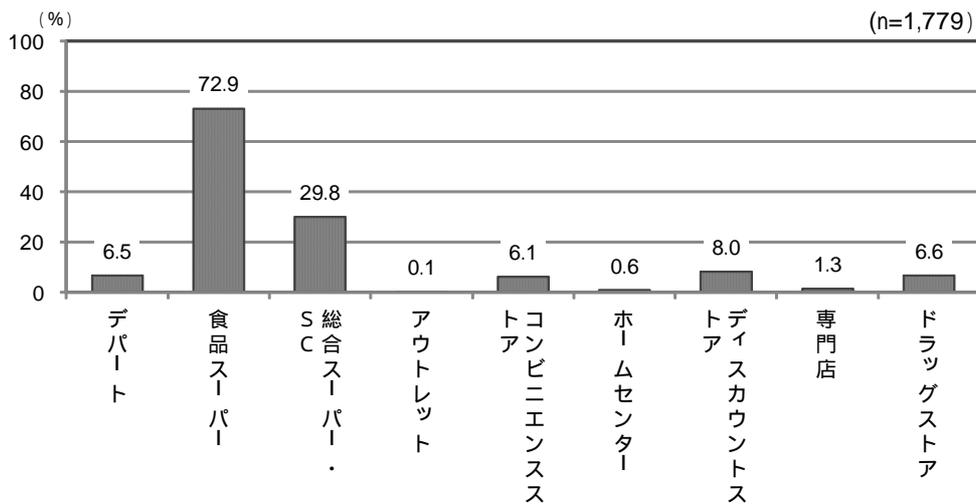
多く利用する場所の店舗形態について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「食品スーパー」(72.9%)が群を抜いて高い。次いで「総合スーパー・SC」(29.8%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「食品スーパー」が群を抜いて高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「食品スーパー」が群を抜いて高いものの、50代以上は「総合スーパー・SC」が3割以上みられる。

居住地別にみると、いずれの地区も「食品スーパー」が群を抜いて高いものの、中心部は「デパート」が1割程度みられ、他の地区を上回っている。

【多く利用する買い物場所の店舗形態(1番目+2番目) 菓子・パン類】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答	
全体		1779	6.5	72.9	29.8	0.1	6.1	0.6	8.0	1.3	6.6	2.7	
性別	男性	609	4.6	72.9	30.7	0.2	8.4	0.7	8.7	1.1	4.3	2.6	
	女性	1144	7.6	73.2	29.5	-	4.9	0.6	7.6	1.2	7.8	2.7	
	無回答	26	3.8	61.5	19.2	-	3.8	-	11.5	7.7	11.5	3.8	
年齢別	20代	168	3.6	68.5	21.4	-	13.7	1.2	14.3	1.2	7.7	1.8	
	30代	306	3.3	68.6	27.5	0.3	9.5	1.0	11.4	1.0	17.0	0.3	
	40代	358	2.8	73.7	25.1	-	7.8	0.6	10.3	2.2	7.8	3.4	
	50代	308	8.4	78.2	30.5	-	4.2	0.3	7.8	1.0	4.5	1.0	
	60代	401	9.5	75.6	36.2	-	3.0	0.2	3.7	1.2	2.0	2.7	
	70歳以上	222	11.7	68.9	34.2	-	1.4	0.9	3.6	0.5	0.9	7.2	
	無回答	16	-	68.8	31.3	-	-	-	-	6.3	6.3	12.5	
居住地別	中心部	338	13.6	83.1	17.2	-	7.7	-	4.7	1.5	3.8	3.0	
	南大分	175	4.0	69.1	29.1	-	6.9	1.1	13.7	2.9	7.4	3.4	
	城東・明野・滝尾・原川	370	6.2	72.2	34.1	0.3	4.9	1.1	7.8	1.4	7.6	1.1	
	鶴崎	257	3.1	73.2	34.6	-	6.6	0.8	6.2	-	8.9	3.1	
	大南	102	8.8	79.4	37.3	-	2.9	-	7.8	3.9	3.9	3.9	
	植田・野津原	348	3.7	64.4	36.8	-	5.5	0.6	8.3	0.6	5.5	2.9	
	大在・坂ノ市・佐賀関	177	5.1	71.8	20.9	-	7.3	0.6	11.3	0.6	9.6	2.8	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	12	8.3	66.7	25.0	-	-	-	8.3	8.3	8.3	8.3	

最も多く利用する場所

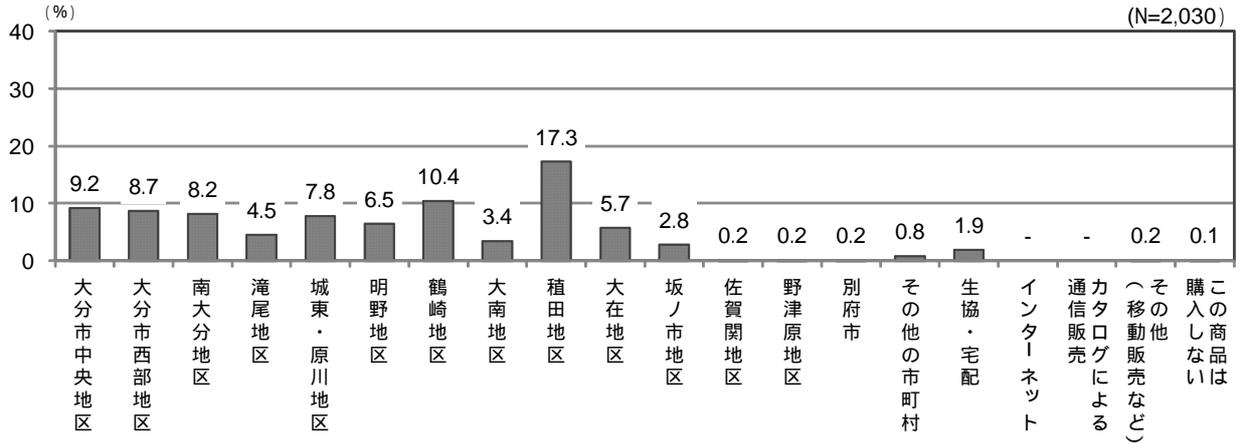
最も多く利用する買い物場所をみると、「植田地区」(17.3%)が最も高くなっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高く、50代及び60代は2割程度となっている。

居住地別にみると、いずれの地区も、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。

【最も多く利用する買い物場所 菓子・パン類】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	この商品は購入しない	無回答
全体	2030	9.2	8.7	8.2	4.5	7.8	6.5	10.4	3.4	17.3	5.7	2.8	0.2	0.2	0.2	0.8	1.9	-	-	0.2	0.1	12.0	
性別																							
男性	708	9.0	8.9	6.8	4.0	6.8	5.9	11.3	3.5	18.4	6.5	2.3	0.3	0.4	-	0.6	1.3	-	-	0.1	0.3	13.7	
女性	1,284	9.3	8.8	8.9	5.0	8.3	6.9	9.9	3.4	16.8	5.1	3.1	0.2	0.1	0.3	0.9	2.3	-	-	0.2	0.1	10.6	
無回答	38	7.9	-	10.5	-	7.9	2.6	10.5	-	13.2	10.5	2.6	-	-	-	2.6	2.6	-	-	-	-	28.9	
年齢別																							
20代	173	10.4	11.0	10.4	5.8	6.4	7.5	10.4	3.5	17.9	8.1	1.7	-	-	-	1.7	1.7	-	-	-	-	-	3.5
30代	315	8.6	9.2	12.1	8.9	9.5	5.4	14.0	2.2	13.7	5.7	3.2	0.3	0.3	0.3	0.6	2.5	-	-	-	-	-	3.5
40代	378	11.4	12.2	6.1	6.1	9.5	5.8	10.8	4.5	12.7	8.5	3.7	-	0.3	0.3	1.1	1.9	-	-	0.3	0.3	4.8	
50代	334	9.3	10.2	9.3	3.3	8.7	7.2	9.6	4.2	19.5	5.1	2.7	0.3	-	0.6	0.6	2.4	-	-	-	0.6	6.6	
60代	477	8.0	5.7	8.0	2.5	7.1	6.3	12.4	3.4	21.4	4.4	2.5	0.4	0.4	-	0.2	1.7	-	-	0.6	-	15.1	
70歳以上	334	8.1	6.0	4.5	2.4	4.8	7.2	5.1	2.7	17.7	3.6	2.7	-	-	-	0.9	0.9	-	-	-	-	33.5	
無回答	19	10.5	5.3	15.8	-	10.5	5.3	-	-	15.8	5.3	-	-	-	-	5.3	10.5	-	-	-	-	15.8	
居住地別																							
中心部	374	40.1	43.0	1.3	0.5	0.8	0.5	-	0.3	1.3	-	-	-	-	0.3	0.8	1.1	-	-	-	-	-	9.9
南大分	194	0.5	1.5	76.3	-	0.5	-	-	-	8.2	-	-	-	-	-	-	2.6	-	-	0.5	-	-	9.8
城東・明野・滝尾・原川	426	2.6	1.4	1.2	20.0	33.8	22.1	1.6	0.2	1.6	0.2	-	-	-	0.5	0.2	1.4	-	-	-	0.2	12.9	
鶴崎	295	1.7	0.7	0.3	0.7	2.0	10.5	65.4	0.3	0.3	2.4	-	-	-	-	0.3	3.4	-	-	-	0.3	11.5	
大南	119	6.7	0.8	-	-	1.7	2.5	4.2	54.6	8.4	-	-	-	-	0.8	3.4	3.4	-	-	-	-	-	13.4
植田・野津原	398	2.0	0.5	1.3	0.8	-	-	0.3	0.3	77.6	0.3	-	-	1.0	-	1.0	2.0	-	-	0.5	0.3	12.3	
大在・坂ノ市・佐賀閑	207	1.0	-	-	-	0.5	-	1.9	-	0.5	50.7	27.5	1.9	-	-	0.5	1.0	-	-	0.5	-	14.0	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	17	5.9	5.9	11.8	-	5.9	5.9	5.9	-	11.8	5.9	-	-	-	-	11.8	-	-	-	-	-	29.4	

最も多く利用する場所の店舗形態

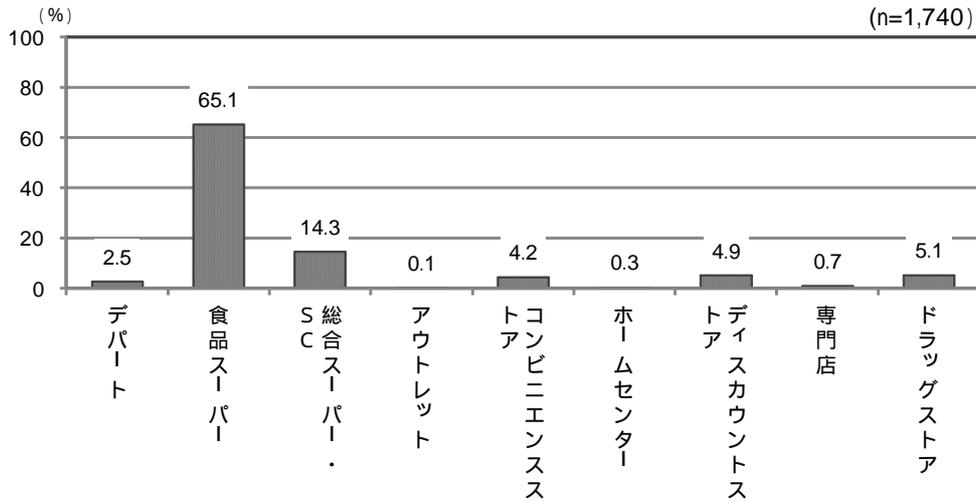
最も多く利用する場所の店舗形態をみると、「食品スーパー」(65.1%)が群を抜いて高い。次いで「総合スーパー・SC」(14.3%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「食品スーパー」が群を抜いて高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「食品スーパー」が群を抜いて高いものの、70歳以上は「総合スーパー・SC」が2割程度みられる。

居住地別にみると、いずれの地区も「食品スーパー」が群を抜いて高いが、植田・野津原地区は「総合スーパー・SC」が2割を超えて他の地区を上回っている。

【最も多く利用する買い物場所の店舗形態 菓子・パン類】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1,740	2.5	65.1	14.3	0.1	4.2	0.3	4.9	0.7	5.1	2.8
性別	男性	599	2.5	65.9	13.2	0.2	6.2	0.3	5.0	0.8	3.0	2.8
	女性	1,115	2.5	64.8	15.0	-	3.2	0.4	4.8	0.5	6.1	2.7
	無回答	26	3.8	57.7	11.5	-	-	-	7.7	7.7	7.7	3.8
年齢別	20代	164	1.8	62.2	8.5	-	9.1	0.6	8.5	0.6	6.7	1.8
	30代	296	1.0	62.2	9.1	0.3	6.4	0.7	6.1	0.3	13.5	0.3
	40代	351	1.4	64.4	10.8	-	6.3	0.3	6.8	0.6	6.0	3.4
	50代	302	3.0	68.5	16.6	-	2.6	-	5.0	1.0	2.6	0.7
	60代	394	2.5	70.6	16.8	-	1.8	0.3	2.3	1.3	1.5	3.0
	70歳以上	219	6.4	58.4	23.3	-	0.9	0.5	2.3	-	0.9	7.3
	無回答	14	-	57.1	21.4	-	-	-	-	7.1	-	14.3
居住地別	中心部	333	6.9	76.0	5.4	-	4.5	-	0.3	0.9	3.0	3.0
	南大分	169	0.6	62.1	11.2	-	5.3	0.6	8.9	2.4	5.9	3.0
	城東・明野・滝尾・原川	364	1.9	62.4	17.6	0.3	3.8	0.8	5.5	0.8	5.5	1.4
	鶴崎	250	1.2	64.8	13.6	-	5.6	0.8	3.6	-	7.6	2.8
	大南	99	4.0	68.7	11.1	-	3.0	-	5.1	2.0	2.0	4.0
	植田・野津原	338	1.2	57.1	25.1	-	3.0	-	6.2	-	4.4	3.0
	大在・坂ノ市・佐賀関	175	1.1	67.4	9.1	-	4.6	-	7.4	-	6.9	3.4
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	12	-	58.3	16.7	-	-	-	-	8.3	8.3	-	8.3

最も多く利用する場所×店舗形態

最も多く利用する場所別に店舗形態をみると、いずれの場所も「食品スーパー」が群を抜いて高い。なお、明野地区は「総合スーパー・SC」が3割、植田地区は2割を超えて、他の地区に比べて高くなっている。

【最も多く利用する買い物場所×店舗形態 菓子・パン類】

		(%)										
		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1740	2.5	65.1	14.3	0.1	4.2	0.3	4.9	0.7	5.1	2.8
最も多く利用する買い物場所別	大分市中央地区	186	16.1	61.8	5.9	-	8.6	-	-	1.6	3.8	2.2
	大分市西部地区	176	2.3	84.1	4.0	0.6	3.4	-	-	-	1.1	4.5
	南大分地区	166	0.6	62.0	11.4	-	4.8	0.6	8.4	2.4	6.0	3.6
	滝尾地区	92	1.1	69.6	3.3	-	5.4	1.1	7.6	-	9.8	2.2
	城東・原川地区	158	1.3	70.9	15.2	-	3.8	0.6	4.4	-	2.5	1.3
	明野地区	131	0.8	51.9	33.6	-	3.8	0.8	0.8	3.1	3.8	1.5
	鶴崎地区	211	0.5	67.3	10.9	-	4.3	0.9	4.7	-	9.5	1.9
	大南地区	69	-	87.0	5.8	-	2.9	-	-	1.4	-	2.9
	植田地区	351	0.9	55.3	25.9	-	2.0	-	8.3	0.3	4.6	2.8
	大在地区	115	0.9	60.9	13.0	-	4.3	-	10.4	-	7.8	2.6
	坂ノ市地区	57	-	77.2	1.8	-	3.5	-	1.8	-	10.5	5.3
	佐賀関地区	4	-	75.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-
	野津原地区	4	-	75.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-
別府市	4	-	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	
その他の市町村	16	-	37.5	31.3	-	-	-	18.8	-	-	12.5	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

酒類

多く利用する場所

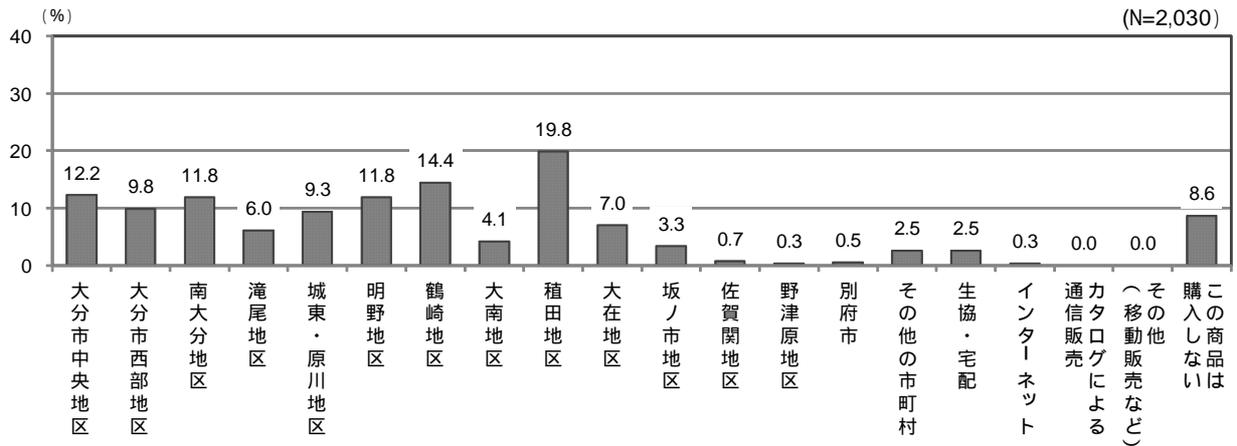
多く利用する買い物場所について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「植田地区」(19.8%)が最も高くなっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高い。

居住地別にみると、いずれの地区も、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっているが、南大分地区及び大南地区は「植田地区」が2割程度みられる。

【多く利用する買い物場所(1番目+2番目) 酒類】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は購入しない	無回答
全体	2,030	12.2	9.8	11.8	6.0	9.3	11.8	14.4	4.1	19.8	7.0	3.3	0.7	0.3	0.5	2.5	2.5	0.3	0.0	0.0	8.6	17.1		
性別	男性	708	12.1	10.2	12.1	6.2	8.8	13.1	16.0	4.1	22.6	7.5	3.2	0.6	0.8	0.4	3.0	1.1	0.1	-	-	6.1	17.2	
	女性	1,284	12.2	9.8	11.6	6.0	9.7	11.1	13.6	4.2	18.5	6.6	3.3	0.8	0.1	0.6	2.1	3.3	0.5	-	0.1	10.1	16.4	
	無回答	38	10.5	-	13.2	-	5.3	7.9	13.2	2.6	13.2	10.5	2.6	-	-	-	5.3	-	-	-	-	2.6	39.5	
年齢別	20代	173	16.2	12.1	12.7	6.4	8.1	11.0	16.2	5.2	23.1	7.5	1.7	-	-	0.6	2.9	1.2	1.2	-	-	12.1	6.9	
	30代	315	11.4	9.8	13.3	9.2	12.4	12.1	16.8	3.2	18.4	8.9	4.4	0.3	0.3	1.0	2.9	3.8	0.3	-	-	14.9	6.0	
	40代	378	12.7	13.5	8.2	9.5	12.7	10.6	14.8	5.3	18.0	10.6	5.0	0.8	0.5	1.1	2.6	1.1	0.8	-	-	11.4	9.0	
	50代	334	14.7	11.7	14.7	3.0	9.3	16.8	13.8	4.5	22.8	7.2	2.1	0.6	0.3	0.6	3.3	2.7	0.3	-	-	6.3	14.4	
	60代	477	11.3	6.5	12.6	5.2	7.3	12.2	16.4	3.4	20.8	4.8	2.5	1.7	0.4	0.2	1.7	3.6	-	0.2	-	7.1	20.3	
	70歳以上	334	9.3	6.9	9.6	2.7	6.0	8.1	9.6	3.9	17.7	3.9	3.3	-	0.3	-	1.5	1.8	-	-	-	1.8	39.8	
無回答	19	5.3	10.5	21.1	5.3	5.3	5.3	-	5.3	10.5	5.3	-	-	-	-	10.5	5.3	-	-	5.3	10.5	21.1		
居住地別	中心部	374	46.5	45.2	7.5	1.6	2.1	1.3	0.8	-	8.3	-	-	-	-	1.6	0.8	1.9	0.3	-	-	8.6	17.4	
	南大分	194	4.6	5.2	73.2	1.0	-	0.5	-	-	25.8	0.5	-	-	-	-	1.5	2.6	1.0	-	-	9.3	13.9	
	城東・明野・滝尾・原川	426	6.6	1.9	2.6	23.7	36.6	30.5	8.9	0.5	3.1	0.2	-	-	-	0.5	0.9	2.3	0.2	-	-	9.4	16.2	
	鶴崎	295	2.0	0.3	0.7	1.7	6.1	24.4	68.8	1.7	0.7	5.1	0.7	-	-	0.3	0.7	3.1	0.3	-	-	8.1	14.9	
	大南	119	5.9	1.7	0.8	3.4	2.5	12.6	19.3	57.1	21.8	-	-	-	-	0.8	6.7	2.5	0.8	-	-	7.6	14.3	
	植田・野津原	398	4.8	1.5	12.8	0.8	0.3	1.0	0.8	1.8	69.1	0.3	-	-	1.8	0.3	5.5	4.0	0.3	0.3	0.3	8.8	18.8	
	大在・坂ノ市・佐賀閑	207	1.4	0.5	1.0	-	0.5	5.3	10.6	0.5	1.4	59.4	30.9	6.8	-	-	2.4	0.5	-	-	-	7.7	21.3	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	17	5.9	5.9	17.6	-	5.9	5.9	5.9	5.9	11.8	5.9	-	-	-	-	17.6	-	-	-	-	-	35.3		

多く利用する場所の店舗形態

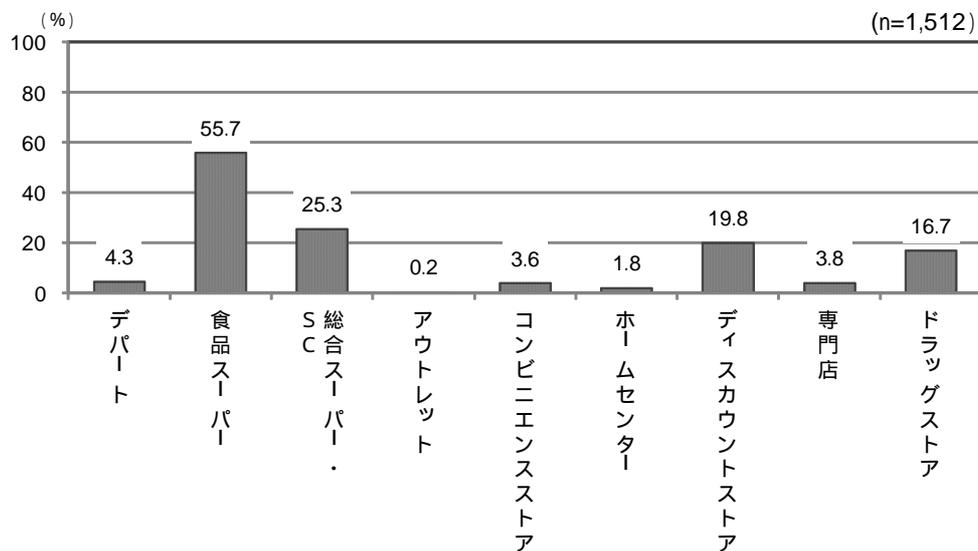
多く利用する場所の店舗形態について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「食品スーパー」(55.7%)が最も高く、次いで「総合スーパー・SC」(25.3%)、「ディスカウントストア」(19.8%)、「ドラッグストア」(16.7%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「食品スーパー」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「食品スーパー」が最も高いが、30代及び40代は「ドラッグストア」が2割以上みられるほか、60代及び70歳以上は「ディスカウントストア」が2割以上みられる。

居住地別にみると、いずれの地区も「食品スーパー」が群を抜いて高いものの、大南地区は「総合スーパー・SC」が3割以上みられ、他の地区を上回っている。

【多く利用する買い物場所の店舗形態（1番目+2番目） 酒類】



	サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体	1512	4.3	55.7	25.3	0.2	3.6	1.8	19.8	3.8	16.7	2.7
性別											
男性	544	3.5	58.1	25.7	0.2	5.7	2.0	20.0	5.1	13.4	2.6
女性	946	4.8	54.7	25.1	0.2	2.3	1.7	19.6	3.0	18.6	2.9
無回答	22	4.5	40.9	27.3	-	9.1	-	27.3	4.5	18.2	-
年齢別											
20代	140	3.6	67.1	18.6	-	6.4	1.4	15.7	2.9	13.6	0.7
30代	249	1.2	61.8	22.5	0.4	4.8	2.4	18.5	2.4	24.9	-
40代	304	1.3	53.0	23.0	0.3	6.3	2.3	19.4	4.3	21.4	3.0
50代	266	5.3	59.0	28.6	-	2.3	2.3	18.8	2.3	17.7	1.1
60代	347	7.2	51.3	28.5	0.3	0.9	1.2	20.2	4.3	11.8	4.9
70歳以上	194	7.2	46.9	26.8	-	3.1	1.0	25.8	6.7	8.8	5.7
無回答	12	-	58.3	33.3	-	-	-	25.0	-	16.7	-
居住地別											
中心部	277	10.1	68.6	16.6	-	4.0	1.8	15.9	3.6	13.4	3.2
南大分	149	2.7	53.0	22.8	-	4.7	2.7	20.8	2.7	20.1	2.7
城東・明野・滝尾・原川	319	4.1	57.7	29.5	0.9	3.4	2.5	16.9	3.1	15.4	2.5
鶴崎	227	1.3	47.1	28.2	-	3.5	2.6	18.5	7.0	20.3	2.2
大南	94	3.2	70.2	35.1	-	1.1	1.1	16.0	5.3	9.6	4.3
植田・野津原	288	3.5	47.2	29.9	-	3.8	0.7	24.0	1.4	14.6	2.4
大在・坂ノ市・佐賀関	147	2.7	50.3	15.0	-	4.1	0.7	28.6	5.4	25.9	2.7
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	11	-	54.5	36.4	-	-	-	27.3	-	18.2	-

最も多く利用する場所

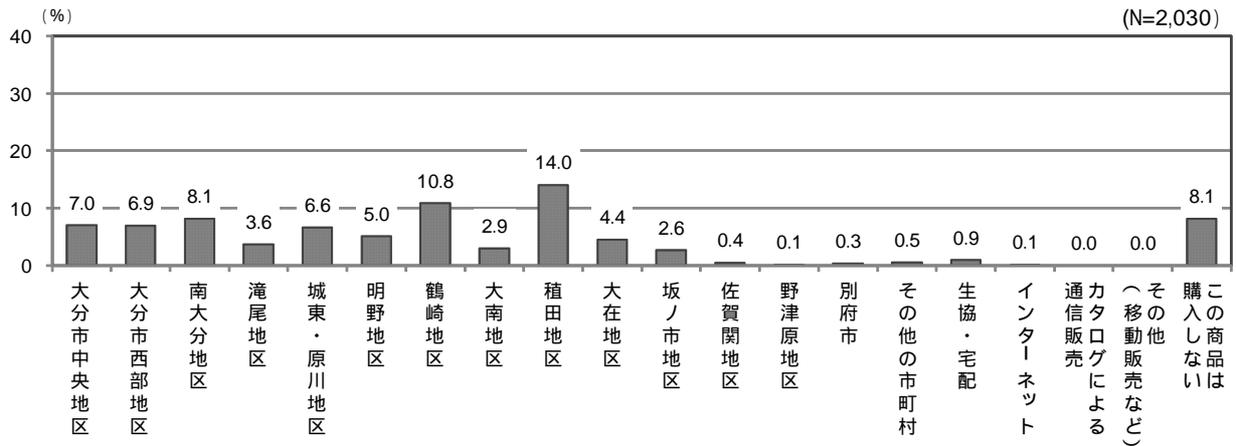
最も多く利用する買い物場所をみると、「植田地区」(14.0%)が最も高く、次いで「鶴崎地区」(10.8%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、30代は「鶴崎地区」が最も高く、その他の年代は「植田地区」が最も高くなっている。

居住地別にみると、いずれの地区も、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっているが、大南地区は「植田地区」が1割程度みられる。

【最も多く利用する買い物場所 酒類】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は	無回答
全体	2030	7.0	6.9	8.1	3.6	6.6	5.0	10.8	2.9	14.0	4.4	2.6	0.4	0.1	0.3	0.5	0.9	0.1	0.0	0.0	8.1	17.5		
性別																								
男性	708	6.9	8.1	7.2	3.2	6.1	4.8	11.9	2.8	15.7	5.1	2.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.1	0.1	-	5.8	17.9		
女性	1,284	7.1	6.5	8.6	4.0	6.9	5.3	10.3	2.9	13.3	3.9	2.7	0.5	-	0.2	0.5	1.2	0.2	-	0.1	9.5	16.6		
無回答	38	5.3	-	10.5	-	5.3	-	10.5	2.6	7.9	7.9	2.6	-	-	-	5.3	-	-	-	-	-	2.6	39.5	
年齢別																								
20代	173	9.8	8.7	10.4	4.0	4.6	6.4	9.8	2.3	14.5	6.4	1.2	-	-	-	1.7	0.6	0.6	-	-	-	12.1	6.9	
30代	315	6.3	6.7	10.8	6.3	7.6	4.8	13.7	2.5	9.8	3.5	3.8	0.3	0.3	0.6	0.3	1.3	0.3	-	-	-	14.6	6.3	
40代	378	8.5	9.8	5.8	4.5	9.3	3.4	10.6	3.2	12.4	6.3	4.0	0.5	0.3	0.5	0.3	0.5	0.3	-	-	-	10.6	9.3	
50代	334	6.9	8.7	9.3	2.1	7.5	6.3	9.9	3.3	16.5	5.7	1.5	0.3	-	0.3	0.6	0.9	-	-	-	-	5.7	14.7	
60代	477	6.5	4.2	7.8	3.1	5.5	5.5	13.4	2.5	16.1	3.1	1.9	0.8	0.2	0.2	0.2	1.3	-	0.2	-	-	6.5	21.0	
70歳以上	334	5.4	5.1	6.0	2.1	4.2	4.8	6.9	3.0	14.7	2.4	2.7	-	-	-	0.3	0.6	-	-	-	-	1.5	40.4	
無回答	19	5.3	5.3	15.8	5.3	5.3	-	-	5.3	5.3	5.3	-	-	-	-	10.5	-	-	-	5.3	-	10.5	21.1	
居住地別																								
中心部	374	32.6	34.5	2.7	0.5	0.5	0.3	0.3	-	0.8	-	-	-	-	1.1	0.3	0.8	-	-	-	-	8.3	17.4	
南大分	194	0.5	1.5	67.0	-	-	-	-	-	4.6	0.5	-	-	-	-	-	2.1	0.5	-	-	-	8.8	14.4	
城東・明野・滝尾・原川	426	2.3	0.9	1.6	15.7	28.6	18.5	4.5	0.2	0.5	-	-	-	-	0.2	0.2	0.7	-	-	-	-	8.7	17.1	
鶴崎	295	0.7	-	-	0.3	2.0	6.4	61.7	0.7	-	2.4	-	-	-	0.3	0.3	1.4	0.3	-	-	-	7.8	15.6	
大南	119	4.2	-	0.8	1.7	1.7	2.5	8.4	43.7	12.6	-	-	-	-	-	1.7	0.8	0.8	-	-	-	6.7	14.3	
植田・野津原	398	0.5	0.8	3.8	0.5	-	-	0.3	0.5	63.8	0.3	-	-	0.8	-	0.8	0.8	-	0.3	0.3	-	8.0	18.8	
大在・坂ノ市・佐賀閑	207	-	-	-	-	-	-	2.9	-	0.5	38.2	25.1	3.9	-	-	-	-	-	-	-	-	7.7	21.7	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	-	5.9	11.8	-	5.9	-	5.9	5.9	5.9	5.9	-	-	-	-	17.6	-	-	-	-	-	-	35.3	

最も多く利用する場所の店舗形態

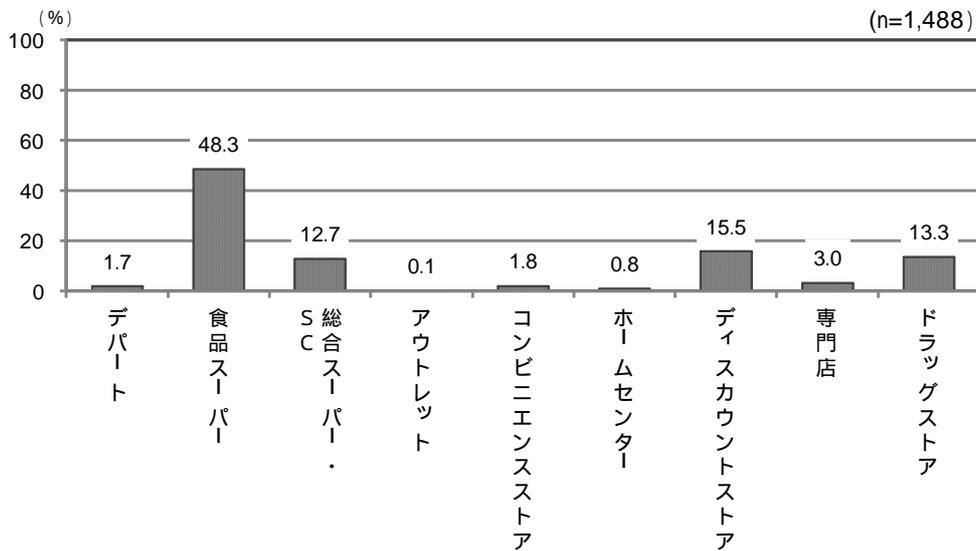
最も多く利用する場所の店舗形態をみると、「食品スーパー」(48.3%)が最も高く、次いで「ディスカウントストア」(15.5%)、「ドラッグストア」(13.3%)、「総合スーパー・S C」(12.7%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「食品スーパー」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「食品スーパー」が最も高いものの、30代は「ドラッグストア」が2割程度みられるほか、70歳以上は「ディスカウントストア」が2割程度みられる。

居住地別にみると、いずれの地区も「食品スーパー」が最も高いが、植田・野津原地区は「総合スーパー・S C」及び「ディスカウントストア」が2割を超えて他の地区を上回っているほか、南大分地区は「ドラッグストア」が2割程度みられ他の地区を上回っている。

【最も多く利用する買い物場所の店舗形態 酒類】



	サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・S C	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体	1,488	1.7	48.3	12.7	0.1	1.8	0.8	15.5	3.0	13.3	2.8
性別											
男性	535	1.9	50.3	11.8	0.2	3.0	1.1	15.3	4.1	9.9	2.4
女性	931	1.5	47.5	13.3	0.1	1.1	0.6	15.4	2.3	15.1	3.1
無回答	22	4.5	36.4	9.1	-	4.5	-	22.7	4.5	18.2	-
年齢別											
20代	138	2.2	60.9	8.7	-	2.9	-	10.1	2.9	11.6	0.7
30代	244	0.4	54.5	7.4	0.4	2.9	1.6	10.7	2.0	20.1	-
40代	300	0.7	45.3	9.7	-	3.7	0.7	15.0	4.0	18.0	3.0
50代	263	1.5	49.4	16.0	-	0.8	1.1	14.8	1.1	13.7	1.5
60代	339	2.9	45.1	15.3	0.3	-	0.6	18.3	3.2	9.1	5.0
70歳以上	192	2.6	40.1	18.2	-	1.6	0.5	21.4	4.7	5.2	5.7
無回答	12	-	50.0	8.3	-	-	-	25.0	-	16.7	-
居住地別											
中心部	275	5.1	60.0	5.8	-	1.5	0.7	10.9	3.3	9.5	3.3
南大分	144	0.7	45.1	9.7	-	2.1	2.1	16.7	2.1	19.4	2.1
城東・明野・滝尾・原川	313	1.0	50.2	17.6	0.6	1.6	0.6	13.1	2.2	10.9	2.2
鶴崎	221	0.9	41.2	13.1	-	1.4	1.8	16.3	5.9	16.7	2.7
大南	92	2.2	59.8	10.9	-	1.1	-	8.7	3.3	8.7	5.4
植田・野津原	286	1.0	39.5	21.0	-	2.1	0.3	20.6	0.7	12.2	2.4
大在・坂ノ市・佐賀関	146	-	46.6	2.7	-	3.4	-	19.9	4.8	19.2	3.4
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	11	-	45.5	9.1	-	-	-	27.3	-	18.2	-

最も多く利用する場所×店舗形態

最も多く利用する場所別に店舗形態をみると、いずれの場所も「食品スーパー」が最も高い。
 なお、明野地区は「総合スーパー・SC」が3割、植田地区は2割を超えて、他の地区に比べて高くなっているほか、植田地区は「ディスカウントストア」も2割を超えている。また、坂ノ市地区は「ドラッグストア」が2割を超えている。

【最も多く利用する買い物場所×店舗形態 酒類】

		(%)										
		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1488	1.7	48.3	12.7	0.1	1.8	0.8	15.5	3.0	13.3	2.8
最も多く利用する買い物場所別	大分市中央地区	142	11.3	55.6	5.6	-	4.2	2.1	9.2	3.5	6.3	2.1
	大分市西部地区	140	2.1	67.1	3.6	0.7	1.4	-	10.0	2.1	9.3	3.6
	南大分地区	165	-	43.0	10.3	-	1.2	1.8	19.4	3.0	18.8	2.4
	滝尾地区	74	-	58.1	1.4	-	-	1.4	18.9	-	18.9	1.4
	城東・原川地区	133	0.8	58.6	17.3	-	1.5	-	10.5	0.8	9.0	1.5
	明野地区	102	2.0	42.2	31.4	-	1.0	1.0	5.9	3.9	8.8	3.9
	鶴崎地区	220	0.5	35.9	12.7	0.5	1.4	1.4	19.5	6.8	19.1	2.3
	大南地区	58	-	79.3	3.4	-	-	-	5.2	6.9	-	5.2
	植田地区	285	0.7	39.3	22.5	-	1.8	-	21.4	-	12.6	1.8
	大在地区	89	-	49.4	4.5	-	2.2	-	19.1	3.4	18.0	3.4
	坂ノ市地区	52	-	44.2	1.9	-	1.9	-	17.3	1.9	28.8	3.8
	佐賀関地区	8	-	12.5	-	-	25.0	-	25.0	12.5	-	25.0
	野津原地区	3	-	66.7	-	-	33.3	-	-	-	-	-
別府市	6	-	16.7	16.7	-	-	-	16.7	33.3	16.7	-	
その他の市町村	11	-	27.3	27.3	-	-	9.1	9.1	-	-	27.3	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

日用品（台所・洗濯・ふる・トイレ用品など）

多く利用する場所

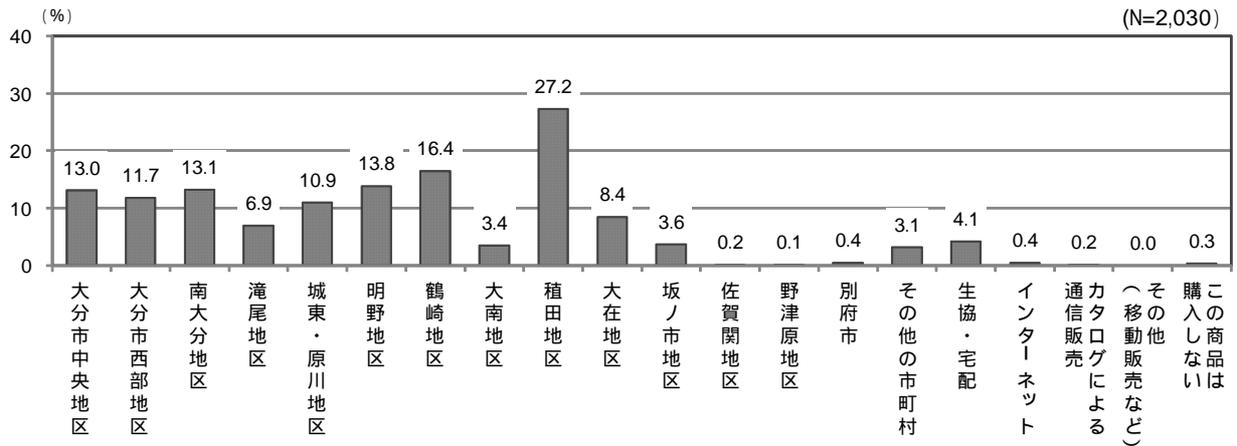
多く利用する買い物場所について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「植田地区」(27.2%)が最も高く、唯一2割を超えている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高い。

居住地別にみると、いずれの地区も、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっているが、南大分地区及び大南地区は「植田地区」が3割を超えている。

【多く利用する買い物場所（1番目+2番目） 日用品】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は	無回答
全体	2,030	13.0	11.7	13.1	6.9	10.9	13.8	16.4	3.4	27.2	8.4	3.6	0.2	0.1	0.4	3.1	4.1	0.4	0.2	0.0	0.0	0.3	11.3	
性別	男性	708	13.0	11.4	12.0	6.5	10.5	16.2	3.0	28.5	8.2	3.2	0.3	0.4	0.1	3.2	1.8	0.7	0.2	-	-	0.7	13.6	
	女性	1,284	13.1	12.1	13.8	7.4	11.3	12.6	3.7	26.8	8.3	3.7	0.2	-	0.5	3.0	5.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	9.6	
	無回答	38	7.9	-	10.5	-	7.9	7.9	15.8	2.6	15.8	18.4	7.9	-	-	5.3	10.5	-	-	-	-	-	26.3	
年齢別	20代	173	16.8	12.7	13.3	8.7	9.2	12.1	3.5	32.4	8.7	2.3	-	-	1.2	3.5	1.7	1.2	0.6	-	-	1.7	5.2	
	30代	315	14.0	12.4	17.1	11.1	14.3	15.6	1.3	29.8	10.2	4.4	-	0.3	0.3	4.8	3.2	1.3	0.3	-	-	0.3	3.2	
	40代	378	14.0	16.7	10.8	10.8	14.6	12.7	19.6	4.2	24.6	12.2	5.0	0.3	-	0.8	3.2	2.1	0.3	0.3	-	-	4.2	
	50代	334	13.8	15.3	14.1	4.8	10.8	15.9	17.1	4.2	28.7	8.1	3.0	0.3	0.3	0.6	4.2	5.1	-	0.3	-	0.3	6.3	
	60代	477	12.4	8.0	13.4	4.8	9.4	13.0	16.4	3.6	29.8	7.3	3.1	0.4	0.2	-	1.9	6.7	-	-	0.2	0.2	14.0	
	70歳以上	334	9.3	6.9	10.2	3.0	6.6	13.2	9.9	3.3	20.1	4.5	3.3	-	-	-	1.5	3.6	0.3	-	-	-	30.8	
	無回答	19	5.3	5.3	15.8	5.3	15.8	15.8	5.3	5.3	21.1	5.3	-	-	-	-	10.5	5.3	-	-	-	-	15.8	
居住地別	中心部	374	46.0	52.7	11.5	1.9	2.4	3.7	0.8	0.3	16.0	-	-	-	-	1.1	2.4	2.1	0.5	0.5	-	-	10.2	
	南大分	194	6.2	5.7	83.0	1.0	-	0.5	0.5	1.0	35.1	0.5	-	-	-	-	2.1	3.6	0.5	-	-	-	8.8	
	城東・明野・滝尾・原川	426	7.0	3.1	3.1	27.9	44.1	32.4	10.1	0.7	7.0	0.9	-	-	-	0.5	1.4	2.3	0.5	-	-	0.5	11.0	
	鶴崎	295	3.1	0.7	1.0	1.7	6.8	29.2	75.9	1.7	2.0	5.8	0.3	-	-	-	0.3	3.4	0.3	-	-	0.3	13.2	
	大南	119	6.7	2.5	0.8	3.4	0.8	18.5	20.2	42.9	34.5	-	-	-	-	0.8	7.6	8.4	-	-	-	-	12.6	
	植田・野津原	398	6.8	2.0	10.8	1.0	0.3	2.5	0.8	1.5	84.7	0.3	-	-	0.8	0.3	5.8	7.3	0.5	0.5	0.3	0.8	10.3	
	大在・坂ノ市・佐賀閑	207	1.9	1.0	-	-	0.5	3.9	16.4	-	3.9	71.0	34.8	1.9	-	-	3.9	3.9	-	-	-	0.5	13.0	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	17	5.9	5.9	11.8	-	11.8	5.9	5.9	5.9	11.8	5.9	-	-	-	-	17.6	5.9	-	-	-	-	-	29.4	

多く利用する場所の店舗形態

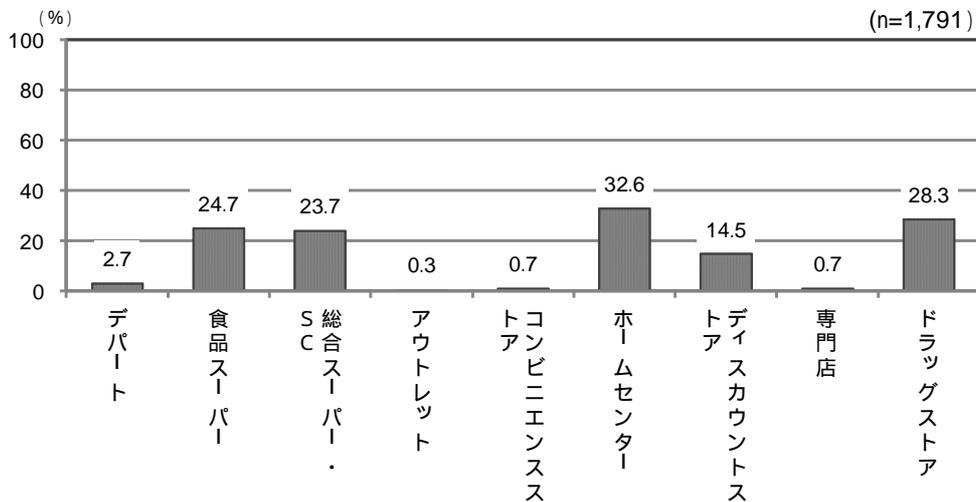
多く利用する場所の店舗形態について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「ホームセンター」(32.6%)が最も高く、次いで「ドラッグストア」(28.3%)、「食品スーパー」(24.7%)、「総合スーパー・SC」(23.7%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「ホームセンター」が最も高いが、女性は「ドラッグストア」が男性よりも1割以上上回っている。

年齢別にみると、20代及び30代は「ドラッグストア」が最も高く、40代は「ドラッグストア」と「ホームセンター」が同程度で高い。なお、50代及び60代は「ホームセンター」が最も高く、70歳以上は「総合スーパー・SC」が最も高くなっている。

居住地別にみると、鶴崎地区は「ドラッグストア」が最も高く、大南地区は「食品スーパー」が最も高いが、その他の地区は「ホームセンター」が最も高くなっている。

【多く利用する買い物場所の店舗形態(1番目+2番目) 日用品】



	サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	デイスクラウンストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体	1791	2.7	24.7	23.7	0.3	0.7	32.6	14.5	0.7	28.3	2.7
性別											
男性	610	2.3	29.3	27.7	0.3	1.5	32.3	14.8	1.1	20.8	2.8
女性	1153	2.9	22.5	21.2	0.3	0.3	33.0	14.5	0.5	32.4	2.5
無回答	28	-	17.9	35.7	-	3.6	21.4	10.7	-	25.0	7.1
年齢別											
20代	163	2.5	24.5	18.4	-	2.5	22.1	17.8	2.5	41.7	1.8
30代	305	0.7	22.0	19.3	0.3	0.3	23.9	19.7	1.0	49.8	-
40代	361	0.3	21.3	18.8	0.3	0.3	34.6	15.5	0.6	38.0	1.9
50代	313	3.5	24.9	25.6	-	1.0	35.8	13.1	-	24.0	1.0
60代	405	4.0	27.2	26.7	0.7	0.5	40.7	12.8	0.7	13.6	3.5
70歳以上	228	5.7	28.9	32.5	-	0.9	29.4	9.6	0.4	7.5	8.8
無回答	16	6.3	31.3	31.3	-	-	37.5	-	-	18.8	6.3
居住地別											
中心部	335	6.0	26.3	17.0	0.3	1.5	34.9	11.6	1.5	31.3	2.1
南大分	177	1.1	23.7	24.9	-	1.1	28.2	22.0	-	27.1	2.3
城東・明野・滝尾・原川	378	2.1	30.4	27.2	0.8	0.5	33.9	13.0	0.8	25.7	1.9
鶴崎	256	2.0	19.5	26.6	-	-	32.0	10.9	0.4	37.1	2.0
大南	101	3.0	35.6	34.7	-	-	27.7	11.9	2.0	20.8	4.0
植田・野津原	353	2.0	19.0	25.8	0.3	0.6	33.4	15.0	-	21.8	4.0
大在・坂ノ市・佐賀関	179	1.7	22.9	12.8	-	1.1	31.8	21.8	1.1	34.6	3.4
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	12	-	33.3	25.0	-	-	33.3	8.3	-	16.7	8.3

最も多く利用する場所

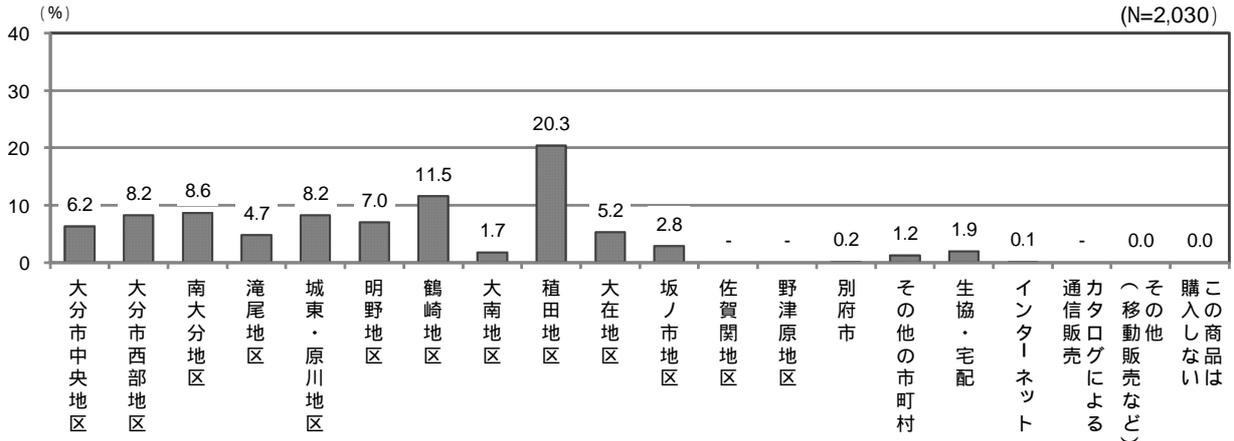
最も多く利用する買い物場所をみると、「植田地区」(20.3%)が最も高く、唯一2割を超えている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高い。

居住地別にみると、いずれの地区も、自身の居住地での利用割合が最も高くなっているが、大南地区は「植田地区」が2割程度みられる。

【最も多く利用する買い物場所 日用品】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀関地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は購入しない	無回答	
全体	2030	6.2	8.2	8.6	4.7	8.2	7.0	11.5	1.7	20.3	5.2	2.8	-	-	0.2	1.2	1.9	0.1	-	0.0	0.0	0.0	12.0		
性別																									
男性	708	6.4	8.2	7.5	4.0	7.3	7.5	11.7	1.1	22.0	6.1	2.0	-	-	-	1.1	0.6	0.3	-	-	-	0.1	14.1		
女性	1284	6.2	8.4	9.2	5.2	8.6	6.8	11.5	2.0	19.5	4.7	3.1	-	-	0.3	1.2	2.6	-	-	-	0.1	-	10.4		
無回答	38	2.6	-	10.5	-	7.9	5.3	7.9	-	15.8	7.9	7.9	-	-	-	2.6	5.3	-	-	-	-	-	26.3		
年齢別																									
20代	173	8.7	9.2	10.4	6.4	6.9	8.1	9.2	1.2	22.0	7.5	1.7	-	-	0.6	1.7	-	-	-	-	-	-	0.6	5.8	
30代	315	5.7	8.3	11.1	7.6	10.2	7.3	14.9	-	19.0	5.4	2.9	-	-	-	1.6	1.9	0.6	-	-	-	-	-	3.5	
40代	378	7.4	10.8	7.4	6.9	10.6	4.2	13.0	2.1	18.5	7.7	4.2	-	-	0.3	1.1	1.1	-	-	-	-	-	-	4.8	
50代	334	5.1	12.6	9.6	3.3	8.4	7.5	11.7	1.5	22.5	5.1	2.7	-	-	0.6	1.8	1.5	-	-	-	-	-	-	6.3	
60代	477	6.1	5.0	8.6	2.9	7.3	6.7	13.2	2.3	22.2	4.6	2.1	-	-	-	0.6	3.4	-	-	-	0.2	-	-	14.7	
70歳以上	334	5.4	5.1	5.4	2.4	4.8	9.0	6.0	2.4	18.0	2.1	3.0	-	-	-	0.9	2.4	-	-	-	-	-	-	33.2	
無回答	19	5.3	-	15.8	5.3	15.8	10.5	-	-	21.1	5.3	-	-	-	-	5.3	-	-	-	-	-	-	-	15.8	
居住地別																									
中心部	374	27.8	40.6	5.6	1.1	1.6	1.9	-	0.3	7.2	-	-	-	-	0.8	1.1	1.3	0.3	-	-	-	-	-	10.4	
南大分	194	1.0	1.5	69.1	-	-	-	-	0.5	14.9	-	-	-	-	-	0.5	2.1	0.5	-	-	-	-	-	-	9.8
城東・明野・滝尾・原川	426	1.6	1.2	2.1	20.4	35.7	21.8	2.6	-	1.4	0.2	-	-	-	-	0.5	0.9	-	-	-	-	-	-	11.5	
鶴崎	295	0.7	-	0.7	1.0	1.7	9.5	68.5	0.7	0.3	2.0	-	-	-	-	0.3	0.7	-	-	-	-	-	-	13.9	
大南	119	3.4	1.7	0.8	-	0.8	9.2	11.8	23.5	23.5	-	-	-	-	-	0.8	5.0	5.9	-	-	-	-	-	13.4	
植田・野津原	398	1.5	0.5	1.5	0.3	-	0.3	0.3	0.5	79.9	0.3	-	-	-	-	1.3	2.8	-	-	-	0.3	-	-	10.8	
大在・坂ノ市・佐賀関	207	0.5	0.5	-	-	-	0.5	2.4	-	1.0	46.9	27.5	-	-	-	1.9	2.9	-	-	-	-	-	0.5	15.5	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	-	5.9	11.8	-	11.8	5.9	5.9	-	11.8	5.9	-	-	-	-	11.8	-	-	-	-	-	-	-	29.4	

最も多く利用する場所の店舗形態

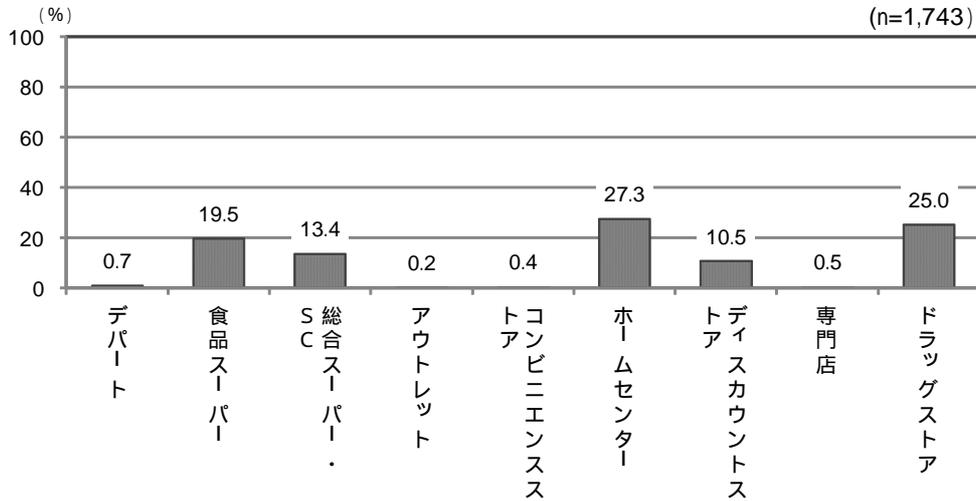
最も多く利用する場所の店舗形態をみると、「ホームセンター」(27.3%)が最も高く、次いで「ドラッグストア」(25.0%)の順となっている。

性別にみると、男性は「ホームセンター」が最も高いが、女性は「ドラッグストア」が最も高く、男性よりも1割以上上回っている。

年齢別にみると、20代及び30代は「ドラッグストア」が最も高く、40代は「ドラッグストア」と「ホームセンター」が同程度で高い。なお、50代及び60代は「ホームセンター」が最も高く、70歳以上は「食品スーパー」、「総合スーパー・SC」、「ホームセンター」に分散している。

居住地別にみると、大在・坂ノ市・佐賀関地区及び鶴崎地区は「ドラッグストア」が最も高く、中心部及び大南地区は「食品スーパー」と「ホームセンター」が同程度で最も高い。その他の地区は「ホームセンター」が最も高くなっている。

【最も多く利用する買い物場所の店舗形態 日用品】



	サンプル数	店舗形態 (%)										
		デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答	
全体	1,743	0.7	19.5	13.4	0.2	0.4	27.3	10.5	0.5	25.0	2.6	
性別	男性	601	0.5	23.8	15.6	0.3	0.8	27.6	9.8	1.0	17.5	3.0
	女性	1,116	0.8	17.4	11.9	0.2	0.2	27.2	10.9	0.2	28.9	2.2
	無回答	26	-	11.5	26.9	-	-	19.2	7.7	-	26.9	7.7
年齢別	20代	162	1.9	19.1	7.4	-	0.6	14.8	14.8	1.2	38.9	1.2
	30代	296	0.3	14.9	9.5	0.3	-	17.6	12.8	0.7	43.9	-
	40代	356	-	16.0	9.3	0.3	0.3	28.4	11.8	0.3	31.7	2.0
	50代	308	0.3	21.4	14.0	-	1.0	30.8	10.1	-	21.4	1.0
	60代	390	0.5	21.3	17.2	0.5	0.3	36.2	8.2	0.5	11.8	3.6
	70歳以上	215	1.9	26.0	22.3	-	0.5	26.5	7.4	0.5	6.5	8.4
	無回答	16	6.3	18.8	18.8	-	-	31.3	-	-	18.8	6.3
居住地別	中心部	329	2.7	22.5	7.3	-	1.5	28.3	7.0	0.6	28.3	1.8
	南大分	170	-	20.6	12.4	-	-	24.7	17.1	-	23.5	1.8
	城東・明野・滝尾・原川	373	0.3	22.8	15.8	0.8	0.5	26.5	8.0	0.3	22.5	2.4
	鶴崎	252	0.4	15.1	11.9	-	-	29.0	7.9	0.4	33.7	1.6
	大南	96	-	22.9	19.8	-	-	22.9	11.5	2.1	16.7	4.2
	植田・野津原	343	0.3	14.9	19.8	0.3	-	30.0	12.2	-	18.7	3.8
	大在・坂ノ市・佐賀関	168	-	19.6	6.5	-	-	23.2	16.1	1.2	30.4	3.0
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	12	-	16.7	16.7	-	-	33.3	8.3	-	16.7	8.3	

最も多く利用する場所×店舗形態

最も多く利用する場所別に店舗形態をみると、概ね「ホームセンター」が最も高い地区と「ドラッグストア」が最も高い地区に分かれる。

(なお、大南地区は「食品スーパー」が41.2%と高いものの、サンプル数が少ないため、ここでは参考扱いとする)

【最も多く利用する買い物場所×店舗形態 日用品】

		(%)										
		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1743	0.7	19.5	13.4	0.2	0.4	27.3	10.5	0.5	25.0	2.6
最も多く利用する買い物場所別	大分市中央地区	126	4.0	28.6	7.9	0.8	0.8	24.6	6.3	0.8	25.4	0.8
	大分市西部地区	166	1.8	22.9	6.0	0.6	1.2	27.1	3.6	0.6	34.9	1.2
	南大分地区	175	-	22.3	14.9	-	0.6	19.4	18.3	-	22.9	1.7
	滝尾地区	95	-	28.4	5.3	-	-	15.8	15.8	-	33.7	1.1
	城東・原川地区	166	0.6	22.3	13.3	-	1.2	30.1	4.8	-	25.9	1.8
	明野地区	142	0.7	21.8	26.8	-	0.7	26.8	3.5	1.4	12.7	5.6
	鶴崎地区	234	0.4	12.4	12.0	0.4	-	30.8	8.1	-	34.6	1.3
	大南地区	34	-	41.2	11.8	-	-	32.4	-	2.9	5.9	5.9
	植田地区	413	0.2	13.6	18.6	0.2	-	33.2	13.6	0.2	17.2	3.1
	大在地区	106	-	15.1	8.5	-	-	17.9	23.6	0.9	32.1	1.9
	坂ノ市地区	57	-	24.6	-	-	-	28.1	7.0	-	35.1	5.3
	佐賀関地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	野津原地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	別府市	4	-	-	25.0	-	-	50.0	25.0	-	-	-
その他の市町村	25	-	12.0	16.0	-	-	20.0	16.0	4.0	16.0	16.0	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

医薬品

多く利用する場所

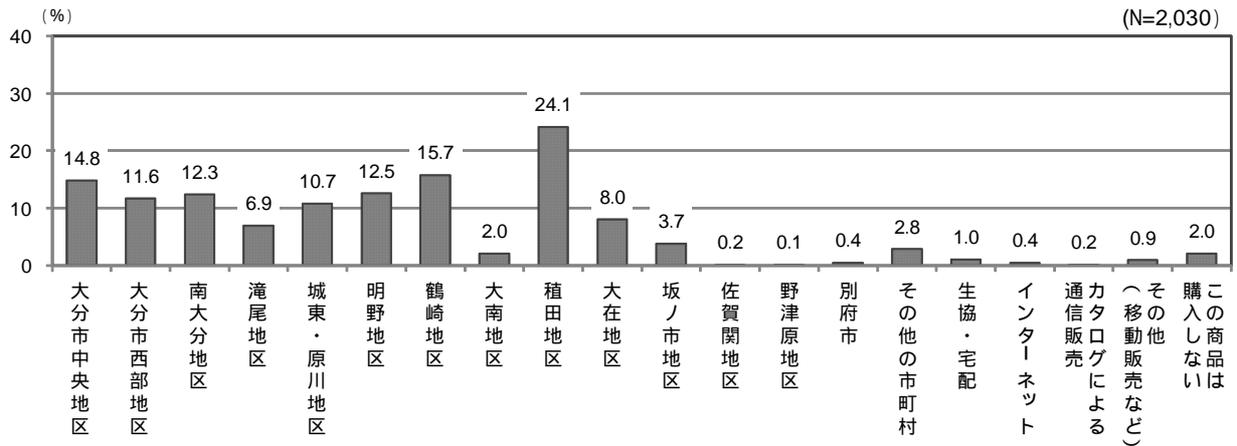
多く利用する買い物場所について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「植田地区」(24.1%)が最も高く、唯一2割を超えている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高い。

居住地別にみると、いずれの地区も、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっているが、南大分地区及び大南地区は「植田地区」が3割程度みられる。

【多く利用する買い物場所(1番目+2番目) 医薬品】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は購入し	無回答
全体	2030	14.8	11.6	12.3	6.9	10.7	12.5	15.7	2.0	24.1	8.0	3.7	0.2	0.1	0.4	2.8	1.0	0.4	0.2	0.9	2.0	14.4		
性別																								
男性	708	13.6	11.0	12.0	6.5	10.9	14.4	15.5	1.6	26.1	7.9	3.2	0.3	0.3	0.1	2.5	1.0	0.6	0.1	0.4	1.8	16.4		
女性	1,284	15.8	12.2	12.5	7.3	10.7	11.6	15.7	2.2	23.1	7.8	3.7	0.2	0.1	0.5	2.8	1.0	0.4	0.3	1.2	2.0	12.9		
無回答	38	5.3	-	10.5	-	5.3	5.3	15.8	2.6	21.1	18.4	10.5	-	-	-	5.3	-	-	-	-	2.6	28.9		
年齢別																								
20代	173	16.8	13.9	13.3	8.1	9.8	11.0	16.8	3.5	27.2	8.7	2.3	-	-	1.2	2.9	0.6	0.6	-	0.6	4.0	5.8		
30代	315	15.6	12.4	16.2	10.8	14.0	15.9	19.0	1.3	25.1	10.5	4.8	-	-	0.3	3.2	1.0	1.3	0.6	-	2.2	4.4		
40代	378	15.1	16.7	9.5	10.8	14.3	11.9	18.3	2.9	22.0	12.4	5.8	0.3	-	0.8	3.4	0.5	0.5	-	1.9	1.3	5.8		
50代	334	17.1	15.0	13.5	5.7	12.3	15.3	17.4	1.8	25.1	6.6	3.0	-	0.6	0.6	4.5	1.2	0.6	0.6	0.9	2.4	8.4		
60代	477	14.0	7.1	12.6	5.2	8.4	12.4	16.1	1.5	27.0	6.3	2.7	0.6	0.2	-	1.7	1.5	-	0.2	1.5	1.3	17.6		
70歳以上	334	12.3	6.9	9.9	1.8	5.7	8.4	6.9	1.5	19.2	4.2	3.3	-	-	-	0.9	0.9	-	-	0.3	2.1	38.9		
無回答	19	5.3	10.5	10.5	5.3	10.5	5.3	10.5	5.3	21.1	10.5	-	-	-	-	10.5	-	-	-	-	-	21.1		
居住地別																								
中心部	374	49.2	53.5	8.3	2.4	1.9	1.6	1.1	-	12.0	-	-	-	-	0.8	1.9	0.3	1.1	-	1.1	1.1	12.3		
南大分	194	7.7	5.7	80.9	1.0	-	1.0	1.0	-	28.4	-	-	-	-	-	1.5	1.0	0.5	-	0.5	1.0	11.9		
城東・明野・滝尾・原川	426	9.6	1.9	2.3	27.2	43.2	29.8	8.2	0.7	5.2	0.5	-	-	-	0.7	0.7	0.9	0.5	0.5	0.7	1.6	14.1		
鶴崎	295	3.4	1.0	1.0	2.0	7.1	26.4	73.9	1.4	1.7	4.4	0.7	-	-	-	0.3	0.7	-	0.7	1.4	1.7	15.9		
大南	119	11.8	1.7	1.7	2.5	1.7	18.5	24.4	21.8	32.8	-	-	-	-	0.8	6.7	4.2	-	-	1.7	5.0	14.3		
植田・野津原	398	7.8	2.3	10.8	0.8	0.5	1.3	0.3	1.3	79.6	0.3	-	-	0.8	0.3	6.3	1.0	0.5	0.3	0.5	3.3	14.6		
大在・坂ノ市・佐賀閑	207	2.4	1.0	1.0	0.5	-	5.3	13.5	0.5	1.9	70.0	35.3	1.9	-	-	2.9	1.0	-	-	1.4	1.4	16.9		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無回答	17	5.9	-	11.8	-	5.9	11.8	5.9	5.9	17.6	11.8	-	-	-	-	17.6	-	-	-	-	-	35.3		

多く利用する場所の店舗形態

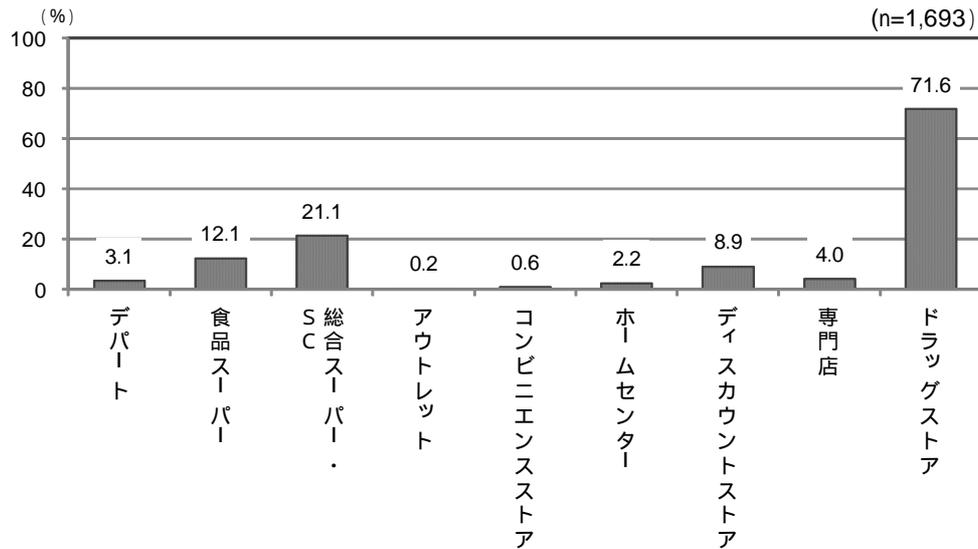
多く利用する場所の店舗形態について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「ドラッグストア」(71.6%)が群を抜いて高い。次いで「総合スーパー・SC」(21.1%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「ドラッグストア」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「ドラッグストア」が最も高い。

居住地別にみると、いずれの地区も「ドラッグストア」が最も高いが、大南地区は「総合スーパー・SC」が3割みられ、他の地区に比べて高くなっている。

【多く利用する買い物場所の店舗形態(1番目+2番目) 医薬品】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1693	3.1	12.1	21.1	0.2	0.6	2.2	8.9	4.0	71.6	2.8
性別	男性	578	2.4	16.1	21.1	0.2	1.6	1.7	9.9	5.2	67.3	2.8
	女性	1089	3.5	10.1	21.0	0.2	0.1	2.6	8.4	3.3	74.1	2.8
	無回答	26	3.8	7.7	26.9	-	3.8	-	11.5	3.8	65.4	3.8
年齢別	20代	156	1.9	15.4	16.7	-	2.6	1.9	10.3	2.6	73.7	1.9
	30代	294	1.7	12.2	20.4	0.3	0.3	2.4	11.6	2.7	80.6	0.3
	40代	352	1.4	9.4	17.0	0.3	0.3	3.4	11.4	2.6	76.4	2.3
	50代	298	2.7	15.1	21.5	-	0.3	2.7	6.4	4.4	74.2	1.0
	60代	381	4.2	10.5	23.6	0.3	0.5	1.8	6.6	5.5	66.4	3.7
	70歳以上	197	8.1	12.2	26.4	-	1.0	0.5	7.6	6.1	55.8	8.6
	無回答	15	-	20.0	40.0	-	-	-	13.3	-	53.3	6.7
居住地別	中心部	323	5.9	12.4	14.9	0.3	0.6	2.8	5.3	5.0	76.8	2.8
	南大分	170	1.8	13.5	14.1	-	-	2.9	11.2	3.5	78.8	1.2
	城東・明野・滝尾・原川	357	2.8	15.7	26.6	0.6	1.1	3.4	10.1	3.4	63.3	2.2
	鶴崎	242	2.5	11.2	24.8	-	1.2	0.4	7.4	3.7	74.4	2.1
	大南	94	4.3	10.6	30.9	-	-	3.2	8.5	7.4	59.6	4.3
	植田・野津原	328	2.1	9.8	22.3	-	0.3	1.2	7.0	3.7	69.8	3.7
	大在・坂ノ市・佐賀関	168	1.8	9.5	14.3	-	0.6	2.4	16.7	3.0	79.2	4.2
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	11	9.1	9.1	45.5	-	-	-	18.2	-	63.6	-	

最も多く利用する場所

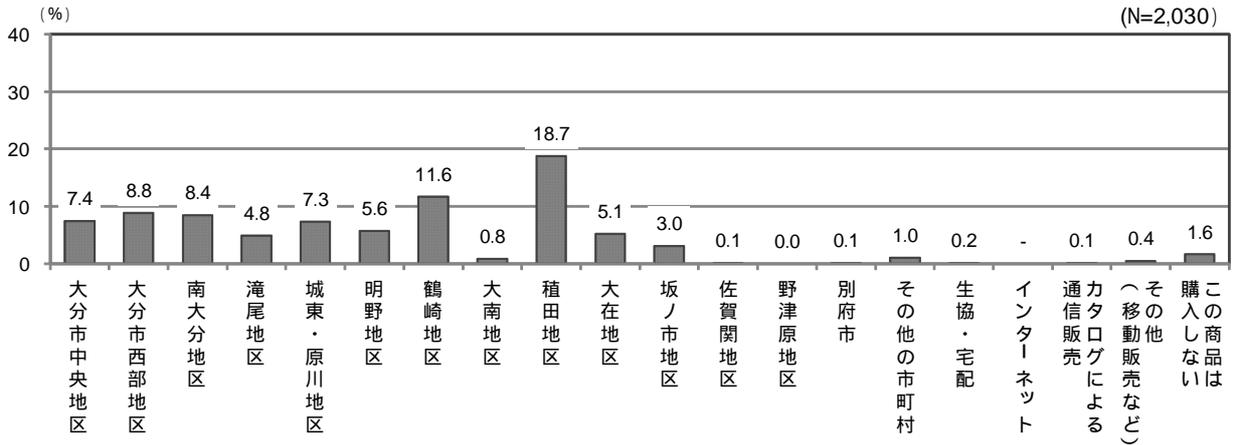
最も多く利用する買い物場所をみると、「植田地区」(18.7%)が最も高くなっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高い。

居住地別にみると、いずれの地区も、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっているが、大南地区は「植田地区」が2割程度みられる。

【最も多く利用する買い物場所 医薬品】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は購入し	無回答
全体	2030	7.4	8.8	8.4	4.8	7.3	5.6	11.6	0.8	18.7	5.1	3.0	0.1	0.0	0.1	1.0	0.2	-	0.1	0.4	1.6	14.6		
性別																								
男性	708	6.2	8.5	7.8	4.5	6.9	5.4	12.4	0.6	20.2	5.6	2.3	-	-	-	1.0	0.3	-	0.1	0.1	1.4	16.7		
女性	1284	8.3	9.3	8.7	5.1	7.6	5.8	11.3	1.0	17.9	4.7	3.3	0.2	0.1	0.2	0.9	0.2	-	0.1	0.6	1.7	13.0		
無回答	38	2.6	-	10.5	-	5.3	2.6	7.9	-	18.4	10.5	7.9	-	-	-	2.6	-	-	-	-	2.6	28.9		
年齢別																								
20代	173	8.7	11.0	8.7	6.9	5.8	8.1	9.2	1.2	20.2	6.9	1.7	-	-	-	1.2	-	-	-	0.6	3.5	6.4		
30代	315	6.7	9.2	12.4	7.6	8.3	6.3	14.9	0.6	16.2	5.7	3.5	-	-	0.3	1.6	-	-	0.3	-	1.9	4.4		
40代	378	8.2	12.7	6.3	6.6	10.6	3.4	13.5	1.6	16.1	8.2	4.0	-	-	0.3	1.1	-	-	-	0.5	1.1	5.8		
50代	334	8.4	11.7	9.3	3.9	8.1	6.0	12.6	0.6	19.8	4.2	2.7	-	0.3	0.3	1.2	0.6	-	-	-	2.1	8.4		
60代	477	6.5	5.0	8.2	4.0	6.3	5.9	13.4	0.4	22.2	4.0	2.5	0.4	-	-	0.4	0.3	-	0.2	1.0	1.0	18.0		
70歳以上	334	7.2	5.7	6.3	0.9	4.2	5.4	4.5	0.9	17.1	2.7	3.3	-	-	-	0.6	0.3	-	-	0.3	1.5	39.2		
無回答	19	5.3	5.3	10.5	5.3	10.5	5.3	5.3	-	21.1	5.3	-	-	-	-	5.3	-	-	-	-	-	21.1		
居住地別																								
中心部	374	30.5	43.9	3.2	1.1	1.1	-	0.5	-	4.8	-	-	-	-	0.3	0.8	-	-	-	0.5	1.1	12.3		
南大分	194	0.5	2.6	73.7	-	-	0.5	-	-	9.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5	12.4		
城東・明野・滝尾・原川	426	4.5	0.9	1.2	20.9	32.4	19.2	1.6	0.5	1.6	0.2	-	-	-	0.2	0.2	0.2	-	0.2	0.5	1.4	14.1		
鶴崎	295	0.7	0.3	0.7	0.3	2.0	6.4	68.5	0.3	0.3	1.4	0.3	-	-	-	0.3	-	-	-	0.7	1.4	16.3		
大南	119	6.7	1.7	-	0.8	-	8.4	17.6	10.9	26.1	-	-	-	-	0.8	3.4	1.7	-	-	0.8	5.0	16.0		
植田・野津原	398	1.5	0.5	1.8	0.5	-	-	-	0.3	75.6	0.3	-	-	0.3	-	1.8	0.3	-	0.3	0.3	2.3	14.6		
大在・坂ノ市・佐賀閑	207	-	0.5	-	-	-	0.5	1.4	-	0.5	46.9	29.0	1.0	-	-	1.0	0.5	-	-	0.5	1.4	16.9		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無回答	17	5.9	-	11.8	-	5.9	5.9	5.9	-	11.8	5.9	-	-	-	-	11.8	-	-	-	-	-	35.3		

最も多く利用する場所の店舗形態

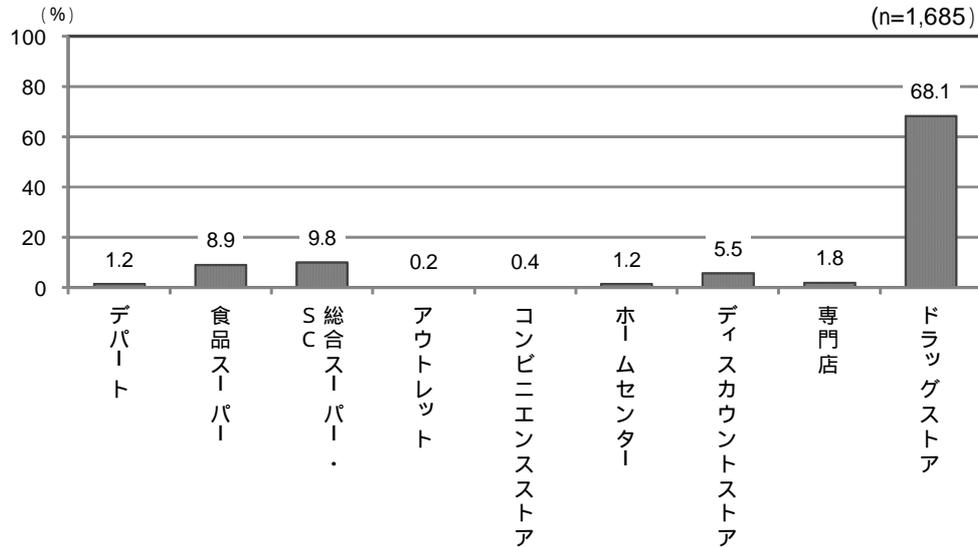
最も多く利用する場所の店舗形態をみると、「ドラッグストア」(68.1%)が群を抜いて高い。

性別にみると、男女いずれも「ドラッグストア」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「ドラッグストア」が最も高い。

居住地別にみると、いずれの地区も「ドラッグストア」が最も高い。

【最も多く利用する買い物場所の店舗形態 医薬品】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答	
全体		1,685	1.2	8.9	9.8	0.2	0.4	1.2	5.5	1.8	68.1	2.8	
性別	男性	576	1.0	12.0	8.7	0.2	0.9	1.6	7.1	2.1	63.9	2.6	
	女性	1,083	1.3	7.4	10.2	0.2	0.1	1.1	4.5	1.7	70.5	3.0	
	無回答	26	3.8	3.8	15.4	-	3.8	-	7.7	-	61.5	3.8	
年齢別	20代	155	1.9	10.3	5.2	-	1.3	0.6	6.5	0.6	72.3	1.3	
	30代	294	0.7	8.2	5.8	0.3	0.3	1.7	6.5	0.7	75.5	0.3	
	40代	350	-	6.3	7.1	0.3	0.3	1.4	6.3	2.0	73.7	2.6	
	50代	297	1.7	10.8	9.8	-	0.3	1.0	4.0	1.0	70.4	1.0	
	60代	378	1.1	8.2	14.8	0.3	0.3	1.6	4.5	3.2	62.2	4.0	
	70歳以上	196	3.6	11.2	13.8	-	0.5	0.5	5.6	2.6	53.6	8.7	
	無回答	15	-	20.0	20.0	-	-	-	6.7	-	46.7	6.7	
居住地別	中心部	322	3.4	10.2	5.3	0.3	0.6	0.6	2.2	1.6	73.0	2.8	
	南大分	169	-	11.2	4.1	-	-	2.4	5.3	1.2	74.6	1.2	
	城東・明野・滝尾・原川	356	0.8	12.1	12.9	0.6	0.8	2.0	6.5	0.8	61.0	2.5	
	鶴崎	241	0.8	6.2	10.0	-	0.8	0.4	5.4	2.9	71.8	1.7	
	大南	91	2.2	6.6	18.7	-	-	2.2	5.5	6.6	54.9	3.3	
	穂田・野津原	328	0.9	7.0	14.0	-	-	0.9	5.5	1.5	66.5	3.7	
	大在・坂ノ市・佐賀関	167	-	6.0	3.6	-	-	1.2	9.0	1.2	73.7	5.4	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	11	-	9.1	18.2	-	-	-	18.2	-	54.5	-	

最も多く利用する場所×店舗形態

最も多く利用する場所別に店舗形態をみると、いずれの地区も「ドラッグストア」が最も高くなっているが、明野地区は「総合スーパー・SC」が3割を超えており、他の地区に比べて高くなっている。

【最も多く利用する買い物場所×店舗形態 医薬品】

		(%)										
		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1685	1.2	8.9	9.8	0.2	0.4	1.2	5.5	1.8	68.1	2.8
最も多く利用する買い物場所別	大分市中央地区	151	9.3	12.6	3.3	-	0.7	0.7	0.7	3.3	66.9	2.6
	大分市西部地区	179	0.6	8.9	6.7	0.6	-	-	2.2	-	80.4	0.6
	南大分地区	171	-	9.9	5.3	-	0.6	2.3	7.0	1.8	71.3	1.8
	滝尾地区	97	-	5.2	4.1	-	-	2.1	12.4	1.0	75.3	-
	城東・原川地区	149	1.3	14.8	8.1	-	1.3	2.7	2.7	1.3	67.1	0.7
	明野地区	114	0.9	15.8	34.2	-	-	0.9	1.8	1.8	42.1	2.6
	鶴崎地区	236	0.4	5.1	9.7	-	0.8	0.8	6.8	2.1	72.9	1.3
	大南地区	17	-	17.6	17.6	-	-	-	-	17.6	41.2	5.9
	植田地区	380	0.5	7.4	13.4	0.5	0.3	1.1	6.3	1.8	63.4	5.3
	大在地区	104	-	4.8	1.9	-	-	-	13.5	-	75.0	4.8
	坂ノ市地区	61	-	8.2	3.3	-	-	1.6	3.3	-	77.0	6.6
	佐賀関地区	2	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	野津原地区	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	別府市	3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	66.7	-
その他の市町村	20	-	-	15.0	-	-	10.0	-	-	60.0	15.0	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

化粧品

多く利用する場所

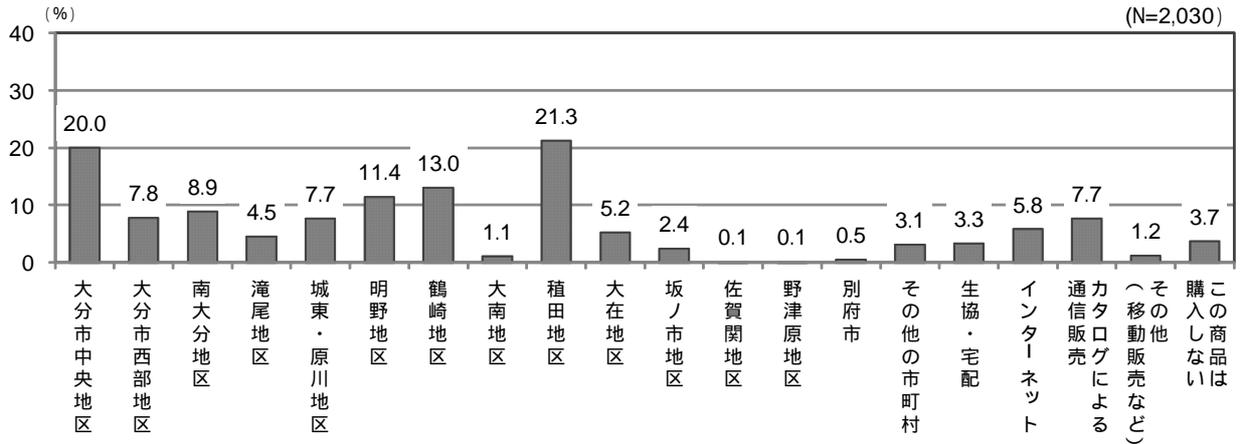
多く利用する買い物場所について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「植田地区」(21.3%)が最も高く、次いで「大分市中央地区」(20.0%)の順となっている。

性別にみると、男性は「植田地区」が、女性は「大分市中央地区」が最も高くなっている。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」と「大分市中央地区」が高くなっている。

居住地別にみると、大南地区以外は、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。なお、大南地区は「植田地区」が2割程度みられるほか、南大分地区も「植田地区」が2割程度みられる。

【多く利用する買い物場所(1番目+2番目) 化粧品】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は購入し	無回答
全体	2030	20.0	7.8	8.9	4.5	7.7	11.4	13.0	1.1	21.3	5.2	2.4	0.1	0.1	0.5	3.1	3.3	5.8	7.7	1.2	3.7	16.5		
性別																								
男性	708	15.0	6.9	8.3	3.8	7.5	12.4	11.9	0.7	22.3	5.6	2.3	0.1	0.3	0.3	2.7	1.6	2.8	3.8	0.7	7.1	23.3		
女性	1,284	23.1	8.6	9.4	5.0	7.9	10.9	13.5	1.3	20.6	4.9	2.4	0.1	-	0.7	3.3	4.2	7.6	9.9	1.4	1.9	12.2		
無回答	38	10.5	-	2.6	-	2.6	7.9	15.8	-	26.3	7.9	2.6	-	-	-	5.3	2.6	-	5.3	2.6	-	34.2		
年齢別																								
20代	173	24.9	8.7	9.2	5.8	6.4	9.8	15.0	1.2	26.0	5.8	1.7	-	-	1.2	2.9	1.2	8.1	2.9	-	7.5	8.1		
30代	315	21.0	8.6	9.8	8.3	9.2	11.7	17.1	1.0	23.5	7.9	2.9	-	-	0.6	4.8	1.3	10.2	7.3	1.0	6.7	6.0		
40代	378	24.3	10.6	5.6	5.3	10.3	11.1	13.8	1.3	18.5	6.3	3.7	-	-	1.3	2.9	5.0	10.6	10.1	2.4	4.2	8.5		
50代	334	22.5	10.8	12.3	3.6	8.1	13.8	13.5	1.2	23.4	3.3	1.5	-	0.3	0.6	3.9	4.5	6.3	8.7	0.9	2.4	10.5		
60代	477	15.9	4.4	9.9	3.8	6.9	11.9	12.2	1.3	23.7	5.0	1.7	0.4	0.2	-	2.5	3.8	1.9	8.6	1.5	2.1	18.9		
70歳以上	334	15.0	5.7	7.5	1.5	4.8	9.3	7.5	0.6	14.1	3.6	2.7	-	-	-	1.5	2.4	0.3	5.7	0.3	1.8	41.9		
無回答	19	21.1	5.3	-	-	5.3	5.3	15.8	-	26.3	-	-	-	-	-	10.5	-	-	5.3	5.3	-	26.3		
居住地別																								
中心部	374	49.7	36.4	5.6	0.8	1.9	1.6	1.3	-	13.4	-	0.3	-	-	1.3	3.2	2.4	7.5	6.4	1.1	3.5	15.0		
南大分	194	17.0	1.5	58.8	0.5	0.5	1.5	1.5	-	24.2	-	-	-	-	0.5	2.1	1.5	4.1	7.7	2.1	4.6	14.4		
城東・明野・滝尾・原川	426	14.3	1.2	1.9	17.8	31.2	27.0	7.7	0.2	4.7	0.2	-	-	-	0.2	1.9	2.8	5.6	5.4	2.1	4.7	16.9		
鶴崎	295	10.5	0.7	0.3	1.7	3.7	21.7	57.3	1.7	2.7	3.4	0.3	-	-	-	1.0	3.1	6.1	7.1	1.0	3.7	17.3		
大南	119	13.4	1.7	1.7	0.8	0.8	18.5	19.3	11.8	26.1	-	-	-	-	0.8	9.2	9.2	6.7	9.2	-	2.5	15.1		
植田・野津原	398	14.3	2.0	8.5	0.8	0.5	1.0	1.3	0.5	67.3	0.3	-	-	0.5	0.5	4.5	4.0	3.5	9.8	0.8	3.3	15.6		
大在・坂ノ市・佐賀閑	207	9.7	1.4	0.5	1.0	0.5	7.2	11.1	-	1.4	45.4	22.2	1.0	-	0.5	1.9	2.9	8.2	11.1	0.5	2.9	19.8		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	11.8	-	-	-	-	11.8	11.8	-	29.4	-	-	-	-	-	17.6	-	-	-	-	-	41.2		

多く利用する場所の店舗形態

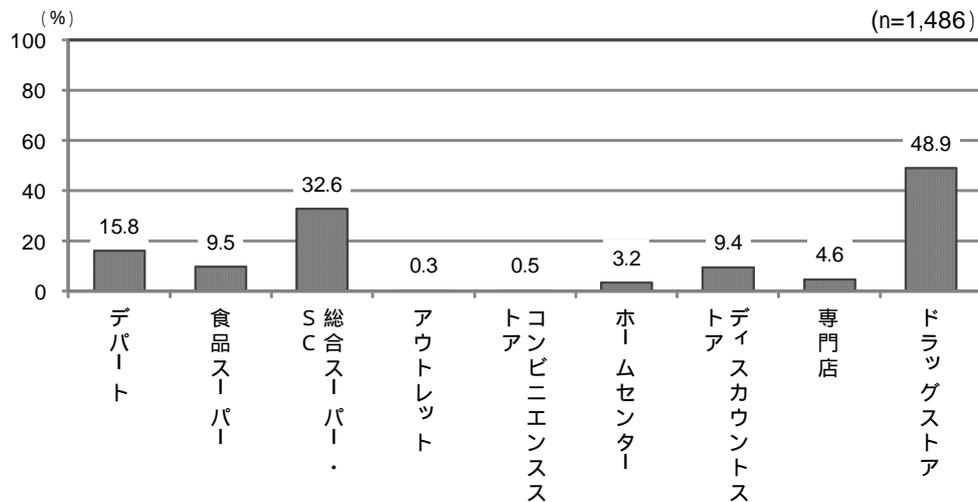
多く利用する場所の店舗形態について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「ドラッグストア」(48.9%)が最も高く、次いで「総合スーパー・SC」(32.6%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「ドラッグストア」が最も高い。

年齢別にみると、50年代までは「ドラッグストア」が最も多く、60代以上は「総合スーパー・SC」と「ドラッグストア」が同程度となっている。なお、70歳以上は「デパート」が2割程度みられ、他の年代に比べて高い。

居住地別にみると、大南地区は「総合スーパー・SC」が最も高く、その他の地区は「ドラッグストア」が最も高くなっている。

【多く利用する買い物場所の店舗形態(1番目+2番目) 化粧品】



	サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答	
全体	1486	15.8	9.5	32.6	0.3	0.5	3.2	9.4	4.6	48.9	3.8	
性別	男性	468	10.0	13.5	36.1	0.6	1.5	3.8	12.2	3.8	43.8	4.3
	女性	996	18.6	7.7	30.8	0.1	-	2.8	8.2	4.8	51.7	3.5
	無回答	22	13.6	4.5	36.4	-	-	4.5	4.5	9.1	31.8	9.1
年齢別	20代	138	11.6	9.4	25.4	1.4	1.4	2.9	10.1	5.1	58.0	2.2
	30代	262	14.9	6.5	30.2	0.4	0.4	1.5	12.6	3.8	59.9	1.1
	40代	293	16.7	7.8	30.0	-	0.3	3.1	12.3	3.8	52.9	2.0
	50代	264	15.9	10.6	34.1	-	0.4	4.9	7.6	3.8	51.5	2.3
	60代	337	13.6	10.7	35.9	0.3	0.6	3.9	6.2	5.3	42.1	5.3
	70歳以上	179	22.3	12.8	35.8	-	-	1.7	8.9	6.7	30.2	11.2
	無回答	13	23.1	7.7	53.8	-	-	7.7	-	-	23.1	7.7
居住地別	中心部	287	30.0	11.5	19.2	0.3	0.3	4.2	7.3	4.2	54.0	2.8
	南大分	144	16.0	10.4	25.0	0.7	-	2.1	9.0	5.6	60.4	2.1
	城東・明野・滝尾・原川	306	11.4	11.8	40.5	0.3	1.0	3.3	9.5	3.9	44.1	3.6
	鶴崎	215	12.1	7.4	34.9	-	-	3.3	10.2	2.8	51.2	4.7
	大南	88	12.5	10.2	40.9	-	-	3.4	11.4	5.7	33.0	6.8
	穂田・野津原	297	10.8	7.1	39.7	-	0.3	3.0	7.4	5.7	45.1	3.7
	大在・坂ノ市・佐賀関	139	14.4	7.9	25.2	0.7	1.4	1.4	15.8	5.8	52.5	5.8
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	10	20.0	-	50.0	-	-	10.0	10.0	-	40.0	-	

最も多く利用する場所

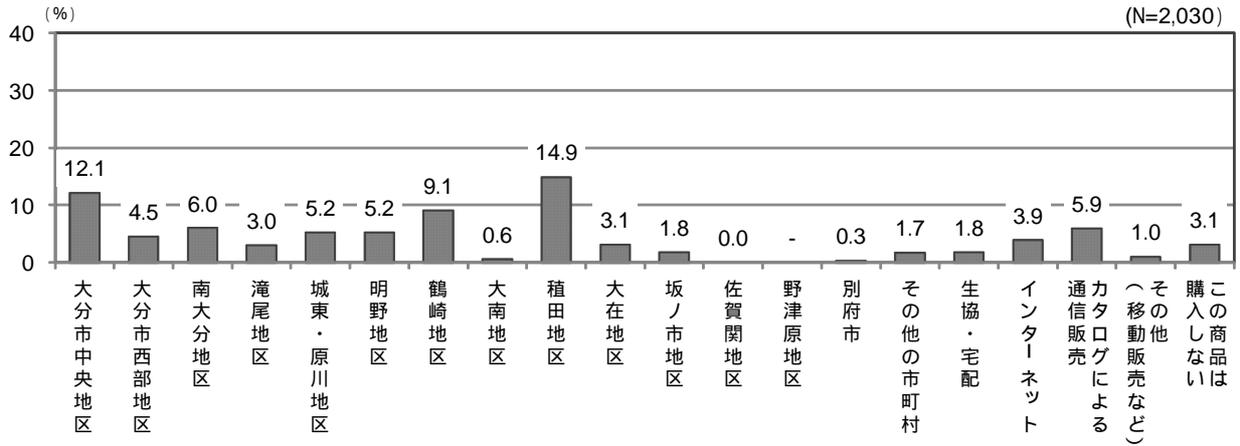
最も多く利用する買い物場所をみると、「植田地区」(14.9%)が最も高く、次いで「大分市中央地区」(12.1%)の順となっている。

性別にみると、男性は「植田地区」が、女性は「大分市中央地区」が最も高くなっている。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」と「大分市中央地区」が高くなっている。

居住地別にみると、大南地区以外は、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。なお、大南地区は「植田地区」と「鶴崎地区」が1割程度みられるほか、南大分地区も「植田地区」が1割程度みられる。

【最も多く利用する買い物場所 化粧品】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は購入し	無回答
全体	2030	12.1	4.5	6.0	3.0	5.2	5.2	9.1	0.6	14.9	3.1	1.8	0.0	-	0.3	1.7	1.8	3.9	5.9	1.0	3.1	16.9		
性別																								
男性	708	8.3	4.0	5.4	2.3	4.8	5.9	8.6	0.3	16.7	3.8	1.6	-	-	0.1	1.4	0.7	2.0	2.8	0.6	6.8	24.0		
女性	1284	14.3	4.9	6.5	3.4	5.5	4.9	9.3	0.8	13.7	2.6	1.9	0.1	-	0.5	1.7	2.4	5.1	7.6	1.2	1.1	12.5		
無回答	38	5.3	-	2.6	-	2.6	2.6	10.5	-	21.1	5.3	2.6	-	-	-	5.3	-	-	5.3	2.6	-	34.2		
年齢別																								
20代	173	16.2	5.2	7.5	4.6	3.5	5.8	8.7	0.6	15.6	4.6	1.2	-	-	0.6	1.7	1.2	5.2	1.7	-	7.5	8.7		
30代	315	11.1	4.4	7.6	5.1	4.8	5.4	12.1	0.3	13.3	4.1	1.9	-	-	0.3	2.9	0.6	7.6	5.7	1.0	5.7	6.0		
40代	378	14.0	6.3	4.2	3.4	8.2	2.9	9.3	1.3	11.9	2.9	2.4	-	-	0.8	1.1	2.9	7.4	7.1	2.1	3.2	8.5		
50代	334	14.4	5.1	8.4	2.4	4.8	5.1	10.2	0.6	17.4	2.1	1.2	-	-	0.6	2.1	2.7	3.9	5.4	0.6	2.1	11.1		
60代	477	10.3	2.9	5.0	2.3	5.0	6.3	9.2	0.4	18.9	3.8	1.7	0.2	-	-	1.0	0.9	0.8	7.8	1.5	1.3	19.7		
70歳以上	334	8.7	3.9	5.1	1.2	3.9	6.0	4.8	0.3	11.1	1.8	2.4	-	-	-	1.2	0.9	0.3	4.5	0.3	1.5	42.2		
無回答	19	15.8	-	-	-	5.3	5.3	10.5	-	15.8	-	-	-	-	-	10.5	-	-	5.3	-	5.3	26.3		
居住地別																								
中心部	374	36.1	21.4	3.2	0.3	0.8	0.5	0.8	-	4.0	-	0.3	-	-	0.5	2.1	1.3	4.3	5.1	1.1	2.9	15.2		
南大分	194	6.7	0.5	49.0	-	0.5	0.5	1.0	-	11.3	-	-	-	-	0.5	0.5	1.0	3.1	5.7	1.5	3.1	14.9		
城東・明野・滝尾・原川	426	7.3	0.7	1.2	12.4	22.5	16.2	3.1	0.2	2.3	0.2	-	-	-	0.2	1.2	1.6	3.8	4.0	1.6	4.2	17.1		
鶴崎	295	6.4	0.3	0.3	1.0	2.0	7.1	46.4	1.0	1.0	0.7	-	-	-	-	0.7	1.4	4.4	5.1	1.0	3.4	17.6		
大南	119	7.6	0.8	1.7	-	-	8.4	15.1	6.7	15.1	-	-	-	-	0.8	5.9	5.9	5.0	7.6	-	2.5	16.8		
植田・野津原	398	5.8	1.0	1.8	0.3	-	-	0.8	-	57.8	0.3	-	-	-	0.3	1.5	1.8	3.0	7.0	0.8	2.3	15.8		
大在・坂ノ市・佐賀閑	207	6.3	0.5	-	1.0	-	1.0	2.9	-	1.0	28.5	17.4	0.5	-	0.5	1.0	1.9	4.8	9.7	0.5	2.4	20.3		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	11.8	-	-	-	-	5.9	11.8	-	11.8	-	-	-	-	-	17.6	-	-	-	-	-	41.2		

最も多く利用する場所の店舗形態

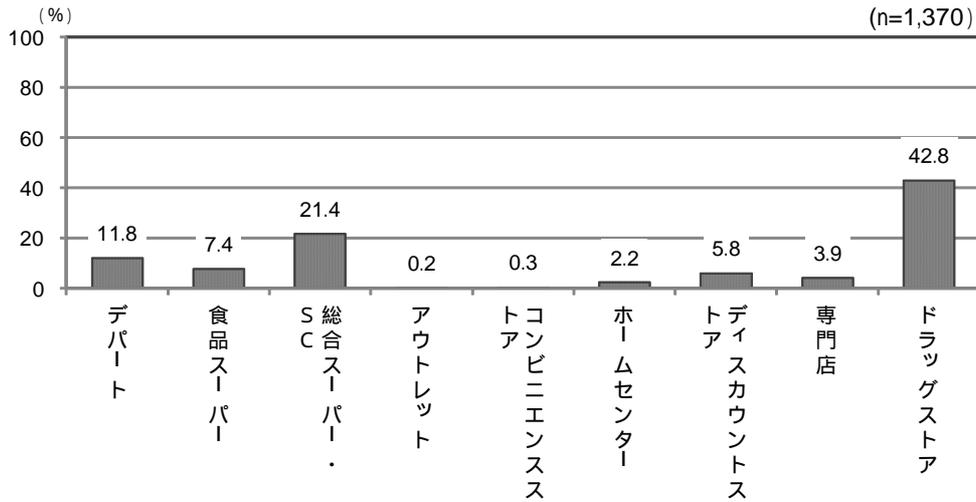
最も多く利用する場所の店舗形態をみると、「ドラッグストア」(42.8%)が最も高く、次いで「総合スーパー・S C」(21.4%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「ドラッグストア」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「ドラッグストア」が最も高い。

居住地別にみると、いずれの地区も「ドラッグストア」が最も高いが、植田・野津原地区は「総合スーパー・S C」が3割程度みられる。また、大南地区は「総合スーパー・S C」がドラッグストアと同程度となっている。

【最も多く利用する買い物場所の店舗形態 化粧品】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・S C	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	デイスカウントス	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1,370	11.8	7.4	21.4	0.2	0.3	2.2	5.8	3.9	42.8	4.1
性別	男性	447	6.9	11.2	22.4	0.4	0.9	3.4	7.6	3.1	40.0	4.0
	女性	901	14.2	5.8	20.6	0.1	-	1.7	5.0	4.1	44.5	4.0
	無回答	22	13.6	-	31.8	-	-	-	4.5	9.1	31.8	9.1
年齢別	20代	131	8.4	8.4	14.5	0.8	-	1.5	6.9	4.6	53.4	1.5
	30代	231	12.1	4.3	17.7	0.4	0.4	1.3	7.4	3.5	51.1	1.7
	40代	260	11.9	6.5	18.8	-	0.4	1.5	7.3	4.2	46.5	2.7
	50代	248	12.5	7.7	21.4	-	0.4	3.2	5.2	2.4	45.2	2.0
	60代	320	9.4	8.8	27.5	0.3	0.3	3.1	3.8	4.4	36.9	5.6
	70歳以上	168	16.7	10.1	22.6	-	-	1.8	6.0	4.8	26.8	11.3
	無回答	12	25.0	-	41.7	-	-	-	-	-	25.0	8.3
居住地別	中心部	262	27.9	8.0	7.6	0.4	0.4	3.1	2.7	2.3	43.9	3.8
	南大分	137	8.8	9.5	16.1	0.7	-	1.5	4.4	5.1	51.8	2.2
	城東・明野・滝尾・原川	288	7.6	10.1	28.1	0.3	0.7	2.4	6.3	3.1	37.2	4.2
	鶴崎	198	9.1	6.1	20.2	-	-	3.0	8.1	2.5	46.5	4.5
	大南	74	9.5	5.4	29.7	-	-	2.7	10.8	6.8	29.7	5.4
	植田・野津原	276	6.2	5.1	32.6	-	-	1.4	4.7	4.7	41.7	3.6
	大在・坂ノ市・佐賀関	125	9.6	7.2	11.2	-	0.8	0.8	8.8	6.4	48.8	6.4
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	10	10.0	-	40.0	-	-	-	10.0	-	40.0	-	

最も多く利用する場所×店舗形態

最も多く利用する場所別に店舗形態をみると、大分市中央地区は「デパート」が最も高く、明野地区は「総合スーパー・SC」が最も高くなっている。その他の地区は「ドラッグストア」が最も高くなっている。

【最も多く利用する買い物場所×店舗形態 化粧品】

		(%)										
		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1370	11.8	7.4	21.4	0.2	0.3	2.2	5.8	3.9	42.8	4.1
最も多く利用する買い物場所別	大分市中央地区	245	49.4	5.3	5.7	0.4	-	1.6	2.9	5.3	26.9	2.4
	大分市西部地区	91	6.6	11.0	8.8	-	-	1.1	1.1	3.3	68.1	-
	南大分地区	122	2.5	9.8	14.8	-	0.8	3.3	4.9	3.3	58.2	2.5
	滝尾地区	60	-	5.0	8.3	-	-	-	11.7	5.0	68.3	1.7
	城東・原川地区	106	1.9	14.2	25.5	-	0.9	1.9	4.7	5.7	40.6	4.7
	明野地区	106	4.7	8.5	54.7	-	-	2.8	2.8	1.9	19.8	4.7
	鶴崎地区	184	1.6	5.4	23.4	0.5	-	3.8	9.2	2.7	51.1	2.2
	大南地区	12	-	16.7	33.3	-	-	-	8.3	8.3	33.3	-
	植田地区	302	4.3	6.0	34.4	0.3	0.3	2.3	6.3	2.6	39.1	4.3
	大在地区	63	3.2	14.3	9.5	-	1.6	1.6	11.1	1.6	50.8	6.3
	坂ノ市地区	37	-	2.7	-	-	-	-	13.5	2.7	70.3	10.8
	佐賀関地区	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	野津原地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	別府市	7	14.3	-	28.6	-	-	-	14.3	42.9	-	-
その他の市町村	34	17.6	-	11.8	-	-	2.9	2.9	5.9	26.5	32.4	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

肌着・下着

多く利用する場所

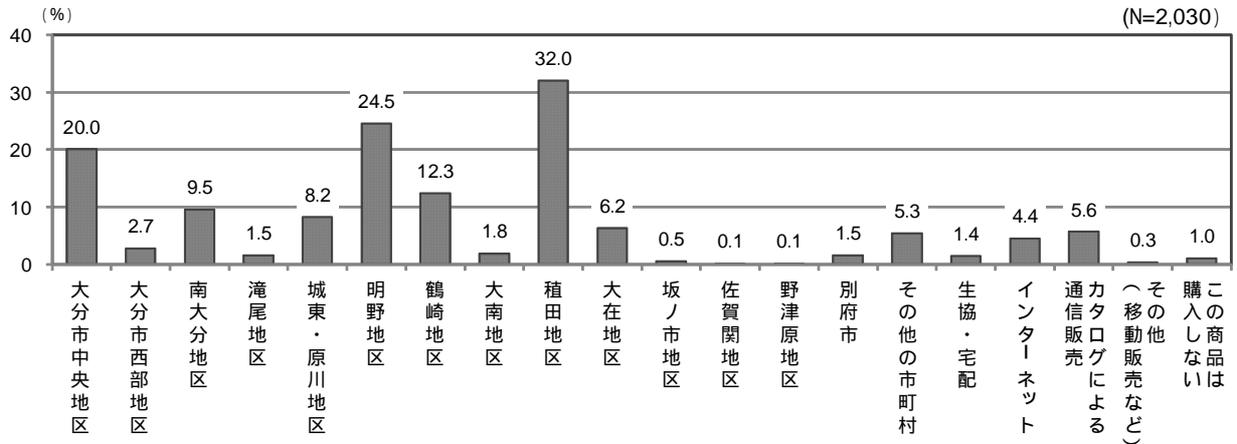
多く利用する買い物場所について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「植田地区」(32.0%)が最も高く、次いで「明野地区」(24.5%)、「大分市中央地区」(20.0%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高い。

居住地別にみると、大南地区及び南大分地区以外は、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。なお、大南地区は「植田地区」が4割程度みられるほか、南大分地区も「植田地区」が5割程度みられる。

【多く利用する買い物場所(1番目+2番目) 肌着・下着】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は購入しない	無回答	
全体	2,030	20.0	2.7	9.5	1.5	8.2	24.5	12.3	1.8	32.0	6.2	0.5	0.1	0.1	1.5	5.3	1.4	4.4	5.6	0.3	1.0	0.3	1.0	13.4	
性別																									
男性	708	17.7	4.0	10.3	2.7	9.3	24.4	12.6	1.7	32.1	6.4	0.7	0.1	0.1	1.0	4.7	0.7	2.7	2.3	0.3	1.6	0.3	1.6	16.1	
女性	1,284	21.5	2.1	9.3	0.9	7.8	24.6	12.1	1.9	32.1	5.9	0.5	0.1	0.1	1.9	5.6	1.8	5.4	7.5	0.3	0.8	0.3	0.8	11.4	
無回答	38	13.2	-	-	-	2.6	21.1	13.2	-	26.3	13.2	-	-	-	-	5.3	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-	31.6	
年齢別																									
20代	173	19.7	3.5	7.5	2.3	4.6	23.7	13.3	2.3	38.7	5.8	0.6	-	0.6	2.9	9.2	0.6	9.8	2.9	0.6	1.2	0.6	1.2	7.5	
30代	315	19.7	2.5	6.3	1.9	8.6	26.7	15.6	1.3	40.6	7.0	0.6	-	-	1.9	8.3	0.6	11.1	7.6	-	1.6	0.6	1.6	4.4	
40代	378	19.3	2.6	4.2	2.9	11.9	26.7	18.8	2.4	32.8	7.4	0.8	-	-	1.3	7.7	2.4	7.7	9.0	0.5	0.3	0.5	0.3	5.8	
50代	334	22.2	3.3	11.7	1.2	8.7	30.8	12.0	0.9	32.3	5.4	0.6	-	-	3.0	5.4	1.8	1.8	7.5	-	1.2	0.6	1.2	8.4	
60代	477	21.4	2.5	14.3	1.3	7.5	23.5	9.0	1.7	30.6	6.3	-	0.4	0.2	0.6	2.3	1.7	0.4	3.8	0.4	1.7	0.4	1.7	15.9	
70歳以上	334	17.7	2.4	10.5	-	6.0	15.3	6.9	2.7	21.0	5.4	0.9	-	-	0.6	1.2	0.6	-	1.5	0.3	0.3	0.3	0.3	34.7	
無回答	19	10.5	-	5.3	-	10.5	26.3	5.3	-	31.6	-	-	-	-	-	15.8	5.3	-	10.5	-	-	-	-	21.1	
居住地別																									
中心部	374	50.5	12.0	10.2	0.8	3.2	8.6	1.9	-	29.9	-	-	-	0.3	5.1	6.1	1.6	5.1	7.2	0.5	1.1	1.1	1.1	11.5	
南大分	194	13.4	0.5	45.4	1.0	1.0	6.7	2.1	-	52.1	0.5	-	-	-	1.0	5.2	0.5	4.6	6.2	-	1.5	1.5	1.5	12.4	
城東・明野・滝尾・原川	426	16.0	0.2	2.8	5.2	28.9	49.5	10.8	0.9	9.4	0.5	-	-	-	0.9	3.8	0.7	5.6	4.9	0.5	1.4	1.4	1.4	13.8	
鶴崎	295	10.8	0.3	1.7	0.7	6.4	45.1	46.4	1.4	4.7	3.7	-	-	-	-	3.1	0.3	4.1	4.4	-	1.0	1.0	1.0	15.3	
大南	119	11.8	-	5.0	-	-	31.9	17.6	17.6	38.7	-	0.8	-	-	3.4	7.6	5.9	2.5	3.4	0.8	-	-	-	12.6	
植田・野津原	398	13.8	0.8	10.3	0.3	0.3	3.8	1.0	1.5	79.1	0.5	-	-	0.3	0.5	6.8	2.0	2.5	5.3	0.3	0.8	0.8	0.8	12.1	
大在・坂ノ市・佐賀閑	207	10.1	1.9	1.0	0.5	4.3	24.6	14.5	1.0	7.7	53.1	4.8	1.0	-	-	4.8	1.0	5.8	6.8	-	1.0	1.0	1.0	15.9	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	17	5.9	-	-	-	5.9	23.5	5.9	-	29.4	-	-	-	-	-	17.6	5.9	-	5.9	-	-	-	-	35.3	

多く利用する場所の店舗形態

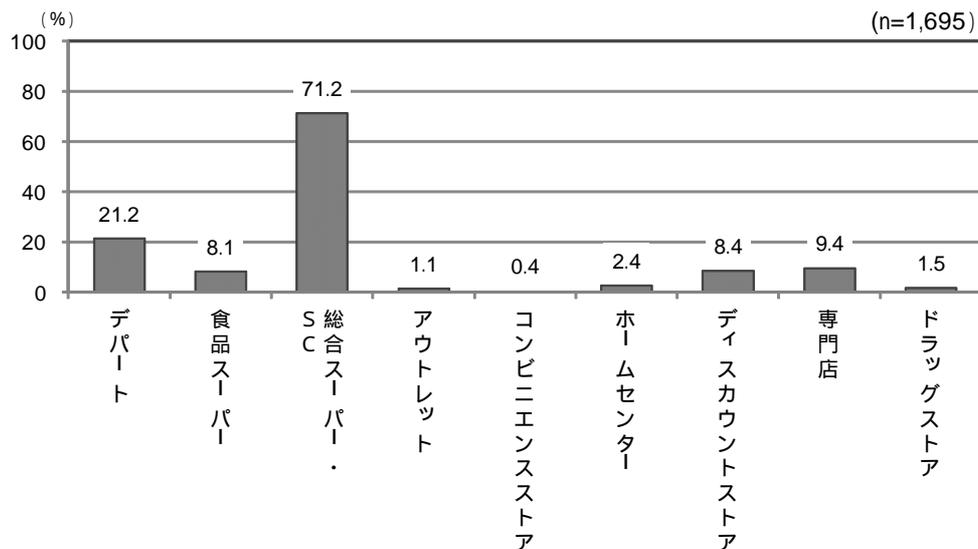
多く利用する場所の店舗形態について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「総合スーパー・SC」(71.2%)が群を抜いて高い。次いで「デパート」(21.2%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「総合スーパー・SC」が群を抜いて高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「総合スーパー・SC」が群を抜いて高いものの、年代が上がるにつれて「デパート」の割合が高くなっている。

居住地別にみると、いずれの地区も「総合スーパー・SC」が群を抜いて高いものの、中心部は「デパート」が4割程度みられ、他の地区を上回っている。

【多く利用する買い物場所の店舗形態(1番目+2番目) 肌着・下着】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1695	21.2	8.1	71.2	1.1	0.4	2.4	8.4	9.4	1.5	2.9
性別	男性	577	16.3	10.7	66.4	1.0	0.9	3.6	11.6	13.9	2.6	2.6
	女性	1092	23.7	6.9	73.6	1.1	0.1	1.6	6.7	7.2	0.9	3.2
	無回答	26	23.1	3.8	73.1	-	-	3.8	11.5	3.8	-	-
年齢別	20代	151	15.9	7.3	64.9	4.0	1.3	4.0	10.6	17.9	1.3	2.0
	30代	291	19.9	3.1	69.1	1.7	0.3	2.1	10.3	12.0	2.7	1.4
	40代	340	17.6	6.5	70.6	1.5	0.3	2.6	10.3	11.8	1.2	2.9
	50代	295	21.4	8.5	76.6	-	0.3	3.1	8.5	8.1	1.4	1.4
	60代	388	24.7	11.1	73.5	0.3	0.3	1.5	4.6	7.0	1.3	3.1
	70歳以上	215	25.6	12.6	67.9	0.5	-	1.4	8.8	2.3	0.9	7.9
	無回答	15	20.0	6.7	66.7	-	-	6.7	-	13.3	-	-
居住地別	中心部	316	39.9	7.0	58.2	1.6	0.3	4.7	6.3	11.1	0.3	2.8
	南大分	167	18.0	7.8	77.2	1.2	-	1.8	10.8	6.0	2.4	1.2
	城東・明野・滝尾・原川	350	20.9	8.3	72.3	0.9	1.1	2.6	9.1	10.0	0.9	3.1
	鶴崎	241	13.7	10.8	74.3	0.8	-	1.7	7.9	10.0	2.5	2.5
	大南	100	14.0	13.0	80.0	1.0	-	-	8.0	6.0	2.0	5.0
	植田・野津原	342	15.5	7.6	77.2	1.2	0.3	0.9	7.6	5.6	1.2	2.6
	大在・坂ノ市・佐賀関	168	16.7	5.4	64.3	0.6	-	2.4	11.9	17.9	3.0	4.8
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	11	18.2	-	81.8	-	-	18.2	-	9.1	-	-	-

最も多く利用する場所

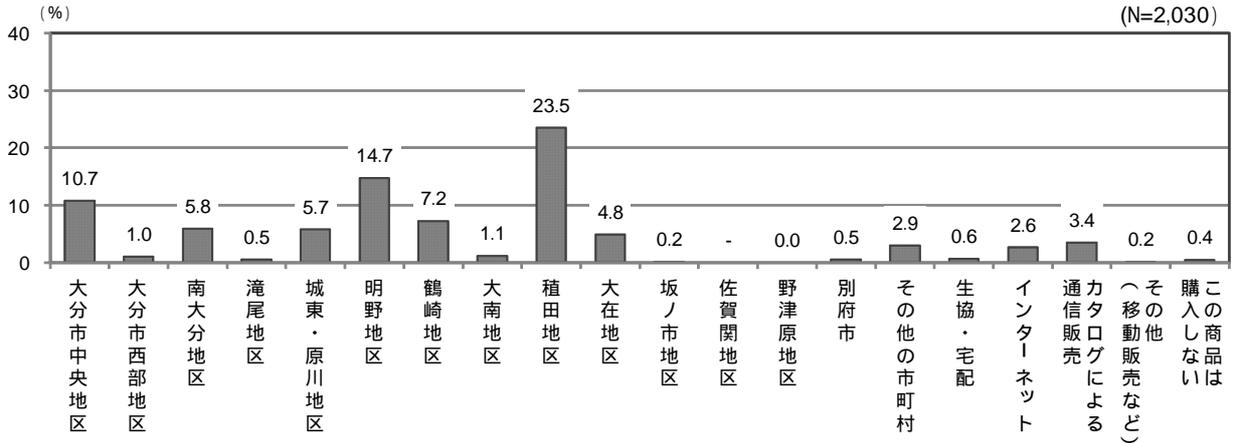
最も多く利用する買い物場所をみると、「植田地区」(23.5%)が最も高くなっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高い。

居住地別にみると、大南地区及び南大分地区以外は、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。なお、大南地区は「植田地区」が2割程度みられるほか、南大分地区も「植田地区」が3割程度みられる。

【最も多く利用する買い物場所 肌着・下着】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は購入し	無回答
全体	2030	10.7	1.0	5.8	0.5	5.7	14.7	7.2	1.1	23.5	4.8	0.2	-	0.0	0.5	2.9	0.6	2.6	3.4	0.2	0.2	0.4	14.0	
性別																								
男性	708	8.6	1.7	5.6	1.0	7.1	14.3	7.3	0.6	25.3	4.9	0.1	-	-	0.6	2.4	0.1	1.3	1.1	0.1	1.1	1.1	16.7	
女性	1284	11.9	0.7	6.1	0.2	5.1	15.0	7.2	1.4	22.9	4.4	0.2	-	0.1	0.5	3.1	0.9	3.3	4.7	0.2	0.1	0.1	12.0	
無回答	38	10.5	-	-	-	2.6	10.5	5.3	-	13.2	13.2	-	-	-	-	5.3	2.6	2.6	2.6	-	-	-	31.6	
年齢別																								
20代	173	11.0	2.3	3.5	1.2	2.9	13.3	9.2	-	26.0	5.2	-	-	0.6	1.2	7.5	-	4.6	1.7	0.6	1.2	8.1		
30代	315	10.5	0.3	3.8	0.3	5.1	16.8	9.5	0.6	27.0	4.4	-	-	-	0.3	4.4	0.3	6.3	5.4	-	0.3	4.4		
40代	378	10.1	1.1	2.4	0.8	9.3	12.2	10.6	2.1	24.1	5.0	0.3	-	-	0.8	3.4	1.1	5.6	5.0	0.3	-	6.1		
50代	334	11.4	0.6	6.9	0.3	6.3	17.4	6.9	0.9	25.1	4.5	0.3	-	-	1.2	3.3	0.9	0.6	4.5	-	0.6	8.4		
60代	477	10.5	1.3	9.2	0.6	4.8	16.6	5.5	1.0	23.5	5.0	-	-	-	0.2	0.6	0.6	0.2	2.3	0.2	0.8	17.0		
70歳以上	334	11.4	1.2	6.9	-	4.2	11.1	3.3	1.2	17.4	4.8	0.6	-	-	-	0.9	0.3	-	0.6	0.3	-	35.9		
無回答	19	10.5	-	5.3	-	10.5	10.5	-	-	15.8	-	-	-	-	-	10.5	5.3	-	10.5	-	-	-	21.1	
居住地別																								
中心部	374	35.8	5.3	6.4	-	1.9	5.1	1.1	-	17.4	-	-	-	0.3	2.1	4.3	0.8	2.9	3.7	0.5	0.8	11.5		
南大分	194	2.6	-	34.5	-	-	3.6	-	-	37.1	-	-	-	-	-	3.1	-	2.1	3.6	-	-	13.4		
城東・明野・滝尾・原川	426	5.9	-	1.9	1.9	21.6	34.5	4.2	0.5	3.8	-	-	-	-	0.2	2.6	0.2	3.8	3.5	-	0.9	14.6		
鶴崎	295	5.8	-	1.0	0.3	3.7	27.5	33.2	1.0	1.7	1.7	-	-	-	-	1.4	-	2.7	3.4	-	0.7	15.9		
大南	119	5.9	-	1.7	-	-	16.0	12.6	12.6	22.7	-	0.8	-	-	0.8	4.2	3.4	0.8	3.4	0.8	-	14.3		
植田・野津原	398	3.8	0.3	3.3	-	0.3	0.3	0.3	0.3	72.1	0.3	-	-	-	0.3	2.5	0.5	1.5	2.0	0.3	-	12.3		
大在・坂ノ市・佐賀閑	207	6.8	-	0.5	0.5	1.9	10.6	4.3	0.5	2.4	44.0	1.4	-	-	-	1.9	1.0	2.9	4.8	-	-	16.4		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	5.9	-	-	-	5.9	11.8	5.9	-	5.9	-	-	-	-	-	17.6	5.9	-	5.9	-	-	-	35.3	

最も多く利用する場所の店舗形態

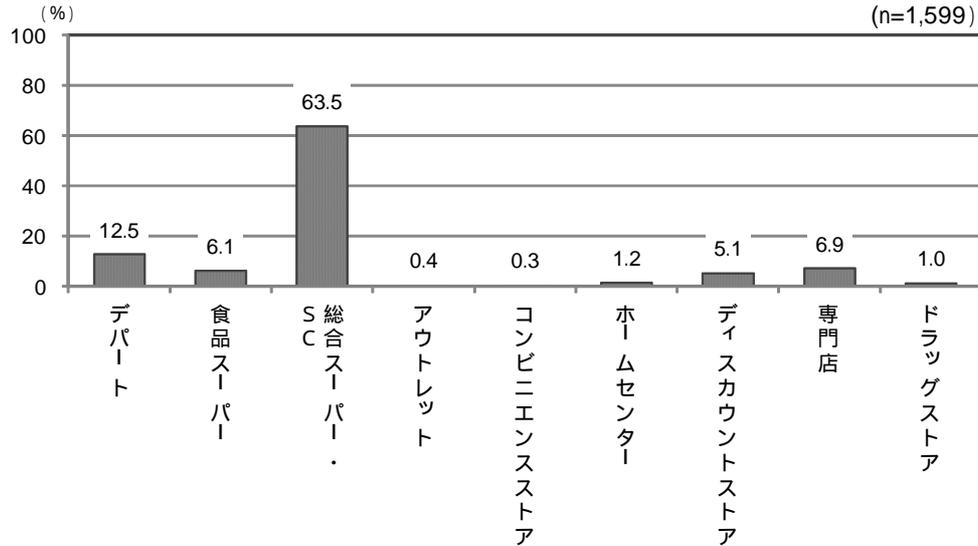
最も多く利用する場所の店舗形態をみると、「総合スーパー・S C」(63.5%)が群を抜いて高くなっている。

性別にみると、男女いずれも「総合スーパー・S C」が群を抜いて高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「総合スーパー・S C」が群を抜いて高い。

居住地別にみると、いずれの地区も「総合スーパー・S C」が群を抜いて高いものの、中心部は「デパート」が3割程度みられ、他の地区を上回っている。

【最も多く利用する買い物場所の店舗形態 肌着・下着】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・S C	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答	
全体		1,599	12.5	6.1	63.5	0.4	0.3	1.2	5.1	6.9	1.0	2.9	
性別	男性	563	8.0	8.0	58.1	0.2	0.7	2.1	7.8	10.7	1.8	2.7	
	女性	1,013	14.8	5.0	66.7	0.6	0.1	0.7	3.5	4.9	0.6	3.1	
	無回答	23	21.7	4.3	56.5	-	-	-	13.0	4.3	-	-	
年齢別	20代	145	8.3	6.9	55.9	2.1	0.7	-	7.6	15.2	1.4	2.1	
	30代	262	13.0	2.7	63.0	0.4	0.4	1.9	5.7	9.5	1.9	1.5	
	40代	310	11.0	4.5	62.9	0.6	0.3	1.3	6.1	10.0	0.6	2.6	
	50代	284	13.0	5.6	68.0	-	0.4	1.4	4.6	4.9	1.1	1.1	
	60代	376	12.2	8.0	67.6	-	0.3	1.1	3.5	3.5	1.1	2.9	
	70歳以上	210	16.2	9.0	58.1	0.5	-	1.0	5.2	1.9	-	8.1	
	無回答	12	25.0	8.3	50.0	-	-	-	-	16.7	-	-	
居住地別	中心部	298	30.9	5.7	44.6	0.7	0.3	2.0	3.7	9.1	-	3.0	
	南大分	157	7.0	5.7	71.3	0.6	-	1.3	7.6	3.2	1.9	1.3	
	城東・明野・滝尾・原川	328	9.8	6.7	65.2	0.3	1.2	1.8	4.0	6.7	0.9	3.4	
	鶴崎	228	8.3	7.0	68.9	-	-	0.4	4.8	7.9	1.3	1.3	
	大南	92	6.5	8.7	69.6	-	-	-	5.4	5.4	1.1	3.3	
	植田・野津原	332	6.3	5.1	74.7	0.6	-	0.3	4.8	3.9	1.2	3.0	
	大在・坂ノ市・佐賀関	155	11.6	5.2	52.9	0.6	-	1.3	9.0	12.9	1.3	5.2	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	9	11.1	-	66.7	-	-	11.1	-	11.1	-	-	

最も多く利用する場所×店舗形態

最も多く利用する場所別に店舗形態をみると、大分市中央地区は「デパート」が最も高くなっている。その他の地区は「総合スーパー・SC」が最も高くなっている。

【最も多く利用する買い物場所×店舗形態 肌着・下着】

		(%)										
		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1599	12.5	6.1	63.5	0.4	0.3	1.2	5.1	6.9	1.0	2.9
最も多く利用する買い物場所別	大分市中央地区	218	58.7	5.0	18.3	-	-	1.4	2.8	9.2	0.5	4.1
	大分市西部地区	21	14.3	33.3	33.3	-	-	4.8	4.8	9.5	-	-
	南大分地区	118	6.8	11.0	52.5	-	2.5	4.2	10.2	5.1	-	7.6
	滝尾地区	10	10.0	10.0	40.0	-	-	-	30.0	10.0	-	-
	城東・原川地区	116	3.4	8.6	65.5	-	1.7	1.7	1.7	12.9	2.6	1.7
	明野地区	298	5.4	4.7	80.2	-	-	1.0	1.3	5.0	0.3	2.0
	鶴崎地区	146	-	5.5	75.3	0.7	-	1.4	6.8	8.9	1.4	-
	大南地区	22	-	36.4	63.6	-	-	-	-	-	-	-
	植田地区	478	5.0	3.1	79.1	0.4	-	0.2	5.4	3.3	1.3	2.1
	大在地区	97	5.2	8.2	46.4	-	-	2.1	15.5	14.4	3.1	5.2
	坂ノ市地区	4	-	-	50.0	-	-	-	-	25.0	-	25.0
	佐賀関地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	野津原地区	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	別府市	11	18.2	-	63.6	-	-	-	-	18.2	-	-
その他の市町村	59	15.3	3.4	52.5	6.8	-	-	5.1	10.2	-	6.8	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

紳士服

多く利用する場所

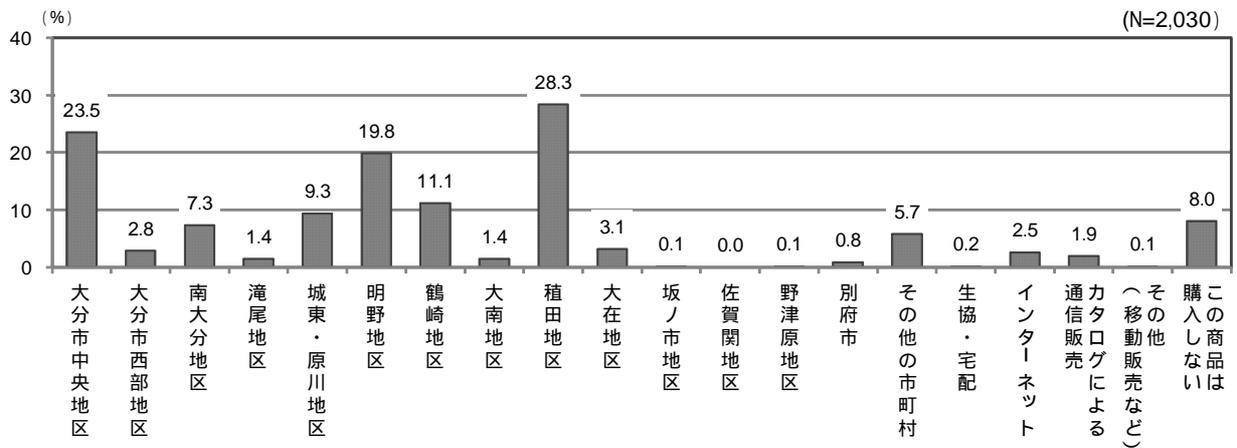
多く利用する買い物場所について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「植田地区」(28.3%)が最も高く、次いで「大分市中央地区」(23.5%)、「明野地区」(19.8%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、50代までは「植田地区」が最も高い。60代は「大分市中央地区」と「植田地区」が同程度で、70歳以上は「大分市中央地区」が最も高くなっている。

居住地別にみると、大南地区及び南大分地区以外は、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。なお、大南地区は「植田地区」が約3割みられるほか、南大分地区も「植田地区」が4割程度みられる。

【多く利用する買い物場所(1番目+2番目) 紳士服】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	この商品は購入しない	無回答
全体	2,030	23.5	2.8	7.3	1.4	9.3	19.8	11.1	1.4	28.3	3.1	0.1	0.0	0.1	0.8	5.7	0.2	2.5	1.9	0.1	8.0	19.4	
性別																							
男性	708	24.3	4.1	9.3	2.3	11.9	22.6	12.6	1.4	29.9	3.0	-	0.1	0.3	0.6	6.1	0.1	2.4	1.0	0.4	2.3	16.9	
女性	1,284	23.1	2.2	6.3	0.9	7.9	18.4	10.4	1.4	27.7	3.0	0.2	-	0.1	1.0	5.6	0.2	2.6	2.4	-	11.1	20.2	
無回答	38	21.1	-	5.3	-	5.3	13.2	10.5	-	18.4	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.5	34.2	
年齢別																							
20代	173	21.4	1.7	5.8	1.7	4.0	15.6	13.9	1.2	29.5	4.0	-	-	0.6	1.7	8.1	-	4.6	1.2	-	19.7	11.0	
30代	315	21.9	3.2	6.0	2.2	8.9	20.3	15.6	1.3	38.7	2.5	-	-	-	1.6	10.5	0.3	7.3	2.5	-	10.2	9.2	
40代	378	21.4	4.5	4.2	3.2	12.4	20.9	16.7	2.1	32.3	4.5	0.3	-	-	0.8	6.6	-	4.5	4.0	0.3	9.8	9.5	
50代	334	25.7	4.2	10.5	0.6	13.8	26.6	11.1	0.6	30.2	3.0	0.6	-	0.3	0.9	7.5	0.3	0.3	1.5	-	4.8	12.6	
60代	477	26.0	1.9	9.9	0.8	9.0	20.3	6.5	1.3	26.4	2.9	-	0.2	0.2	0.4	2.7	0.4	0.2	1.3	0.2	5.5	23.5	
70歳以上	334	22.5	1.2	6.3	-	4.8	12.9	6.6	1.8	14.4	1.8	-	-	-	0.3	1.2	-	0.3	0.6	0.3	4.5	44.9	
無回答	19	26.3	-	5.3	-	5.3	10.5	-	-	26.3	-	-	-	-	-	10.5	-	-	-	-	15.8	26.3	
居住地別																							
中心部	374	44.4	12.3	9.1	0.5	2.7	6.4	2.7	0.5	24.6	-	-	-	0.3	2.4	7.5	-	2.9	2.4	-	9.9	17.9	
南大分	194	20.1	2.6	28.4	1.0	1.5	8.2	0.5	-	44.3	0.5	-	-	-	1.0	5.7	-	1.0	3.6	-	11.3	18.6	
城東・明野・滝尾・原川	426	19.2	0.5	2.3	4.0	27.0	36.4	9.4	0.9	12.4	0.2	-	-	-	0.2	4.5	0.2	2.8	1.2	0.5	7.3	20.0	
鶴崎	295	15.9	0.3	0.7	1.4	11.2	38.3	40.0	1.0	7.5	1.4	-	-	-	0.7	3.4	-	3.1	0.3	-	4.4	19.3	
大南	119	16.8	-	6.7	1.7	1.7	26.9	16.8	6.7	33.6	-	0.8	-	0.8	1.7	5.9	0.8	-	0.8	0.8	10.1	18.5	
植田・野津原	398	20.9	0.3	9.8	-	0.3	3.5	0.8	1.8	64.3	0.5	-	-	0.3	0.3	6.8	0.5	2.8	1.8	-	6.8	19.6	
大在・坂ノ市・佐賀閑	207	17.9	1.0	0.5	0.5	11.1	21.7	15.9	1.9	10.1	26.1	1.0	0.5	-	-	5.8	-	2.9	3.9	-	9.2	20.3	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	17	17.6	-	-	-	5.9	11.8	5.9	-	29.4	-	-	-	-	-	11.8	-	-	-	-	11.8	35.3	

多く利用する場所の店舗形態

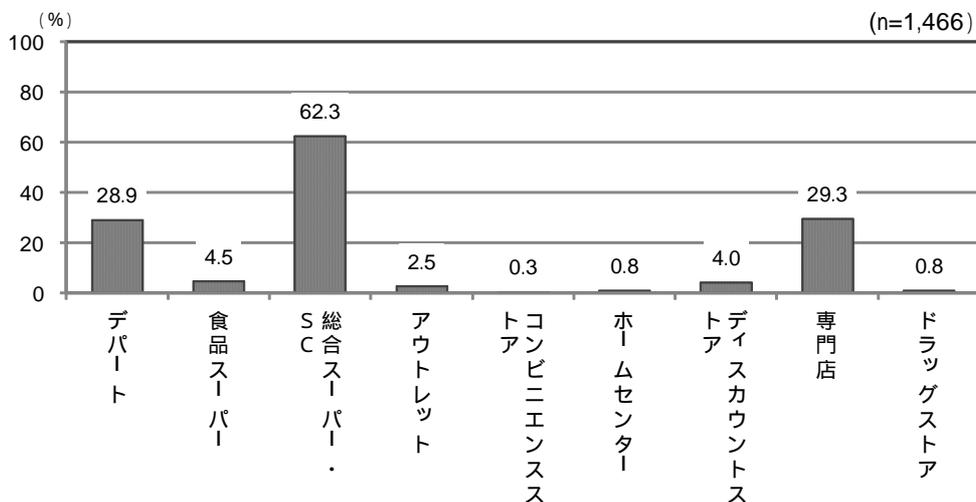
多く利用する場所の店舗形態について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「総合スーパー・SC」(62.3%)が群を抜いて高い。次いで「専門店」(29.3%)、「デパート」(28.9%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「総合スーパー・SC」が最も高いものの、男性は「専門店」が女性よりも1割程度上回っている一方、女性は「デパート」が男性よりも1割程度上回っている。

年齢別にみると、いずれの年代も「総合スーパー・SC」が最も高いものの、30代以降は年代が上がるにつれて「総合スーパー・SC」の割合が低くなる一方、「専門店」と「デパート」の割合が高くなっている。

居住地別にみると、いずれの地区も「総合スーパー・SC」が最も高いものの、中心部は「デパート」が4割以上みられ、他の地区を上回っている。

【多く利用する買い物場所の店舗形態(1番目+2番目) 紳士服】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	デイスクラウンストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1466	28.9	4.5	62.3	2.5	0.3	0.8	4.0	29.3	0.8	2.5
性別	男性	569	23.9	5.8	55.4	2.8	0.5	0.9	4.7	38.8	0.9	1.9
	女性	876	32.1	3.8	66.9	2.3	0.2	0.7	3.7	23.1	0.7	2.9
	無回答	21	28.6	-	61.9	-	-	-	-	28.6	-	-
年齢別	20代	118	28.0	4.2	52.5	5.9	-	2.5	3.4	34.7	-	3.4
	30代	253	22.1	1.6	73.9	5.1	0.4	0.8	5.9	27.7	0.4	0.4
	40代	302	24.5	4.6	67.2	2.0	0.3	0.3	5.0	28.5	-	2.6
	50代	276	27.9	4.0	64.9	1.8	0.7	0.7	4.7	28.6	0.7	0.7
	60代	337	33.2	6.2	59.1	0.9	0.3	0.3	1.8	28.8	2.1	3.3
	70歳以上	169	40.2	5.9	46.2	1.2	-	1.2	3.6	31.4	0.6	5.3
	無回答	11	27.3	9.1	54.5	-	-	-	-	27.3	-	9.1
居住地別	中心部	268	44.4	3.4	48.9	3.0	0.4	1.1	4.1	32.1	0.4	3.0
	南大分	140	27.1	3.6	68.6	4.3	-	0.7	4.3	27.1	0.7	1.4
	城東・明野・滝尾・原川	306	27.5	5.6	63.1	2.0	1.0	1.3	5.2	29.4	-	2.9
	鶴崎	223	21.5	4.0	67.7	1.3	-	-	3.6	30.9	1.3	1.3
	大南	85	24.7	7.1	67.1	-	-	1.2	2.4	23.5	1.2	2.4
	穂田・野津原	291	25.4	5.2	66.3	3.8	-	-	1.7	26.1	1.4	2.1
	大在・坂ノ市・佐賀関	144	25.0	3.5	60.4	1.4	0.7	0.7	7.6	33.3	0.7	3.5
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	9	33.3	-	66.7	-	-	11.1	-	22.2	-	11.1	

最も多く利用する場所

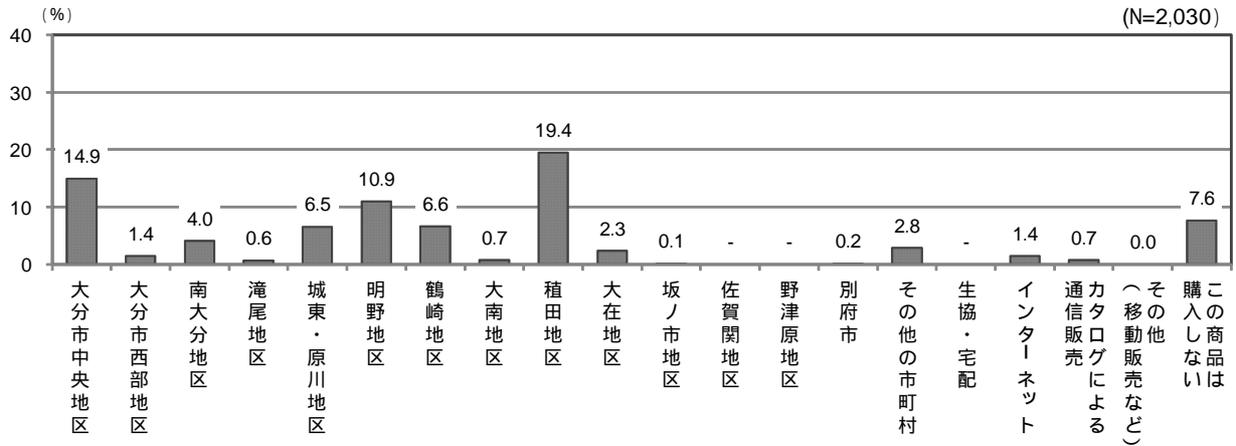
最も多く利用する買い物場所をみると、「植田地区」(19.4%)が最も高く、次いで「大分市中央地区」(14.9%)、「明野地区」(10.9%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、60代までは「植田地区」が最も高く、70歳以上は「大分市中央地区」が最も高くなっている。

居住地別にみると、大南地区及び南大分地区以外は、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。なお、大南地区は「植田地区」が約2割みられるほか、南大分地区も「植田地区」が3割程度みられる。

【最も多く利用する買い物場所 紳士服】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	ない	この商品は購入しない	無回答
全体	2030	14.9	1.4	4.0	0.6	6.5	10.9	6.6	0.7	19.4	2.3	0.1	-	-	0.2	2.8	-	1.4	0.7	0.0	7.6	19.8		
性別																								
男性	708	14.8	2.1	5.2	1.0	9.3	12.6	6.9	0.7	21.0	2.1	-	-	-	0.3	3.2	-	1.1	0.3	0.1	1.7	17.4		
女性	1284	15.0	1.1	3.3	0.4	5.0	10.1	6.3	0.8	18.8	2.3	0.2	-	-	0.2	2.5	-	1.6	0.9	-	10.7	20.6		
無回答	38	13.2	-	5.3	-	2.6	7.9	10.5	-	10.5	2.6	-	-	-	-	2.6	-	-	-	-	10.5	34.2		
年齢別																								
20代	173	11.0	1.2	2.3	0.6	2.9	6.9	8.7	-	20.2	3.5	-	-	-	1.2	7.5	-	3.5	-	-	19.1	11.6		
30代	315	12.7	1.3	3.8	1.0	6.7	11.4	9.8	0.3	23.2	1.6	-	-	-	-	5.1	-	3.5	1.3	-	9.2	9.2		
40代	378	13.5	2.4	2.4	1.3	8.7	10.1	9.3	1.9	21.4	2.9	0.3	-	-	0.3	2.4	-	2.9	1.3	-	9.3	9.8		
50代	334	17.1	2.7	4.8	0.3	9.3	12.6	7.8	0.3	22.2	2.4	0.3	-	-	0.3	2.7	-	-	0.3	-	4.5	12.6		
60代	477	17.0	0.8	6.1	0.4	6.1	13.2	3.1	0.6	19.1	2.1	-	-	-	-	0.8	-	0.2	0.6	0.2	5.2	24.3		
70歳以上	334	15.6	0.3	3.3	-	3.3	9.0	3.6	0.9	10.8	1.8	-	-	-	0.3	1.2	-	-	0.3	-	4.2	45.5		
無回答	19	15.8	-	5.3	-	5.3	5.3	-	-	21.1	-	-	-	-	-	5.3	-	-	-	-	15.8	26.3		
居住地別																								
中心部	374	33.2	6.4	5.3	-	1.6	1.9	1.1	0.5	15.0	-	-	-	-	0.8	4.3	-	1.3	0.5	-	9.9	18.2		
南大分	194	11.3	2.1	19.6	-	0.5	5.2	-	-	29.4	-	-	-	-	-	2.6	-	-	1.5	-	9.3	18.6		
城東・明野・滝尾・原川	426	12.7	-	1.2	1.6	20.2	21.6	4.0	0.5	5.9	-	-	-	-	-	2.3	-	1.6	0.7	0.2	7.0	20.4		
鶴崎	295	10.2	0.3	-	1.0	6.4	22.7	28.5	0.7	1.4	0.3	-	-	-	0.3	2.0	-	2.0	-	-	4.1	20.0		
大南	119	10.1	-	0.8	0.8	1.7	14.3	10.9	5.0	21.0	-	0.8	-	-	0.8	3.4	-	-	0.8	-	10.1	19.3		
植田・野津原	398	8.3	-	4.3	-	0.3	1.0	0.3	0.5	54.3	0.5	-	-	-	-	2.0	-	2.0	0.5	-	6.3	19.8		
大在・坂ノ市・佐賀閑	207	13.0	-	0.5	0.5	7.2	11.6	6.8	0.5	3.9	20.8	0.5	-	-	-	2.4	-	1.4	1.4	-	8.7	20.8		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	5.9	-	-	-	5.9	5.9	5.9	-	17.6	-	-	-	-	-	11.8	-	-	-	-	11.8	35.3		

最も多く利用する場所の店舗形態

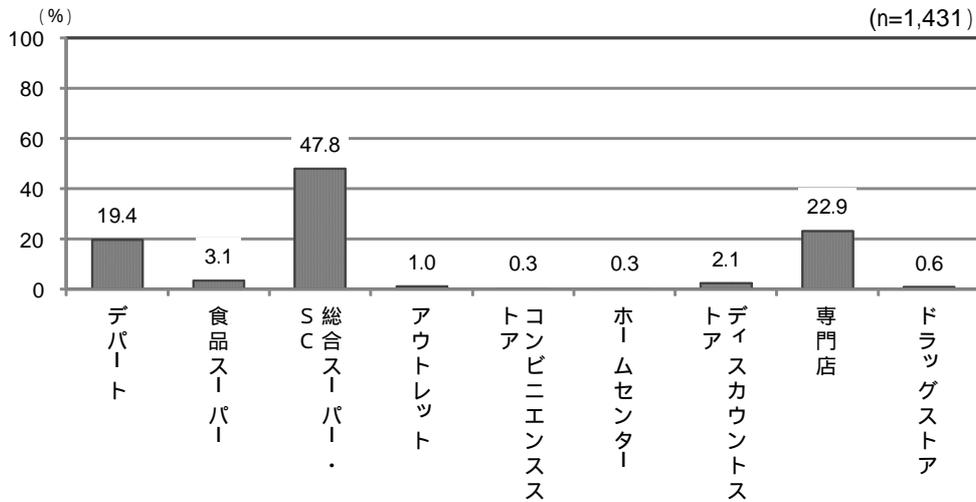
最も多く利用する場所の店舗形態をみると、「総合スーパー・SC」(47.8%)が最も高く、次いで「専門店」(22.9%)、「デパート」(19.4%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「総合スーパー・SC」が最も高いものの、男性は「専門店」が女性よりも1割以上上回っている。

年齢別にみると、いずれの年代も「総合スーパー・SC」が最も高いものの、20代は「専門店」が3割程度みられ、他の年代に比べて高くなっている。

居住地別にみると、中心部以外は「総合スーパー・SC」が最も高い。なお、中心部は「デパート」が3割以上みられ、他の地区を上回っている。

【最も多く利用する買い物場所の店舗形態 紳士服】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	デパート	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1,431	19.4	3.1	47.8	1.0	0.3	0.3	2.1	22.9	0.6	2.4
性別	男性	562	16.0	4.1	40.6	0.9	0.5	0.5	2.5	31.7	0.9	2.3
	女性	848	21.6	2.5	52.5	1.2	0.1	0.2	1.9	17.1	0.4	2.6
	無回答	21	23.8	-	52.4	-	-	-	-	23.8	-	-
年齢別	20代	114	19.3	3.5	38.6	4.4	-	-	0.9	29.8	-	3.5
	30代	242	12.4	1.2	59.5	2.9	0.4	0.8	1.7	20.2	0.4	0.4
	40代	290	15.9	1.7	52.4	0.7	0.3	-	2.8	23.4	-	2.8
	50代	276	19.2	2.9	48.9	-	0.4	0.4	2.9	23.9	0.7	0.7
	60代	331	23.3	4.8	44.4	-	0.3	0.3	1.5	20.5	1.5	3.3
	70歳以上	167	28.7	4.2	33.5	0.6	-	0.6	2.4	25.1	-	4.8
	無回答	11	18.2	9.1	54.5	-	-	-	-	9.1	-	9.1
居住地別	中心部	262	34.7	2.7	30.5	1.5	0.4	-	1.9	24.8	0.4	3.1
	南大分	137	16.8	2.9	53.3	2.2	-	0.7	1.5	20.4	0.7	1.5
	城東・明野・滝尾・原川	298	18.1	3.7	48.3	1.3	1.0	0.3	1.7	23.2	-	2.3
	鶴崎	218	14.7	2.3	54.1	0.5	-	-	2.3	24.8	0.9	0.5
	大南	83	15.7	4.8	56.6	-	-	1.2	1.2	18.1	-	2.4
	穂田・野津原	284	13.7	3.5	55.6	0.7	-	-	1.4	21.1	1.1	2.8
	大在・坂ノ市・佐賀関	140	17.9	2.1	42.1	0.7	-	0.7	5.7	25.7	0.7	4.3
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	9	11.1	-	55.6	-	-	11.1	-	11.1	-	11.1	

最も多く利用する場所×店舗形態

最も多く利用する場所別に店舗形態をみると、大分市中央地区は「デパート」が最も高い。その他の地区は「総合スーパー・SC」が最も高い地区と「専門店」が最も高い地区に分かれる。

【最も多く利用する買い物場所×店舗形態 紳士服】

		(%)										
		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1431	19.4	3.1	47.8	1.0	0.3	0.3	2.1	22.9	0.6	2.4
最も多く利用する買い物場所別	大分市中央地区	303	73.9	2.3	4.6	-	-	-	0.3	15.8	0.3	2.6
	大分市西部地区	29	-	6.9	10.3	-	-	-	6.9	75.9	-	-
	南大分地区	82	3.7	4.9	31.7	-	3.7	1.2	6.1	42.7	1.2	4.9
	滝尾地区	12	-	8.3	41.7	-	-	-	-	41.7	-	8.3
	城東・原川地区	131	4.6	3.8	36.6	-	0.8	-	-	52.7	0.8	0.8
	明野地区	222	5.9	2.7	78.4	-	-	0.5	1.4	9.9	0.5	0.9
	鶴崎地区	134	-	0.7	63.4	0.7	-	1.5	4.5	29.1	-	-
	大南地区	15	-	20.0	53.3	-	-	-	-	26.7	-	-
	植田地区	394	5.6	2.5	70.6	0.5	-	-	1.3	16.5	0.8	2.3
	大在地区	46	2.2	6.5	41.3	-	-	2.2	15.2	19.6	2.2	10.9
	坂ノ市地区	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0
	佐賀関地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	野津原地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	別府市	5	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
その他の市町村	56	16.1	3.6	32.1	21.4	-	-	1.8	17.9	-	7.1	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

婦人服

多く利用する場所

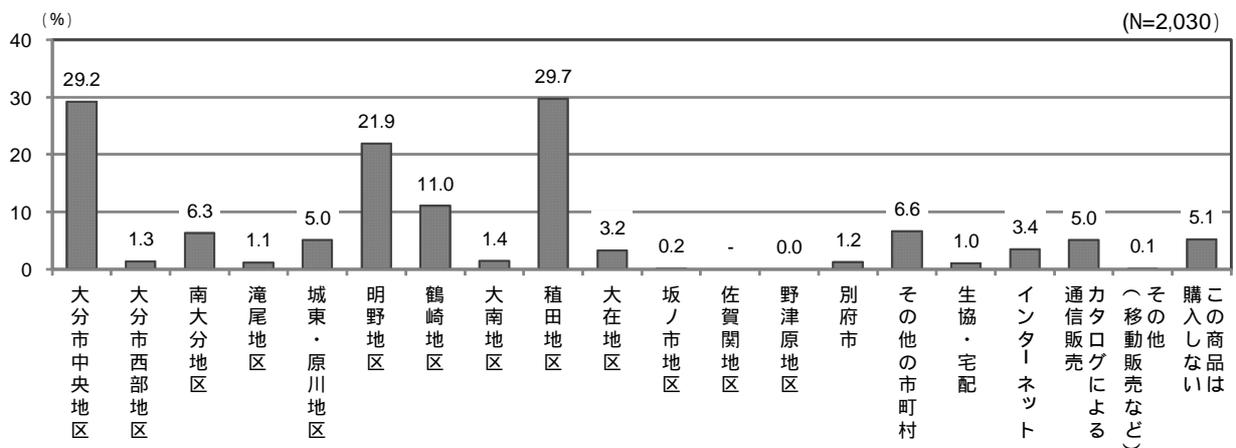
多く利用する買い物場所について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「植田地区」(29.7%)が最も高く、次いで「大分市中央地区」(29.2%)、「明野地区」(21.9%)の順となっている。

性別にみると、男性は「植田地区」が最も高く、女性は「大分市中央地区」が最も高い。

年齢別にみると、50代までは「植田地区」が最も高く、60代以上は「大分市中央地区」が最も高くなっている。

居住地別にみると、大南地区及び南大分地区以外は、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。なお、大南地区は「植田地区」が約4割みられるほか、南大分地区も「植田地区」が5割程度みられる。

【多く利用する買い物場所(1番目+2番目) 婦人服】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は購入しない	無回答
全体	2,030	29.2	1.3	6.3	1.1	5.0	21.9	11.0	1.4	29.7	3.2	0.2	-	0.0	1.2	6.6	1.0	3.4	5.0	0.1	5.1	18.0		
性別																								
男性	708	19.8	2.1	6.2	1.1	5.2	18.4	10.3	1.0	22.7	2.0	-	-	0.6	4.2	0.7	1.6	2.5	0.1	12.4	28.5			
女性	1,284	34.3	0.9	6.5	1.1	5.1	24.1	11.4	1.7	33.6	3.8	0.3	-	0.1	1.6	7.9	1.2	4.5	6.3	0.2	1.2	11.8		
無回答	38	31.6	-	-	-	-	13.2	13.2	-	28.9	5.3	-	-	-	-	5.3	-	4.6	7.9	-	-	31.6		
年齢別																								
20代	173	27.2	1.2	6.4	0.6	1.2	15.6	10.4	1.2	30.1	0.6	-	-	0.6	2.3	8.1	-	6.9	2.3	-	17.3	12.1		
30代	315	26.7	1.6	2.9	1.9	4.8	24.8	16.8	1.6	36.8	3.5	-	-	-	1.6	11.1	0.6	10.2	5.7	-	8.3	7.0		
40代	378	30.4	1.6	2.9	2.1	5.6	23.8	16.9	2.1	36.0	4.0	0.3	-	-	1.3	9.3	1.6	4.2	9.0	-	3.7	9.3		
50代	334	30.8	1.8	8.7	0.9	7.2	27.8	10.2	0.6	32.0	4.2	0.6	-	-	1.5	7.8	1.8	1.5	6.0	-	2.7	11.7		
60代	477	31.0	0.8	8.4	0.8	5.7	23.1	7.1	0.8	28.1	3.1	-	-	-	1.0	3.6	1.3	0.2	3.1	0.4	3.8	21.4		
70歳以上	334	26.6	0.6	8.1	-	3.9	13.5	5.7	2.4	15.6	2.7	0.3	-	-	0.3	1.2	0.3	0.9	2.7	-	2.1	42.5		
無回答	19	31.6	5.3	-	-	-	10.5	10.5	-	31.6	-	-	-	-	-	10.5	-	5.3	10.5	5.3	-	26.3		
居住地別																								
中心部	374	54.3	5.3	5.9	0.5	1.6	8.6	2.1	0.5	26.5	-	-	-	0.3	3.7	9.9	0.5	3.7	5.6	-	4.8	16.8		
南大分	194	23.7	-	27.8	0.5	1.0	8.2	1.5	-	49.5	0.5	-	-	-	1.0	6.7	0.5	2.6	6.7	-	6.2	16.5		
城東・明野・滝尾・原川	426	25.6	0.2	2.3	3.1	16.4	39.7	9.4	0.9	12.9	0.2	-	-	-	0.5	4.5	0.7	5.6	4.5	0.5	6.3	18.3		
鶴崎	295	21.0	-	1.4	0.7	5.1	39.7	39.0	1.4	7.1	2.0	-	-	-	-	2.7	0.7	3.4	3.4	-	5.1	17.6		
大南	119	18.5	-	2.5	1.7	-	32.8	15.1	11.8	38.7	-	0.8	-	-	-	2.5	7.6	3.4	1.7	1.7	-	1.7	18.5	
植田・野津原	398	24.9	0.5	8.3	0.3	0.5	4.5	0.8	0.8	65.6	0.8	-	-	-	1.0	6.8	1.8	2.0	5.0	0.3	5.3	16.8		
大在・坂ノ市・佐賀閑	207	22.7	1.4	0.5	0.5	3.4	25.1	16.9	1.0	9.7	26.1	1.4	-	-	-	8.7	1.0	2.9	7.7	-	4.3	21.7		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	23.5	-	-	-	-	11.8	11.8	-	29.4	-	-	-	-	-	11.8	-	5.9	5.9	-	-	41.2		

多く利用する場所の店舗形態

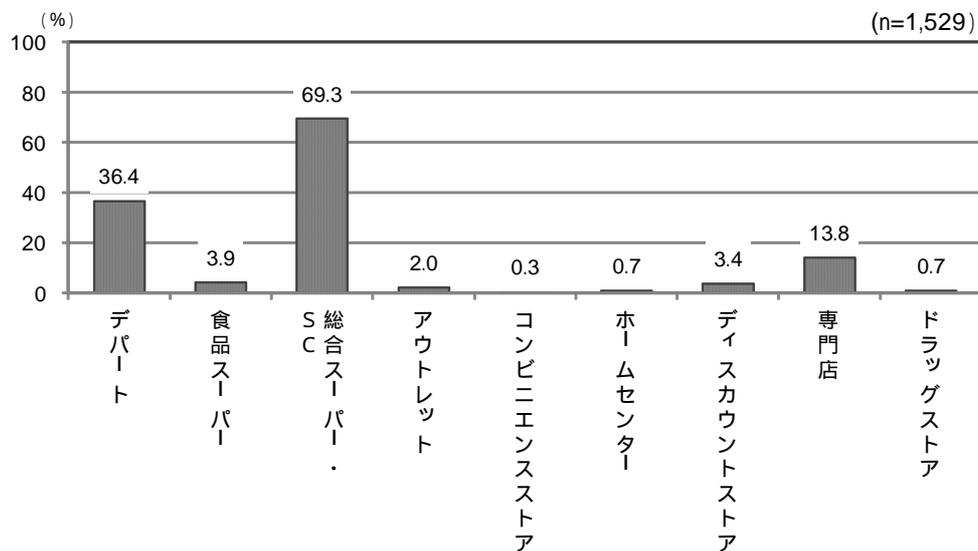
多く利用する場所の店舗形態について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「総合スーパー・SC」(69.3%)が群を抜いて高い。次いで「デパート」(36.4%)、「専門店」(13.8%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「総合スーパー・SC」が群を抜いて高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「総合スーパー・SC」が群を抜いて高いものの、30代以降は年代が上がるにつれて「総合スーパー・SC」の割合が低くなる一方、「デパート」の割合が高くなっている。

居住地別にみると、中心部以外は「総合スーパー・SC」が最も高い、なお、中心部は「デパート」が6割程度みられ、他の地区を上回っている。

【多く利用する買い物場所の店舗形態(1番目+2番目) 婦人服】



	サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答	
全体	1529	36.4	3.9	69.3	2.0	0.3	0.7	3.4	13.8	0.7	2.9	
性別	男性	412	30.3	5.6	64.1	1.7	0.5	1.0	5.3	22.3	0.7	3.2
	女性	1091	38.9	3.4	71.5	2.2	0.2	0.6	2.7	10.4	0.7	2.7
	無回答	26	30.8	-	61.5	-	-	-	-	19.2	-	3.8
年齢別	20代	119	31.9	2.5	62.2	5.0	-	1.7	2.5	17.6	-	4.2
	30代	262	29.4	2.3	76.3	3.1	0.4	0.8	5.3	15.3	0.4	0.8
	40代	318	33.6	3.8	74.2	2.5	-	0.3	3.8	13.8	0.3	2.5
	50代	282	32.3	3.9	72.7	2.1	0.4	0.4	4.6	14.5	0.7	1.8
	60代	352	44.0	5.4	65.1	0.6	0.6	0.3	1.1	13.4	1.7	2.6
	70歳以上	183	46.4	4.4	58.5	0.5	-	2.2	3.3	9.3	0.5	7.7
	無回答	13	30.8	7.7	69.2	-	-	-	-	7.7	-	7.7
居住地別	中心部	286	59.8	2.1	52.4	3.8	-	0.3	3.1	12.9	0.3	3.1
	南大分	151	30.5	2.6	78.8	1.3	-	0.7	2.0	13.2	0.7	2.0
	城東・明野・滝尾・原川	311	36.0	4.8	70.1	1.6	1.0	2.3	4.2	12.5	-	2.6
	鶴崎	223	28.3	4.9	74.9	0.9	-	-	3.1	16.6	0.9	2.2
	大南	95	20.0	8.4	77.9	-	-	-	2.1	13.7	1.1	6.3
	植田・野津原	306	31.0	3.6	72.9	3.3	-	-	2.0	10.8	1.3	2.6
	大在・坂ノ市・佐賀関	147	32.0	3.4	68.7	0.7	0.7	0.7	8.2	21.1	1.4	3.4
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	10	40.0	-	80.0	-	-	10.0	-	10.0	-	-	

最も多く利用する場所

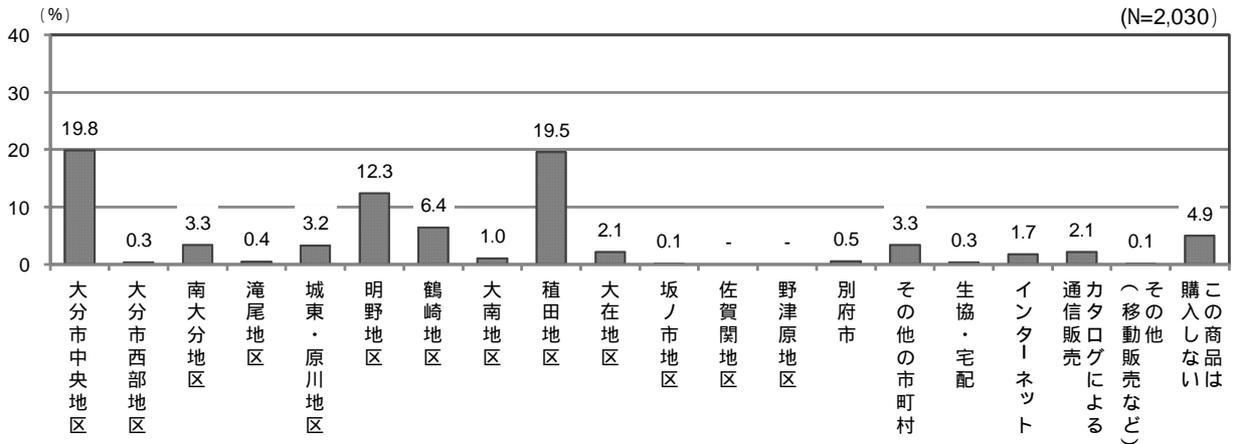
最も多く利用する買い物場所をみると、「大分市中央地区」(19.8%)が最も高く、次いで「植田地区」(19.5%)、「明野地区」(12.3%)の順となっている。

性別にみると、男性は「植田地区」が最も高く、女性は「大分市中央地区」が最も高い。

年齢別にみると、20代及び30代は「植田地区」が最も高く、40～60代は「大分市中央地区」と「植田地区」が同程度となっており、70歳以上は「大分市中央地区」が最も高くなっている。

居住地別にみると、大南地区及び南大分地区以外は、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。なお、大南地区は「植田地区」が2割程度みられるほか、南大分地区も「植田地区」が3割程度みられる。

【最も多く利用する買い物場所 婦人服】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀関地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	ない	この商品は購入しない	無回答
全体	2030	19.8	0.3	3.3	0.4	3.2	12.3	6.4	1.0	19.5	2.1	0.1	-	-	0.5	3.3	0.3	1.7	2.1	0.1	4.9	18.6		
性別																								
男性	708	13.3	0.6	3.2	0.1	3.4	10.3	4.9	0.8	15.8	1.3	-	-	-	-	2.3	0.3	0.8	1.3	0.1	12.1	29.2		
女性	1284	23.3	0.2	3.5	0.5	3.2	13.4	7.0	1.2	21.7	2.6	0.2	-	-	0.9	3.8	0.4	2.2	2.5	0.2	1.0	12.3		
無回答	38	23.7	-	-	-	-	10.5	10.5	-	15.8	-	-	-	-	-	2.6	-	2.6	2.6	-	-	-	31.6	
年齢別																								
20代	173	16.8	0.6	2.9	-	0.6	6.4	8.7	0.6	19.7	0.6	-	-	-	2.3	6.9	-	2.3	1.2	-	16.8	13.9		
30代	315	15.2	0.3	1.6	1.0	3.2	14.6	11.1	1.0	21.6	1.3	-	-	-	0.3	5.7	-	6.0	2.2	-	7.9	7.0		
40代	378	21.2	0.3	1.1	0.8	4.0	10.3	9.3	2.1	23.0	2.6	0.3	-	-	0.8	4.2	1.3	1.9	3.4	-	3.7	9.8		
50代	334	22.8	0.6	4.8	0.3	4.8	14.1	6.0	0.6	22.2	2.7	0.3	-	-	0.3	3.3	-	0.6	2.4	-	2.4	12.0		
60代	477	20.8	-	5.7	0.2	2.9	15.5	2.9	0.6	19.7	2.5	-	-	-	0.2	1.3	0.2	0.2	1.5	0.4	3.6	21.8		
70歳以上	334	19.8	-	3.3	-	2.7	9.3	2.4	1.2	10.5	2.1	0.3	-	-	0.3	0.9	0.3	0.3	1.5	-	1.8	43.4		
無回答	19	21.1	5.3	-	-	-	5.3	10.5	-	21.1	-	-	-	-	-	-	-	5.3	-	5.3	-	26.3		
居住地別																								
中心部	374	44.1	1.6	2.9	-	0.8	2.1	1.1	0.5	13.4	-	-	-	-	2.1	5.3	0.3	1.6	2.1	-	4.8	17.1		
南大分	194	11.9	-	20.1	-	0.5	4.6	-	-	33.5	-	-	-	-	-	3.1	-	0.5	4.6	-	4.6	16.5		
城東・明野・滝尾・原川	426	16.0	-	0.9	1.2	12.4	25.6	4.7	0.5	5.2	-	-	-	-	0.2	2.3	0.2	3.3	1.4	0.5	6.1	19.5		
鶴崎	295	14.6	-	0.3	0.3	1.7	24.7	24.7	1.4	2.0	0.7	-	-	-	-	1.7	0.3	1.7	2.4	-	4.7	18.6		
大南	119	11.8	-	0.8	0.8	-	16.0	9.2	9.2	22.7	-	0.8	-	-	0.8	4.2	0.8	0.8	0.8	-	1.7	19.3		
植田・野津原	398	12.6	-	3.0	-	0.5	0.8	0.3	0.3	54.3	0.5	-	-	-	0.3	2.5	0.3	1.3	1.0	0.3	5.3	17.1		
大在・坂ノ市・佐賀関	207	17.9	-	-	0.5	0.5	13.0	8.7	0.5	3.4	18.8	1.0	-	-	-	4.3	1.0	1.0	3.4	-	4.3	21.7		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	11.8	-	-	-	-	5.9	11.8	-	17.6	-	-	-	-	-	5.9	-	5.9	-	-	-	-	41.2	

最も多く利用する場所の店舗形態

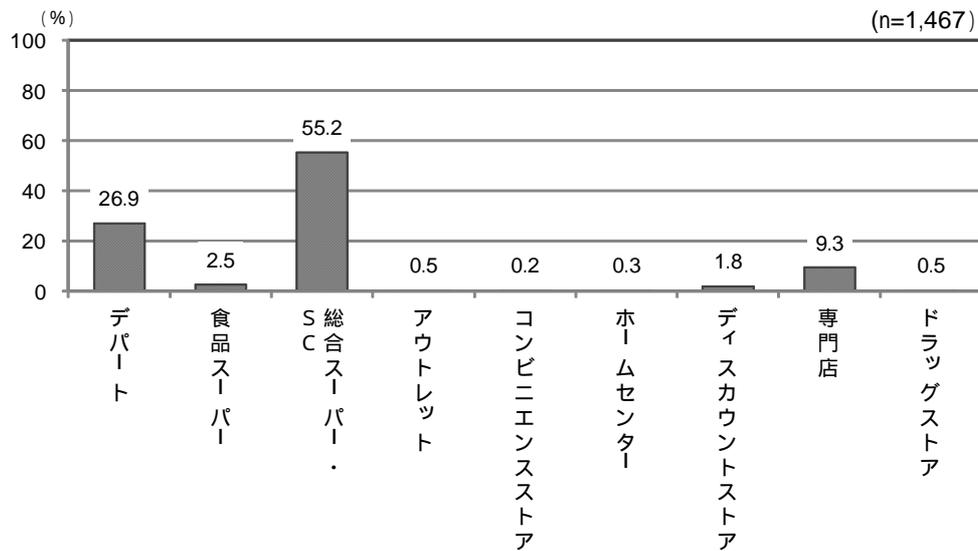
最も多く利用する場所の店舗形態をみると、「総合スーパー・S C」(55.2%)が最も高く、次いで「デパート」(26.9%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「総合スーパー・S C」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「総合スーパー・S C」が最も高いものの、30代以降は年代が上がるにつれて「総合スーパー・S C」の割合が低くなる一方、「デパート」の割合が高くなっている。

居住地別にみると、中心部以外は「総合スーパー・S C」が最も高い。なお、中心部は「デパート」が5割以上みられ、他の地区を上回っている。

【最も多く利用する買い物場所の店舗形態 婦人服】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・S C	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答	
全体		1,467	26.9	2.5	55.2	0.5	0.2	0.3	1.8	9.3	0.5	2.7	
性別	男性	397	22.4	3.5	50.6	-	0.5	0.5	3.8	15.4	0.8	2.5	
	女性	1,046	28.7	2.2	57.0	0.8	0.1	0.2	1.1	6.8	0.5	2.7	
	無回答	24	20.8	-	54.2	-	-	-	-	20.8	-	4.2	
年齢別	20代	114	24.6	1.8	55.3	2.6	-	-	1.8	11.4	-	2.6	
	30代	242	19.0	1.7	66.9	0.8	0.4	0.8	1.7	7.4	0.4	0.8	
	40代	302	25.2	1.7	57.3	0.7	-	-	2.0	10.3	0.3	2.6	
	50代	276	25.0	2.5	55.1	-	0.4	-	3.3	11.6	0.7	1.4	
	60代	345	31.3	4.1	50.4	-	0.3	0.3	0.9	9.0	1.2	2.6	
	70歳以上	176	36.9	2.3	44.9	0.6	-	0.6	1.7	6.3	-	6.8	
	無回答	12	16.7	8.3	58.3	-	-	-	-	8.3	-	8.3	
居住地別	中心部	277	53.1	1.1	30.3	1.4	-	-	1.8	9.0	0.4	2.9	
	南大分	143	16.8	2.1	66.4	0.7	-	0.7	0.7	9.8	0.7	2.1	
	城東・明野・滝尾・原川	294	24.1	3.4	58.2	0.3	1.0	0.7	1.4	8.5	-	2.4	
	鶴崎	213	21.1	2.3	62.9	-	-	-	1.9	10.3	0.5	0.9	
	大南	91	13.2	5.5	63.7	-	-	-	2.2	11.0	-	4.4	
	穂田・野津原	298	19.5	2.7	64.4	0.7	-	-	1.3	7.4	1.0	3.0	
	大在・坂ノ市・佐賀関	142	25.4	2.1	49.3	-	-	-	4.9	12.7	1.4	4.2	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	9	11.1	-	66.7	-	-	11.1	-	11.1	-	-	

最も多く利用する場所×店舗形態

最も多く利用する場所別に店舗形態をみると、大分市中央地区は「デパート」が最も高い。その他の地区は「総合スーパー・SC」が最も高くなっている。

【最も多く利用する買い物場所×店舗形態 婦人服】

		(%)										
		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1467	26.9	2.5	55.2	0.5	0.2	0.3	1.8	9.3	0.5	2.7
最も多く利用する買い物場所別	大分市中央地区	402	80.3	0.7	6.0	-	-	-	0.2	9.5	-	3.2
	大分市西部地区	6	-	16.7	50.0	-	-	-	33.3	-	-	-
	南大分地区	68	8.8	4.4	52.9	-	2.9	1.5	7.4	11.8	1.5	8.8
	滝尾地区	8	-	12.5	62.5	-	-	-	-	25.0	-	-
	城東・原川地区	65	10.8	7.7	66.2	-	1.5	1.5	-	12.3	-	-
	明野地区	249	6.0	2.4	84.3	-	-	-	0.4	5.2	0.4	1.2
	鶴崎地区	129	-	0.8	80.6	-	-	1.6	4.7	12.4	-	-
	大南地区	21	-	19.0	61.9	-	-	-	4.8	9.5	-	4.8
	植田地区	396	6.3	2.3	80.6	0.5	-	-	1.0	6.8	1.0	1.5
	大在地区	43	2.3	4.7	44.2	-	-	-	11.6	23.3	2.3	11.6
	坂ノ市地区	3	-	-	33.3	-	-	-	-	33.3	-	33.3
	佐賀関地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	野津原地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	別府市	11	27.3	-	72.7	-	-	-	-	-	-	-
その他の市町村	66	21.2	3.0	37.9	9.1	-	-	3.0	18.2	1.5	6.1	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

子供服

多く利用する場所

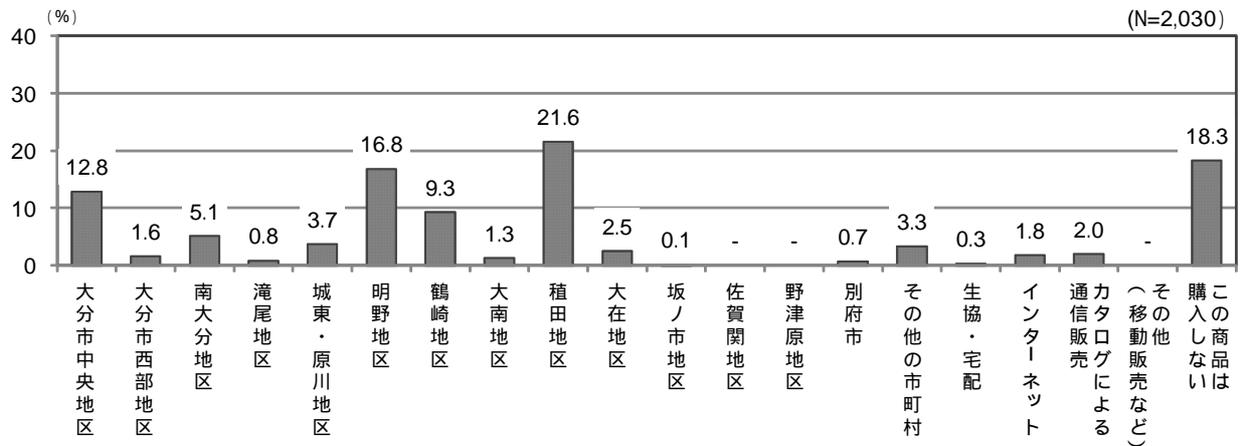
多く利用する買い物場所について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「植田地区」(21.6%)が最も高く、次いで「明野地区」(16.8%)、「大分市中央地区」(12.8%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高い。

居住地別にみると、大南地区及び南大分地区以外は、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。なお、大南地区は「植田地区」が3割以上みられるほか、南大分地区も「植田地区」が3割程度みられる。

【多く利用する買い物場所(1番目+2番目) 子供服】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は購入しない	無回答
全体	2030	12.8	1.6	5.1	0.8	3.7	16.8	9.3	1.3	21.6	2.5	0.1	-	-	0.7	3.3	0.3	1.8	2.0	-	18.3	31.9		
性別																								
男性	708	12.4	2.0	5.8	1.1	4.0	15.8	8.3	1.0	20.3	2.1	-	-	-	0.4	3.4	0.1	0.8	0.7	-	16.2	37.3		
女性	1284	13.0	1.4	4.9	0.7	3.7	17.5	9.8	1.5	22.4	2.8	0.2	-	-	0.9	3.3	0.5	2.3	2.7	-	19.8	28.1		
無回答	38	10.5	-	-	-	-	10.5	7.9	-	18.4	-	-	-	-	-	2.6	-	2.6	-	-	7.9	60.5		
年齢別																								
20代	173	11.0	0.6	5.8	0.6	1.7	13.9	8.7	1.7	17.3	1.2	-	-	-	1.2	2.9	-	2.9	1.2	-	38.2	20.8		
30代	315	13.3	2.2	5.1	1.9	3.5	25.4	14.6	1.6	35.6	3.2	-	-	-	1.6	7.0	0.6	6.0	3.5	-	17.5	12.1		
40代	378	15.6	2.9	4.0	1.9	5.3	21.7	17.5	2.4	29.4	3.4	0.3	-	-	1.1	4.5	0.5	2.1	5.0	-	18.0	16.4		
50代	334	13.2	2.1	4.8	-	4.2	16.8	7.2	0.3	18.6	2.7	0.6	-	-	0.9	4.2	0.3	0.9	2.1	-	22.8	29.3		
60代	477	13.0	0.6	5.9	0.6	4.2	14.9	5.7	0.6	18.7	2.5	-	-	-	0.2	1.7	0.4	-	0.2	-	16.1	39.0		
70歳以上	334	9.3	0.6	5.7	-	2.1	7.5	2.7	1.5	9.3	1.5	-	-	-	-	0.3	-	-	-	-	8.4	65.6		
無回答	19	10.5	5.3	-	-	-	15.8	5.3	-	21.1	-	-	-	-	-	5.3	-	5.3	-	-	10.5	47.4		
居住地別																								
中心部	374	25.1	7.2	4.8	0.5	0.5	6.4	2.1	0.3	19.3	-	-	-	-	2.7	4.0	-	2.7	2.1	-	23.0	31.3		
南大分	194	8.2	-	23.2	0.5	1.0	7.7	1.0	-	35.6	1.0	-	-	-	1.0	2.6	0.5	1.0	2.1	-	17.0	30.9		
城東・明野・滝尾・原川	426	12.2	0.2	2.8	2.3	12.9	30.3	8.0	0.9	9.6	0.5	-	-	-	0.2	2.3	0.5	1.9	1.4	-	17.1	32.6		
鶴崎	295	9.5	-	1.0	0.7	3.1	33.9	31.9	1.7	7.1	0.7	-	-	-	-	1.4	0.3	1.7	1.0	-	14.9	29.8		
大南	119	7.6	-	1.7	0.8	-	20.2	15.1	7.6	31.9	-	0.8	-	-	-	5.9	0.8	0.8	1.7	-	18.5	27.7		
植田・野津原	398	9.8	0.3	5.5	0.3	-	3.3	0.5	0.8	45.7	0.8	-	-	-	0.5	3.3	0.5	0.8	2.5	-	19.3	32.2		
大在・坂ノ市・佐賀閑	207	9.7	1.4	1.0	-	3.4	15.9	13.5	1.9	6.8	20.3	1.0	-	-	-	5.8	-	2.9	3.4	-	17.4	35.3		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	5.9	-	-	-	-	17.6	11.8	-	11.8	-	-	-	-	-	11.8	-	5.9	-	-	5.9	58.8		

多く利用する場所の店舗形態

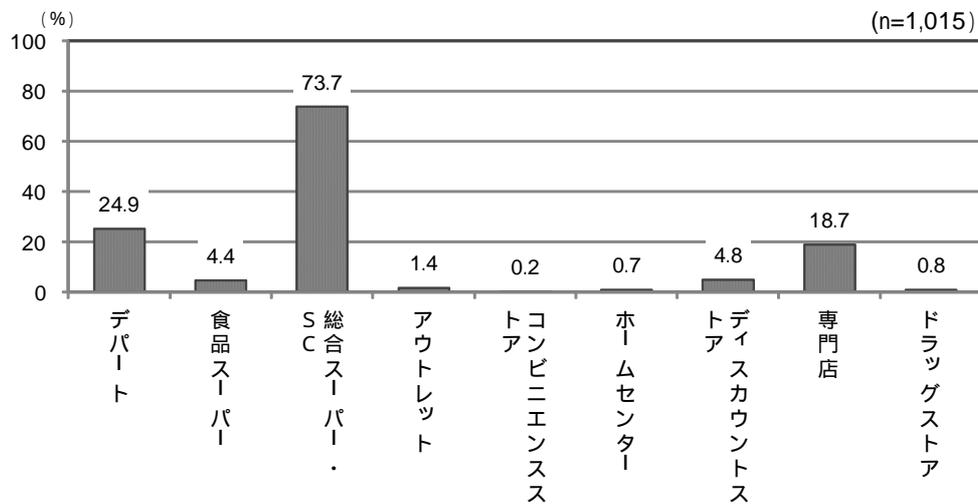
多く利用する場所の店舗形態について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「総合スーパー・SC」(73.7%)が群を抜いて高い。次いで「デパート」(24.9%)、「専門店」(18.7%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「総合スーパー・SC」が群を抜いて高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「総合スーパー・SC」が群を抜いて最も高い。なお、20代は「専門店」(31.0%)が3割みられ、他の年代を上回っている。また、30代以降は年代が上がるにつれて「デパート」の割合が高くなっている。

居住地別にみると、「総合スーパー・SC」が最も高い、なお、中心部は「デパート」が4割程度みられ、他の地区を上回っている。

【多く利用する買い物場所の店舗形態(1番目+2番目) 子供服】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	トリア	専門店	ドラッグストア	無回答	
全体		1015	24.9	4.4	73.7	1.4	0.2	0.7	4.8	18.7	0.8	2.9	
性別	男性	332	22.0	5.1	67.2	1.8	0.6	0.9	5.4	25.3	0.9	3.6	
	女性	671	26.5	4.2	76.8	1.2	-	0.6	4.6	15.6	0.7	2.5	
	無回答	12	16.7	-	83.3	-	-	-	-	8.3	-	-	
年齢別	20代	71	22.5	4.2	63.4	5.6	-	2.8	1.4	31.0	-	5.6	
	30代	222	20.7	2.7	76.6	1.8	0.5	0.5	7.2	23.4	0.5	0.5	
	40代	249	22.5	4.8	78.7	1.6	-	0.4	6.4	16.9	0.4	2.4	
	50代	160	24.4	3.1	74.4	0.6	0.6	0.6	3.8	19.4	1.3	0.6	
	60代	218	29.4	6.9	70.2	0.5	-	0.5	2.8	12.8	1.8	4.6	
	70歳以上	87	35.6	3.4	67.8	-	-	1.1	4.6	16.1	-	6.9	
	無回答	8	12.5	12.5	75.0	-	-	-	-	12.5	-	12.5	
居住地別	中心部	171	44.4	2.3	64.3	2.9	-	0.6	2.9	18.7	0.6	2.9	
	南大分	102	19.6	5.9	76.5	-	-	-	3.9	22.5	1.0	2.9	
	城東・明野・滝尾・原川	213	26.8	6.6	70.9	1.9	0.9	2.3	7.5	18.3	-	2.3	
	鶴崎	164	17.7	4.3	80.5	0.6	-	-	3.7	20.1	0.6	2.4	
	大南	65	10.8	4.6	76.9	-	-	1.5	6.2	20.0	-	3.1	
	穂田・野津原	194	21.1	4.1	75.3	1.5	-	-	3.1	14.4	1.5	2.6	
	大在・坂ノ市・佐賀関	100	22.0	3.0	76.0	1.0	-	-	8.0	20.0	2.0	5.0	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	6	16.7	-	83.3	-	-	-	-	33.3	-	-	

最も多く利用する場所

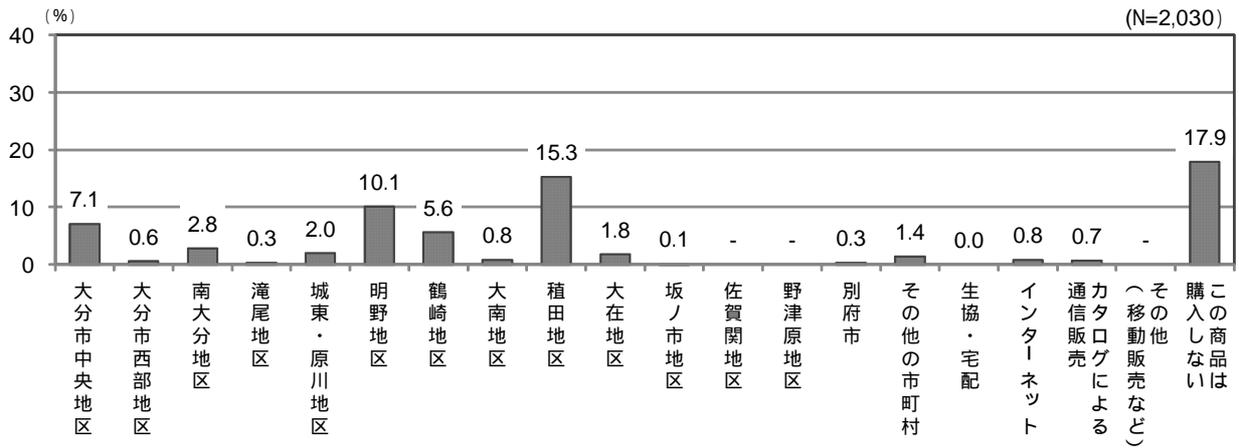
最も多く利用する買い物場所をみると、「植田地区」(15.3%)が最も高く、次いで「明野地区」(10.1%)、「大分市中央地区」(7.1%)、「鶴崎地区」(5.6%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高い。

居住地別にみると、大南地区及び南大分地区以外は、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。なお、大南地区は「植田地区」が2割程度みられるほか、南大分地区も「植田地区」が2割程度みられる。

【最も多く利用する買い物場所 子供服】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀関地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は購入し	無回答
全体	2030	7.1	0.6	2.8	0.3	2.0	10.1	5.6	0.8	15.3	1.8	0.1	-	-	0.3	1.4	0.0	0.8	0.7	-	17.9	32.3		
性別																								
男性	708	7.2	0.8	3.2	0.1	2.3	9.2	4.0	0.6	15.4	1.6	-	-	-	0.1	1.4	-	0.3	0.3	-	15.8	37.7		
女性	1,284	7.2	0.5	2.6	0.4	1.9	10.8	6.5	1.0	15.3	2.0	0.2	-	-	0.4	1.4	0.1	1.0	0.9	-	19.3	28.4		
無回答	38	2.6	-	-	-	-	5.3	7.9	-	13.2	-	-	-	-	-	-	-	2.6	-	-	7.9	60.5		
年齢別																								
20代	173	5.2	0.6	1.7	-	0.6	8.7	4.6	0.6	12.7	1.2	-	-	-	0.6	1.7	-	1.2	0.6	-	38.2	22.0		
30代	315	7.0	1.0	2.9	0.6	2.2	16.5	9.5	0.6	20.6	1.3	-	-	-	0.6	2.5	-	3.8	1.6	-	17.1	12.1		
40代	378	8.7	1.1	2.1	0.8	3.2	10.6	10.8	2.4	19.6	2.1	0.3	-	-	0.3	1.9	0.3	-	1.6	-	17.5	16.9		
50代	334	7.2	0.9	2.7	-	2.7	9.6	4.8	0.3	14.1	2.7	0.3	-	-	0.3	2.1	-	0.3	0.6	-	22.2	29.3		
60代	477	7.1	0.2	3.8	0.2	2.1	10.1	2.7	0.2	16.1	1.9	-	-	-	0.2	0.4	-	-	-	-	15.3	39.6		
70歳以上	334	6.3	-	2.7	-	0.6	5.4	1.5	0.9	6.9	1.5	-	-	-	-	0.3	-	-	-	-	8.4	65.6		
無回答	19	5.3	5.3	-	-	-	5.3	5.3	-	15.8	-	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-	10.5	47.4		
居住地別																								
中心部	374	19.8	3.5	2.7	0.3	0.3	2.1	1.1	0.3	11.5	-	-	-	-	1.6	1.1	-	1.3	0.3	-	23.0	31.3		
南大分	194	3.6	-	17.0	-	-	4.6	-	-	23.7	0.5	-	-	-	-	2.1	-	-	1.0	-	16.5	30.9		
城東・明野・滝尾・原川	426	6.1	-	1.2	0.9	8.5	21.4	4.2	0.5	3.8	0.2	-	-	-	-	1.4	-	0.9	0.9	-	16.9	33.1		
鶴崎	295	4.1	-	-	0.3	1.0	22.0	21.0	1.4	2.0	0.3	-	-	-	-	0.7	-	1.0	0.7	-	14.2	31.2		
大南	119	5.9	-	0.8	-	-	8.4	9.2	5.9	20.2	-	0.8	-	-	-	1.7	-	0.8	-	-	17.6	28.6		
植田・野津原	398	1.3	-	1.5	-	-	0.8	0.3	0.3	42.7	0.5	-	-	-	-	0.8	0.3	0.3	0.3	-	19.1	32.2		
大在・坂ノ市・佐賀関	207	6.3	-	0.5	-	0.5	8.7	8.2	1.0	2.4	15.5	0.5	-	-	-	2.9	-	0.5	1.9	-	15.9	35.3		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	-	-	-	-	-	11.8	5.9	-	5.9	-	-	-	-	-	5.9	-	5.9	-	-	5.9	58.8		

最も多く利用する場所の店舗形態

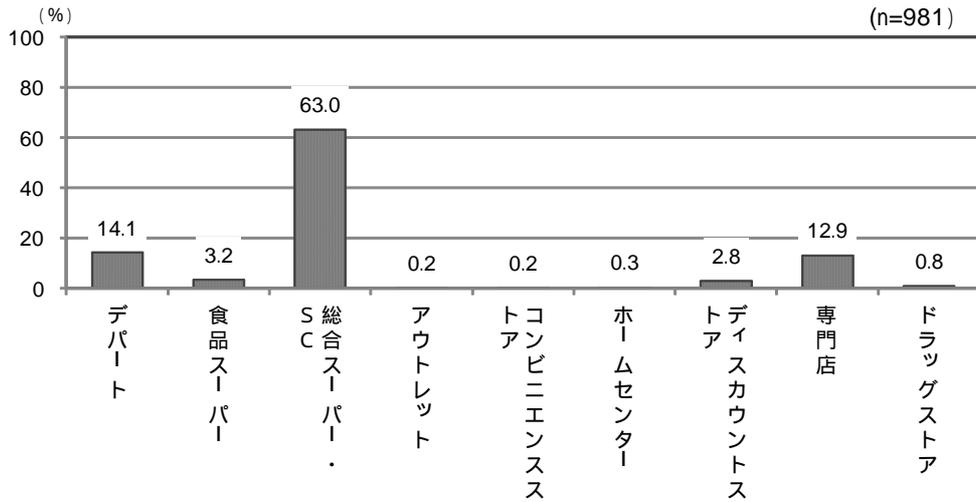
最も多く利用する場所の店舗形態をみると、「総合スーパー・S C」(63.0%)が群を抜いて高い。次いで「デパート」(14.1%)、「専門店」(12.9%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「総合スーパー・S C」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「総合スーパー・S C」が最も高い。なお、20代は「専門店」が2割程度みられるほか、70歳以上は「デパート」が2割程度みられる。

居住地別にみると、いずれの地区も「総合スーパー・S C」が最も高い。なお、中心部は「デパート」が3割程度みられ、他の地区を上回っている。

【最も多く利用する買い物場所の店舗形態 子供服】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・S C	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答	
全体		981	14.1	3.2	63.0	0.2	0.2	0.3	2.8	12.9	0.8	2.5	
性別	男性	325	12.9	4.3	55.4	-	0.6	0.6	3.7	18.5	0.9	3.1	
	女性	645	14.6	2.6	66.7	0.3	-	0.2	2.3	10.2	0.8	2.3	
	無回答	11	18.2	-	72.7	-	-	-	-	9.1	-	-	
年齢別	20代	66	15.2	3.0	50.0	1.5	-	-	1.5	25.8	-	3.0	
	30代	206	10.7	2.4	68.0	0.5	0.5	0.5	2.4	14.1	0.5	0.5	
	40代	241	13.3	2.1	67.2	-	-	-	3.3	11.2	0.4	2.5	
	50代	159	12.6	2.5	63.5	-	0.6	-	3.8	15.1	1.3	0.6	
	60代	215	16.3	6.0	60.9	-	-	0.5	1.9	8.8	1.9	3.7	
	70歳以上	87	20.7	1.1	55.2	-	-	1.1	3.4	11.5	-	6.9	
	無回答	7	14.3	14.3	42.9	-	-	-	-	14.3	-	14.3	
居住地別	中心部	165	34.5	1.2	45.5	0.6	-	-	1.2	13.3	0.6	3.0	
	南大分	100	8.0	5.0	65.0	-	-	-	2.0	16.0	1.0	3.0	
	城東・明野・滝尾・原川	205	12.7	4.9	63.9	0.5	1.0	1.0	2.9	11.2	-	2.0	
	鶴崎	156	9.0	2.6	71.8	-	-	-	1.9	14.1	0.6	-	
	大南	63	9.5	3.2	65.1	-	-	1.6	4.8	14.3	-	1.6	
	穂田・野津原	191	6.8	3.7	71.2	-	-	-	2.6	11.0	1.6	3.1	
	大在・坂ノ市・佐賀関	96	13.5	1.0	58.3	-	-	-	6.3	12.5	2.1	6.3	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	5	20.0	-	40.0	-	-	-	-	40.0	-	-	

最も多く利用する場所×店舗形態

最も多く利用する場所別に店舗形態をみると、大分市中央地区は「デパート」が最も高い。南大分地区は「総合スーパー・SC」と「専門店」が同程度で多い。その他の地区は「総合スーパー・SC」が最も高くなっている。

(なお、大分市西部地区は「専門店」が53.8%と高いものの、サンプル数が少ないため、ここでは参考扱いとする)

【最も多く利用する買い物場所×店舗形態 子供服】

		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		981	14.1	3.2	63.0	0.2	0.2	0.3	2.8	12.9	0.8	2.5
最も多く利用する買い物場所別	大分市中央地区	144	72.9	2.1	12.5	-	-	-	-	9.0	-	3.5
	大分市西部地区	13	7.7	-	30.8	-	-	-	7.7	53.8	-	-
	南大分地区	56	5.4	8.9	30.4	-	1.8	1.8	8.9	32.1	1.8	8.9
	滝尾地区	6	-	16.7	83.3	-	-	-	-	-	-	-
	城東・原川地区	41	4.9	12.2	63.4	-	2.4	2.4	2.4	12.2	-	-
	明野地区	206	3.4	2.4	79.1	-	-	-	1.0	13.1	0.5	0.5
	鶴崎地区	114	-	1.8	84.2	-	-	0.9	4.4	8.8	-	-
	大南地区	17	-	5.9	76.5	-	-	-	5.9	5.9	-	5.9
	植田地区	311	5.5	2.6	76.5	0.3	-	-	2.3	10.3	1.3	1.3
	大在地区	37	-	2.7	37.8	-	-	-	13.5	24.3	2.7	18.9
	坂ノ市地区	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0
	佐賀関地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	野津原地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
別府市	6	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
その他の市町村	28	10.7	-	60.7	3.6	-	-	-	17.9	3.6	3.6	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

靴

多く利用する場所

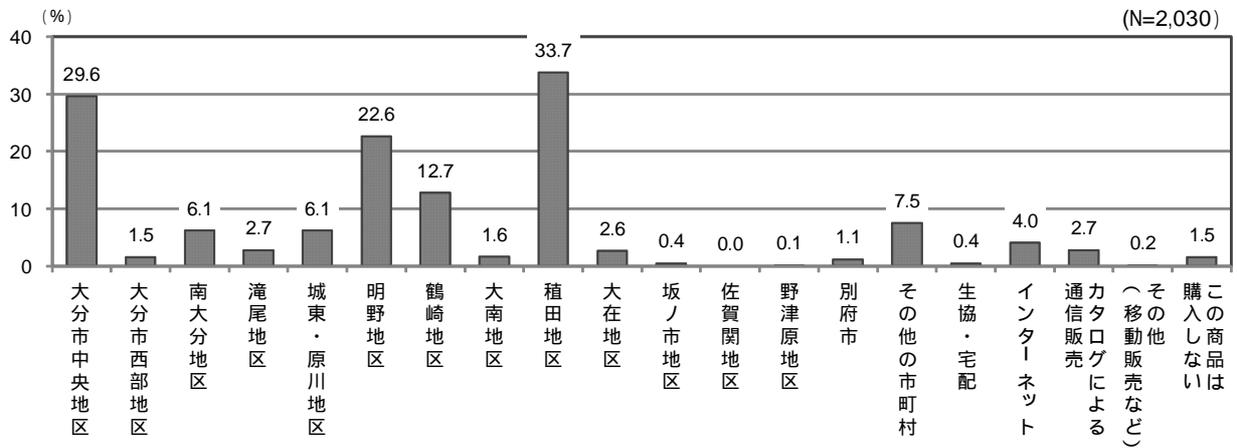
多く利用する買い物場所について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「植田地区」(33.7%)が最も高く、次いで「大分市中央地区」(29.6%)、「明野地区」(22.6%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高いものの、女性は「大分市中央地区」が男性よりも1割程度上回っている。

年齢別にみると、50代までは「植田地区」が最も高く、60代以上は「大分市中央地区」が最も高くなっている。

居住地別にみると、大南地区及び南大分地区以外は、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。なお、大南地区は「植田地区」が4割程度みられるほか、南大分地区も「植田地区」が5割以上みられる。

【多く利用する買い物場所(1番目+2番目) 靴】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	信販	カタログによる通	その他(モバイル販売など)	この商品は購入しない	無回答
全体	2,030	29.6	1.5	6.1	2.7	6.1	22.6	12.7	1.6	33.7	2.6	0.4	0.0	0.1	1.1	7.5	0.4	4.0	2.7	0.2	1.5	14.9	
性別																							
男性	708	23.6	2.5	7.3	3.7	7.6	24.0	13.3	1.6	32.2	1.8	0.3	0.1	0.1	0.3	6.9	0.4	3.5	0.7	-	1.8	17.4	
女性	1,284	33.1	0.9	5.6	2.2	5.4	22.1	12.3	1.7	34.7	3.0	0.5	-	0.1	1.6	7.9	0.4	4.4	3.7	0.4	1.2	13.0	
無回答	38	23.7	-	-	-	2.6	13.2	13.2	-	31.6	5.3	-	-	-	-	5.3	-	2.6	2.6	-	2.6	31.6	
年齢別																							
20代	173	29.5	1.7	7.5	2.9	3.5	18.5	15.0	2.3	36.4	0.6	-	-	0.6	2.9	11.6	-	11.0	2.9	0.6	1.7	8.7	
30代	315	28.3	1.3	3.5	3.2	5.1	25.1	16.8	1.3	45.7	2.5	-	-	-	1.3	14.0	0.3	10.5	3.5	-	2.2	5.1	
40代	378	25.9	1.9	4.8	4.5	7.4	26.5	19.0	2.1	37.6	4.0	0.5	0.3	-	1.1	9.3	0.3	6.1	4.2	0.3	0.5	7.1	
50代	334	33.8	2.4	6.9	3.0	7.2	26.0	11.1	0.6	35.6	3.6	0.6	-	-	1.8	7.8	0.6	1.8	2.7	-	1.2	8.4	
60代	477	32.5	1.0	6.7	1.9	6.7	23.1	9.6	1.9	31.0	2.3	0.2	-	0.2	0.4	4.2	0.4	0.2	1.5	0.4	1.9	17.6	
70歳以上	334	26.9	0.9	7.8	0.9	5.1	14.4	6.3	1.8	18.6	1.8	1.2	-	-	0.3	1.8	0.6	-	1.2	-	1.5	38.3	
無回答	19	26.3	-	5.3	-	5.3	15.8	10.5	-	36.8	-	-	-	-	-	10.5	-	-	10.5	5.3	-	21.1	
居住地別																							
中心部	374	56.1	6.4	7.0	1.9	1.1	8.6	1.1	1.1	30.2	-	-	-	0.3	3.5	11.5	0.3	4.3	2.7	0.5	1.3	15.0	
南大分	194	26.8	-	25.8	1.0	1.0	7.2	0.5	-	54.1	0.5	-	-	-	1.0	7.2	0.5	3.6	3.6	-	2.1	13.9	
城東・明野・滝尾・原川	426	24.6	0.2	1.9	9.2	22.3	41.5	10.8	0.7	15.5	-	-	-	-	0.5	5.6	-	4.5	1.6	0.5	1.6	14.3	
鶴崎	295	17.6	-	0.7	1.0	4.1	41.4	45.8	1.7	8.1	1.0	-	-	-	-	3.1	-	4.7	3.4	-	1.0	16.6	
大南	119	23.5	-	3.4	0.8	-	30.3	16.8	9.2	43.7	-	0.8	-	-	0.8	10.1	3.4	3.4	0.8	-	-	12.6	
植田・野津原	398	25.4	0.5	8.0	0.3	0.5	4.8	1.0	1.3	74.9	0.8	-	-	0.3	0.8	8.8	0.5	2.5	2.0	0.3	2.0	12.8	
大在・坂ノ市・佐賀閑	207	24.2	1.4	1.0	0.5	3.9	27.5	21.7	2.4	10.1	22.2	3.9	0.5	-	0.5	6.8	-	5.8	4.8	-	1.4	17.9	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	17	17.6	-	-	-	5.9	11.8	11.8	-	35.3	-	-	-	-	-	11.8	-	-	5.9	-	-	35.3	

多く利用する場所の店舗形態

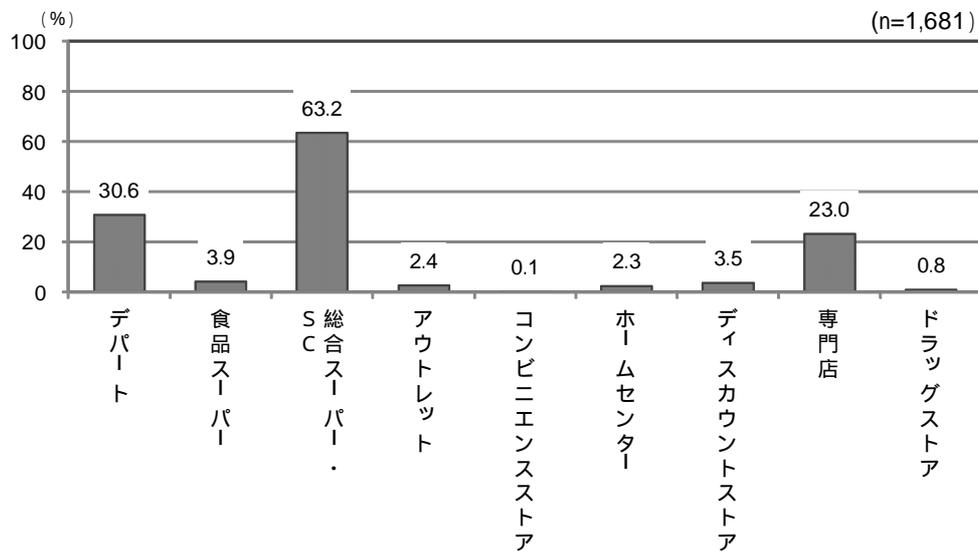
多く利用する場所の店舗形態について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「総合スーパー・SC」(63.2%)が最も高く、次いで「デパート」(30.6%)、「専門店」(23.0%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「総合スーパー・SC」が最も高い。なお、女性は「デパート」が男性よりも1割程度上回っている一方、男性は「専門店」が女性よりも1割程度上回っている。

年齢別にみると、いずれの年代も「総合スーパー・SC」が最も高いものの、30代以降は年代が上がるにつれて「デパート」の割合が高くなっている。

居住地別にみると、いずれの地区も「総合スーパー・SC」が最も高い、なお、中心部は「デパート」が5割程度みられ、他の地区を上回っている。

【多く利用する買い物場所の店舗形態(1番目+2番目) 靴】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1681	30.6	3.9	63.2	2.4	0.1	2.3	3.5	23.0	0.8	2.6
性別	男性	567	20.5	5.3	56.3	2.8	0.4	4.8	5.6	32.6	1.2	3.0
	女性	1089	36.3	3.2	66.9	2.3	-	1.0	2.5	17.8	0.6	2.5
	無回答	25	12.0	4.0	64.0	-	-	4.0	-	28.0	-	-
年齢別	20代	148	26.4	2.7	59.5	5.4	-	2.0	2.0	29.7	0.7	2.7
	30代	289	25.3	2.4	66.4	4.5	0.3	1.4	4.8	25.6	0.3	0.7
	40代	342	26.6	3.5	68.4	3.2	-	1.8	2.9	23.7	-	2.0
	50代	303	33.0	3.6	65.3	1.3	0.3	3.3	4.3	19.1	1.0	1.0
	60代	385	33.5	5.7	60.3	0.8	-	2.6	2.3	23.1	2.1	3.1
	70歳以上	200	40.0	4.0	55.0	1.0	-	3.0	5.0	19.0	0.5	7.5
	無回答	14	14.3	14.3	64.3	-	-	-	-	14.3	-	7.1
居住地別	中心部	311	51.1	2.3	53.1	3.9	-	1.3	3.2	20.9	0.6	2.3
	南大分	163	29.4	3.7	68.7	2.5	-	2.5	3.1	22.7	0.6	0.6
	城東・明野・滝尾・原川	354	28.2	5.1	57.3	2.8	0.6	5.4	5.1	26.3	0.3	2.5
	鶴崎	236	22.0	3.4	67.8	0.8	-	0.4	2.5	27.1	1.3	2.5
	大南	103	24.3	3.9	72.8	-	-	1.9	1.9	18.4	1.0	3.9
	植田・野津原	339	24.5	4.7	68.7	3.8	-	0.9	3.2	18.6	1.5	2.9
	大在・坂ノ市・佐賀関	164	28.0	3.7	65.2	-	-	3.0	4.3	26.2	0.6	4.3
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	11	9.1	9.1	72.7	-	-	9.1	-	18.2	-	-	

最も多く利用する場所

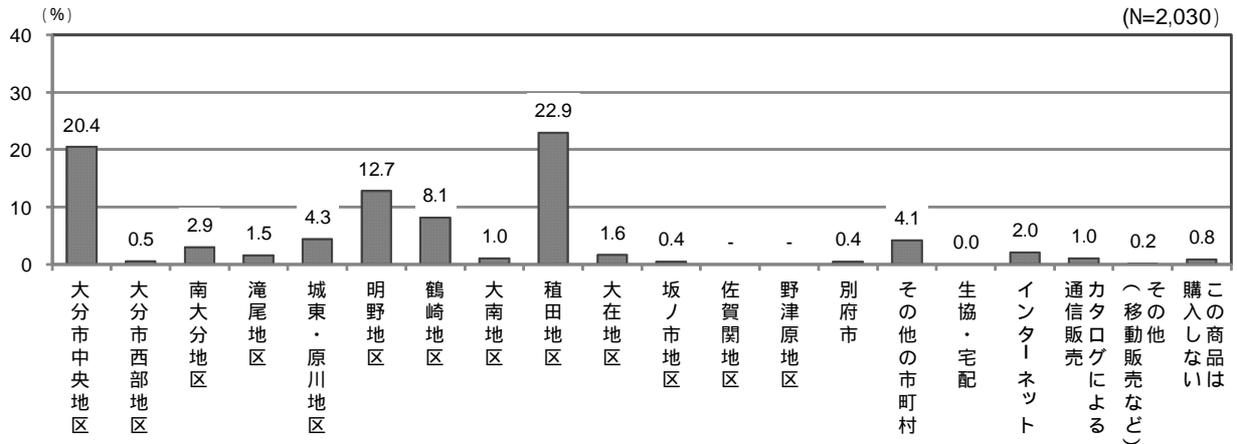
最も多く利用する買い物場所をみると、「植田地区」(22.9%)が最も高く、次いで「大分市中央地区」(20.4%)、「明野地区」(12.7%)の順となっている。

性別にみると、男性は「植田地区」が最も高く、女性は「大分市中央地区」が最も高い。

年齢別にみると、20～40代及び60代は「植田地区」が最も高い。なお、50代以上は「大分市中央地区」が2割程度みられる。

居住地別にみると、大南地区及び南大分地区以外は、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。なお、大南地区は「植田地区」が3割程度みられるほか、南大分地区も「植田地区」が4割程度みられる。

【最も多く利用する買い物場所 靴】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は購入しない	無回答
全体	2030	20.4	0.5	2.9	1.5	4.3	12.7	8.1	1.0	22.9	1.6	0.4	-	-	0.4	4.1	0.0	2.0	1.0	0.2	0.2	0.8	15.3	
性別																								
男性	708	15.5	1.1	3.5	2.3	5.5	12.4	7.8	1.0	23.4	1.3	0.3	-	-	-	4.0	-	2.3	0.3	-	1.3	18.1		
女性	1284	23.1	0.2	2.6	1.1	3.7	13.0	8.2	1.0	22.7	1.6	0.5	-	-	0.6	4.2	0.1	1.9	1.5	0.3	0.5	13.2		
無回答	38	18.4	-	-	-	2.6	5.3	10.5	-	18.4	5.3	-	-	-	-	5.3	-	-	-	-	2.6	31.6		
年齢別																								
20代	173	16.8	1.2	3.5	0.6	2.3	8.7	12.1	0.6	23.7	0.6	-	-	-	0.6	9.2	-	6.4	1.2	0.6	1.7	10.4		
30代	315	18.1	0.3	1.0	1.3	3.8	14.3	10.8	1.0	28.6	0.6	-	-	-	0.6	7.3	-	4.8	1.3	-	1.3	5.1		
40代	378	17.7	0.5	2.4	2.4	5.8	11.9	12.2	1.6	25.4	2.4	0.5	-	-	0.8	4.5	-	2.9	1.3	0.3	-	7.4		
50代	334	24.9	0.9	4.2	2.1	5.1	15.0	6.0	-	24.0	2.1	0.6	-	-	0.3	4.2	-	0.6	1.2	-	0.6	8.4		
60代	477	21.6	0.4	2.7	1.5	4.2	14.3	6.1	1.3	24.1	1.9	0.2	-	-	0.2	1.7	-	0.2	0.8	0.2	0.8	17.8		
70歳以上	334	21.3	-	3.6	0.6	3.3	9.9	3.6	1.2	11.4	1.2	1.2	-	-	-	1.5	0.3	-	0.6	-	1.2	39.2		
無回答	19	21.1	-	5.3	-	5.3	5.3	10.5	-	21.1	-	-	-	-	-	5.3	-	-	-	5.3	-	21.1		
居住地別																								
中心部	374	46.5	2.4	3.2	1.1	0.3	2.1	0.5	0.8	16.3	-	-	-	-	1.9	6.4	-	1.6	0.5	0.3	0.8	15.2		
南大分	194	17.0	-	18.6	-	0.5	3.1	-	-	39.2	-	-	-	-	-	3.6	-	1.5	2.1	-	-	0.5	13.9	
城東・明野・滝尾・原川	426	14.6	-	0.5	5.4	17.4	28.4	5.6	0.5	5.4	-	-	-	-	-	3.5	-	2.1	0.2	0.5	1.2	14.8		
鶴崎	295	12.2	-	-	0.3	2.0	24.7	31.9	1.4	2.4	-	-	-	-	-	2.7	-	3.1	1.7	-	0.7	16.9		
大南	119	16.0	-	0.8	0.8	-	12.6	9.2	6.7	29.4	-	0.8	-	-	-	6.7	0.8	0.8	0.8	-	-	14.3		
植田・野津原	398	12.8	-	1.8	-	0.5	0.8	0.3	0.3	63.6	0.5	-	-	-	-	2.8	-	1.8	0.5	0.3	1.0	13.3		
大在・坂ノ市・佐賀閑	207	17.9	0.5	-	0.5	1.0	14.5	14.5	1.0	2.9	14.5	3.9	-	-	0.5	4.3	-	2.4	2.9	-	1.0	17.9		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	11.8	-	-	-	5.9	5.9	11.8	-	17.6	-	-	-	-	-	11.8	-	-	-	-	-	-	35.3	

最も多く利用する場所の店舗形態

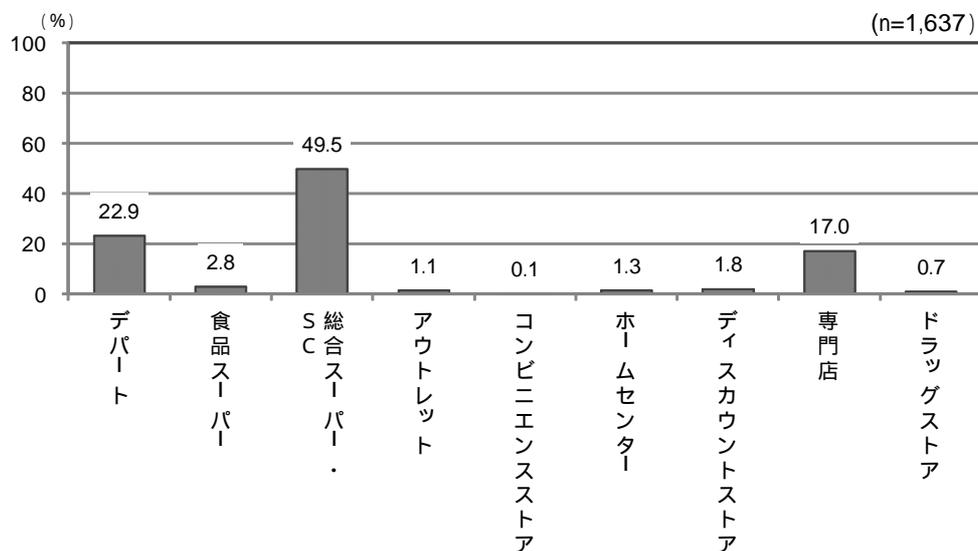
最も多く利用する場所の店舗形態をみると、「総合スーパー・S C」(49.5%)が最も高く、次いで「デパート」(22.9%)、「専門店」(17.0%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「総合スーパー・S C」が最も高い。なお、女性は「デパート」が男性よりも1割程度上回っている一方、男性は「専門店」が女性よりも1割程度上回っている。

年齢別にみると、いずれの年代も「総合スーパー・S C」が最も高い。なお、20代は「専門店」が2割を超えて他の年代よりも上回っているほか、70歳以上は「デパート」が3割を超えて他の年代よりも上回っている。

居住地別にみると、中心部以外は「総合スーパー・S C」が最も高い。なお、中心部は「デパート」が4割以上みられ、他の地区を上回っている。

【最も多く利用する買い物場所の店舗形態 靴】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・S C	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1,637	22.9	2.8	49.5	1.1	0.1	1.3	1.8	17.0	0.7	2.7
性別	男性	553	15.6	4.2	42.5	1.4	0.4	2.7	3.8	25.7	1.3	2.5
	女性	1,059	27.0	2.2	52.9	0.9	-	0.7	0.8	12.3	0.4	2.8
	無回答	25	12.0	-	60.0	-	-	-	-	28.0	-	-
年齢別	20代	138	21.0	2.2	47.1	1.4	-	0.7	-	25.4	0.7	1.4
	30代	276	18.1	2.5	54.3	2.5	0.4	0.7	1.8	18.5	0.4	0.7
	40代	333	18.6	2.1	55.6	1.5	-	0.9	0.9	17.7	-	2.7
	50代	298	25.2	1.7	50.7	-	0.3	2.3	3.7	14.4	0.7	1.0
	60代	382	24.6	4.5	46.3	0.8	-	1.8	1.3	15.4	1.8	3.4
	70歳以上	196	32.1	3.1	37.8	0.5	-	1.0	3.1	15.3	-	7.1
	無回答	14	14.3	7.1	57.1	-	-	-	-	14.3	-	7.1
居住地別	中心部	305	45.6	1.6	30.8	2.0	-	0.3	1.3	15.7	0.3	2.3
	南大分	159	20.1	3.1	54.7	0.6	-	1.3	2.5	16.4	0.6	0.6
	城東・明野・滝尾・原川	346	18.8	3.8	48.3	2.0	0.6	3.2	1.7	18.8	0.3	2.6
	鶴崎	229	15.7	2.6	55.0	0.4	-	0.4	1.3	21.4	0.9	2.2
	大南	99	17.2	3.0	60.6	-	-	1.0	2.0	13.1	-	3.0
	植田・野津原	331	15.4	3.3	58.6	0.9	-	0.3	2.7	13.6	1.5	3.6
	大在・坂ノ市・佐賀関	157	21.7	1.9	47.8	-	-	2.5	1.3	19.7	0.6	4.5
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	11	9.1	-	63.6	-	-	9.1	-	18.2	-	-	

最も多く利用する場所×店舗形態

最も多く利用する場所別に店舗形態をみると、大分市中央地区は「デパート」が最も高い。その他の地区は「総合スーパー・SC」が最も高くなっている。

(なお、滝尾地区と坂ノ市地区は「専門店」が最も高いものの、いずれもサンプル数が少ないため、ここでは参考扱いとする)

【最も多く利用する買い物場所×店舗形態 靴】

		(%)										
		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1637	22.9	2.8	49.5	1.1	0.1	1.3	1.8	17.0	0.7	2.7
最も多く利用する買い物場所別	大分市中央地区	414	71.7	1.7	7.7	0.2	-	0.2	0.2	15.9	0.2	1.9
	大分市西部地区	10	-	20.0	50.0	-	-	10.0	10.0	10.0	-	-
	南大分地区	58	5.2	5.2	46.6	-	1.7	1.7	8.6	24.1	3.4	3.4
	滝尾地区	30	3.3	3.3	16.7	-	-	3.3	6.7	56.7	3.3	6.7
	城東・原川地区	87	8.0	5.7	42.5	-	1.1	9.2	1.1	28.7	-	3.4
	明野地区	257	7.0	3.5	75.9	-	-	0.8	0.8	10.1	0.4	1.6
	鶴崎地区	164	0.6	0.6	63.4	0.6	-	1.8	1.8	28.0	0.6	2.4
	大南地区	20	-	10.0	70.0	-	-	5.0	-	-	-	15.0
	植田地区	464	5.0	2.8	73.9	0.4	-	-	2.4	12.3	0.9	2.4
	大在地区	32	3.1	3.1	50.0	-	-	9.4	3.1	21.9	3.1	6.3
	坂ノ市地区	9	-	-	22.2	-	-	-	-	55.6	-	22.2
	佐賀関地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	野津原地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	別府市	8	37.5	-	50.0	-	-	-	-	12.5	-	-
その他の市町村	84	25.0	2.4	31.0	16.7	-	1.2	3.6	16.7	-	3.6	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

アクセサリー・時計

多く利用する場所

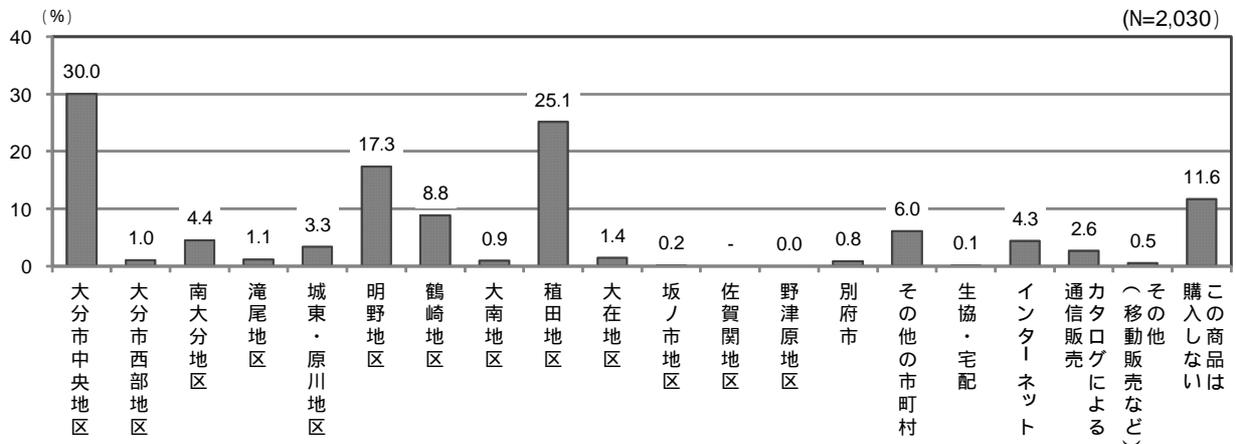
多く利用する買い物場所について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「大分市中央地区」(30.0%)が最も高く、次いで「植田地区」(25.1%)、「明野地区」(17.3%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「大分市中央地区」が最も高い。

年齢別にみると、30代以外は「大分市中央地区」が最も高い。なお、30代は「大分市中央地区」と「植田地区」が同程度となっている。

居住地別にみると、南大分地区、鶴崎地区、大南地区、大在・坂ノ市・佐賀関地区以外は、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。なお、南大分地区は「植田地区」が3割以上みられるほか、大南地区も「植田地区」が3割程度みられる。鶴崎地区は「明野地区」が3割程度みられる。大在・坂ノ市・佐賀関地区は「大分市中央地区」が約3割で最も高くなっている。

【多く利用する買い物場所(1番目+2番目) アクセサリー・時計】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀関地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は購入しない	無回答
全体	2,030	30.0	1.0	4.4	1.1	3.3	17.3	8.8	0.9	25.1	1.4	0.2	-	0.0	0.8	6.0	0.1	4.3	2.6	0.5	11.6	22.3		
性別																								
男性	708	25.4	1.6	6.1	1.6	3.7	17.2	9.0	0.8	23.0	2.0	0.3	-	0.1	0.1	5.6	0.3	4.5	1.6	0.1	10.5	26.6		
女性	1,284	32.6	0.8	3.7	0.9	3.1	17.5	8.7	0.9	26.2	1.2	0.2	-	-	1.2	6.1	0.1	4.3	3.2	0.7	12.5	19.3		
無回答	38	26.3	-	-	-	-	10.5	7.9	-	23.7	-	-	-	-	7.9	-	-	2.6	-	-	2.6	42.1		
年齢別																								
20代	173	31.8	0.6	5.2	1.7	1.7	13.3	12.1	1.2	27.2	-	-	-	-	2.3	12.7	-	11.0	1.2	0.6	15.0	11.6		
30代	315	32.1	1.0	2.9	1.3	2.9	18.1	12.1	1.0	33.3	1.9	0.6	-	-	1.3	9.8	0.3	11.1	2.5	0.3	16.5	8.6		
40代	378	27.5	1.3	4.0	2.4	4.2	20.6	12.7	1.6	25.1	2.4	0.3	-	-	0.5	5.3	-	5.6	4.5	0.5	18.0	11.6		
50代	334	33.5	2.1	4.5	0.9	3.6	21.3	9.3	0.3	28.7	2.1	-	-	-	1.2	7.8	0.3	2.4	2.7	0.3	9.9	15.3		
60代	477	30.8	0.6	5.0	0.6	3.8	17.4	5.2	0.8	23.9	0.8	0.2	-	0.2	0.4	3.6	0.2	0.8	2.9	0.8	7.1	28.3		
70歳以上	334	25.1	0.6	5.1	0.3	2.4	11.1	4.5	0.6	14.1	0.9	-	-	-	0.3	0.6	-	-	0.6	-	6.3	50.6		
無回答	19	26.3	-	5.3	-	-	10.5	5.3	-	26.3	-	-	-	-	15.8	-	-	5.3	-	5.3	5.3	31.6		
居住地別																								
中心部	374	48.4	4.5	5.1	0.5	1.1	5.9	0.8	0.8	23.5	-	-	-	-	3.2	9.4	-	4.5	3.2	0.8	11.0	20.1		
南大分	194	28.9	-	17.5	0.5	1.0	5.7	1.0	-	38.7	1.0	-	-	-	-	3.6	-	3.1	4.1	-	13.9	20.6		
城東・明野・滝尾・原川	426	28.2	0.2	2.1	3.8	11.5	31.5	8.2	0.9	10.3	0.2	-	-	-	0.7	5.6	-	4.7	1.2	1.2	10.6	23.5		
鶴崎	295	22.4	-	0.7	0.3	2.4	33.6	31.5	0.7	7.1	1.4	-	-	-	-	4.1	-	5.1	2.7	-	10.2	22.0		
大南	119	17.6	-	3.4	0.8	-	25.2	11.8	3.4	31.9	-	-	-	-	-	7.6	0.8	5.9	0.8	-	15.1	20.2		
植田・野津原	398	25.9	0.3	5.5	0.3	-	3.3	0.5	0.8	55.5	0.8	-	-	0.3	0.5	4.8	0.5	2.3	2.8	0.5	12.3	21.4		
大在・坂ノ市・佐賀関	207	28.0	1.0	-	0.5	1.9	19.8	13.5	1.0	8.2	9.2	1.9	-	-	-	5.8	-	6.3	3.4	-	11.6	27.1		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	17.6	-	-	-	-	5.9	11.8	-	29.4	-	-	-	-	-	17.6	-	5.9	-	-	5.9	41.2		

多く利用する場所の店舗形態

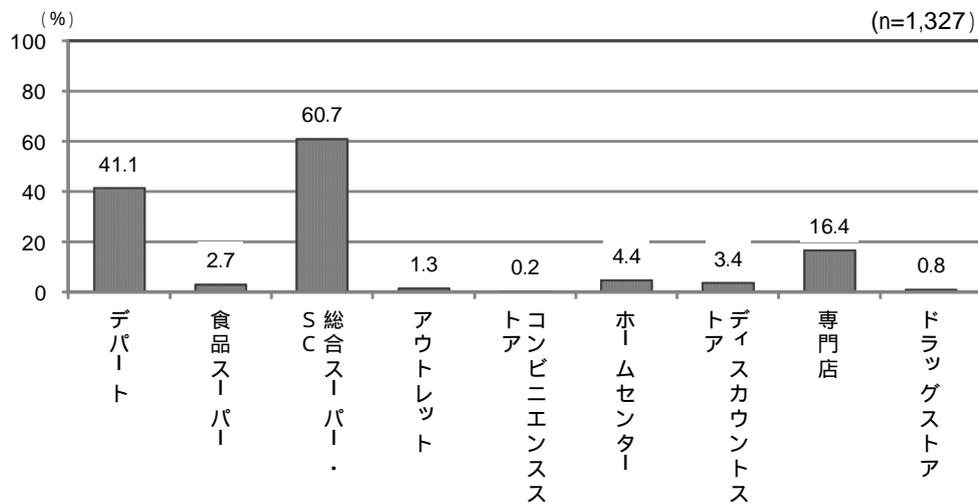
多く利用する場所の店舗形態について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「総合スーパー・SC」(60.7%)が最も高く、次いで「デパート」(41.1%)、「専門店」(16.4%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「総合スーパー・SC」が最も高い。なお、女性は「デパート」が男性よりも1割程度上回っている一方、男性は「専門店」が女性よりも1割程度上回っている。

年齢別にみると、70歳以上以外は「総合スーパー・SC」が最も高い。なお、70歳以上は「デパート」と「総合スーパー・SC」が同程度となっている。

居住地別にみると、中心部以外は「総合スーパー・SC」が最も高い、なお、中心部は「デパート」(59.4%)が約5割程度みられ、他の地区を上回っている。

【多く利用する買い物場所の店舗形態(1番目+2番目) アクセサリー・時計】



	サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	デイスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体	1327	41.1	2.7	60.7	1.3	0.2	4.4	3.4	16.4	0.8	2.5
性別											
男性	440	30.5	4.1	53.4	1.4	0.5	7.3	5.9	25.0	1.1	3.4
女性	866	46.5	2.1	64.5	1.3	0.1	2.9	2.2	12.1	0.6	2.1
無回答	21	42.9	-	57.1	-	-	4.8	-	14.3	-	-
年齢別											
20代	124	35.5	1.6	59.7	3.2	-	1.6	2.4	20.2	-	3.2
30代	236	40.7	1.7	66.9	1.7	0.4	2.1	5.1	12.7	0.4	1.3
40代	256	39.8	2.0	68.8	1.6	-	5.1	3.9	15.2	-	1.6
50代	252	38.9	3.2	61.5	2.0	0.4	3.2	4.4	15.5	1.2	1.6
60代	302	43.0	3.6	54.0	-	0.3	5.6	1.0	19.2	1.7	3.3
70歳以上	145	50.3	3.4	49.7	-	-	8.3	4.1	18.6	0.7	4.1
無回答	12	25.0	8.3	66.7	-	-	8.3	-	-	-	16.7
居住地別											
中心部	254	59.4	2.4	45.7	2.0	-	2.4	3.5	17.7	0.8	2.0
南大分	126	38.1	2.4	66.7	0.8	-	4.8	2.4	21.4	0.8	1.6
城東・明野・滝尾・原川	281	40.9	5.0	58.7	1.4	0.7	6.0	3.2	16.0	-	2.8
鶴崎	194	33.5	2.6	69.6	1.0	-	4.1	3.1	18.0	1.0	2.1
大南	75	21.3	1.3	69.3	-	-	4.0	-	16.0	1.3	4.0
植田・野津原	264	35.6	2.7	66.3	1.9	0.4	3.0	3.8	12.9	1.5	2.3
大在・坂ノ市・佐賀関	123	43.9	-	56.9	-	-	7.3	6.5	16.3	-	4.1
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	10	30.0	-	90.0	-	-	10.0	-	-	-	-

最も多く利用する場所

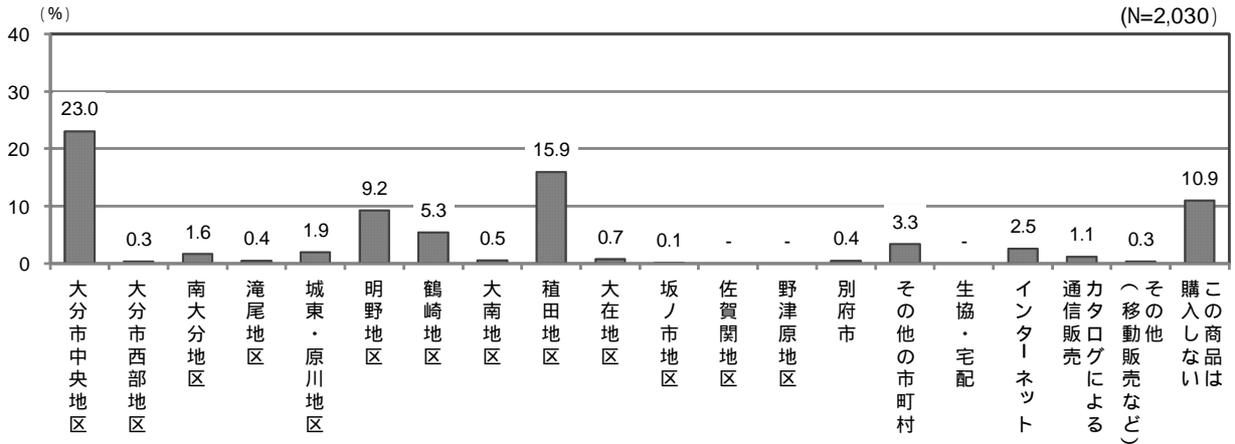
最も多く利用する買い物場所をみると、「大分市中央地区」(23.0%)が最も高く、次いで「植田地区」(15.9%)、「明野地区」(9.2%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「大分市中央地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「大分市中央地区」が最も高い。

居住地別にみると、中心部、鶴崎地区及び植田・野津原地区は、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっているが、南大分地区及び大南地区は「植田地区」が2割程度みられるほか、城東・明野・滝尾・原川地区及び大在・坂ノ市・佐賀関地区は「大分市中央地区」が2割程度みられる。

【最も多く利用する買い物場所 アクセサリー・時計】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀関地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は	無回答
全体	2030	23.0	0.3	1.6	0.4	1.9	9.2	5.3	0.5	15.9	0.7	0.1	-	-	0.4	3.3	-	2.5	1.1	0.3	10.9	22.6		
性別																								
男性	708	18.9	0.4	2.5	0.6	2.0	8.3	4.4	0.7	16.8	1.3	0.1	-	-	-	3.2	-	3.4	0.7	-	9.6	27.0		
女性	1,284	25.2	0.2	1.1	0.4	1.9	9.8	5.8	0.4	15.4	0.5	0.2	-	-	0.6	3.2	-	2.1	1.3	0.5	11.9	19.6		
無回答	38	23.7	-	-	-	-	5.3	5.3	-	15.8	-	-	-	-	-	5.3	-	-	-	-	2.6	42.1		
年齢別																								
20代	173	23.7	-	1.7	0.6	1.2	6.9	7.5	0.6	15.0	-	-	-	-	0.6	8.7	-	6.4	0.6	-	14.5	12.1		
30代	315	22.5	0.3	1.0	0.3	1.9	9.8	8.3	0.3	16.8	0.6	0.3	-	-	0.3	5.7	-	7.0	0.6	-	15.2	8.9		
40代	378	19.8	0.5	1.6	1.3	2.9	10.1	7.4	1.1	16.4	1.1	0.3	-	-	0.5	2.6	-	3.2	1.6	0.3	17.7	11.6		
50代	334	27.5	0.3	1.8	0.3	2.4	9.9	5.4	-	19.8	1.5	-	-	-	0.3	4.5	-	1.2	0.9	0.3	8.7	15.3		
60代	477	23.3	0.4	1.7	0.2	1.7	9.9	3.1	0.6	17.6	0.6	0.2	-	-	0.4	1.0	-	0.4	1.9	0.6	6.9	29.4		
70歳以上	334	21.3	-	1.5	-	0.9	7.5	2.1	0.3	8.4	0.3	-	-	-	0.3	0.6	-	-	0.3	-	6.0	50.6		
無回答	19	26.3	-	5.3	-	-	5.3	-	-	21.1	-	-	-	-	-	5.3	-	-	-	-	5.3	-	31.6	
居住地別																								
中心部	374	42.0	1.6	1.6	-	0.5	1.3	0.5	0.8	10.4	-	-	-	-	1.9	4.8	-	2.4	1.1	0.5	10.4	20.1		
南大分	194	21.1	-	9.8	-	0.5	2.6	-	-	24.7	0.5	-	-	-	-	3.1	-	2.1	2.1	-	12.9	20.6		
城東・明野・滝尾・原川	426	21.1	-	0.5	1.9	7.7	20.0	4.5	0.5	3.8	0.2	-	-	-	-	2.8	-	2.8	0.5	0.5	9.9	23.5		
鶴崎	295	16.9	-	-	-	0.7	19.7	19.7	0.3	2.4	-	-	-	-	-	3.4	-	3.4	1.0	-	9.8	22.7		
大南	119	14.3	-	-	-	-	10.9	6.7	2.5	21.0	-	-	-	-	-	5.9	-	2.5	-	-	15.1	21.0		
植田・野津原	398	14.3	-	1.3	-	-	0.8	0.3	-	44.7	0.5	-	-	-	0.3	0.8	-	1.5	1.3	0.5	11.6	22.4		
大在・坂ノ市・佐賀関	207	24.6	-	-	0.5	-	8.2	8.7	0.5	3.4	5.3	1.4	-	-	-	3.9	-	3.4	1.9	-	11.1	27.1		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	17.6	-	-	-	-	5.9	5.9	-	17.6	-	-	-	-	-	11.8	-	-	-	-	-	-	41.2	

最も多く利用する場所の店舗形態

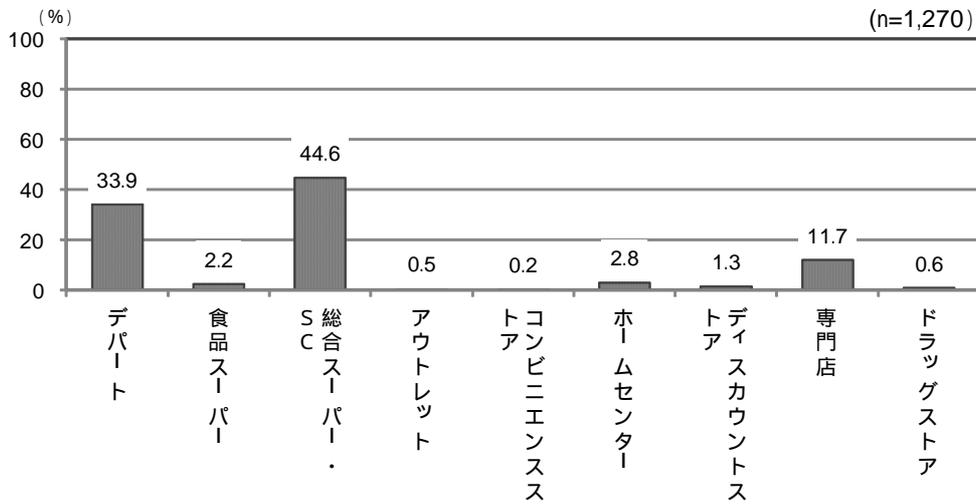
最も多く利用する場所の店舗形態をみると、「総合スーパー・S C」(44.6%)が最も高く、次いで「デパート」(33.9%)、「専門店」(11.7%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「総合スーパー・S C」が最も高い。なお、女性は「デパート」が男性よりも1割程度上回っている一方、男性は「専門店」が女性よりも1割程度上回っている。

年齢別にみると、70歳以上以外は「総合スーパー・S C」が最も高い。なお、70歳以上は「デパート」が4割を超えて他の年代よりも上回っている。

居住地別にみると、中心部及び大在・坂ノ市・佐賀関地区以外は「総合スーパー・S C」が最も高い。なお、中心部は「デパート」が5割以上、大在・坂ノ市・佐賀関地区は「デパート」が約4割となっている。

【最も多く利用する買い物場所の店舗形態 アクセサリー・時計】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・S C	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	デパート	専門店	ドラッグストア	無回答	
全体		1,270	33.9	2.2	44.6	0.5	0.2	2.8	1.3	11.7	0.6	2.2	
性別	男性	420	24.3	3.3	40.0	0.5	0.5	5.2	3.6	18.8	1.2	2.6	
	女性	829	38.5	1.7	46.9	0.5	-	1.7	0.2	8.1	0.4	2.1	
	無回答	21	42.9	-	42.9	-	-	-	-	14.3	-	-	
年齢別	20代	115	31.3	1.7	45.2	0.9	-	-	1.7	17.4	-	1.7	
	30代	215	33.5	1.9	50.2	1.4	0.5	2.3	0.9	7.9	0.5	0.9	
	40代	248	29.8	2.0	51.6	-	-	2.8	1.2	10.5	-	2.0	
	50代	246	32.9	1.6	45.9	0.8	0.4	2.4	3.3	10.2	0.8	1.6	
	60代	290	34.8	3.1	40.0	-	-	4.5	-	13.4	1.7	2.4	
	70歳以上	144	43.8	2.1	29.9	-	-	3.5	1.4	15.3	-	4.2	
	無回答	12	25.0	8.3	50.0	-	-	-	-	-	-	16.7	
居住地別	中心部	245	54.3	1.6	25.3	-	-	1.6	1.6	13.5	0.4	1.6	
	南大分	121	28.1	1.7	47.1	0.8	-	4.1	-	15.7	0.8	1.7	
	城東・明野・滝尾・原川	268	32.5	4.5	44.0	1.1	0.7	3.7	0.7	9.7	-	3.0	
	鶴崎	186	26.9	2.2	53.8	0.5	-	1.6	1.1	11.8	1.1	1.1	
	大南	73	20.5	1.4	58.9	-	-	2.7	-	13.7	-	2.7	
	穂田・野津原	250	25.2	2.0	54.8	0.4	-	2.0	2.4	9.2	1.6	2.4	
	大在・坂ノ市・佐賀関	117	38.5	-	35.9	-	-	6.0	2.6	13.7	-	3.4	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	10	30.0	-	70.0	-	-	-	-	-	-	-	

最も多く利用する場所×店舗形態

最も多く利用する場所別に店舗形態をみると、大分市中央地区は「デパート」が最も高い。その他の地区は「総合スーパー・SC」が最も高くなっている。

(なお、大分市西部地区は「ホームセンター」が33.3%と他よりも高くなっているものの、サンプル数が少ないため、ここでは参考扱いとする)

【最も多く利用する買い物場所×店舗形態 アクセサリー・時計】

		(%)										
		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1270	33.9	2.2	44.6	0.5	0.2	2.8	1.3	11.7	0.6	2.2
最も多く利用する買い物場所別	大分市中央地区	466	75.3	1.1	7.5	-	-	0.2	0.2	13.1	0.6	1.9
	大分市西部地区	6	-	16.7	16.7	-	-	33.3	16.7	16.7	-	-
	南大分地区	32	9.4	6.3	40.6	-	3.1	6.3	9.4	18.8	-	6.3
	滝尾地区	9	11.1	11.1	33.3	-	-	11.1	11.1	22.2	-	-
	城東・原川地区	38	15.8	13.2	42.1	-	2.6	10.5	-	10.5	-	5.3
	明野地区	187	7.5	3.7	79.7	-	-	1.6	-	5.3	0.5	1.6
	鶴崎地区	107	1.9	0.9	73.8	-	-	4.7	1.9	15.0	-	1.9
	大南地区	10	10.0	-	60.0	-	-	-	-	20.0	-	10.0
	植田地区	323	7.7	1.9	74.0	-	-	3.4	2.2	9.0	0.6	1.2
	大在地区	15	-	-	33.3	-	-	20.0	13.3	13.3	6.7	13.3
	坂ノ市地区	3	-	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-	33.3
	佐賀関地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	野津原地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	別府市	8	50.0	-	25.0	-	-	-	-	25.0	-	-
その他の市町村	66	34.8	-	27.3	9.1	-	4.5	-	19.7	1.5	3.0	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

家具・インテリア

多く利用する場所

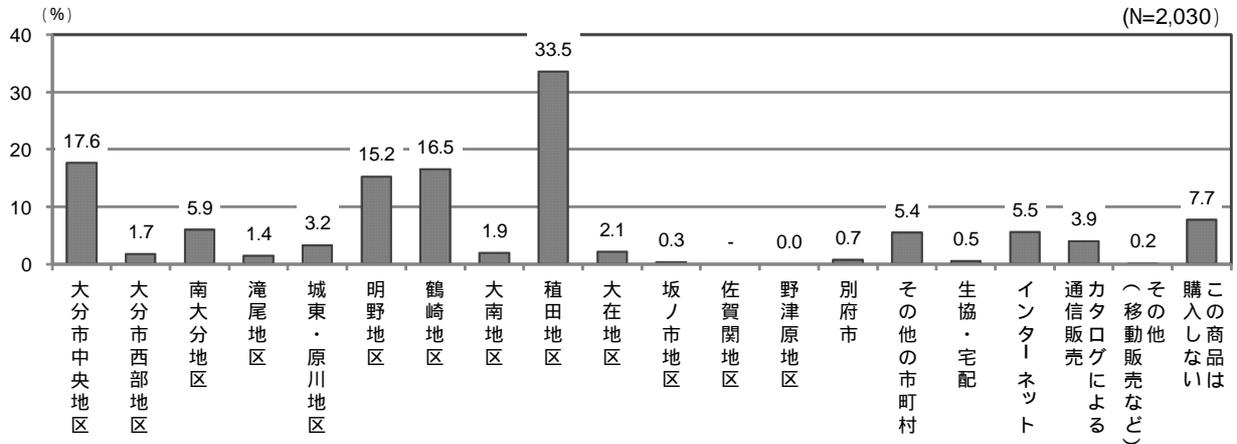
多く利用する買い物場所について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「植田地区」(33.5%)が最も高く、唯一3割を超えている。次いで「大分市中央地区」(17.6%)、「鶴崎地区」(16.5%)、「明野地区」(15.2%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、70歳以上以外は「植田地区」が最も高い。なお、70歳以上は「大分市中央地区」が最も高くなっている。

居住地別にみると、「植田地区」が最も高いのは中心部、南大分、大南、植田・野津原地区で、鶴崎、大在・坂ノ市・佐賀関地区は「鶴崎地区」、城東・明野・滝尾・原川地区は「明野地区」がそれぞれ最も高くなっている。

【多く利用する買い物場所(1番目+2番目) 家具・インテリア】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀関地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	信販	カタログによる通	その他(移動販売など)	ない	この商品は購入し	無回答
全体	2,030	17.6	1.7	5.9	1.4	3.2	15.2	16.5	1.9	33.5	2.1	0.3	-	0.0	0.7	5.4	0.5	5.5	3.9	0.2	7.7	20.2		
性別																								
男性	708	16.4	2.4	7.5	1.7	4.4	17.5	16.8	2.0	33.3	1.8	0.3	-	0.1	0.3	4.7	0.3	3.0	1.3	0.1	6.8	22.7		
女性	1,284	18.0	1.4	5.2	1.3	2.6	14.3	16.3	1.9	33.7	2.1	0.3	-	-	0.9	5.9	0.7	7.0	5.4	0.2	8.3	18.4		
無回答	38	28.9	-	-	-	-	2.6	18.4	-	28.9	5.3	-	-	-	-	2.6	-	2.6	-	-	2.6	34.2		
年齢別																								
20代	173	12.7	2.9	8.7	2.3	1.2	12.1	15.0	1.2	42.2	0.6	-	-	-	1.7	6.9	-	9.8	5.2	0.6	14.5	11.0		
30代	315	14.0	0.6	5.4	1.9	2.2	15.9	21.6	1.0	45.7	1.6	-	-	-	1.0	9.5	0.3	15.2	6.0	0.3	11.7	6.7		
40代	378	14.6	1.9	4.2	2.4	4.5	17.7	24.1	2.6	35.7	4.0	0.5	-	-	1.1	5.6	0.8	7.4	6.3	0.5	9.5	9.5		
50代	334	21.3	4.2	7.2	1.8	3.3	17.1	17.4	1.2	35.3	2.4	0.6	-	-	0.9	5.7	0.6	3.9	4.5	-	4.5	14.4		
60代	477	20.1	0.8	5.9	0.8	3.8	15.7	13.6	2.7	30.6	1.9	0.2	-	0.2	0.2	4.2	0.8	1.3	1.7	-	5.2	26.4		
70歳以上	334	19.8	0.9	5.7	-	3.0	11.1	7.8	1.8	16.8	1.2	0.3	-	-	-	2.1	0.3	-	0.6	-	5.1	46.4		
無回答	19	21.1	-	5.3	-	-	5.3	5.3	-	42.1	-	-	-	-	-	5.3	-	-	10.5	-	5.3	26.3		
居住地別																								
中心部	374	33.4	8.0	8.6	1.1	0.8	5.9	4.0	1.6	35.6	0.5	-	-	-	1.1	6.1	0.5	7.2	5.6	0.3	7.8	18.4		
南大分	194	20.1	-	24.7	1.0	1.5	5.7	1.5	-	50.0	0.5	-	-	-	2.6	3.1	0.5	5.2	6.7	-	5.7	19.1		
城東・明野・滝尾・原川	426	13.1	0.2	2.1	4.7	12.4	30.3	15.5	2.6	20.2	-	-	-	-	0.9	2.8	0.7	7.3	2.8	0.5	8.2	21.4		
鶴崎	295	9.8	0.3	0.7	0.7	1.7	25.1	55.6	0.7	7.5	2.0	-	-	-	0.3	3.7	0.7	4.7	3.1	-	8.1	18.6		
大南	119	9.2	-	3.4	-	-	23.5	15.1	9.2	37.0	-	-	-	-	-	8.4	1.7	2.5	4.2	-	9.2	22.7		
植田・野津原	398	16.6	0.3	6.3	0.3	-	3.8	1.0	1.3	67.1	1.0	-	-	0.3	-	5.0	0.3	3.5	3.3	-	7.0	18.1		
大在・坂ノ市・佐賀関	207	14.0	1.0	-	-	0.5	13.5	30.9	1.4	12.1	14.0	2.9	-	-	-	12.6	-	6.3	2.4	0.5	8.2	25.1		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	17.6	-	-	-	-	5.9	5.9	-	35.3	-	-	-	-	-	11.8	-	-	5.9	-	5.9	41.2		

多く利用する場所の店舗形態

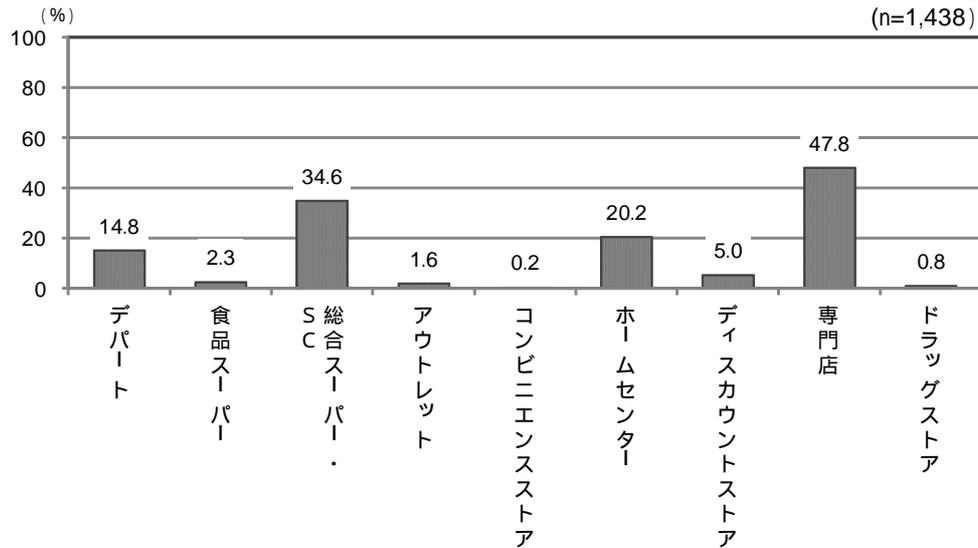
多く利用する場所の店舗形態について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「専門店」(47.8%)が最も高く、次いで「総合スーパー・SC」(34.6%)、「ホームセンター」(20.2%)、「デパート」(14.8%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「専門店」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「専門店」が最も高い。

居住地別にみると、いずれの地区も「専門店」が最も高い。

【多く利用する買い物場所の店舗形態(1番目+2番目) 家具・インテリア】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答	
全体		1438	14.8	2.3	34.6	1.6	0.2	20.2	5.0	47.8	0.8	2.6	
性別	男性	498	10.6	3.4	32.5	1.6	0.4	22.9	6.2	49.8	0.8	3.4	
	女性	916	16.8	1.7	36.1	1.6	0.1	18.8	4.4	46.5	0.9	2.3	
	無回答	24	25.0	-	16.7	-	-	20.8	4.2	54.2	-	-	
年齢別	20代	123	8.1	3.3	30.1	4.1	-	22.0	4.9	48.0	0.8	5.7	
	30代	254	9.4	1.6	42.5	1.6	0.8	17.3	7.1	50.8	0.4	0.8	
	40代	297	12.1	1.3	33.7	1.3	-	24.9	3.4	49.5	0.3	2.0	
	50代	266	15.4	2.3	29.3	1.5	0.4	22.6	6.8	49.6	0.4	1.1	
	60代	323	18.0	3.4	34.7	0.6	-	17.6	3.7	46.1	1.9	3.7	
	70歳以上	162	25.9	1.9	35.8	2.5	-	16.0	4.9	40.7	1.2	4.3	
	無回答	13	15.4	7.7	30.8	-	-	23.1	-	38.5	-	7.7	
居住地別	中心部	268	23.1	0.7	32.8	2.2	0.4	17.9	4.9	47.8	0.4	2.2	
	南大分	146	13.7	2.1	38.4	0.7	-	19.2	7.5	48.6	0.7	1.4	
	城東・明野・滝尾・原川	288	15.3	3.5	37.5	0.7	0.7	19.8	6.6	45.1	0.7	2.8	
	鶴崎	211	8.5	3.8	33.6	0.9	-	28.9	5.2	48.8	0.9	2.4	
	大南	81	4.9	2.5	40.7	1.2	-	17.3	1.2	48.1	1.2	3.7	
	穂田・野津原	298	13.4	2.7	32.6	1.7	-	16.8	3.4	49.7	1.3	2.3	
	大在・坂ノ市・佐賀関	136	17.6	-	28.7	4.4	-	22.8	5.1	46.3	0.7	5.1	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	10	10.0	-	50.0	-	-	20.0	-	50.0	-	-	

最も多く利用する場所

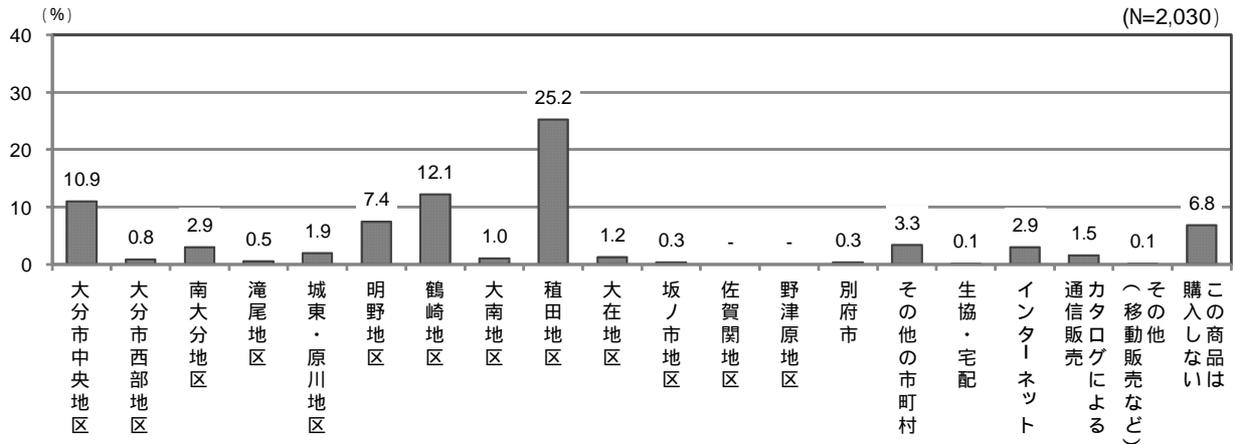
最も多く利用する買い物場所をみると、「植田地区」(25.2%)が最も高く、次いで「鶴崎地区」(12.1%)、「大分市中央地区」(10.9%)、「明野地区」(7.4%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、70歳以上以外は「植田地区」が最も高い。なお、70歳以上は「大分市中央地区」が最も高くなっている。

居住地別にみると、「植田地区」が最も高いのは南大分、大南、植田・野津原地区で、「中心部地区」は大分市中央地区、鶴崎、大在・坂ノ市・佐賀関地区は「鶴崎地区」、城東・明野・滝尾・原川地区は「明野地区」がそれぞれ最も高くなっている。

【最も多く利用する買い物場所 家具・インテリア】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀関地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は購入しない	無回答
全体	2,030	10.9	0.8	2.9	0.5	1.9	7.4	12.1	1.0	25.2	1.2	0.3	-	-	0.3	3.3	0.1	2.9	1.5	0.1	6.8	20.6		
性別																								
男性	708	8.9	1.4	3.7	0.6	2.4	8.2	12.1	1.1	25.4	1.3	0.3	-	-	0.3	2.7	-	1.6	0.3	0.1	5.9	23.7		
女性	1,284	11.8	0.5	2.5	0.5	1.7	7.2	11.9	0.9	25.3	1.1	0.3	-	-	0.4	3.7	0.2	3.7	2.2	0.2	7.4	18.5		
無回答	38	21.1	-	-	-	-	2.6	15.8	-	18.4	2.6	-	-	-	-	2.6	-	-	-	-	2.6	34.2		
年齢別																								
20代	173	7.5	2.3	5.8	1.2	1.2	6.4	9.8	-	27.2	0.6	-	-	-	0.6	4.0	-	5.8	2.3	0.6	13.3	11.6		
30代	315	8.3	0.3	2.2	0.6	1.3	7.0	15.6	0.3	30.5	0.6	-	-	-	0.3	5.4	0.3	7.9	2.9	0.3	9.5	6.7		
40代	378	8.7	0.5	1.9	0.8	2.9	6.1	18.8	1.6	27.0	1.6	0.5	-	-	0.5	3.4	0.5	4.0	2.1	0.3	8.7	10.1		
50代	334	13.5	1.8	4.8	0.6	2.4	6.9	14.4	0.6	27.5	1.5	0.6	-	-	0.6	3.6	-	1.8	0.9	-	3.9	14.7		
60代	477	11.9	0.4	1.7	0.4	1.7	9.6	8.4	1.7	26.4	1.7	0.2	-	-	0.2	2.3	-	0.6	1.0	-	4.6	27.0		
70歳以上	334	13.5	0.3	2.7	-	1.8	7.5	6.0	0.9	12.9	0.6	0.3	-	-	-	1.8	-	-	-	-	4.8	47.0		
無回答	19	15.8	-	5.3	-	-	5.3	-	-	31.6	-	-	-	-	-	5.3	-	-	5.3	-	5.3	26.3		
居住地別																								
中心部	374	26.2	4.0	4.3	0.8	0.3	2.1	2.4	1.1	24.6	0.3	-	-	-	0.5	3.2	0.3	2.4	2.1	0.3	6.7	18.4		
南大分	194	11.3	-	14.9	-	0.5	3.1	-	-	39.7	-	-	-	-	1.5	2.1	-	3.1	1.0	-	3.6	19.1		
城東・明野・滝尾・原川	426	8.7	-	0.9	1.9	8.2	18.5	10.1	1.2	11.3	-	-	-	-	0.2	2.1	-	5.2	1.2	0.5	8.2	21.8		
鶴崎	295	6.1	0.3	-	-	0.7	11.9	42.7	0.3	2.7	0.7	-	-	-	0.3	2.7	0.3	2.7	1.4	-	7.8	19.3		
大南	119	7.6	-	2.5	-	-	10.1	10.9	5.0	21.8	-	-	-	-	-	7.6	0.8	-	0.8	-	8.4	24.4		
植田・野津原	398	4.5	-	1.5	-	-	0.3	0.3	0.8	62.8	1.0	-	-	-	-	1.3	-	1.5	1.5	-	5.8	18.8		
大在・坂ノ市・佐賀関	207	8.7	-	-	-	-	4.3	25.1	0.5	3.4	8.2	2.9	-	-	-	8.7	-	3.9	1.9	-	7.2	25.1		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	11.8	-	-	-	-	5.9	5.9	-	23.5	-	-	-	-	-	11.8	-	-	-	-	-	41.2		

最も多く利用する場所の店舗形態

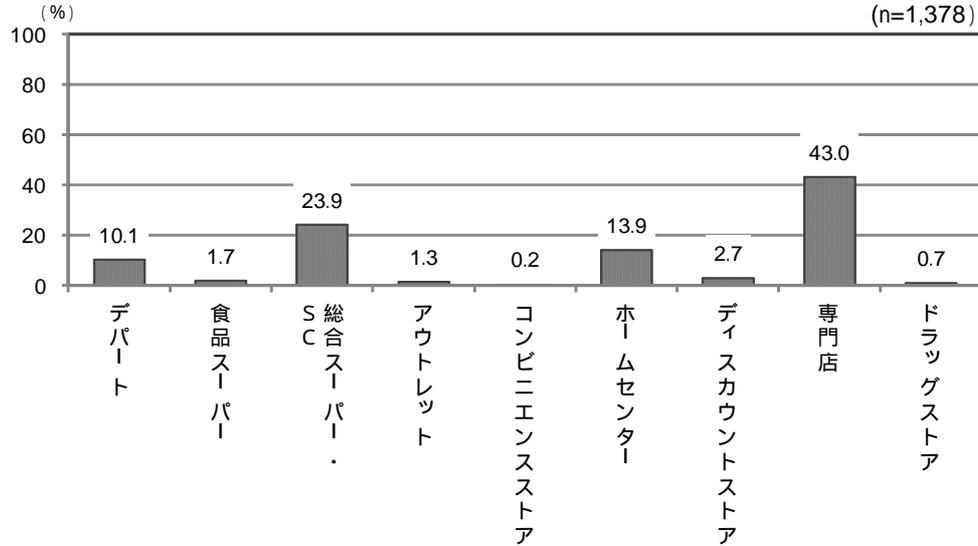
最も多く利用する場所の店舗形態をみると、「専門店」(43.0%)が最も高く、次いで「総合スーパー・SC」(23.9%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「専門店」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「専門店」が最も高い。

居住地別にみると、いずれの地区も「専門店」が最も高い。

【最も多く利用する買い物場所の店舗形態 家具・インテリア】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1,378	10.1	1.7	23.9	1.3	0.2	13.9	2.7	43.0	0.7	2.5
性別	男性	484	6.6	3.1	21.9	1.0	0.4	15.9	3.1	44.2	0.8	2.9
	女性	870	11.7	1.0	25.4	1.5	0.1	12.8	2.4	42.1	0.7	2.3
	無回答	24	20.8	-	8.3	-	-	16.7	4.2	50.0	-	-
年齢別	20代	115	6.1	2.6	20.0	1.7	-	15.7	3.5	47.8	-	2.6
	30代	228	6.1	1.3	26.8	1.3	0.9	12.7	1.8	48.2	0.4	0.4
	40代	281	7.1	0.7	23.8	1.4	-	16.7	2.1	45.2	0.4	2.5
	50代	263	10.6	1.5	18.6	1.5	0.4	16.0	4.6	44.9	0.4	1.5
	60代	318	11.9	2.5	27.4	0.3	-	11.6	1.9	39.0	1.9	3.5
	70歳以上	161	18.6	1.9	24.2	2.5	-	10.6	3.1	34.2	0.6	4.3
	無回答	12	16.7	8.3	25.0	-	-	16.7	-	25.0	-	8.3
居住地別	中心部	261	19.2	0.8	16.9	2.3	0.4	14.6	1.5	41.4	0.4	2.7
	南大分	142	8.5	1.4	28.2	-	-	13.4	4.9	41.5	0.7	1.4
	城東・明野・滝尾・原川	269	11.2	2.6	25.7	0.7	0.7	13.4	3.3	39.4	0.4	2.6
	鶴崎	202	5.9	2.5	23.3	0.5	-	20.3	2.5	42.6	1.0	1.5
	大南	78	2.6	1.3	34.6	-	-	11.5	1.3	46.2	-	2.6
	植田・野津原	288	6.6	2.4	26.0	1.4	-	10.1	2.4	47.6	1.4	2.1
	大在・坂ノ市・佐賀関	128	10.2	-	18.8	3.9	-	14.1	3.1	43.8	0.8	5.5
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	10	10.0	-	30.0	-	-	20.0	-	40.0	-	-

最も多く利用する場所×店舗形態

最も多く利用する場所別に店舗形態をみると、大分市中央地区は「デパート」が最も高く、明野地区は「総合スーパー・SC」が最も高い。その他の地区は「専門店」が最も高くなっている。

(なお、滝尾地区は「総合スーパー・SC」が36.4%、大分市西部地区は「ホームセンター」が62.5%と他よりも高くなっているものの、いずれもサンプル数が少ないため、ここでは参考扱いとする)

【最も多く利用する買い物場所×店舗形態 家具・インテリア】

		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1378	10.1	1.7	23.9	1.3	0.2	13.9	2.7	43.0	0.7	2.5
最も多く利用する買い物場所別	大分市中央地区	222	50.5	1.4	3.6	0.9	-	5.4	1.4	34.7	-	2.3
	大分市西部地区	16	-	-	-	-	-	62.5	-	31.3	-	6.3
	南大分地区	58	-	3.4	15.5	3.4	-	27.6	5.2	39.7	-	5.2
	滝尾地区	11	18.2	9.1	36.4	-	-	-	9.1	27.3	-	-
	城東・原川地区	39	5.1	10.3	15.4	-	2.6	23.1	7.7	30.8	-	5.1
	明野地区	151	2.6	2.6	53.6	-	-	12.6	1.3	23.8	0.7	2.6
	鶴崎地区	245	0.8	0.8	21.2	0.8	-	18.8	2.4	52.7	0.4	2.0
	大南地区	20	-	5.0	20.0	-	5.0	5.0	5.0	45.0	5.0	10.0
	植田地区	512	2.1	1.4	30.1	1.4	0.2	11.5	2.5	48.2	1.2	1.4
	大在地区	24	-	-	12.5	8.3	-	37.5	12.5	20.8	4.2	4.2
	坂ノ市地区	6	-	-	-	16.7	-	16.7	-	50.0	-	16.7
	佐賀関地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	野津原地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	別府市	7	-	-	14.3	-	-	28.6	-	57.1	-	-
その他の市町村	67	9.0	-	10.4	3.0	-	11.9	3.0	58.2	-	4.5	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

家電製品

多く利用する場所

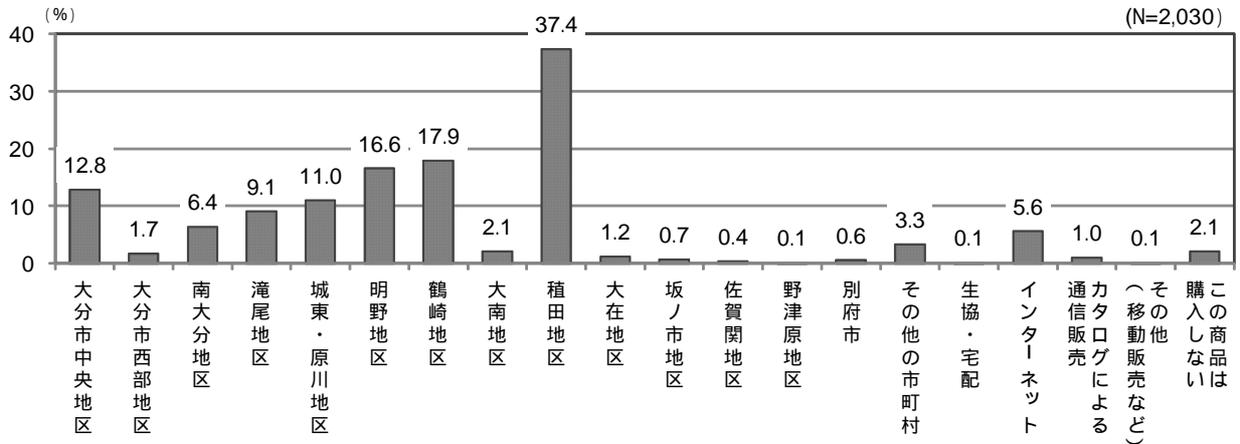
多く利用する買い物場所について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「植田地区」(37.4%)が最も高く、唯一3割を超えている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高い。

居住地別にみると、「植田地区」が最も高いのは中心部、南大分、大南、植田・野津原地区で、城東・明野・滝尾・原川地区は「城東・原川地区」、鶴崎、大在・坂ノ市・佐賀関地区は「鶴崎地区」がそれぞれ最も高くなっている。

【多く利用する買い物場所(1番目+2番目) 家電製品】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀関地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は購入しない	無回答
全体	2030	12.8	1.7	6.4	9.1	11.0	16.6	17.9	2.1	37.4	1.2	0.7	0.4	0.1	0.6	3.3	0.1	5.6	1.0	0.1	0.1	2.1	15.0	
性別																								
男性	708	12.3	2.1	7.6	8.1	11.6	19.4	18.4	2.5	36.4	1.0	0.8	0.3	0.1	0.3	3.1	0.1	5.5	0.8	-	-	2.1	16.4	
女性	1284	13.2	1.6	5.8	9.9	10.7	15.1	17.6	1.9	38.2	1.2	0.5	0.5	0.1	0.8	3.4	0.2	5.8	1.1	0.2	-	2.2	13.8	
無回答	38	7.9	-	2.6	-	10.5	13.2	21.1	2.6	28.9	5.3	5.3	-	-	-	5.3	-	-	2.6	-	-	-	28.9	
年齢別																								
20代	173	15.6	1.7	8.1	12.1	4.6	12.7	19.7	3.5	37.6	0.6	0.6	-	-	1.2	2.3	-	10.4	0.6	-	-	8.7	9.8	
30代	315	9.2	1.0	6.0	14.3	11.4	17.5	22.5	1.0	47.0	1.6	0.3	-	-	0.3	4.8	0.3	17.5	1.3	-	-	2.2	5.4	
40代	378	11.4	1.6	4.0	13.2	14.0	18.3	25.4	2.1	39.9	2.1	0.8	-	-	0.8	4.2	0.3	7.7	1.1	-	-	2.1	6.6	
50代	334	16.8	3.3	8.7	7.5	14.1	19.8	16.8	0.9	39.8	0.6	0.3	0.3	-	0.6	3.6	-	2.1	1.5	-	-	1.2	9.6	
60代	477	13.8	1.5	6.1	6.5	11.3	17.8	14.7	2.3	36.1	1.7	0.4	1.7	0.2	0.4	2.9	0.2	0.4	0.4	0.2	0.2	1.3	17.8	
70歳以上	334	11.1	1.5	6.3	3.6	6.9	11.4	10.5	3.3	24.9	0.3	1.8	-	0.3	0.6	1.5	-	0.6	1.2	0.3	0.9	37.1		
無回答	19	5.3	-	10.5	-	10.5	5.3	10.5	5.3	42.1	-	-	-	-	-	10.5	-	-	5.3	-	-	-	21.1	
居住地別																								
中心部	374	32.1	7.2	7.2	14.7	6.7	6.4	0.5	2.7	40.9	-	-	0.3	0.3	1.6	2.9	-	6.7	1.1	0.3	-	2.7	13.9	
南大分	194	10.8	-	29.4	5.2	3.1	4.6	1.5	-	61.9	-	-	-	-	1.0	1.5	-	7.7	-	-	-	2.1	16.5	
城東・明野・滝尾・原川	426	4.9	0.5	1.4	22.1	33.6	27.7	12.9	2.6	14.1	-	-	-	-	2.8	2.8	0.2	7.0	1.2	-	-	1.6	16.2	
鶴崎	295	7.1	-	1.7	2.0	8.1	32.5	62.4	1.0	5.8	1.0	0.3	-	-	0.3	1.7	-	2.7	1.0	-	-	1.4	16.3	
大南	119	9.2	-	7.6	4.2	2.5	26.1	22.7	6.7	47.1	-	-	-	-	0.8	6.7	0.8	4.2	0.8	-	-	1.7	14.3	
植田・野津原	398	10.8	0.8	5.5	2.0	1.3	4.3	0.8	2.0	82.7	0.5	-	-	0.3	-	4.5	0.3	3.5	1.5	0.3	-	2.5	11.1	
大在・坂ノ市・佐賀関	207	10.1	1.4	1.0	2.9	7.7	18.8	42.5	1.4	9.2	9.7	6.3	3.9	-	0.5	3.9	-	7.7	0.5	-	-	2.9	17.4	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	5.9	-	5.9	-	5.9	11.8	11.8	-	35.3	-	-	-	-	-	17.6	-	-	5.9	-	-	-	35.3	

多く利用する場所の店舗形態

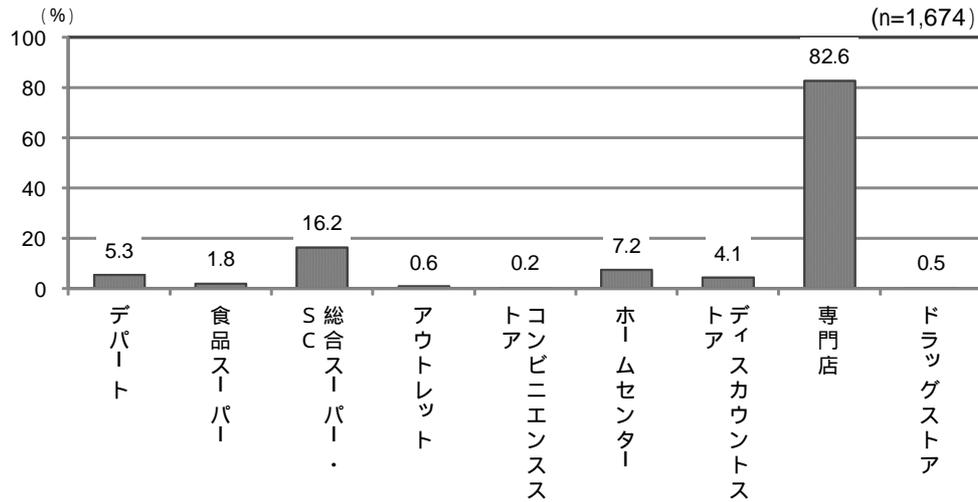
多く利用する場所の店舗形態について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「専門店」(82.6%)が群を抜いて高い。次いで「総合スーパー・SC」(16.2%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「専門店」が群を抜いて高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「専門店」が群を抜いて高い。

居住地別にみると、いずれの地区も「専門店」が群を抜いて高い。

【多く利用する買い物場所の店舗形態(1番目+2番目) 家電製品】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
性別	全体	1674	5.3	1.8	16.2	0.6	0.2	7.2	4.1	82.6	0.5	2.9
	男性	575	4.3	2.8	17.4	0.5	0.3	8.3	5.6	79.5	0.7	2.3
	女性	1072	5.8	1.3	15.7	0.7	0.2	6.5	3.4	84.2	0.5	3.3
	無回答	27	3.7	-	14.8	-	-	7.4	3.7	85.2	-	3.7
年齢別	20代	138	2.9	2.2	15.2	0.7	-	3.6	3.6	87.0	-	2.9
	30代	289	2.4	1.4	18.3	0.7	0.7	4.2	4.8	85.1	0.3	1.0
	40代	342	2.9	1.5	16.4	0.9	-	9.1	2.0	85.4	0.6	2.0
	50代	297	6.4	1.7	16.5	0.7	0.3	9.1	5.1	83.8	0.7	0.7
	60代	388	7.2	2.6	14.4	-	0.3	7.2	5.2	79.6	1.0	4.1
	70歳以上	205	9.3	1.0	15.6	1.0	-	8.3	3.9	77.1	-	7.8
	無回答	15	6.7	6.7	33.3	-	-	-	-	60.0	-	6.7
	居住地別	中心部	310	7.7	1.0	18.4	1.0	0.3	9.0	3.2	80.0	0.3
南大分	158	7.0	2.5	17.7	-	-	5.1	8.2	84.8	0.6	1.3	
城東・明野・滝尾・原川	346	3.2	2.3	16.2	0.6	0.6	8.4	4.3	82.1	0.6	2.9	
鶴崎	244	3.3	2.9	16.0	-	-	6.1	4.1	88.1	0.8	1.2	
大南	100	3.0	1.0	20.0	1.0	-	7.0	-	78.0	1.0	4.0	
穂田・野津原	345	4.9	1.7	11.6	0.9	0.3	5.2	3.8	82.6	0.6	4.6	
大在・坂ノ市・佐賀関	160	8.1	0.6	16.9	0.6	-	9.4	5.0	82.5	-	4.4	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	11	9.1	-	45.5	-	-	-	-	-	63.6	-	-

最も多く利用する場所

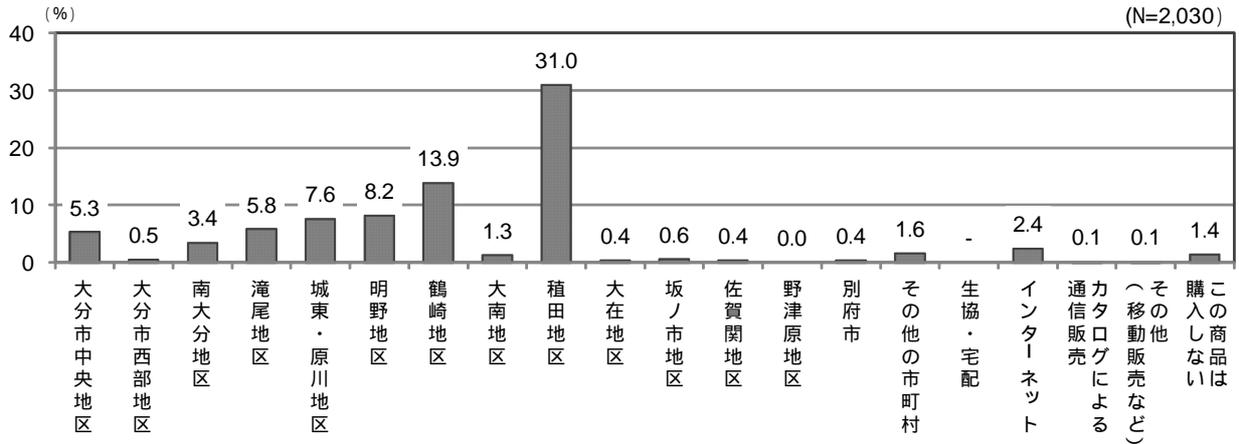
最も多く利用する買い物場所をみると、「植田地区」(31.0%)が最も高く、唯一3割を超えている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高い。

居住地別にみると、「植田地区」が最も高いのは中心部、南大分、大南、植田・野津原地区で、城東・明野・滝尾・原川地区は「城東・原川地区」、鶴崎、大在・坂ノ市・佐賀関地区は「鶴崎地区」がそれぞれ最も高くなっている。

【最も多く利用する買い物場所 家電製品】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀関地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は	無回答
全体	2,030	5.3	0.5	3.4	5.8	7.6	8.2	13.9	1.3	31.0	0.4	0.6	0.4	0.0	0.4	1.6	-	2.4	0.1	0.1	-	1.4	15.4	
性別																								
男性	708	5.1	0.6	4.1	5.9	7.9	8.2	13.0	1.1	30.6	0.3	0.6	0.1	-	0.3	1.1	-	2.5	-	-	-	1.3	17.2	
女性	1,284	5.5	0.5	3.0	5.9	7.4	8.3	14.3	1.4	31.5	0.4	0.5	0.5	0.1	0.5	1.9	-	2.3	0.2	0.2	-	1.6	13.9	
無回答	38	5.3	-	2.6	-	7.9	5.3	15.8	2.6	21.1	2.6	5.3	-	-	-	2.6	-	-	-	-	-	-	28.9	
年齢別																								
20代	173	8.1	0.6	4.0	6.4	2.3	7.5	14.5	1.2	29.5	0.6	-	-	-	-	1.2	-	6.4	-	-	-	7.5	10.4	
30代	315	3.5	0.3	2.9	8.3	7.0	8.3	17.8	0.3	36.2	0.3	0.3	-	-	0.3	1.9	-	6.0	0.3	-	-	1.0	5.4	
40代	378	3.2	0.3	1.9	8.2	9.5	7.1	20.4	1.9	32.3	0.5	0.8	-	-	0.8	2.1	-	2.9	-	-	-	1.3	6.9	
50代	334	6.6	1.2	4.8	6.0	10.5	8.1	14.1	0.6	33.2	-	0.3	0.3	-	0.6	1.5	-	1.5	0.3	-	-	0.9	9.6	
60代	477	6.3	0.4	3.6	4.2	7.8	10.1	10.9	1.0	32.3	0.6	0.4	1.5	-	0.2	1.3	-	0.2	-	0.2	-	0.6	18.4	
70歳以上	334	5.4	0.6	3.3	3.0	5.4	7.5	6.9	2.7	21.6	0.3	1.5	-	0.3	0.6	1.5	-	0.3	0.3	0.3	-	0.6	38.0	
無回答	19	5.3	-	10.5	-	10.5	5.3	10.5	5.3	26.3	-	-	-	-	-	5.3	-	-	-	-	-	-	21.1	
居住地別																								
中心部	374	17.9	1.9	5.6	10.4	4.0	2.1	0.3	1.9	33.7	-	-	0.3	0.3	1.3	1.1	-	2.4	-	0.3	2.4	14.2		
南大分	194	2.1	-	18.6	0.5	1.5	-	1.0	-	55.7	-	-	-	-	1.0	0.5	-	2.6	-	-	-	-	16.5	
城東・明野・滝尾・原川	426	2.3	0.5	0.9	15.5	25.1	16.2	8.5	1.6	6.6	-	-	-	-	1.6	-	2.8	0.5	-	-	1.4	16.4		
鶴崎	295	1.4	-	0.7	0.7	4.7	18.0	52.5	0.7	0.3	-	0.3	-	0.3	1.4	-	1.7	-	-	-	0.7	16.6		
大南	119	3.4	-	2.5	2.5	1.7	13.4	14.3	5.0	35.3	-	-	-	-	3.4	-	1.7	-	-	-	1.7	15.1		
植田・野津原	398	2.3	0.5	0.3	0.8	0.5	0.3	-	0.8	78.6	0.3	-	-	-	0.8	-	1.5	0.3	0.3	-	1.3	11.8		
大在・坂ノ市・佐賀関	207	4.8	-	0.5	1.9	4.8	9.2	33.3	1.0	3.4	3.4	5.3	3.4	-	0.5	3.9	-	4.3	-	-	2.4	17.9		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	-	-	5.9	-	5.9	5.9	11.8	-	23.5	-	-	-	-	-	11.8	-	-	-	-	-	-	35.3	

最も多く利用する場所の店舗形態

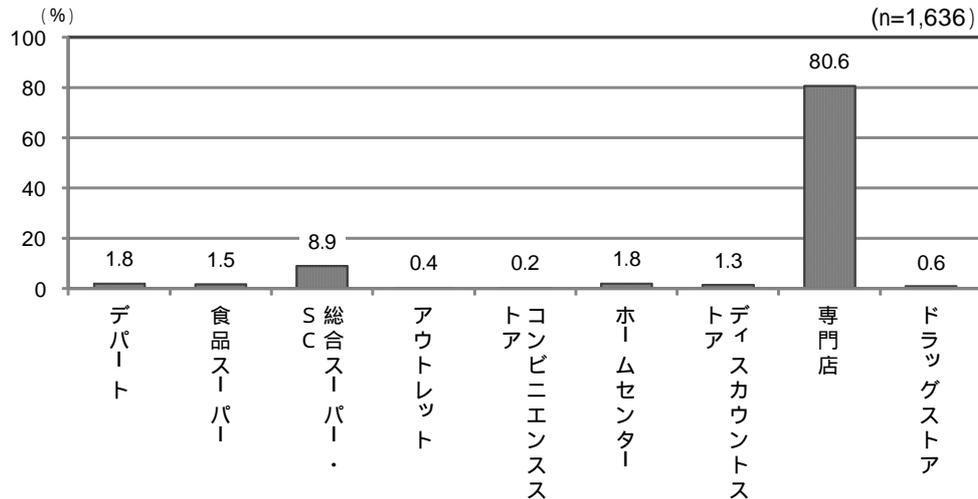
最も多く利用する場所の店舗形態をみると、「専門店」(80.6%)が群を抜いて高い。次いで「総合スーパー・SC」(8.9%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「専門店」が群を抜いて高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「専門店」が群を抜いて高い。

居住地別にみると、いずれの地区も「専門店」が群を抜いて高い。

【最も多く利用する買い物場所の店舗形態 家電製品】



	サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体	1,636	1.8	1.5	8.9	0.4	0.2	1.8	1.3	80.6	0.6	2.9
性別											
男性	559	1.3	2.5	10.0	0.5	0.4	2.5	2.7	77.1	0.7	2.3
女性	1,050	2.1	1.0	8.4	0.4	0.1	1.3	0.7	82.4	0.5	3.2
無回答	27	3.7	-	7.4	-	-	3.7	-	81.5	-	3.7
年齢別											
20代	131	1.5	2.3	8.4	-	-	-	1.5	84.0	-	2.3
30代	275	0.7	1.5	10.9	0.7	0.7	0.7	0.4	83.3	0.4	0.7
40代	336	0.9	0.9	9.2	0.3	-	1.8	0.6	83.3	0.6	2.4
50代	293	2.0	1.0	7.2	0.7	0.3	3.4	2.0	82.3	0.7	0.3
60代	384	2.3	2.1	7.8	-	-	2.1	1.8	78.1	1.0	4.7
70歳以上	202	3.5	1.0	9.9	1.0	-	1.5	2.0	73.8	-	7.4
無回答	15	6.7	6.7	20.0	-	-	-	-	60.0	-	6.7
居住地別											
中心部	302	4.0	1.0	10.9	0.7	0.3	2.0	0.3	78.1	0.3	2.3
南大分	157	1.3	1.9	10.8	-	-	0.6	1.9	81.5	0.6	1.3
城東・明野・滝尾・原川	336	1.5	1.8	7.7	0.3	0.6	3.0	2.1	80.1	0.6	2.4
鶴崎	239	0.8	2.1	7.1	-	-	2.1	0.8	85.4	0.8	0.8
大南	97	-	1.0	14.4	1.0	-	2.1	-	77.3	1.0	3.1
穂田・野津原	338	1.8	1.5	6.8	0.6	-	0.9	1.5	80.8	0.6	5.6
大在・坂ノ市・佐賀関	156	1.9	0.6	7.7	0.6	-	1.3	2.6	80.8	-	4.5
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	11	-	-	36.4	-	-	-	-	63.6	-	-

最も多く利用する場所×店舗形態

最も多く利用する場所別に店舗形態をみると、いずれの地区も「専門店」が最も高くなっている。

【最も多く利用する買い物場所×店舗形態 家電製品】

		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1636	1.8	1.5	8.9	0.4	0.2	1.8	1.3	80.6	0.6	2.9
最も多く利用する買い物場所別	大分市中央地区	108	19.4	1.9	2.8	1.9	-	1.9	-	67.6	-	4.6
	大分市西部地区	11	-	9.1	9.1	-	-	9.1	-	72.7	-	-
	南大分地区	69	-	4.3	14.5	1.4	-	5.8	4.3	66.7	-	2.9
	滝尾地区	118	-	1.7	2.5	0.8	-	2.5	1.7	90.7	-	-
	城東・原川地区	154	0.6	1.3	5.2	-	0.6	2.6	1.9	86.4	-	1.3
	明野地区	167	0.6	2.4	19.2	-	-	1.8	-	73.7	0.6	1.8
	鶴崎地区	282	-	0.7	7.1	0.4	-	1.8	1.4	87.2	0.4	1.1
	大南地区	27	3.7	-	7.4	3.7	3.7	7.4	3.7	40.7	3.7	25.9
	植田地区	629	0.8	1.1	10.3	0.2	0.2	0.2	1.1	82.2	1.0	3.0
	大在地区	8	-	-	12.5	-	-	12.5	25.0	37.5	-	12.5
	坂ノ市地区	12	-	8.3	-	-	-	-	-	75.0	-	16.7
	佐賀関地区	8	-	-	-	-	-	-	-	87.5	-	12.5
	野津原地区	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	別府市	9	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
その他の市町村	33	3.0	-	3.0	-	-	9.1	-	75.8	-	9.1	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

スポーツ・レジャー用品

多く利用する場所

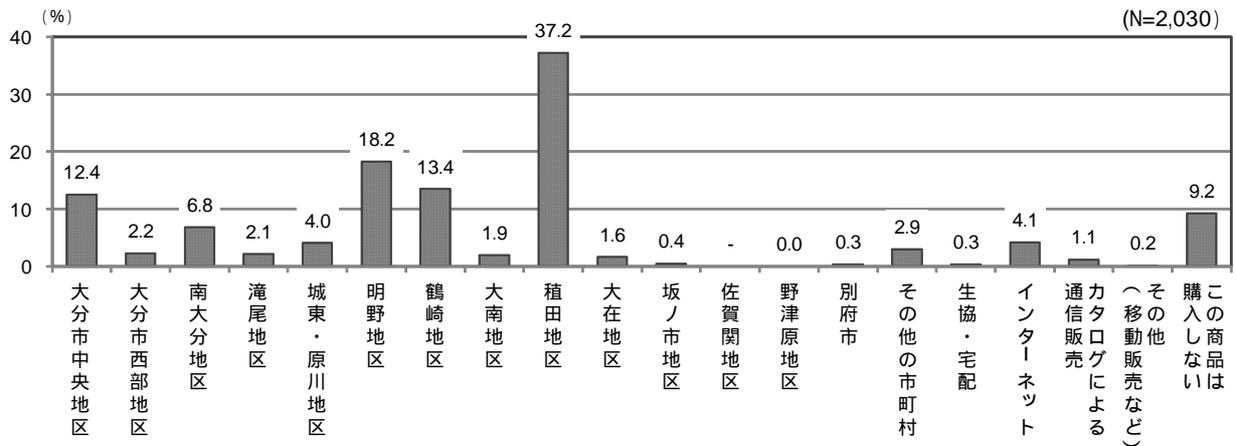
多く利用する買い物場所について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「植田地区」(37.2%)が最も高く、唯一3割を超えている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高い。

居住地別にみると、「植田地区」が最も高いのは中心部、南大分、大南、植田・野津原地区で、城東・明野・滝尾・原川地区は「明野地区」、鶴崎、大在・坂ノ市・佐賀関地区は「鶴崎地区」がそれぞれ最も高くなっている。

【多く利用する買い物場所(1番目+2番目) スポーツ・レジャー用品】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀関地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は購入しない	無回答
全体	2,030	12.4	2.2	6.8	2.1	4.0	18.2	13.4	1.9	37.2	1.6	0.4	-	0.0	0.3	2.9	0.3	4.1	1.1	0.2	9.2	21.8		
性別																								
男性	708	13.3	2.8	7.9	2.5	5.5	20.2	13.1	2.1	38.1	1.8	0.7	-	0.1	-	3.0	0.3	3.4	0.4	0.1	5.5	22.6		
女性	1,284	11.9	1.9	6.5	1.9	3.3	17.1	13.6	1.8	37.0	1.5	0.2	-	-	0.5	2.8	0.4	4.6	1.5	0.2	11.3	20.8		
無回答	38	10.5	-	-	-	2.6	15.8	13.2	-	26.3	2.6	-	-	-	-	2.6	-	2.6	-	-	5.3	39.5		
年齢別																								
20代	173	15.0	1.7	7.5	1.2	0.6	13.9	12.1	1.7	38.7	0.6	0.6	-	-	1.2	1.7	-	5.2	0.6	0.6	22.5	11.0		
30代	315	7.6	2.2	5.1	4.4	3.8	19.7	17.1	2.5	50.2	2.2	0.3	-	-	0.3	4.4	0.3	12.1	1.6	-	12.7	7.6		
40代	378	7.9	2.6	8.5	3.2	4.8	20.6	22.2	2.4	43.9	2.4	0.5	-	-	-	4.2	0.3	5.6	1.1	-	10.1	11.4		
50代	334	15.6	4.5	9.0	1.8	4.8	24.0	13.8	0.6	39.5	1.2	-	-	-	0.6	3.6	0.3	2.7	1.2	-	6.3	15.6		
60代	477	15.3	1.0	6.1	1.7	4.6	19.1	9.4	2.3	33.3	1.9	0.2	-	0.2	-	2.1	0.6	1.3	0.8	0.4	5.9	27.9		
70歳以上	334	13.2	1.2	5.4	0.3	3.9	9.6	6.0	1.2	19.8	0.9	0.9	-	-	0.3	0.6	0.3	0.3	0.9	-	5.7	49.7		
無回答	19	10.5	-	5.3	-	-	10.5	10.5	5.3	36.8	-	-	-	-	-	5.3	-	-	5.3	5.3	5.3	26.3		
居住地別																								
中心部	374	29.1	8.8	9.9	2.1	1.9	8.8	1.9	1.9	36.9	-	-	-	-	0.8	1.9	-	4.3	1.6	0.3	10.2	20.1		
南大分	194	11.9	-	24.2	2.1	0.5	5.7	1.0	0.5	55.2	1.0	-	-	-	-	2.1	-	3.6	-	-	11.9	21.6		
城東・明野・滝尾・原川	426	7.5	0.7	4.7	5.2	13.6	33.3	13.4	2.3	20.7	0.2	-	-	-	0.5	3.3	0.2	5.2	0.9	0.5	8.7	23.2		
鶴崎	295	5.1	-	1.7	1.0	4.7	30.5	44.1	2.0	11.9	1.7	-	-	-	-	1.4	0.3	3.7	1.4	-	7.8	24.4		
大南	119	7.6	0.8	4.2	1.7	-	24.4	14.3	3.4	47.1	-	-	-	-	0.8	4.2	1.7	2.5	-	-	11.8	21.8		
植田・野津原	398	9.8	0.8	5.0	0.3	0.3	4.8	0.5	1.8	73.9	0.5	-	-	0.3	-	3.5	0.5	3.3	1.5	-	8.5	17.3		
大在・坂ノ市・佐賀関	207	10.6	1.9	2.4	1.4	0.5	20.8	26.6	1.4	15.5	11.1	3.9	-	-	-	3.9	0.5	5.8	1.0	0.5	7.7	25.1		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	11.8	-	-	-	-	11.8	11.8	-	29.4	-	-	-	-	-	11.8	-	-	-	-	-	5.9	41.2	

多く利用する場所の店舗形態

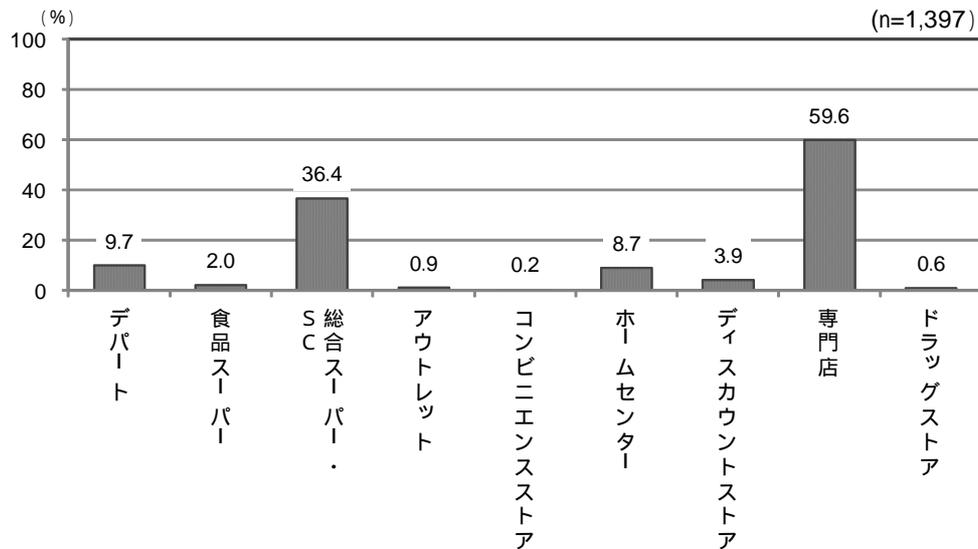
多く利用する場所の店舗形態について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「専門店」(59.6%)が最も高く、次いで「総合スーパー・SC」(36.4%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「専門店」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「専門店」が最も高い。

居住地別にみると、いずれの地区も「専門店」が最も高い。

【多く利用する買い物場所の店舗形態(1番目+2番目) スポーツ・レジャー用品】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1397	9.7	2.0	36.4	0.9	0.2	8.7	3.9	59.6	0.6	2.3
性別	男性	510	6.9	2.9	29.4	0.8	0.4	9.4	5.3	64.3	0.8	2.5
	女性	866	11.2	1.5	40.4	1.0	0.1	8.3	3.1	57.3	0.5	2.2
	無回答	21	14.3	-	42.9	-	-	4.8	-	42.9	-	-
年齢別	20代	113	4.4	1.8	33.6	2.7	-	5.3	1.8	68.1	-	3.5
	30代	250	3.6	1.2	41.2	0.4	0.4	9.2	4.0	60.4	0.8	0.8
	40代	296	5.7	1.4	33.8	2.0	-	6.4	2.7	66.6	0.3	3.0
	50代	261	10.0	2.7	35.2	0.8	0.8	9.6	4.6	61.7	0.4	0.8
	60代	317	14.2	3.2	38.5	0.3	-	9.5	4.4	51.7	0.9	2.5
	70歳以上	148	20.9	1.4	31.8	-	-	12.2	5.4	53.4	0.7	4.1
	無回答	12	16.7	-	58.3	-	-	-	-	33.3	-	8.3
居住地別	中心部	256	17.2	0.4	32.4	1.6	-	7.4	3.5	62.5	-	2.3
	南大分	134	11.9	0.7	33.6	1.5	-	10.4	5.2	64.2	0.7	2.2
	城東・明野・滝尾・原川	285	7.4	3.9	41.4	0.7	1.1	9.5	3.2	56.5	0.4	1.8
	鶴崎	199	3.5	2.0	46.7	-	-	11.1	5.0	54.8	1.0	0.5
	大南	78	3.8	1.3	44.9	-	-	6.4	-	55.1	-	2.6
	積田・野津原	301	7.0	2.7	23.3	1.3	-	6.6	5.0	69.1	1.3	3.3
	大在・坂ノ市・佐賀関	135	15.6	1.5	43.0	0.7	-	10.4	3.0	46.7	-	3.7
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	9	22.2	-	77.8	-	-	-	-	33.3	-	-	

最も多く利用する場所

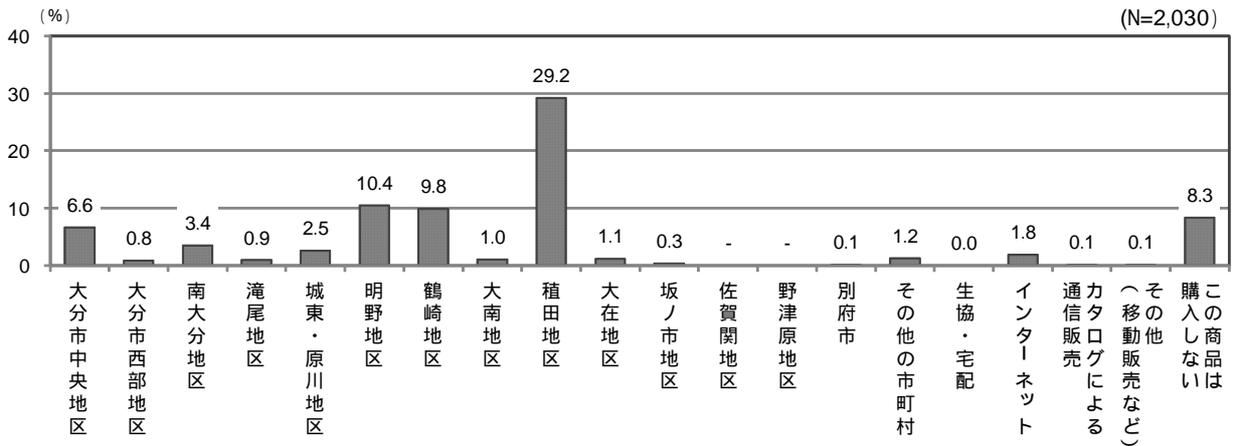
最も多く利用する買い物場所をみると、「植田地区」(29.2%)が最も高く、唯一3割程度となっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高い。

居住地別にみると、「植田地区」が最も高いのは中心部、南大分、大南、植田・野津原地区で、城東・明野・滝尾・原川地区は「明野地区」、鶴崎、大在・坂ノ市・佐賀関地区は「鶴崎地区」がそれぞれ最も高くなっている。

【最も多く利用する買い物場所 スポーツ・レジャー用品】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀関地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は購入し	無回答
全体	2030	6.6	0.8	3.4	0.9	2.5	10.4	9.8	1.0	29.2	1.1	0.3	-	-	0.1	1.2	0.0	1.8	0.1	0.1	-	8.3	22.3	
性別																								
男性	708	7.2	1.3	4.1	0.8	3.1	10.6	9.3	1.0	30.2	1.4	0.4	-	-	-	1.0	-	1.3	-	-	-	4.5	23.7	
女性	1,284	6.3	0.6	3.2	0.9	2.1	10.2	9.9	1.1	28.9	1.0	0.2	-	-	0.2	1.3	0.1	2.2	0.2	0.2	-	10.4	21.0	
無回答	38	5.3	-	-	-	2.6	13.2	13.2	-	18.4	-	-	-	-	-	2.6	-	-	-	-	-	5.3	39.5	
年齢別																								
20代	173	6.9	1.7	5.2	-	0.6	7.5	11.0	-	28.9	0.6	0.6	-	-	-	1.2	-	2.3	-	-	-	21.4	12.1	
30代	315	3.2	1.0	2.5	1.9	2.2	10.2	13.7	1.9	36.8	1.0	0.3	-	-	-	1.3	-	5.4	-	-	-	11.1	7.6	
40代	378	4.0	0.8	4.0	1.1	3.4	9.3	14.3	2.1	32.8	1.3	0.3	-	-	-	2.1	0.3	2.6	0.5	-	-	9.0	12.2	
50代	334	7.5	2.1	5.1	1.2	3.0	13.5	10.8	0.6	30.8	1.2	-	-	-	0.6	1.2	-	1.2	-	-	-	5.7	15.6	
60代	477	8.8	0.2	2.5	0.6	2.7	12.4	6.7	0.6	28.3	1.7	0.2	-	-	-	0.8	-	0.4	-	0.2	-	5.0	28.7	
70歳以上	334	8.7	-	2.4	0.3	1.8	7.8	3.6	0.3	17.7	0.6	0.6	-	-	-	0.6	-	-	0.3	-	-	5.4	50.0	
無回答	19	5.3	-	5.3	-	-	5.3	10.5	5.3	26.3	-	-	-	-	-	5.3	-	-	-	-	5.3	5.3	26.3	
居住地別																								
中心部	374	21.1	3.7	5.3	1.1	0.5	3.5	0.5	1.3	29.1	-	-	-	-	0.3	1.1	-	1.6	0.3	-	-	9.6	20.9	
南大分	194	3.1	-	15.5	-	0.5	1.5	-	-	46.4	0.5	-	-	-	-	1.0	-	1.0	-	-	-	8.8	21.6	
城東・明野・滝尾・原川	426	3.5	-	2.3	2.1	8.9	23.2	10.3	1.4	10.8	0.2	-	-	-	0.2	1.4	-	2.8	-	0.5	-	8.7	23.5	
鶴崎	295	2.4	-	0.7	0.3	2.7	18.0	35.6	1.7	2.4	1.0	-	-	-	-	1.4	-	1.7	0.3	-	-	7.1	24.7	
大南	119	3.4	0.8	2.5	0.8	-	10.9	8.4	1.7	34.5	-	-	-	-	-	0.8	-	0.8	-	-	-	11.8	23.5	
植田・野津原	398	1.8	0.3	0.5	-	0.3	0.3	-	0.5	70.1	0.3	-	-	-	-	0.3	-	1.0	-	-	-	6.8	18.1	
大在・坂ノ市・佐賀関	207	7.7	0.5	1.4	1.4	-	13.5	16.9	0.5	7.7	8.2	2.9	-	-	-	2.4	0.5	3.4	0.5	-	-	7.2	25.1	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	17	-	-	-	-	-	5.9	11.8	-	23.5	-	-	-	-	-	11.8	-	-	-	-	-	5.9	41.2	

最も多く利用する場所の店舗形態

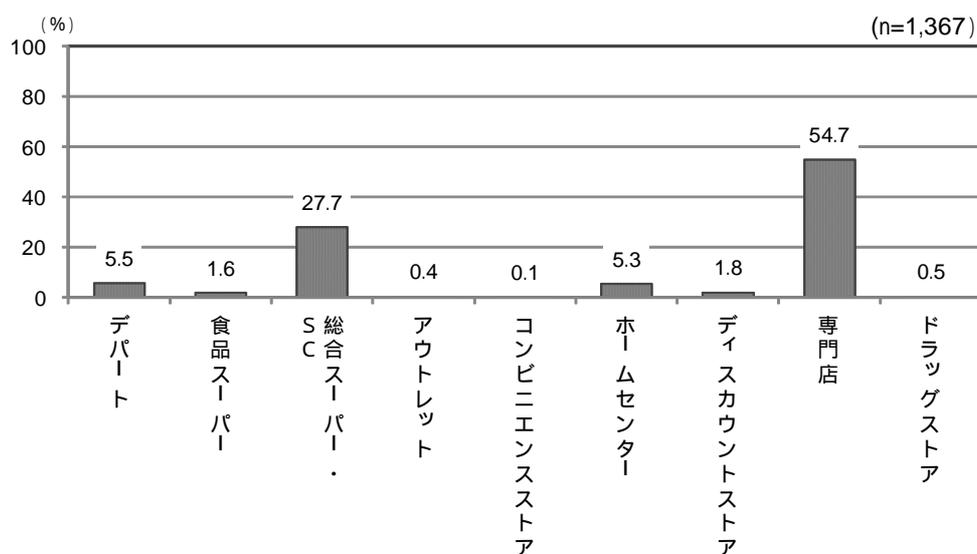
最も多く利用する場所の店舗形態をみると、「専門店」(54.7%)が最も高く、次いで「総合スーパー・SC」(27.7%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「専門店」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「専門店」が最も高い。

居住地別にみると、いずれの地区も「専門店」が最も高い。

【最も多く利用する買い物場所の店舗形態 スポーツ・レジャー用品】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1,367	5.5	1.6	27.7	0.4	0.1	5.3	1.8	54.7	0.5	2.3
性別	男性	499	3.2	2.8	21.6	0.2	0.4	5.8	2.8	59.7	0.8	2.6
	女性	847	6.6	0.9	30.8	0.6	-	5.0	1.3	52.2	0.4	2.2
	無回答	21	14.3	-	42.9	-	-	4.8	-	38.1	-	-
年齢別	20代	111	2.7	1.8	27.0	0.9	-	3.6	-	61.3	-	2.7
	30代	239	1.3	1.3	32.2	-	0.4	7.1	1.7	55.2	0.4	0.4
	40代	285	3.5	0.7	25.3	1.1	-	3.5	1.1	61.4	0.4	3.2
	50代	259	5.4	1.9	24.7	0.4	0.4	6.6	1.5	57.9	0.4	0.8
	60代	313	7.7	2.6	31.3	0.3	-	4.5	2.9	47.3	1.0	2.6
	70歳以上	148	12.8	1.4	20.9	-	-	6.8	3.4	48.6	0.7	5.4
	無回答	12	16.7	-	50.0	-	-	-	-	25.0	-	8.3
居住地別	中心部	253	13.0	0.4	20.2	1.2	-	3.2	2.0	58.1	-	2.0
	南大分	133	3.8	0.8	25.6	0.8	-	6.0	0.8	58.6	0.8	3.0
	城東・明野・滝尾・原川	275	4.4	3.3	31.6	0.4	0.7	5.8	1.1	50.5	0.4	1.8
	鶴崎	195	1.5	1.0	37.4	-	-	7.2	2.1	49.7	1.0	-
	大南	76	1.3	1.3	38.2	-	-	3.9	-	53.9	-	1.3
	植田・野津原	295	2.4	2.4	16.9	0.3	-	3.7	3.1	66.1	1.0	4.1
	大在・坂ノ市・佐賀関	131	9.9	0.8	36.6	-	-	9.2	2.3	37.4	-	3.8
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	9	11.1	-	66.7	-	-	-	-	22.2	-	-	

最も多く利用する場所×店舗形態

最も多く利用する場所別に店舗形態をみると、明野地区、鶴崎地区以外は「専門店」が最も高くなっている。明野地区、鶴崎地区は「総合スーパー・SC」と「専門店」が同程度となっている。

(なお、大南地区は「総合スーパー・SC」が42.9%と高くなっているものの、サンプル数が少ないため、ここでは参考扱いとする)

【最も多く利用する買い物場所×店舗形態 スポーツ・レジャー用品】

		(%)										
		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1367	5.5	1.6	27.7	0.4	0.1	5.3	1.8	54.7	0.5	2.3
最も多く利用する買い物場所別	大分市中央地区	134	41.8	0.7	8.2	0.7	-	3.0	1.5	41.0	-	3.0
	大分市西部地区	17	-	-	5.9	-	-	29.4	-	58.8	-	5.9
	南大分地区	70	-	2.9	17.1	1.4	-	11.4	2.9	58.6	-	5.7
	滝尾地区	18	-	5.6	22.2	-	-	5.6	-	66.7	-	-
	城東・原川地区	50	2.0	6.0	24.0	-	2.0	18.0	2.0	46.0	-	-
	明野地区	211	3.3	2.4	47.4	-	-	1.4	0.5	43.1	0.5	1.4
	鶴崎地区	198	-	0.5	44.9	-	-	8.6	1.0	44.4	0.5	-
	大南地区	21	4.8	-	42.9	-	4.8	4.8	4.8	33.3	4.8	-
	植田地区	592	1.5	1.4	22.0	-	-	2.2	2.0	68.1	0.7	2.2
	大在地区	23	-	4.3	8.7	-	-	34.8	17.4	26.1	-	8.7
	坂ノ市地区	6	-	-	-	-	-	16.7	-	33.3	-	50.0
	佐賀関地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	野津原地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
別府市	2	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
その他の市町村	25	4.0	-	24.0	16.0	-	8.0	-	40.0	-	8.0	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

書籍

多く利用する場所

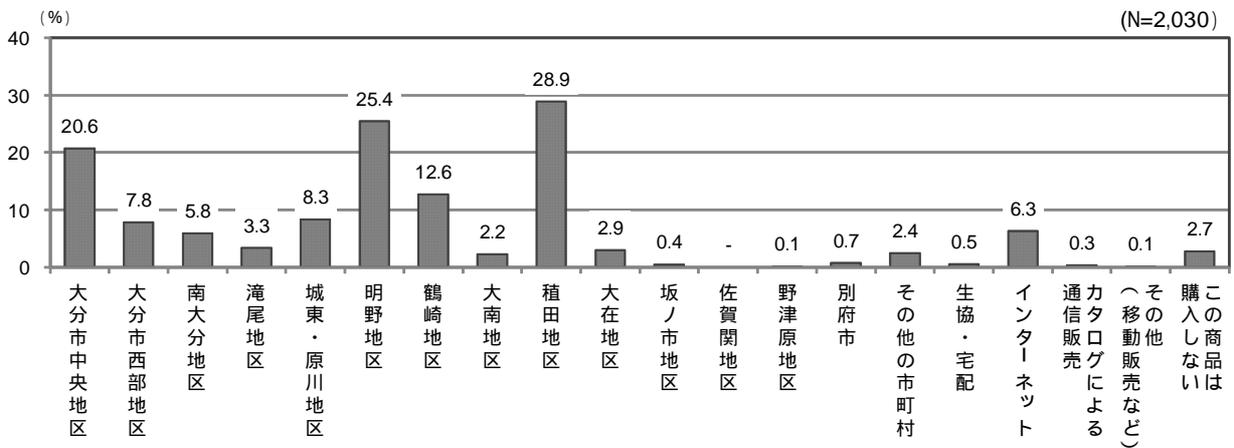
多く利用する買い物場所について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「植田地区」(28.9%)が最も高く、次いで「明野地区」(25.4%)、「大分市中央地区」(20.6%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高い。なお、30代は「インターネット」が18.1%と約2割みられ、他の年代に比べて高くなっている。

居住地別にみると、中心部地区は「大分市中央地区」が最も高く、南大分、植田・野津原地区は「植田地区」が最も高い。また、城東・明野・滝尾・原川、大南、大在・坂ノ市・佐賀関地区は「明野地区」が最も高く、鶴崎地区は「鶴崎地区」が最も高くなっている。

【多く利用する買い物場所(1番目+2番目) 書籍】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀関地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	など(移動販売)	その他	この商品は購入しない	無回答
全体	2,030	20.6	7.8	5.8	3.3	8.3	25.4	12.6	2.2	28.9	2.9	0.4	-	0.1	0.7	2.4	0.5	6.3	0.3	0.1	2.7	16.5		
性別																								
男性	708	18.2	8.2	6.4	4.4	8.5	25.1	11.6	2.8	28.5	4.1	0.7	-	0.1	0.4	2.0	0.3	4.9	0.7	-	-	2.7	18.8	
女性	1,284	22.2	7.9	5.5	2.9	8.4	25.9	12.9	1.8	29.3	2.1	0.3	-	0.1	0.9	2.6	0.6	7.2	0.1	0.2	-	2.7	14.8	
無回答	38	13.2	-	5.3	-	2.6	13.2	18.4	2.6	23.7	7.9	-	-	-	-	5.3	-	2.6	-	-	-	2.6	31.6	
年齢別																								
20代	173	26.0	9.2	7.5	3.5	7.5	19.1	13.9	1.2	35.3	4.0	0.6	-	-	0.6	2.3	0.6	9.8	0.6	-	-	3.5	8.7	
30代	315	16.2	10.8	5.7	6.3	7.9	29.2	17.1	1.9	33.0	3.8	0.3	-	-	0.6	3.8	0.6	18.1	0.3	-	-	2.9	5.7	
40代	378	23.5	13.2	3.7	5.0	11.6	28.8	18.0	2.9	25.7	5.0	1.1	-	0.3	1.3	2.4	0.3	9.3	0.5	-	-	3.4	6.1	
50代	334	23.4	9.0	6.9	2.4	8.4	30.8	12.9	1.5	32.9	2.7	-	-	-	1.2	3.3	0.3	4.5	0.3	0.3	-	2.1	10.8	
60代	477	20.1	4.4	6.7	2.9	7.8	24.9	9.4	2.1	30.2	1.7	0.2	-	0.2	0.4	1.7	0.8	0.6	-	0.2	-	2.9	20.5	
70歳以上	334	17.7	2.4	4.5	0.3	6.0	16.5	5.7	3.0	19.2	1.2	0.6	-	-	0.3	0.6	0.3	0.3	0.3	-	-	1.8	41.9	
無回答	19	5.3	-	10.5	-	10.5	21.1	10.5	-	36.8	-	-	-	-	-	15.8	-	-	-	-	5.3	-	26.3	
居住地別																								
中心部	374	46.5	33.4	5.1	-	2.9	9.1	0.5	1.6	20.3	-	-	-	-	1.9	2.4	-	7.8	0.8	-	-	1.9	15.2	
南大分	194	23.7	6.7	29.9	2.1	1.5	6.2	0.5	-	50.0	-	-	-	-	0.5	1.0	0.5	7.2	-	-	-	2.1	14.9	
城東・明野・滝尾・原川	426	14.1	1.9	2.6	13.6	28.4	46.5	7.0	1.2	7.5	-	-	-	-	0.5	0.5	0.2	7.0	0.2	0.5	-	2.8	18.1	
鶴崎	295	8.5	0.3	0.7	0.7	6.1	46.4	56.3	-	4.7	1.4	-	-	-	-	1.0	0.3	5.4	-	-	-	1.7	17.6	
大南	119	18.5	0.8	3.4	0.8	-	36.1	10.1	18.5	34.5	-	-	-	-	1.7	5.9	1.7	5.9	-	-	-	3.4	15.1	
植田・野津原	398	15.1	1.5	5.3	0.3	0.8	4.8	0.3	2.0	78.6	0.5	-	-	0.5	0.8	3.5	1.0	4.3	0.3	0.3	-	2.8	13.6	
大在・坂ノ市・佐賀関	207	15.0	1.9	0.5	1.0	6.3	32.9	19.8	1.4	4.8	25.6	4.3	-	-	-	4.3	0.5	7.2	0.5	-	-	5.8	19.8	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	17	5.9	5.9	5.9	-	-	23.5	11.8	-	23.5	-	-	-	-	-	17.6	-	-	-	-	-	-	41.2	

多く利用する場所の店舗形態

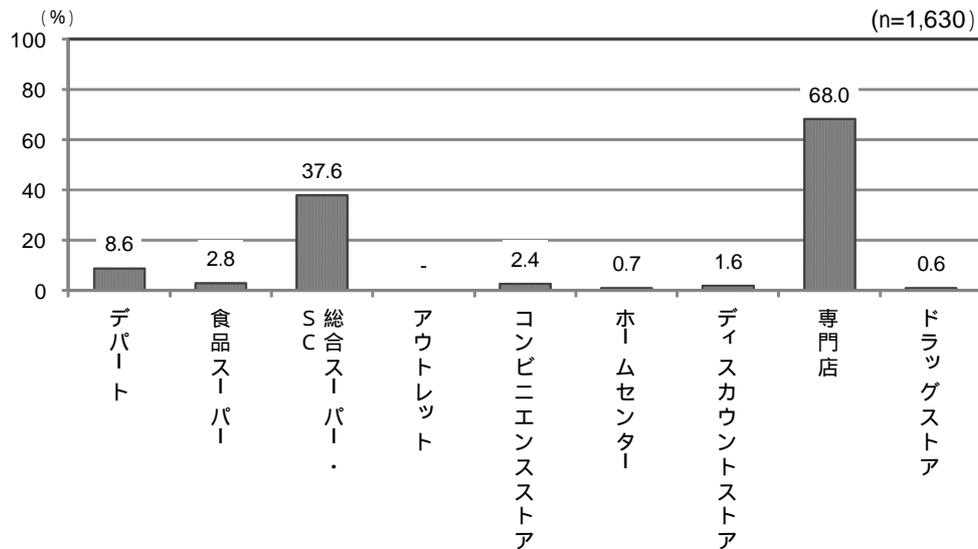
多く利用する場所の店舗形態について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「専門店」(66.0%)が最も高く、次いで「総合スーパー・SC」(37.6%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「専門店」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「専門店」が最も高い。

居住地別にみると、いずれの地区も「専門店」が最も高い。

【多く利用する買い物場所の店舗形態(1番目+2番目) 書籍】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1630	8.6	2.8	37.6	-	2.4	0.7	1.6	68.0	0.6	2.2
性別	男性	555	6.7	3.8	32.3	-	3.8	0.9	2.0	68.6	1.3	2.9
	女性	1051	9.7	2.4	40.3	-	1.7	0.6	1.4	67.6	0.2	1.8
	無回答	24	4.2	-	41.7	-	-	-	-	70.8	-	4.2
年齢別	20代	149	6.0	2.7	31.5	-	2.0	0.7	0.7	73.8	0.7	2.0
	30代	282	5.0	2.5	42.9	-	4.6	0.4	2.5	68.4	0.7	0.4
	40代	338	5.0	2.4	36.1	-	2.7	0.6	0.9	75.1	-	2.4
	50代	293	9.6	3.4	39.2	-	3.1	0.7	1.7	66.6	0.7	1.0
	60代	367	11.4	3.5	37.3	-	0.8	1.4	0.8	65.1	1.1	2.2
	70歳以上	187	15.5	2.1	33.7	-	1.1	-	3.7	58.3	-	6.4
	無回答	14	7.1	-	57.1	-	-	-	-	57.1	-	7.1
居住地別	中心部	308	12.7	2.9	25.6	-	2.9	0.3	0.6	77.3	-	1.6
	南大分	159	9.4	3.1	41.5	-	3.8	-	1.9	67.3	0.6	1.3
	城東・明野・滝尾・原川	335	6.9	4.2	38.5	-	2.1	1.5	2.1	67.5	0.3	2.1
	鶴崎	239	5.0	2.5	35.6	-	2.1	0.8	2.1	72.8	1.7	0.8
	大南	95	11.6	1.1	44.2	-	1.1	1.1	1.1	65.3	-	3.2
	積田・野津原	332	7.5	2.1	42.5	-	1.5	0.3	1.5	59.9	0.9	3.3
	大在・坂ノ市・佐賀関	152	9.2	2.6	42.1	-	3.9	0.7	2.0	63.2	-	3.9
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	10	10.0	-	70.0	-	-	-	-	60.0	-	-	

最も多く利用する場所

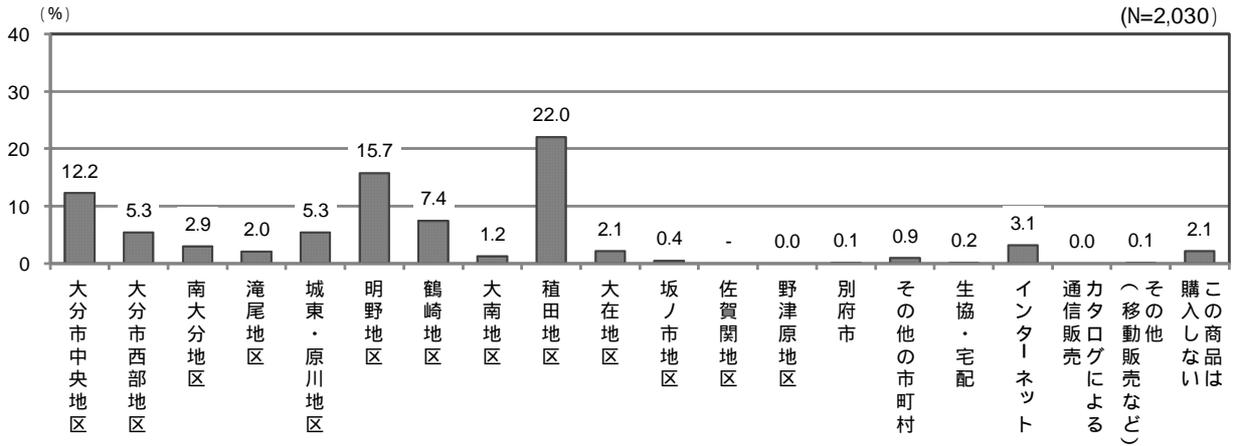
最も多く利用する買い物場所をみると、「植田地区」(22.0%)が最も高く、次いで「明野地区」(15.7%)、「大分市中央地区」(12.2%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高い。

居住地別にみると、南大分地区及び大南地区以外は、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。なお、南大分地区は「植田地区」が3割程度みられるほか、大南地区は「植田地区」が2割程度みられる。

【最も多く利用する買い物場所 書籍】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀関地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない	この商品は購入しない	無回答
全体	2,030	12.2	5.3	2.9	2.0	5.3	15.7	7.4	1.2	22.0	2.1	0.4	-	0.0	0.1	0.9	0.2	3.1	0.0	0.1	0.1	2.1	16.9	
性別																								
男性	708	10.9	5.8	3.2	2.3	5.1	14.7	6.1	1.6	21.6	2.8	0.7	-	-	-	1.0	0.6	4.0	-	-	-	1.8	19.8	
女性	1,284	13.1	5.2	2.6	1.9	5.5	16.4	8.2	0.9	22.4	1.5	0.2	-	0.1	0.2	0.9	0.3	3.3	0.1	0.2	0.2	2.2	15.0	
無回答	38	7.9	-	5.3	-	2.6	10.5	7.9	2.6	15.8	7.9	-	-	-	-	2.6	-	2.6	-	-	-	2.6	31.6	
年齢別																								
20代	173	13.9	6.4	5.2	1.7	4.6	12.1	8.1	-	26.0	3.5	0.6	-	-	-	1.2	0.6	4.0	-	-	-	2.9	9.2	
30代	315	10.5	7.0	2.2	5.1	3.8	15.6	11.7	0.6	21.6	2.5	0.3	-	-	-	0.6	0.3	10.2	-	-	-	2.2	5.7	
40代	378	13.5	9.0	1.9	2.6	7.9	15.1	10.1	2.1	18.8	3.7	0.8	-	0.3	0.3	1.1	0.3	3.4	0.3	-	-	2.6	6.3	
50代	334	14.1	5.7	3.9	1.2	6.0	17.7	7.5	0.9	24.6	1.8	-	-	-	-	1.8	-	2.4	-	0.3	1.2	11.1		
60代	477	11.5	3.1	2.9	1.7	5.0	18.0	5.5	1.0	25.2	1.0	0.2	-	-	0.2	0.4	0.2	0.4	-	0.2	2.1	21.2		
70歳以上	334	11.1	2.1	1.8	-	3.6	12.9	3.0	1.8	17.1	0.9	0.6	-	-	-	0.6	-	-	-	-	1.8	42.8		
無回答	19	5.3	-	10.5	-	10.5	15.8	5.3	-	21.1	-	-	-	-	-	5.3	-	-	-	-	-	-	26.3	
居住地別																								
中心部	374	36.6	24.3	1.9	-	1.3	3.2	0.3	1.1	9.4	-	-	-	-	-	0.8	-	3.7	0.3	-	-	1.6	15.5	
南大分	194	12.4	5.2	20.6	1.0	-	3.1	-	-	35.6	-	-	-	-	0.5	-	0.5	4.6	-	-	-	1.5	14.9	
城東・明野・滝尾・原川	426	6.6	0.5	1.4	8.5	20.2	33.1	1.4	0.7	2.8	-	-	-	-	0.2	0.2	-	3.5	-	0.2	2.1	18.5		
鶴崎	295	3.7	0.3	-	0.3	2.7	30.8	38.3	-	1.4	0.7	-	-	-	-	0.3	-	2.0	-	-	1.0	18.3		
大南	119	11.8	0.8	2.5	0.8	-	20.2	5.0	10.1	21.0	-	-	-	-	-	4.2	0.8	2.5	-	-	3.4	16.8		
植田・野津原	398	3.8	0.5	0.3	-	0.5	0.8	-	0.8	74.6	0.3	-	-	0.3	-	0.3	0.3	2.0	-	0.3	1.5	14.1		
大在・坂ノ市・佐賀関	207	8.7	0.5	-	0.5	3.4	18.8	11.1	1.0	1.4	18.8	3.9	-	-	-	2.9	0.5	3.4	-	-	5.3	19.8		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	17	5.9	-	5.9	-	-	11.8	11.8	-	11.8	-	-	-	-	-	11.8	-	-	-	-	-	-	41.2	

最も多く利用する場所の店舗形態

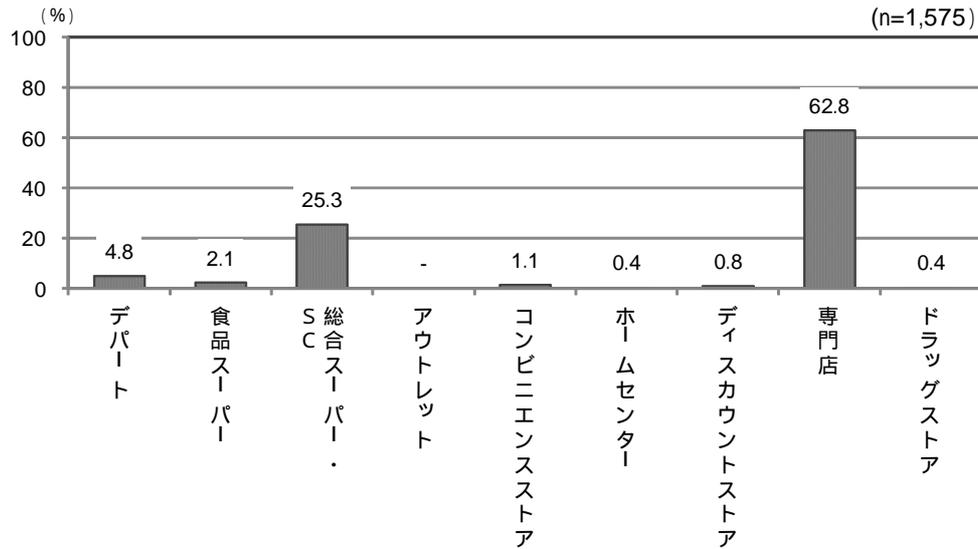
最も多く利用する場所の店舗形態をみると、「専門店」(62.8%)が最も高く、次いで「総合スーパー・SC」(25.3%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「専門店」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「専門店」が最も高い。

居住地別にみると、いずれの地区も「専門店」が最も高い。

【最も多く利用する買い物場所の店舗形態 書籍】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1,575	4.8	2.1	25.3	-	1.1	0.4	0.8	62.8	0.4	2.3
性別	男性	536	3.5	3.2	20.7	-	2.4	0.6	1.1	64.6	0.7	3.2
	女性	1,015	5.5	1.6	27.7	-	0.4	0.3	0.6	61.9	0.2	1.9
	無回答	24	4.2	-	29.2	-	-	-	-	62.5	-	4.2
年齢別	20代	144	4.2	2.8	16.7	-	1.4	-	-	72.2	-	2.8
	30代	257	3.1	1.2	28.0	-	1.9	0.4	0.8	63.4	0.4	0.8
	40代	329	2.4	1.5	22.8	-	1.2	0.3	0.3	69.0	-	2.4
	50代	284	4.9	2.5	26.1	-	1.4	0.7	1.4	61.6	0.4	1.1
	60代	362	5.0	3.0	28.2	-	0.3	0.6	0.3	59.4	1.1	2.2
	70歳以上	185	11.4	1.6	25.4	-	0.5	-	2.2	53.0	-	5.9
無回答		14	7.1	-	35.7	-	-	-	-	50.0	-	7.1
居住地別	中心部	295	9.5	2.4	12.5	-	0.7	-	0.3	72.2	-	2.4
	南大分	152	3.3	0.7	27.0	-	2.0	-	-	65.1	0.7	1.3
	城東・明野・滝尾・原川	322	3.1	3.7	24.5	-	0.6	1.2	0.6	64.3	-	1.9
	鶴崎	232	2.2	2.2	25.0	-	1.3	0.4	0.9	66.8	0.9	0.4
	大南	91	8.8	-	29.7	-	-	1.1	-	58.2	-	2.2
	植田・野津原	326	3.7	1.5	35.3	-	0.9	-	1.2	52.8	0.9	3.7
	大在・坂ノ市・佐賀関	147	5.4	2.0	25.2	-	2.7	-	2.0	57.8	-	4.8
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答		10	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-

最も多く利用する場所×店舗形態

最も多く利用する場所別に店舗形態をみると、いずれの地区も「専門店」が最も高くなっている。
 なお、植田地区は「総合スーパー・SC」が4割みられるほか、明野地区も「総合スーパー・SC」が3割以上みられ、他の地区よりも高くなっている。

(なお、坂ノ市地区は「コンビニエンスストア」が37.5%と高くなっているものの、サンプル数が少ないため、ここでは参考扱いとする)

【最も多く利用する買い物場所×店舗形態 書籍】

		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1575	4.8	2.1	25.3	-	1.1	0.4	0.8	62.8	0.4	2.3
最も多く利用する買い物場所別	大分市中央地区	248	18.5	0.8	4.8	-	0.4	-	-	74.6	-	0.8
	大分市西部地区	108	-	4.6	2.8	-	1.9	-	-	88.9	-	1.9
	南大分地区	58	3.4	3.4	13.8	-	3.4	1.7	1.7	67.2	1.7	3.4
	滝尾地区	41	-	4.9	14.6	-	-	-	-	80.5	-	-
	城東・原川地区	108	1.9	3.7	18.5	-	0.9	1.9	-	70.4	0.9	1.9
	明野地区	318	3.1	3.1	36.8	-	-	-	0.3	55.0	0.3	1.3
	鶴崎地区	151	-	0.7	27.2	-	2.0	1.3	1.3	66.2	0.7	0.7
	大南地区	24	-	-	16.7	-	4.2	4.2	4.2	58.3	-	12.5
	植田地区	447	2.9	1.1	40.5	-	0.4	-	1.1	51.0	0.4	2.5
	大在地区	42	4.8	4.8	7.1	-	2.4	-	4.8	69.0	-	7.1
	坂ノ市地区	8	-	-	-	-	37.5	-	-	12.5	-	50.0
	佐賀関地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	野津原地区	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
別府市	2	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	
その他の市町村	19	5.3	-	21.1	-	-	-	-	57.9	-	15.8	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

DVD・CD

多く利用する場所

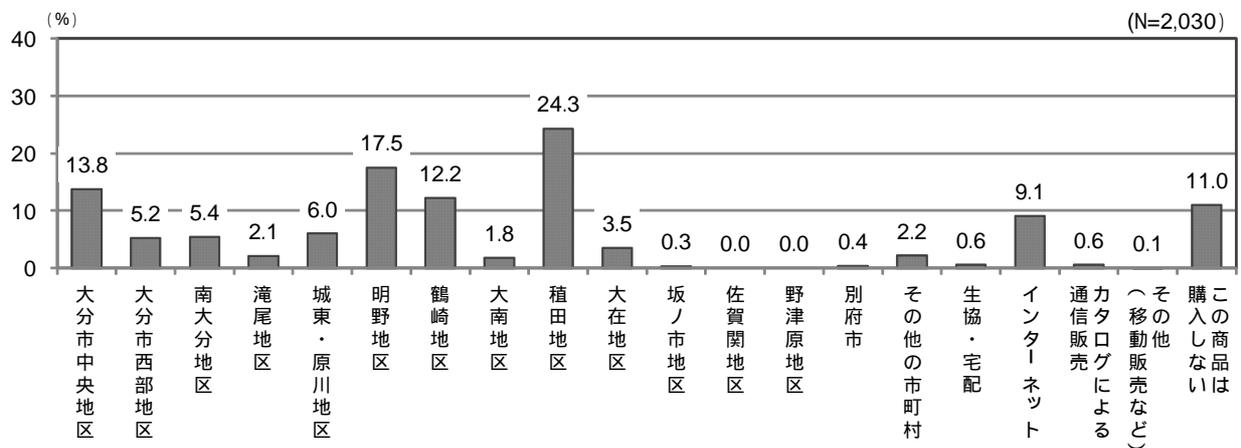
多く利用する買い物場所について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「植田地区」(24.3%)が最も高く、次いで「明野地区」(17.5%)、「大分市中央地区」(13.8%)の順となっている。なお、「インターネット」が9.1%みられ、他の商品に比べて高いのが特徴としてあげられる。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高い。なお、30代は「インターネット」が2割みられるほか、20代、40代も1割以上みられ、比較的若い世代は「インターネット」で購入している傾向がみられる。

居住地別にみると、南大分地区、大南地区、大在・坂ノ市・佐賀関地区以外は、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。なお、南大分地区は「植田地区」が4割以上みられるほか、大南地区も「植田地区」が3割程度みられる。

【多く利用する買い物場所(1番目+2番目) DVD・CD】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀関地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	この商品は購入しない	無回答
全体	2,030	13.8	5.2	5.4	2.1	6.0	17.5	12.2	1.8	24.3	3.5	0.3	0.0	0.0	0.4	2.2	0.6	9.1	0.6	0.1	11.0	22.8	
性別	男性	708	13.0	4.8	6.8	2.7	6.2	17.8	11.6	1.4	24.7	4.7	0.6	-	0.1	0.3	2.1	0.6	7.1	0.7	-	9.2	24.9
	女性	1,284	14.3	5.5	4.5	1.8	6.0	17.8	12.5	2.0	24.1	2.8	0.1	-	0.5	2.2	0.7	10.4	0.5	0.2	12.1	21.1	
	無回答	38	13.2	-	7.9	-	2.6	5.3	10.5	-	26.3	5.3	-	-	-	5.3	-	2.6	-	-	7.9	39.5	
年齢別	20代	173	18.5	6.4	8.1	1.7	2.3	11.6	15.0	2.9	26.0	6.4	0.6	-	0.6	2.9	0.6	17.3	1.2	-	15.0	9.2	
	30代	315	11.7	7.6	4.8	2.5	6.7	23.2	16.2	1.6	27.6	3.5	-	-	0.6	3.8	1.6	23.2	0.3	-	13.7	7.0	
	40代	378	14.6	8.7	4.5	3.4	7.7	23.0	16.4	2.9	23.5	5.3	0.5	-	1.1	2.1	0.8	14.3	0.8	-	12.4	9.3	
	50代	334	19.2	6.6	5.7	1.5	8.7	21.6	12.9	0.6	29.6	3.0	-	-	0.6	2.4	0.6	6.0	0.3	0.3	9.3	15.3	
	60代	477	12.2	1.7	5.9	2.3	5.0	14.5	9.0	1.9	24.9	2.7	0.2	0.2	0.2	-	1.7	0.4	1.7	1.0	0.2	10.3	31.7
	70歳以上	334	9.3	2.1	4.2	0.6	4.2	9.9	6.3	0.9	14.4	1.8	0.6	-	-	-	0.6	-	-	-	-	7.8	54.5
	無回答	19	15.8	-	10.5	-	5.3	10.5	5.3	-	36.8	-	-	-	-	-	10.5	-	-	-	-	10.5	26.3
居住地別	中心部	374	32.1	23.0	5.1	1.3	1.9	5.6	1.1	1.3	16.8	0.3	-	-	1.3	2.9	-	10.7	1.1	-	11.5	23.3	
	南大分	194	13.9	4.1	27.3	1.0	1.0	4.1	1.0	-	43.3	0.5	-	-	-	1.0	-	7.7	-	-	12.9	20.1	
	城東・明野・滝尾・原川	426	8.7	0.2	1.6	7.0	23.0	33.1	9.2	1.4	7.0	-	-	-	0.5	1.2	0.7	11.3	0.2	0.2	12.0	23.7	
	鶴崎	295	5.1	-	0.7	0.3	3.1	33.6	51.5	0.3	3.1	2.4	-	-	-	1.7	0.3	8.8	0.3	-	9.2	22.4	
	大南	119	11.8	0.8	4.2	1.7	-	26.9	8.4	11.8	31.1	-	-	-	-	1.7	1.7	10.1	-	-	10.9	22.7	
	植田・野津原	398	11.1	1.3	5.5	-	-	3.8	0.5	1.3	64.6	0.5	-	0.3	0.5	2.5	1.3	5.8	0.8	0.3	10.1	20.9	
	大在・坂ノ市・佐賀関	207	9.7	1.4	-	1.0	2.9	18.4	17.9	2.4	4.8	29.0	2.9	0.5	-	3.4	1.0	10.1	1.4	-	11.6	25.1	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	17	17.6	5.9	5.9	-	-	11.8	5.9	-	23.5	-	-	-	-	17.6	-	-	-	-	-	5.9	41.2	

多く利用する場所の店舗形態

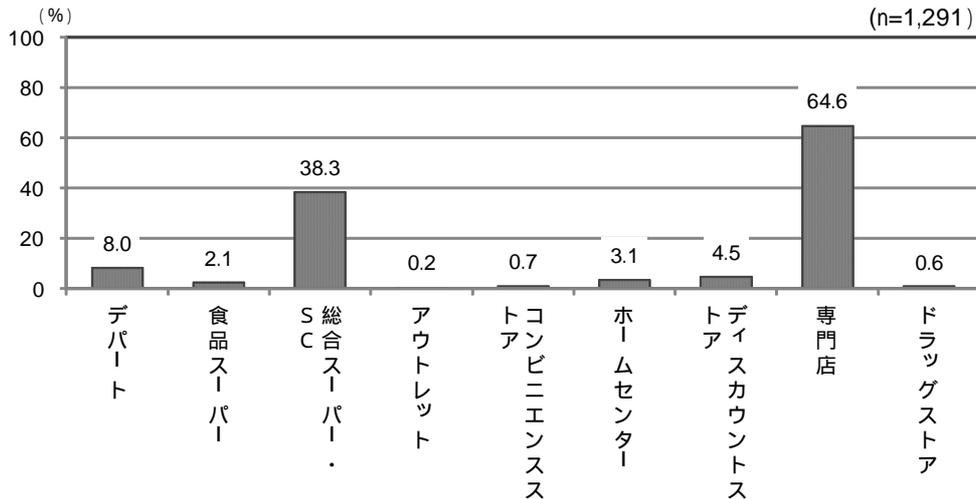
多く利用する場所の店舗形態について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「専門店」(64.4%)が最も高く、次いで「総合スーパー・SC」(38.3%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「専門店」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「専門店」が最も高い。

居住地別にみると、いずれの地区も「専門店」が最も高い。

【多く利用する買い物場所の店舗形態(1番目+2番目) DVD・CD】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答	
全体		1291	8.0	2.1	38.3	0.2	0.7	3.1	4.5	64.6	0.6	3.1	
性別	男性	452	5.8	3.5	31.2	0.2	1.3	4.4	6.2	64.8	1.1	4.4	
	女性	820	9.1	1.3	42.2	0.1	0.4	2.4	3.7	64.3	0.4	2.4	
	無回答	19	10.5	-	42.1	-	-	-	-	73.7	-	-	
年齢別	20代	123	7.3	2.4	32.5	-	-	0.8	1.6	73.2	-	3.3	
	30代	233	6.4	1.3	40.3	-	0.4	0.4	5.6	67.0	0.9	2.1	
	40代	276	4.7	1.4	43.1	0.4	0.7	1.1	2.5	69.6	0.4	2.9	
	50代	248	8.5	2.4	40.7	-	1.6	4.4	3.6	60.9	0.4	1.6	
	60代	271	10.7	3.7	33.6	-	0.4	6.3	7.7	58.7	1.1	4.1	
	70歳以上	127	11.8	0.8	32.3	0.8	0.8	5.5	4.7	62.2	0.8	5.5	
	無回答	13	7.7	-	69.2	-	-	-	-	53.8	-	7.7	
居住地別	中心部	234	12.4	1.7	28.6	0.4	0.4	3.0	3.4	73.1	0.4	3.4	
	南大分	129	11.6	2.3	40.3	-	-	0.8	7.8	62.8	0.8	3.1	
	城東・明野・滝尾・原川	263	5.3	3.4	41.8	0.4	1.5	5.7	4.6	57.0	-	2.7	
	鶴崎	196	4.1	1.5	38.3	-	0.5	3.6	4.1	68.4	1.5	1.5	
	大南	74	8.1	1.4	47.3	-	-	1.4	1.4	62.2	-	1.4	
	植田・野津原	265	7.5	2.6	36.6	-	0.4	1.5	3.4	63.8	0.8	4.5	
	大在・坂ノ市・佐賀関	121	7.4	-	43.0	-	1.7	4.1	8.3	64.5	0.8	4.1	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	9	22.2	-	77.8	-	-	-	-	55.6	-	-	

最も多く利用する場所

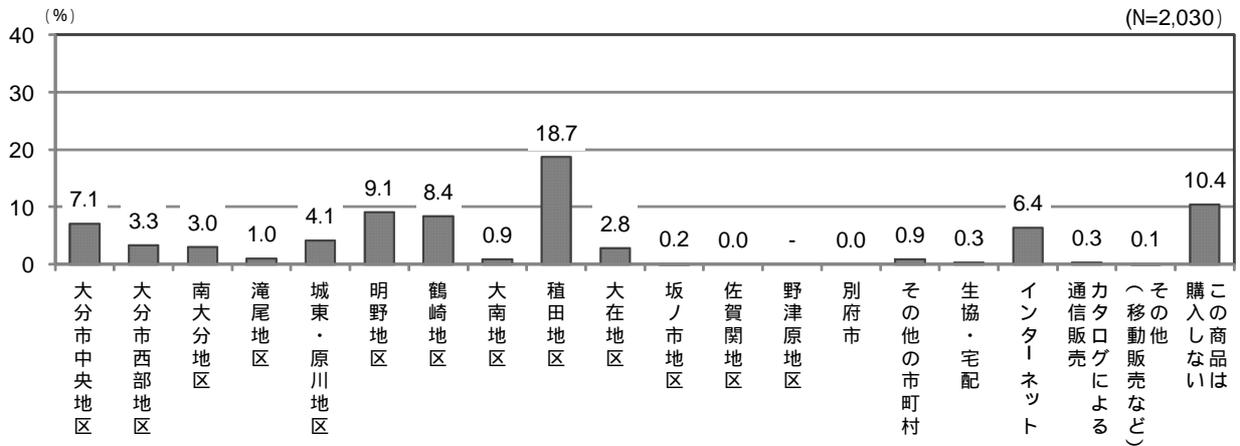
最も多く利用する買い物場所をみると、「植田地区」(18.7%)が最も高く、次いで「明野地区」(9.1%)、「鶴崎地区」(8.4%)、「大分市中央地区」(7.1%)の順となっている。なお、「インターネット」が6.4%みられ、他の商品に比べて高いのが特徴としてあげられる。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高い。なお、20～40代で「インターネット」が1割程度みられる。

居住地別にみると、南大分地区、大南地区地区以外は、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。なお、南大分地区は「植田地区」が3割以上みられるほか、大南地区も「植田地区」が2割程度みられる。

【最も多く利用する買い物場所 DVD・CD】



	サンプル数	居住地別 (%)																	無回答				
		大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット		通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	購入しない
全体	2,030	7.1	3.3	3.0	1.0	4.1	9.1	8.4	0.9	18.7	2.8	0.2	0.0	-	0.0	0.9	0.3	6.4	0.3	0.1	10.4	23.0	
性別	男性	708	6.1	3.1	4.1	1.1	4.2	8.8	7.8	0.6	19.1	4.1	0.4	-	-	1.3	0.3	5.1	0.3	-	8.5	25.3	
	女性	1,284	7.7	3.4	2.3	0.9	4.0	9.3	8.9	1.1	18.6	1.9	0.2	0.1	-	0.6	0.4	7.2	0.3	0.2	11.5	21.3	
	無回答	38	5.3	-	7.9	-	2.6	5.3	2.6	-	15.8	5.3	-	-	-	5.3	-	2.6	-	-	7.9	39.5	
年齢別	20代	173	9.8	4.6	6.4	1.2	1.7	6.4	10.4	-	17.9	5.2	0.6	-	-	1.7	-	9.2	0.6	-	14.5	9.8	
	30代	315	6.3	4.4	2.5	1.0	3.2	12.4	13.0	1.0	16.5	2.2	-	-	-	0.3	1.0	15.9	0.3	-	12.7	7.3	
	40代	378	6.9	6.1	2.4	1.3	5.6	9.8	9.3	2.4	17.7	4.5	0.5	-	-	0.3	0.8	0.5	10.8	0.3	-	11.6	9.3
	50代	334	10.2	4.2	3.0	-	6.9	9.6	9.3	0.3	23.7	2.4	-	-	-	1.5	0.3	4.8	-	0.3	8.4	15.3	
	60代	477	6.1	0.4	3.1	1.9	3.1	8.8	6.7	0.6	21.4	2.1	0.2	0.2	-	0.6	0.2	1.3	0.6	0.2	10.1	32.3	
	70歳以上	334	4.8	1.5	1.8	0.3	3.0	6.3	3.9	0.3	13.8	1.5	0.3	-	-	0.6	-	-	-	-	-	7.5	54.5
	無回答	19	10.5	-	10.5	-	5.3	10.5	-	5.3	15.8	-	-	-	-	10.5	-	-	-	-	-	5.3	26.3
居住地別	中心部	374	23.3	15.5	3.2	0.8	1.6	2.9	0.5	1.1	7.5	0.3	-	-	-	1.6	-	6.7	0.5	-	11.2	23.3	
	南大分	194	4.1	2.6	20.1	-	0.5	2.1	1.0	-	33.0	0.5	-	-	-	-	-	5.2	-	-	10.8	20.1	
	城東・明野・滝尾・原川	426	4.0	0.2	1.2	3.3	16.7	20.7	4.9	0.7	3.3	-	-	-	-	0.2	0.7	-	-	0.2	11.5	23.7	
	鶴崎	295	2.0	-	-	-	1.4	16.6	38.6	0.3	1.0	1.0	-	-	-	-	1.0	0.3	6.4	-	-	8.1	23.1
	大南	119	6.7	0.8	2.5	0.8	-	12.6	5.9	5.9	24.4	-	-	-	-	-	-	5.9	-	-	10.9	23.5	
	植田・野津原	398	1.5	-	0.3	-	-	0.3	-	0.3	60.1	0.3	-	-	-	-	0.3	1.0	4.0	0.8	0.3	9.8	21.4
	大在・坂ノ市・佐賀閑	207	4.8	0.5	-	1.0	0.5	7.2	11.1	1.0	1.0	24.2	2.4	0.5	-	1.4	1.0	7.2	0.5	-	10.6	25.1	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	17	11.8	-	5.9	-	-	5.9	5.9	-	5.9	-	-	-	-	17.6	-	-	-	-	-	5.9	41.2	

最も多く利用する場所の店舗形態

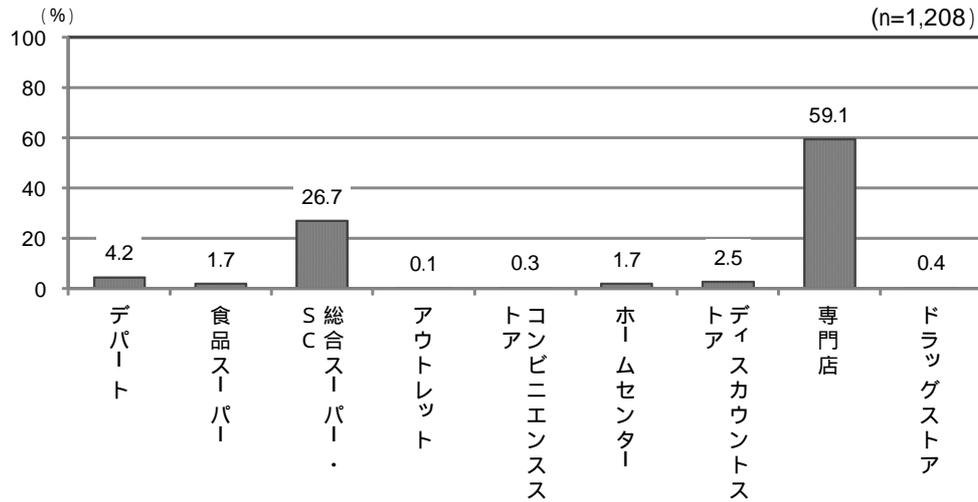
最も多く利用する場所の店舗形態をみると、「専門店」(59.1%)が最も高く、次いで「総合スーパー・SC」(26.7%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「専門店」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「専門店」が最も高い。

居住地別にみると、いずれの地区も「専門店」が最も高い。

【最も多く利用する買い物場所の店舗形態 DVD・CD】



		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンピュータエレクトロニクス	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1,208	4.2	1.7	26.7	0.1	0.3	1.7	2.5	59.1	0.4	3.2
性別	男性	429	2.6	3.3	20.0	0.2	0.7	2.1	4.7	61.5	0.7	4.2
	女性	760	5.0	0.9	30.5	-	0.1	1.6	1.3	57.5	0.3	2.8
	無回答	19	10.5	-	21.1	-	-	-	-	68.4	-	-
年齢別	20代	114	3.5	2.6	18.4	-	-	-	-	71.9	-	3.5
	30代	198	4.0	1.0	28.3	-	0.5	0.5	1.5	62.1	0.5	1.5
	40代	255	2.4	1.2	28.2	-	0.4	0.4	1.2	62.0	0.4	3.9
	50代	237	5.9	1.7	29.5	-	0.8	3.4	2.5	54.0	0.4	1.7
	60代	264	4.5	3.0	25.8	-	-	2.3	6.1	53.8	0.8	3.8
	70歳以上	127	4.7	0.8	23.6	0.8	-	3.9	1.6	59.1	-	5.5
	無回答	13	7.7	-	38.5	-	-	-	-	46.2	-	7.7
居住地別	中心部	218	9.6	1.4	15.1	0.5	-	0.9	2.3	66.1	0.5	3.7
	南大分	124	4.0	0.8	29.8	-	-	0.8	2.4	58.1	0.8	3.2
	城東・明野・滝尾・原川	238	3.4	3.4	27.3	-	1.3	4.6	2.9	54.2	-	2.9
	鶴崎	183	1.6	1.6	30.6	-	-	0.5	2.2	62.3	0.5	0.5
	大南	71	5.6	1.4	35.2	-	-	1.4	-	54.9	-	1.4
	植田・野津原	250	2.0	2.0	28.8	-	-	0.4	2.0	59.6	0.8	4.4
	大在・坂ノ市・佐賀関	115	3.5	-	26.1	-	0.9	3.5	5.2	54.8	-	6.1
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	9	11.1	-	44.4	-	-	-	-	44.4	-	-

最も多く利用する場所×店舗形態

最も多く利用する場所別に店舗形態をみると、いずれの地区も「専門店」が最も高くなっている。なお、大分市中央地区は「デパート」が2割程度みられ、他の地区よりも高くなっている。また、明野地区は「総合スーパー・SC」が4割程度みられ、他の地区よりも高くなっている。

【最も多く利用する買い物場所×店舗形態 DVD・CD】

		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1208	4.2	1.7	26.7	0.1	0.3	1.7	2.5	59.1	0.4	3.2
最も多く利用する買い物場所別	大分市中央地区	144	22.9	0.7	6.9	0.7	-	0.7	1.4	64.6	0.7	1.4
	大分市西部地区	66	-	-	6.1	-	-	1.5	1.5	87.9	-	3.0
	南大分地区	61	1.6	4.9	9.8	-	-	3.3	8.2	67.2	1.6	3.3
	滝尾地区	20	5.0	5.0	10.0	-	-	-	10.0	70.0	-	-
	城東・原川地区	83	2.4	3.6	22.9	-	2.4	7.2	1.2	57.8	-	2.4
	明野地区	184	1.6	2.7	42.9	-	-	0.5	1.1	48.4	0.5	2.2
	鶴崎地区	170	-	1.2	32.9	-	-	1.8	3.5	58.8	-	1.8
	大南地区	18	-	-	33.3	-	5.6	5.6	5.6	44.4	-	5.6
	植田地区	380	2.4	1.6	34.5	-	-	0.5	1.6	55.8	0.5	3.2
	大在地区	56	1.8	-	8.9	-	1.8	5.4	7.1	66.1	-	8.9
	坂ノ市地区	5	-	-	-	-	-	-	-	40.0	-	60.0
	佐賀関地区	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	野津原地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
別府市	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	
その他の市町村	19	5.3	-	21.1	-	-	5.3	-	52.6	-	15.8	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

文具

多く利用する場所

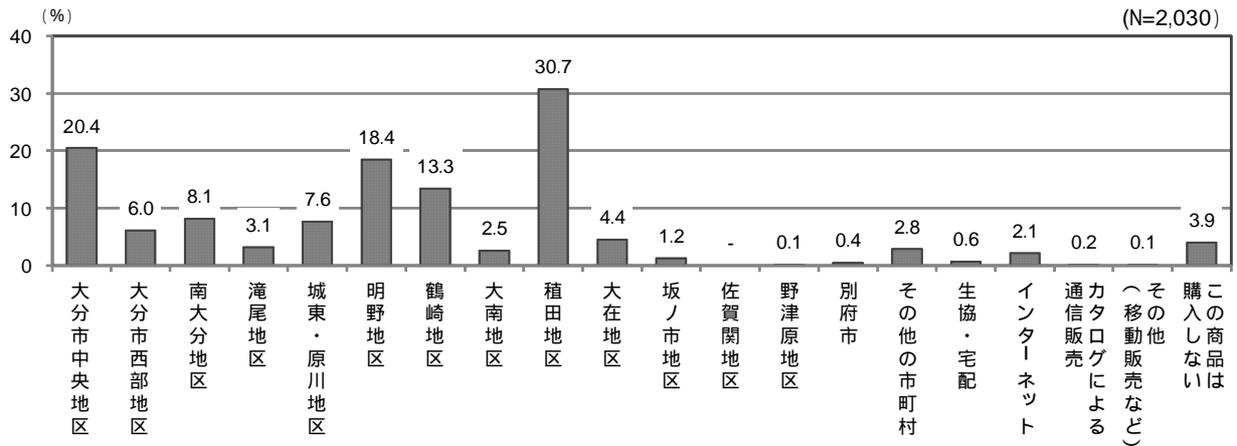
多く利用する買い物場所について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「植田地区」(30.7%)が最も高く、次いで「大分市中央地区」(20.4%)、「明野地区」(18.4%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高い。

居住地別にみると、大南地区以外は、自身の居住場所での利用割合が最も高くなっている。なお、南大分地区は「植田地区」が約5割みられるほか、大南地区も「植田地区」が約4割みられる。

【多く利用する買い物場所(1番目+2番目) 文具】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀閑地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる通	その他(移動販売など)	この商品は購入しない	無回答
全体	2,030	20.4	6.0	8.1	3.1	7.6	18.4	13.3	2.5	30.7	4.4	1.2	-	0.1	0.4	2.8	0.6	2.1	0.2	0.1	3.9	17.5	
性別																							
男性	708	18.5	5.4	9.5	4.0	7.3	18.1	13.0	2.3	29.7	5.5	1.6	0.1	0.1	-	2.4	0.6	1.6	-	-	3.7	20.5	
女性	1,284	21.7	6.5	7.5	2.6	7.9	18.8	13.5	2.6	31.5	3.7	1.1	-	0.1	0.6	3.0	0.7	2.4	0.3	0.2	4.1	15.3	
無回答	38	13.2	2.6	5.3	-	2.6	7.9	15.8	-	26.3	10.5	-	-	-	-	5.3	-	2.6	-	-	2.6	34.2	
年齢別																							
20代	173	30.1	6.9	7.5	2.3	4.0	11.6	14.5	1.7	36.4	4.6	0.6	-	-	1.2	2.3	-	3.5	-	-	10.4	9.2	
30代	315	17.1	7.0	10.5	6.0	8.9	22.5	16.2	1.9	38.7	5.7	1.0	0.3	-	0.3	4.8	1.0	7.6	-	-	4.1	5.7	
40代	378	22.5	8.5	5.0	5.0	11.6	20.4	19.0	2.9	32.3	7.1	2.1	-	0.3	0.5	3.4	-	2.6	0.5	-	3.7	6.9	
50代	334	24.3	8.7	9.9	1.8	8.7	21.6	14.7	3.0	32.3	3.6	1.5	-	-	0.6	3.3	0.6	0.3	0.6	0.3	2.7	11.4	
60代	477	18.2	3.1	8.8	2.3	6.1	18.7	10.9	2.3	29.8	3.6	0.6	-	0.2	-	1.9	1.5	0.4	-	0.2	3.8	22.6	
70歳以上	334	16.5	3.3	6.9	0.9	4.8	12.9	6.3	2.4	17.7	2.1	1.5	-	-	0.3	0.9	0.3	-	-	-	2.4	43.1	
無回答	19	5.3	5.3	10.5	-	5.3	5.3	5.3	5.3	42.1	5.3	-	-	-	-	10.5	-	-	-	5.3	-	26.3	
居住地別																							
中心部	374	51.9	28.1	6.1	0.3	1.1	4.3	0.5	1.6	22.2	-	-	-	-	0.8	2.7	0.5	4.3	0.3	-	3.5	16.0	
南大分	194	16.5	1.5	49.0	1.0	1.0	5.2	0.5	0.5	49.0	-	-	-	-	-	1.5	-	1.5	-	-	-	3.6	14.4
城東・明野・滝尾・原川	426	14.8	0.7	2.6	12.7	28.6	36.4	8.5	0.7	11.3	0.2	-	-	-	0.5	1.6	0.9	1.9	0.5	0.5	3.8	19.5	
鶴崎	295	7.1	0.7	1.7	0.3	5.1	36.6	58.3	0.3	6.1	3.1	-	-	-	-	1.4	0.3	1.4	-	-	4.7	18.3	
大南	119	17.6	-	3.4	0.8	0.8	23.5	14.3	25.2	38.7	-	-	-	-	1.7	5.0	2.5	3.4	-	-	3.4	16.0	
植田・野津原	398	14.8	1.0	6.0	0.5	0.8	4.0	1.0	1.3	77.4	0.8	-	-	0.5	0.3	3.8	0.5	1.0	0.3	0.3	3.8	15.3	
大在・坂ノ市・佐賀閑	207	11.6	1.9	1.0	0.5	3.4	18.4	18.4	1.9	9.7	36.7	12.1	0.5	-	-	4.3	0.5	1.9	-	-	5.3	20.8	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	17	5.9	5.9	5.9	-	-	11.8	5.9	-	35.3	5.9	-	-	-	-	17.6	-	-	-	-	-	41.2	

多く利用する場所の店舗形態

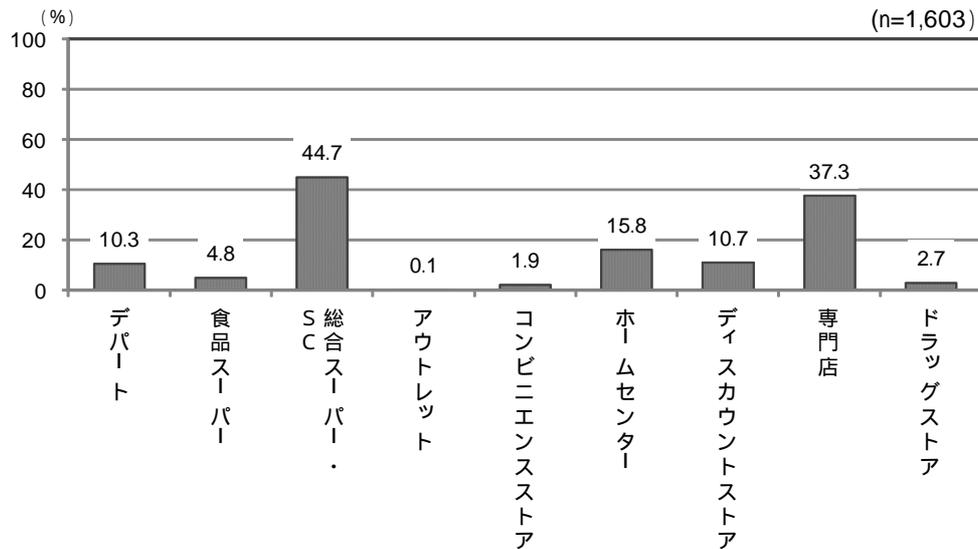
多く利用する場所の店舗形態について、1番目+2番目を合わせた割合をみると、「総合スーパー・SC」(44.7%)が最も高く、次いで「専門店」(37.3%)の順となっている。

性別にみると、男性は「専門店」が最も高く、女性は「総合スーパー・SC」が最も高い。

年齢別にみると、30代以上は「総合スーパー・SC」が最も高い。なお、20代は「専門店」が最も高く、40代は「総合スーパー・SC」と「専門店」が同程度となっている。

居住地別にみると、中心部は「専門店」が最も高く、その他の地区は「総合スーパー・SC」が最も高くなっている。

【多く利用する買い物場所の店舗形態(1番目+2番目) 文具】



	サンプル数	店舗形態 (%)										
		デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答	
全体	1603	10.3	4.8	44.7	0.1	1.9	15.8	10.7	37.3	2.7	2.1	
性別	男性	543	7.2	5.5	37.2	-	3.5	19.0	11.8	40.0	2.8	2.4
	女性	1037	12.0	4.4	48.8	0.1	1.1	14.3	10.2	35.7	2.5	2.0
	無回答	23	8.7	4.3	34.8	-	-	8.7	4.3	47.8	8.7	-
年齢別	20代	141	9.2	3.5	32.6	-	4.3	9.2	12.1	51.1	3.5	2.1
	30代	285	7.0	2.1	47.0	-	1.8	11.9	16.5	41.1	6.0	0.7
	40代	341	7.0	4.4	43.4	0.3	1.8	17.3	10.9	43.4	1.8	1.8
	50代	287	12.5	6.3	44.6	-	1.7	17.8	11.5	34.5	1.4	1.7
	60代	354	11.6	6.2	46.6	-	1.4	19.2	5.9	29.4	2.5	2.8
	70歳以上	182	15.9	6.0	48.4	-	1.6	14.8	8.8	29.1	0.5	3.8
	無回答	13	15.4	-	53.8	-	-	7.7	-	38.5	7.7	7.7
居住地別	中心部	303	19.5	5.6	26.7	-	2.0	13.9	7.3	52.1	2.0	2.0
	南大分	161	8.1	6.8	52.2	-	2.5	12.4	18.0	31.7	3.7	0.6
	城東・明野・滝尾・原川	325	9.2	6.5	50.5	-	2.2	18.8	9.8	28.6	3.7	1.2
	鶴崎	230	4.8	3.0	50.4	-	0.9	18.3	10.4	37.8	3.5	0.9
	大南	95	7.4	6.3	50.5	-	-	16.8	8.4	40.0	1.1	4.2
	植田・野津原	327	8.0	3.1	46.8	0.3	1.2	12.5	8.9	37.3	1.8	3.1
	大在・坂ノ市・佐賀関	152	11.2	3.3	42.1	-	4.6	19.7	17.8	30.3	2.0	4.6
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	10	20.0	-	60.0	-	-	10.0	-	30.0	10.0	-

最も多く利用する場所

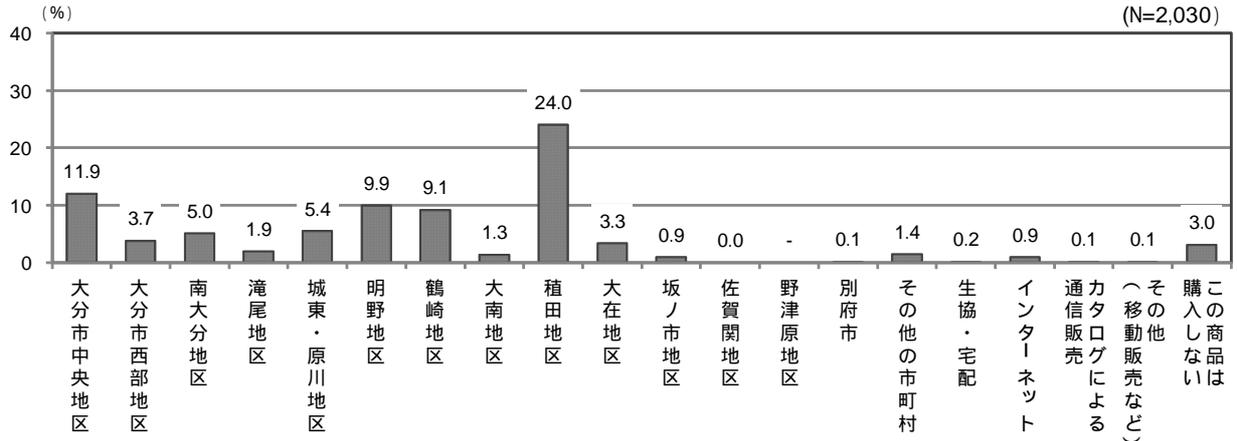
最も多く利用する買い物場所をみると、「植田地区」(24.0%)が最も高く、次いで「大分市中央地区」(11.9%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「植田地区」が最も高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「植田地区」が最も高い。

居住地別にみると、大南地区以外は、自身の居住地での利用割合が最も高くなっている。なお、南大分地区は「植田地区」が3割程度みられるほか、大南地区も「植田地区」が3割程度みられる。

【最も多く利用する買い物場所 文具】



	サンプル数	大分市中央地区	大分市西部地区	南大分地区	滝尾地区	城東・原川地区	明野地区	鶴崎地区	大南地区	植田地区	大在地区	坂ノ市地区	佐賀関地区	野津原地区	別府市	その他の市町村	生協・宅配	インターネット	通販販売	カタログによる	その他(移動販売など)	この商品は購入しない	無回答
全体	2,030	11.9	3.7	5.0	1.9	5.4	9.9	9.1	1.3	24.0	3.3	0.9	0.0	-	0.1	1.4	0.2	0.9	0.1	0.1	3.0	17.7	
性別																							
男性	708	10.5	3.5	5.6	2.1	5.2	9.0	8.6	0.8	23.0	4.4	1.1	0.1	-	-	1.3	0.3	0.7	-	-	2.7	20.9	
女性	1,284	12.9	3.8	4.6	1.8	5.6	10.4	9.4	1.6	24.8	2.6	0.8	-	-	0.2	1.4	0.2	0.9	0.2	0.2	3.2	15.4	
無回答	38	7.9	2.6	5.3	-	2.6	7.9	7.9	-	15.8	7.9	-	-	-	-	2.6	-	-	-	-	2.6	34.2	
年齢別																							
20代	173	16.2	4.6	4.6	1.7	2.3	5.2	10.4	-	27.2	4.6	0.6	-	-	0.6	1.7	-	1.2	-	-	-	9.2	9.8
30代	315	10.8	3.8	6.7	3.5	4.4	12.7	11.1	1.0	27.0	3.8	1.0	0.3	-	-	1.6	0.3	3.2	-	-	-	3.2	5.7
40代	378	14.0	5.3	2.6	2.9	9.0	9.0	12.4	1.9	24.3	5.3	1.1	-	-	0.3	1.6	-	1.1	0.3	-	-	2.1	6.9
50代	334	11.7	5.1	7.5	0.6	7.2	10.8	10.5	0.9	25.1	2.4	1.2	-	-	0.3	2.1	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	2.1	11.4
60代	477	10.9	2.3	4.6	1.9	4.2	10.9	7.8	1.5	25.4	2.9	0.4	-	-	-	0.6	0.4	0.2	-	0.2	-	2.7	23.1
70歳以上	334	10.5	1.8	3.9	0.6	3.9	8.4	3.9	1.8	16.2	1.5	1.2	-	-	-	0.9	-	-	-	-	-	2.1	43.4
無回答	19	5.3	5.3	10.5	-	5.3	5.3	-	5.3	21.1	5.3	-	-	-	-	5.3	-	-	-	-	5.3	-	26.3
居住地別																							
中心部	374	41.4	18.4	2.9	0.3	0.3	1.6	0.3	0.8	12.6	-	-	-	-	0.3	0.8	-	1.3	0.3	-	-	2.7	16.0
南大分	194	7.2	0.5	38.7	-	-	2.6	-	-	32.5	-	-	-	-	-	1.0	-	1.0	-	-	-	2.1	14.4
城東・明野・滝尾・原川	426	5.9	0.5	1.6	8.0	22.8	24.6	3.1	0.5	6.6	0.2	-	-	-	0.2	1.4	0.5	0.7	0.2	0.5	-	3.3	19.5
鶴崎	295	3.7	0.3	0.7	-	2.4	18.3	48.1	0.3	2.0	0.3	-	-	-	-	0.7	-	0.7	-	-	-	3.7	18.6
大南	119	9.2	-	0.8	0.8	0.8	9.2	8.4	13.4	30.3	-	-	-	-	0.8	4.2	0.8	0.8	-	-	-	2.5	17.6
植田・野津原	398	3.0	-	1.0	0.3	0.3	-	-	0.5	75.1	0.5	-	-	-	-	0.8	-	0.5	-	0.3	-	2.3	15.6
大在・坂ノ市・佐賀関	207	6.3	0.5	-	0.5	1.4	8.7	8.7	1.4	2.9	30.4	8.7	0.5	-	-	2.4	0.5	1.4	-	-	-	4.8	20.8
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	17	5.9	5.9	5.9	-	-	5.9	5.9	-	11.8	5.9	-	-	-	-	11.8	-	-	-	-	-	-	41.2

最も多く利用する場所の店舗形態

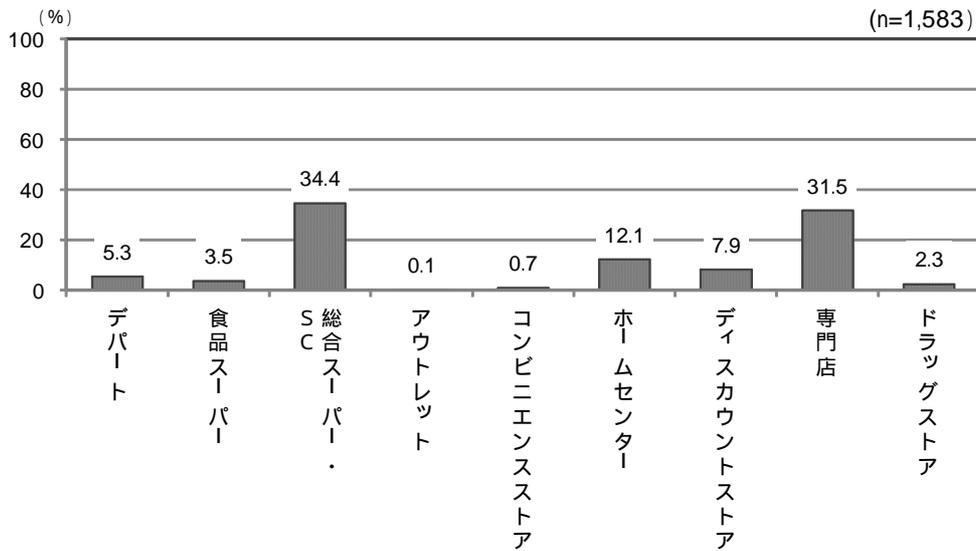
最も多く利用する場所の店舗形態をみると、「総合スーパー・S C」(34.4%)が最も高く、次いで「専門店」(31.5%)の順となっている。

性別にみると、男性は「専門店」が最も高く、女性は「総合スーパー・S C」が最も高い。

年齢別にみると、30代及び50代以上は「総合スーパー・S C」が最も高い。なお、20代及び40代は「専門店」が最も高くなっている。

居住地別にみると、中心部は「専門店」が最も高く、大南地区は「専門店」と総合スーパー・S C」が同程度となっている。その他の地区は「総合スーパー・S C」が最も高くなっている。

【最も多く利用する買い物場所の店舗形態 文具】



	サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・S C	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体	1,583	5.3	3.5	34.4	0.1	0.7	12.1	7.9	31.5	2.3	2.2
性別											
男性	534	3.4	4.9	26.2	-	1.1	15.4	9.0	35.0	2.4	2.6
女性	1,026	6.3	2.9	38.8	0.1	0.5	10.5	7.4	29.3	2.0	2.0
無回答	23	4.3	-	30.4	-	-	8.7	4.3	43.5	8.7	-
年齢別											
20代	138	5.1	2.2	21.7	-	0.7	8.0	8.7	47.8	3.6	2.2
30代	276	3.6	1.1	36.2	-	1.1	9.1	9.8	34.1	4.7	0.4
40代	339	3.8	3.2	31.0	0.3	0.3	13.6	9.4	34.8	1.5	2.1
50代	285	4.6	3.9	35.8	-	1.1	13.3	10.2	28.4	1.1	1.8
60代	350	6.0	5.1	38.3	-	0.9	14.6	4.0	25.7	2.3	3.1
70歳以上	182	10.4	5.5	37.9	-	-	11.0	6.0	24.7	0.5	3.8
無回答	13	7.7	-	38.5	-	-	7.7	-	30.8	7.7	7.7
居住地別											
中心部	298	13.1	4.7	15.8	-	0.3	9.7	5.7	47.3	1.3	2.0
南大分	160	3.1	5.0	36.9	-	0.6	9.4	12.5	28.8	3.1	0.6
城東・明野・滝尾・原川	321	4.7	4.7	40.5	-	1.2	16.5	7.2	20.9	3.1	1.2
鶴崎	227	2.2	2.2	40.5	-	-	11.9	7.0	33.0	2.6	0.4
大南	93	4.3	3.2	34.4	-	-	8.6	8.6	35.5	1.1	4.3
植田・野津原	324	2.5	2.2	41.7	0.3	0.3	10.5	6.8	30.6	1.9	3.4
大在・坂ノ市・佐賀関	150	5.3	2.7	29.3	-	2.7	16.7	12.7	23.3	2.0	5.3
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	10	-	-	60.0	-	-	10.0	-	20.0	10.0	-

最も多く利用する場所×店舗形態

最も多く利用する場所別に店舗形態をみると、「総合スーパー・SC」が最も高い地区と「専門店」が最も高い地区に分かれる。なお、大分市中央地区は「デパート」が2割程度みられ、他の地区よりも高くなっている。また、南大分地区及び大在地区は「ディスカウントストア」が2割程度みられ、他の地区よりも高くなっている。

【最も多く利用する買い物場所×店舗形態 文具】

		(%)										
		サンプル数	デパート	食品スーパー	総合スーパー・SC	アウトレット	コンビニエンスストア	ホームセンター	ディスカウントストア	専門店	ドラッグストア	無回答
全体		1583	5.3	3.5	34.4	0.1	0.7	12.1	7.9	31.5	2.3	2.2
最も多く利用する買い物場所別	大分市中央地区	242	23.6	2.5	7.0	-	0.4	4.5	3.7	56.6	0.8	0.8
	大分市西部地区	75	2.7	9.3	10.7	-	2.7	24.0	5.3	42.7	2.7	-
	南大分地区	101	2.0	10.9	24.8	-	1.0	14.9	22.8	15.8	5.9	2.0
	滝尾地区	38	-	10.5	18.4	-	2.6	15.8	13.2	23.7	15.8	-
	城東・原川地区	110	2.7	5.5	36.4	-	0.9	25.5	10.9	14.5	1.8	1.8
	明野地区	200	0.5	3.5	63.5	-	-	7.5	2.0	20.0	1.5	1.5
	鶴崎地区	185	0.5	1.1	45.4	-	0.5	14.1	7.6	27.0	3.2	0.5
	大南地区	27	3.7	7.4	22.2	-	-	18.5	3.7	33.3	-	11.1
	植田地区	487	2.5	1.4	43.9	0.2	0.2	9.0	6.4	33.3	0.8	2.3
	大在地区	68	1.5	1.5	11.8	-	1.5	25.0	22.1	25.0	5.9	5.9
	坂ノ市地区	18	-	11.1	-	-	5.6	22.2	11.1	22.2	5.6	22.2
	佐賀関地区	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	野津原地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	別府市	3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-	-
その他の市町村	28	10.7	3.6	32.1	-	-	10.7	14.3	17.9	-	10.7	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(2) 日常の買い物が不便と感じることとその理由

問 11 あなたは、食料品などの日常の買い物が不便だと感じますか。感じるとお答えの方は、その理由もお答えください。(は3つまで)

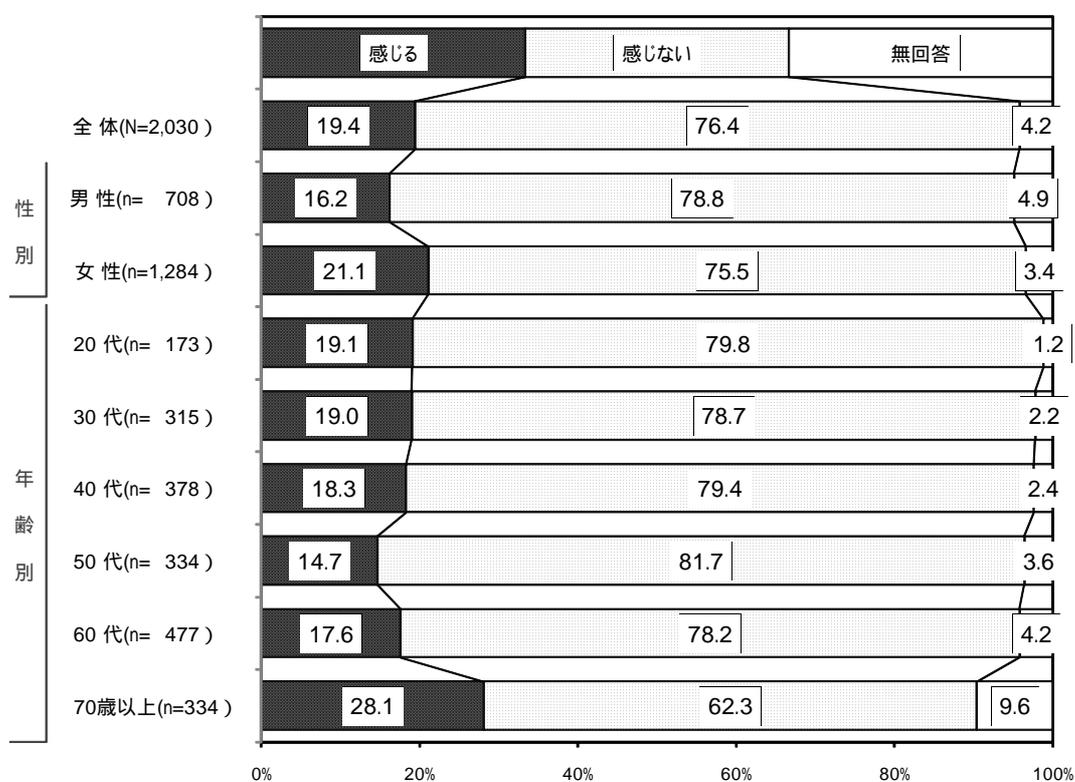
日常の買い物が不便と感じること

日常の買い物が不便と感じているのは19.4%で、2割にとどまっている。

性別にみると、買い物の頻度が高いと思われる女性の方が男性よりも不便を感じる割合が高くなっている。

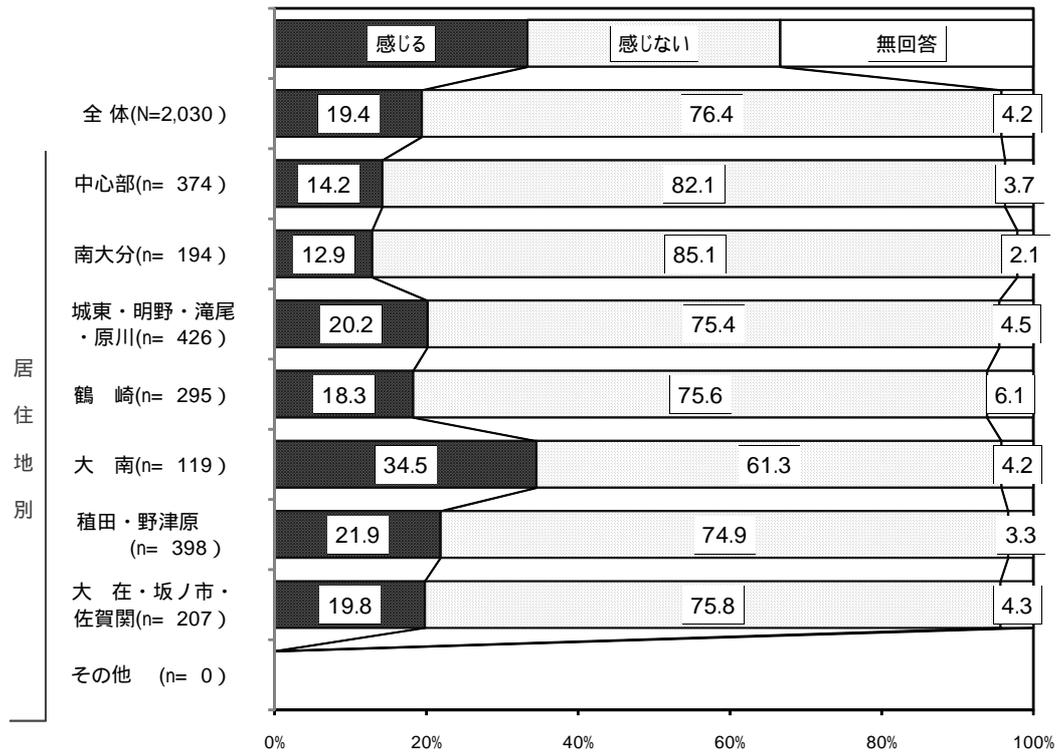
年齢別にみると、70歳以上で3割近くが不便を感じており、他の年代に比べて高い。

【日常の買い物が不便と感じること(性別・年齢別)】



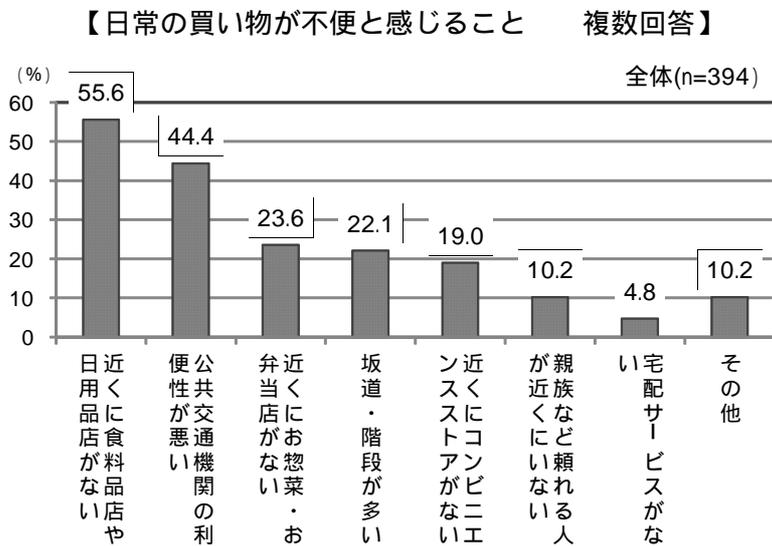
居住地別にみると、大南地区は3割以上が不便を感じており、他の地区に比べて高い。

【日常の買い物が不便と感ずること（居住地別）】



日常の買い物が不便と感じる理由

不便と感じるその理由をみると、「近くに食料品店や日用品店がない」が 55.6%で最も高く、以下「公共交通機関の利便性が悪い」(44.4%)、「近くにお惣菜・お弁当店がない」(23.6%)、「坂道・階段が多い」(22.1%)、「近くにコンビニエンスストアがない」(19.0%)などが上位となっている。



3. 大分市中心市街地の利用について

(1) 大分市中心市街地へ行く頻度

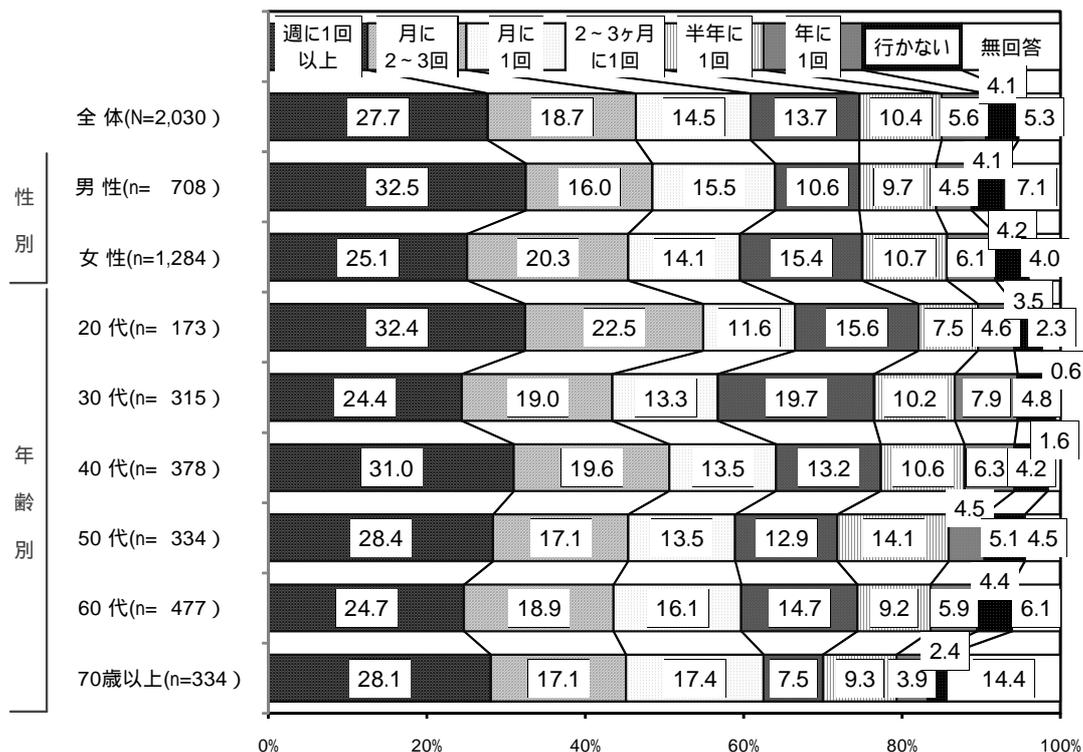
問 12 あなたはふだん、買い物をする、しないに関係なく、大分市中心市街地にどのくらいの頻度で行きますか。通勤・通学を含めてお答えください。(は1つ)

大分市中心市街地への来街頻度をみると、「週に1回以上」が27.7%で最も高く、次いで「月に2~3回」(18.7%)、「月に1回」(14.5%)、「2~3カ月に1回」(13.7%)の順となっている。なお、「週に1回以上」から「月に1回」までを合計した『月に1回以上』の割合は60.9%と、全体の6割を占めている。

性別にみると、「週に1回以上」は男性(32.5%)の方が女性(25.1%)よりも高く、『月に1回以上』も男性(64.0%)の方が女性(59.5%)よりも高い。

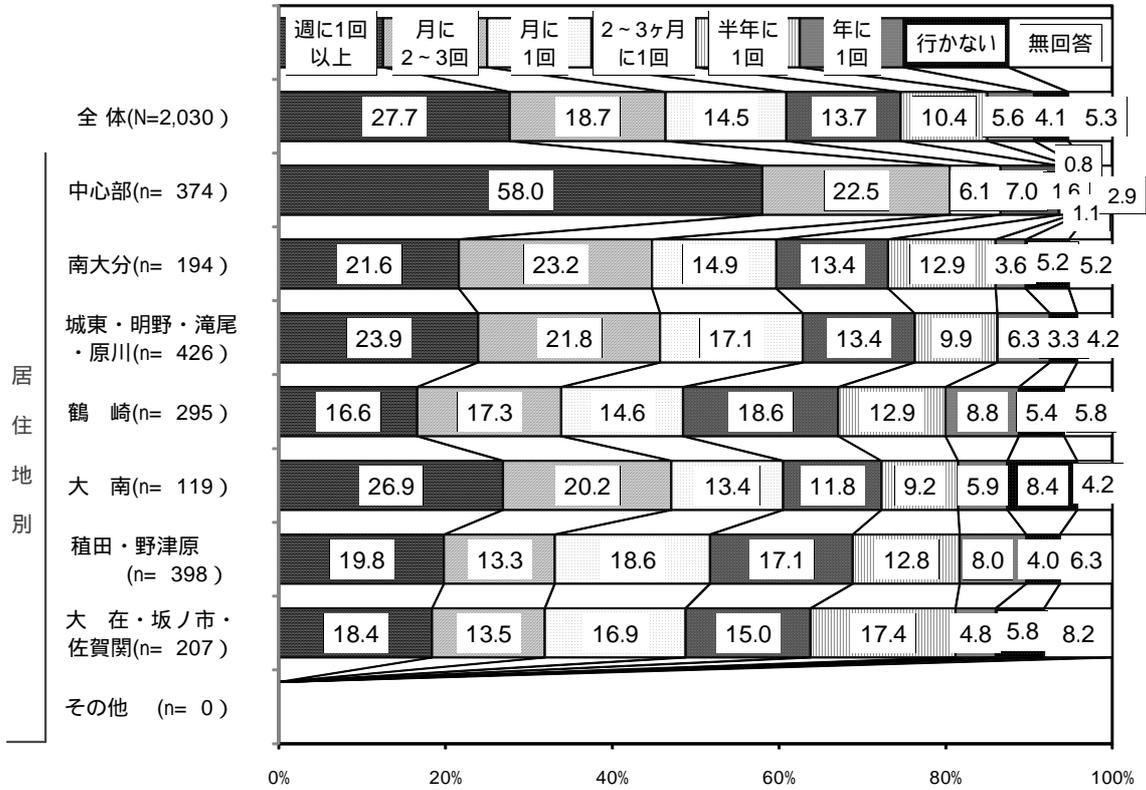
年齢別にみると、「週に1回以上」が最も高いのは20代(32.4%)、次いで40代(31.0%)の順となっている。また、『月に1回以上』も20代(66.5%)が最も高く、次いで40代(64.1%)の順となっている。なお、「週に1回以上」及び『月に1回以上』が最も低いのは30代となっている。

【大分市中心市街地へ行く頻度(性別・年齢別)】



居住地別にみると、中心部は「週に1回以上」が58.0%と約6割を占めており、中心部居住者の中心市街地への来街頻度は高いことがわかる。一方、「週に1回以上」が最も低いのは鶴崎地区（16.6%）で、『月に1回以上』も48.5%と最も低く、半数を下回っている。

【大分市中心市街地へ行く頻度（居住地別）】



(2) 大分市中心市街地へ行く目的

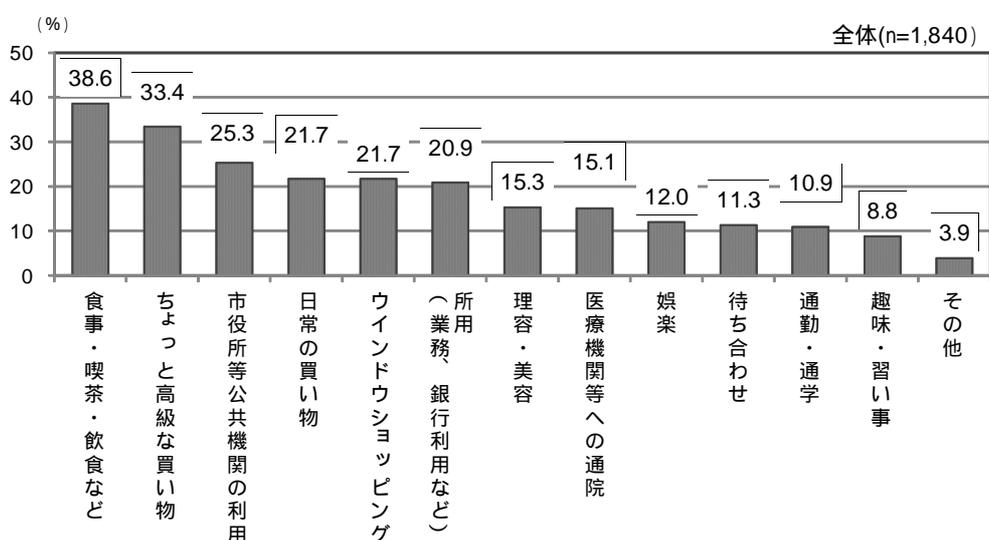
問 13 あなたはふだん、どのような目的で大分市中心市街地に行きますか。(はいくつでも)

来街目的をみると、「食事・喫茶・飲食など」が 38.6%で最も高く、次いで「ちょっと高級な買い物」(33.4%)、「市役所等公共機関の利用」(25.3%)の順となっている。

性別にみると、女性は「ちょっと高級な買い物」(38.9%)や「ウィンドウショッピング」(28.1%)などが男性に比べて高い。

年齢別にみると、20代の「食事・喫茶・飲食など」(44.8%)や「ウィンドウショッピング」(34.4%)、60代の「医療機関等への通院」(21.1%)、70歳以上の「医療機関等への通院」(29.9%)、「趣味・習い事」(13.7%)などが高くなっている。

【大分市中心市街地へ行く目的(性別・年齢別) 複数回答】



(単位: %)

	サンプル数	食事・喫茶・飲食など	ちょっと高級な買い物	市役所等公共機関の利用	日常の買い物	ウィンドウショッピング	所用(業務、銀行利用など)	理容・美容	医療機関等への通院	娯楽	待ち合わせ	通勤・通学	趣味・習い事	その他	
全体	1,840	38.6	33.4	25.3	21.7	21.7	20.9	15.3	15.1	12.0	11.3	10.9	8.8	3.9	
性別	男性	629	35.5	23.1	24.8	16.4	9.7	23.1	8.4	14.0	13.2	7.8	14.8	8.7	3.2
	女性	1,178	40.2	38.9	25.6	24.7	28.1	19.9	18.9	15.7	11.2	13.1	9.0	8.7	4.3
	無回答	33	42.4	33.3	21.2	15.2	24.2	12.1	18.2	12.1	15.2	15.2	6.1	12.1	3.0
年齢別	20代	163	44.8	28.8	19.6	27.0	34.4	11.0	20.9	6.7	16.6	16.6	17.8	7.4	3.1
	30代	298	40.3	34.6	25.2	19.8	25.5	22.5	16.8	12.4	12.8	6.7	14.8	6.7	4.0
	40代	356	39.3	33.4	21.1	23.3	22.2	18.3	14.3	9.0	8.7	9.6	16.3	7.0	5.6
	50代	302	37.1	34.8	28.5	18.5	22.2	23.5	12.6	7.6	14.2	11.9	13.9	7.6	4.3
	60代	427	35.6	34.2	28.1	19.0	18.3	23.7	14.5	21.1	10.3	11.0	5.9	10.1	3.3
	70歳以上	278	37.4	31.7	27.0	26.6	13.3	21.2	16.5	29.9	12.6	14.4	0.7	13.7	2.5
	無回答	16	56.3	37.5	12.5	12.5	43.8	18.8	6.3	6.3	12.5	25.0	6.3	6.3	6.3

(3) 大分市中心市街地へ行く交通手段

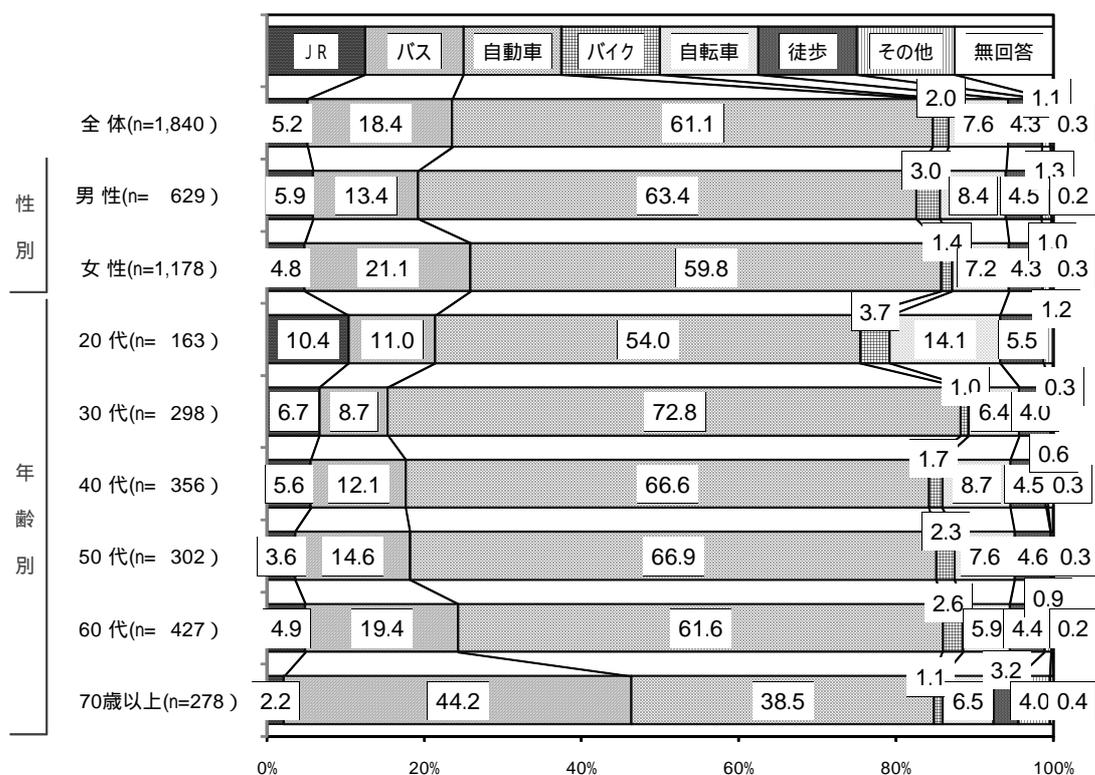
問 14 あなたはふだん、大分市中心市街地に行く時、主にどのような交通手段を利用していますか。(は1つ)

中心市街地へ行く時の利用交通機関は、「自動車」が 61.1%と突出している。次いで「バス」(18.4%)、「自転車」(7.6%)の順となっている。

性別にみると、男性は「自動車」(63.4%)、女性は「バス」(21.1%)の利用が比較的高い。

年齢別にみると、20代は「自転車」(14.1%)、「JR」(10.4%)、30代は「自動車」(72.8%)、70歳以上は「バス」(44.2%)の利用がそれぞれ全体より高くなっている。

【大分市中心市街地へ行く交通手段(性別・年齢別)】



(4) 大分市中心市街地へ行く際の同伴者

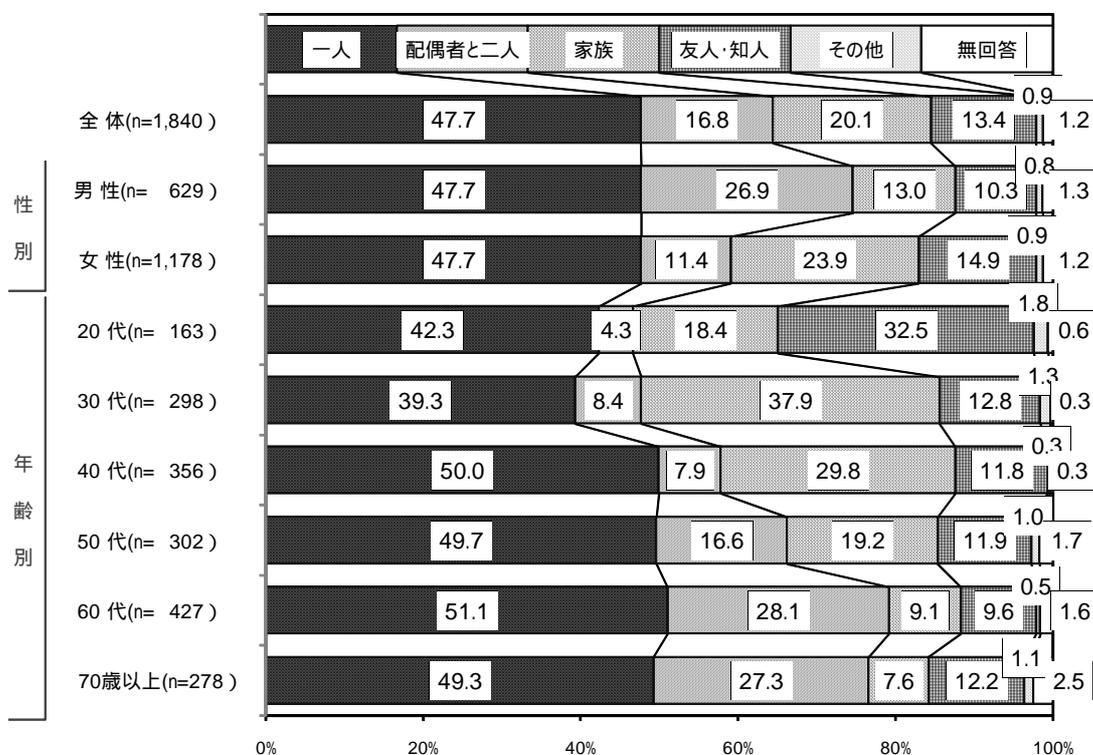
問 15 あなたはふだん、どなたと大分市中心市街地に行くことが多いですか。通勤・通学をしている人は、通勤・通学以外で行く場合についてお答えください。(は主なものに1つ)

中心市街地へ行く同伴者は、「一人」が47.7%で最も高く、次いで「家族」(20.1%)、「配偶者と二人」(16.8%)の順となっている。

性別にみると、男性は「配偶者と二人」(26.9%)が高いのに対して、女性は「家族」(23.9%)の割合が比較的高い。

年齢別にみると、20代は「友人・知人」、30～40代は「家族」、60代～70歳以上では「配偶者と二人」がそれぞれ高くなっている。

【大分市中心市街地へ行く際の同伴者(性別・年齢別)】



(5) 大分市中心市街地へ行ったときの平均滞在時間

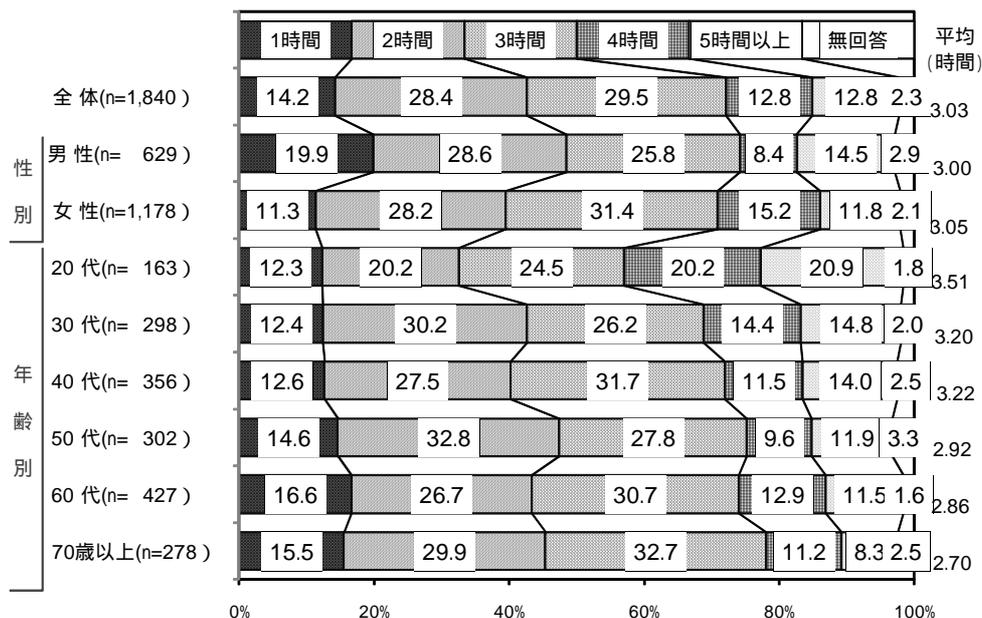
問 16 あなたは大分市中心市街地に行った時、平均すると何時間ぐらい滞在していますか。

中心市街地での滞在時間は、平均で 3.03 時間となっている。

性別にみると、男女いずれも滞在時間の平均は同程度で、特に大きな差はみられない。

年齢別にみると、滞在時間の平均について、最も長いのは 20 代の 3.51 時間、最も短いのは 70 歳以上の 2.70 時間となっており、年齢が上がるにつれて滞在時間は短くなる傾向がみられる。

【大分市中心市街地へ行ったときの平均滞在時間（性別・年齢別）】



(6) 大分市中心市街地に行く頻度の変化(1年前比較)

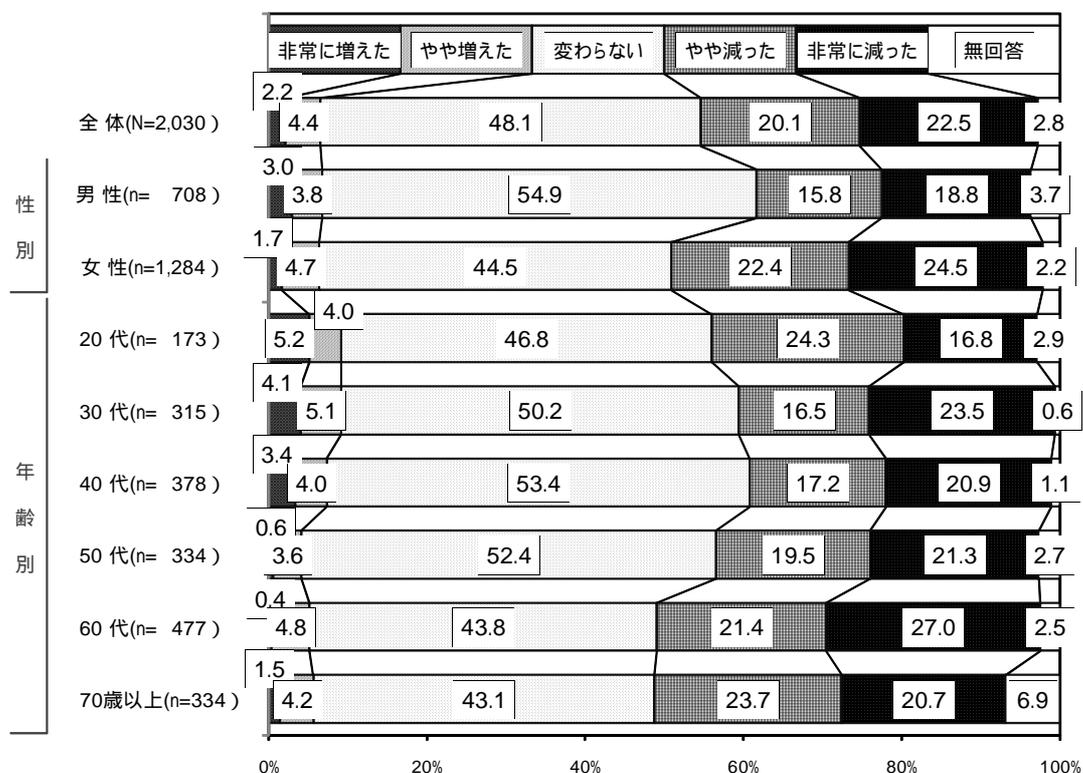
問 17 あなたは1年前と比べて、大分市中心市街地に行く頻度(買い物をする、しないに係なく)はどのように変化しましたか(は1つ)

中心市街地へ行く頻度が1年前とどのように変化をしているかをみると、「変わらない」が48.1%で最も高い。なお、『増えた』(「非常に増えた」(2.2%)と「やや増えた」(4.4%)の合計)は6.6%と少ない一方、『減った』(「やや減った」(20.1%)と「非常に減った」(22.5%)の合計)は42.6%と4割を超えている。

性別にみると、女性の方が男性よりも『減った』割合が高くなっている。

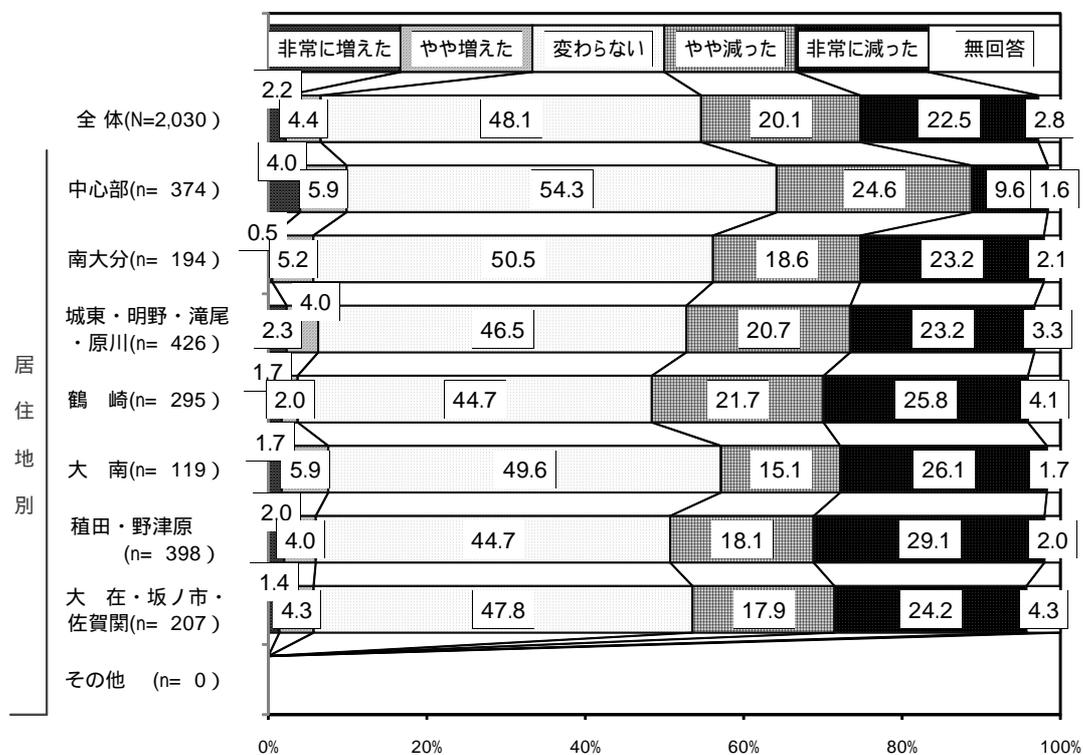
年齢別にみると、年代が高い方が『減った』割合は高い傾向がみられる。

【大分市中心市街地に行く頻度の変化(1年前比較)(性別・年齢別)】



居住地別にみると、『増えた』が最も高いのは中心部（9.9%）、次いで大南地区（7.6%）の順となっている。一方、『減った』が最も高いのは鶴崎地区（47.5%）、次いで植田・野津原地区（47.2%）で、いずれも「変わらない」を僅かに上回っていることから、中心市街地への来街頻度はいずれの地区も減少傾向にあることが考えられる。

【大分市中心市街地に行く頻度の変化（1年前比較）（居住地別）】



(7) 大分市中心市街地に行く頻度が増えた理由

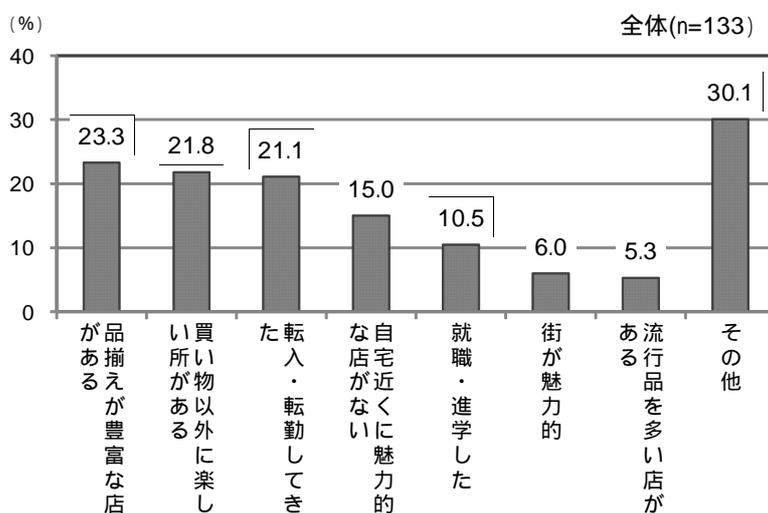
問 18 問 17 で「1 非常に増えた」または「2 やや増えた」とお答えの方におたずねします。
1 年前と比べて、大分市中心市街地に行く頻度（買い物をする、しないに関係なく）が増えた理由は何ですか。（はいいくつでも）

来街頻度が増加した理由をみると、「品揃えが豊富な店がある」(23.3%)、「買い物以外に楽しいところがある」(21.8%)、「転入・転勤してきた」(21.1%)などが理由の上位となっている。

性別にみると、男性は「転入・転勤してきた」(29.2%)が最も高く、女性は「品揃えが豊富な店がある」(24.4%)が最も高い。

年齢別にみると、50代までは「転入・転勤してきた」、60代は「買い物以外に楽しい所がある」、70歳以上は「品揃えが豊富な店がある」が主な理由となっている。

【大分市中心市街地に行く頻度が増えた理由（性別・年齢別） 複数回答】



		サンプル数	品揃えが豊富な店がある	買い物以外に楽しいところがある	転入・転勤してきた	自宅近くに魅力的な店がある	就職・進学した	街が魅力的	流行品を多い店がある	その他	無回答
全体		133	23.3	21.8	21.1	15.0	10.5	6.0	5.3	30.1	7.5
性別	男性	48	18.8	22.9	29.2	16.7	16.7	10.4	6.3	18.8	6.3
	女性	82	24.4	20.7	17.1	14.6	7.3	3.7	4.9	36.6	7.3
年齢別	20代	16	6.3	18.8	37.5	6.3	37.5	-	-	25.0	-
	30代	29	17.2	13.8	37.9	6.9	17.2	3.4	3.4	31.0	-
	40代	28	21.4	7.1	21.4	10.7	-	7.1	7.1	46.4	10.7
	50代	14	21.4	28.6	28.6	7.1	7.1	7.1	-	35.7	7.1
	60代	25	20.0	32.0	4.0	28.0	8.0	8.0	8.0	16.0	16.0
	70歳以上	19	52.6	36.8	-	31.6	-	10.5	10.5	21.1	5.3
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	50.0

(8) 大分市中心市街地に行く頻度が減った理由

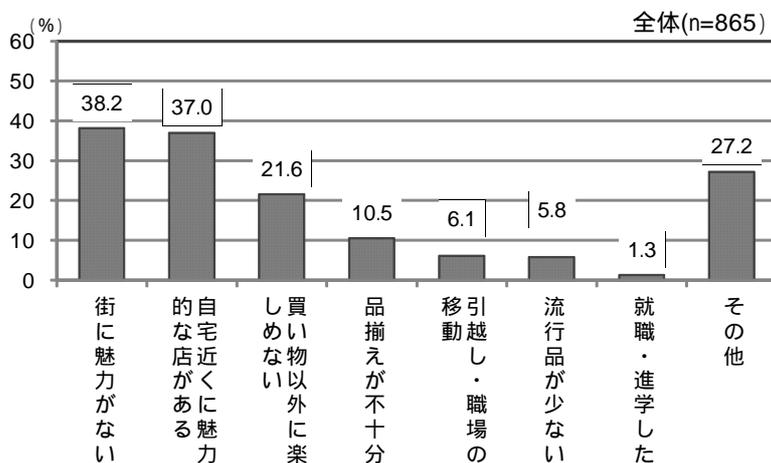
問 19 問 17 で「4 やや減った」または「5 非常に減った」とお答えの方におたずねします。
1 年前と比べて、大分市中心市街地に行く頻度（買い物をする、しないに関係なく）が
減った理由は何ですか。（はいいくつでも）

来街頻度が減った理由をみると、「街に魅力がない」(38.2%)、「自宅近くに魅力的な店がある」
(37.0%)、「買い物以外に楽しめない」(21.6%)などが理由の上位となっている。

性別にみると、男性は「街に魅力がない」や「自宅近くに魅力的な店がある」が、女性より高くなっている。

年代別にみると、20代は「街に魅力がない」、「品揃えが不十分」「自宅近くに魅力的な店がある」
が高く、30～40代は「街に魅力がない」、50代は「自宅近くに魅力的な店がある」、60代及び70
歳以上は「自宅近くに魅力的な店がある」、「買い物以外に楽しめない」が主な理由となっている。

【大分市中心市街地に行く頻度が減った理由（性別・年齢別） 複数回答】



(単位: %)

		サンプル数	街に魅力がない	自宅近くに魅力的な店がある	買い物以外に楽しめない	品揃えが不十分	引越し・職場の移動	流行品が少ない	就職・進学した	その他	無回答
全体		865	38.2	37.0	21.6	10.5	6.1	5.8	1.3	27.2	7.1
性別	男性	245	42.9	40.8	20.8	9.4	7.3	6.5	1.6	20.4	7.3
	女性	602	35.7	36.0	21.9	11.1	5.8	5.5	1.0	30.2	6.6
年齢別	20代	71	53.5	25.4	23.9	32.4	7.0	23.9	9.9	26.8	4.2
	30代	126	42.9	32.5	14.3	13.5	10.3	7.9	-	38.9	4.8
	40代	144	47.9	31.9	15.3	10.4	7.6	4.9	-	29.9	2.8
	50代	136	39.0	44.1	19.1	9.6	7.4	5.9	1.5	27.2	5.1
	60代	231	34.2	46.3	27.3	6.1	5.2	2.2	0.4	18.6	7.4
	70歳以上	148	22.3	31.1	27.0	6.1	1.4	1.4	-	27.7	15.5
	無回答	9	44.4	22.2	11.1	-	-	11.1	11.1	33.3	11.1

居住地別にみると、中心部、南大分、大在・坂ノ市・佐賀関地区は、「街に魅力がない」、城東・明野・滝尾・原川地区は「街に魅力がない」及び「自宅近くに魅力的な店がある」、鶴崎、大南、植田・野津原地区は「自宅近くに魅力的な店がある」が主な理由となっている。

【大分市中心市街地に行く頻度が減った理由（居住地別） 複数回答】

(単位: %)

		サンプル数	街に魅力がない	な自宅近くに魅力的	め買ない物以外に楽し	品揃えが不十分	動引越し・職場の移	流行品が少ない	就職・進学した	その他	無回答
全体		865	38.2	37.0	21.6	10.5	6.1	5.8	1.3	27.2	7.1
居住地別	中心部	128	45.3	7.0	23.4	21.9	4.7	12.5	1.6	35.2	7.0
	南大分	81	54.3	37.0	17.3	8.6	2.5	6.2	1.2	28.4	6.2
	城東・明野・滝尾・原川	187	38.0	35.3	20.3	12.3	6.4	5.9	1.1	32.1	7.5
	鶴崎	140	37.9	47.1	25.7	7.1	8.6	5.7	0.7	22.1	7.1
	大南	49	22.4	34.7	22.4	4.1	10.2	-	-	36.7	6.1
	植田・野津原	188	32.4	59.0	21.3	6.9	5.9	2.7	1.1	21.3	3.7
	大在・坂ノ市・佐賀関	87	35.6	23.0	20.7	9.2	5.7	5.7	2.3	19.5	12.6
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	5	20.0	20.0	-	-	-	-	20.0	20.0	40.0	

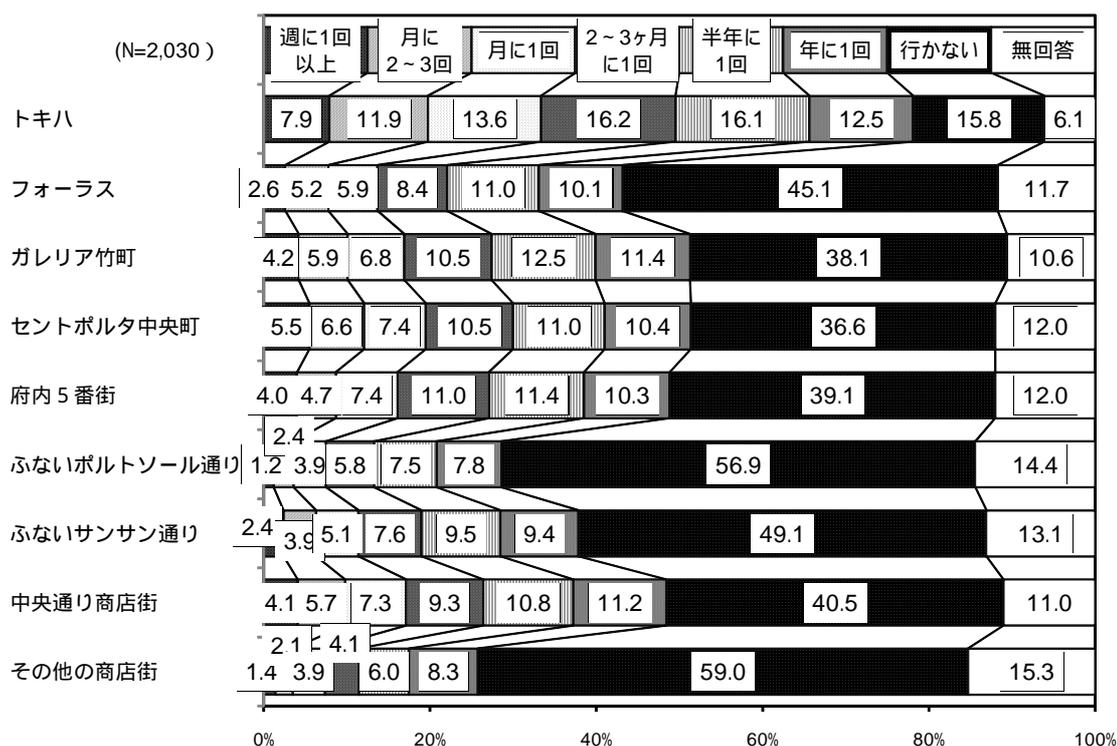
(9) 商店街別の利用頻度

問 20 あなたは次にあげる ~ の商店(商店街)へはどのくらいの頻度(買い物をする、しないに関係なく)で行きますか。は ~ の項目ごとに1つ、全ての項目についてお答えください。

中心市街地の各商店街について来街頻度をみると、『週1回以上』(「週に5回以上」から「週に1~2回」までの合計)の頻度で最も多いのは「トキハ」(7.9%)、次いで「セントポルタ中央町」(5.5%)、「ガレリア竹町」(4.2%)、「中央通り商店街」(4.1%)、「府内5番街」(4.0%)と続いている。また、『月に1回以上』(「週に5回以上」から「月に1回」までの合計)の割合は「トキハ」(33.4%)が唯一3割を超えているが、その他は2割未満と低い。特に「ふないポルトソール通り」(7.5%)は1割未満である。

一方で、中心市街地の各商店街に「行かない」と答えた割合は、「トキハ」(15.8%)を除くと4割から6割とその割合は高い。

【商店街別の利用頻度】



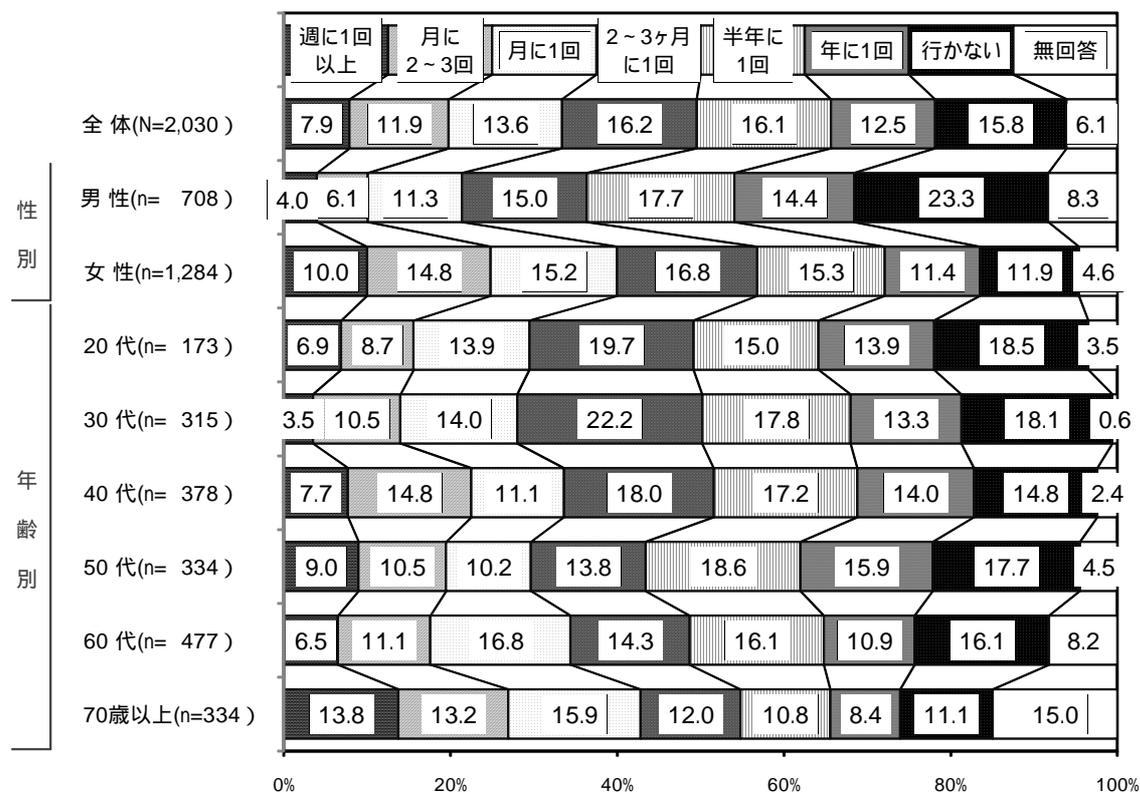
トキハ

「2～3ヶ月に1回」(16.2%)が最も高く、次いで「半年に1回」(16.1%)の順となっている。なお、『週1回以上』は7.9%、『月に1回以上』は33.4%となっている。なお、「行かない」と答えた割合は15.8%となっている。

性別にみると、『週に1回以上』は女性の方が男性よりも上回っているほか、『月に1回以上』も女性の方が男性よりも上回っている一方で、「行かない」は男性の方が女性よりも高い。

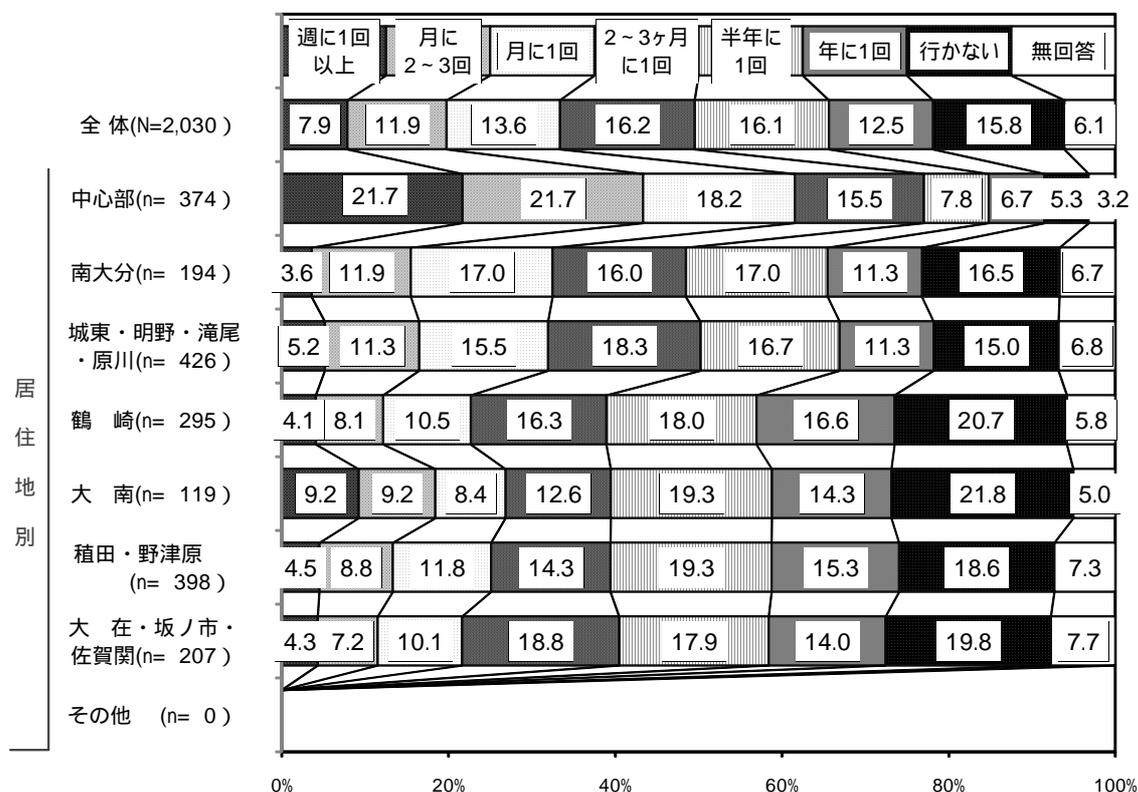
年齢別にみると、『週に1回以上』が最も高いのは70歳以上(13.8%)で、『月に1回以上』(42.9%)も4割を超えて最も高い。一方、「行かない」が最も高いのは20代(18.5%)、次いで30代(18.1%)の順となっている。

【商店街別の利用頻度 トキハ(性別・年齢別)】



居住地別にみると、『週に1回以上』が最も高いのは中心部(21.7%)で、唯一2割を超えている。また、『月に1回以上』(61.6%)も6割を超えて最も高い。一方、「行かない」が最も高いのは大南地区(21.8%)、次いで鶴崎地区(20.7%)、大在・坂ノ市・佐賀関地区(19.8%)、植田・野津原地区(18.6%)の順となっている。

【商店街別の利用頻度 トキハ(居住地別)】



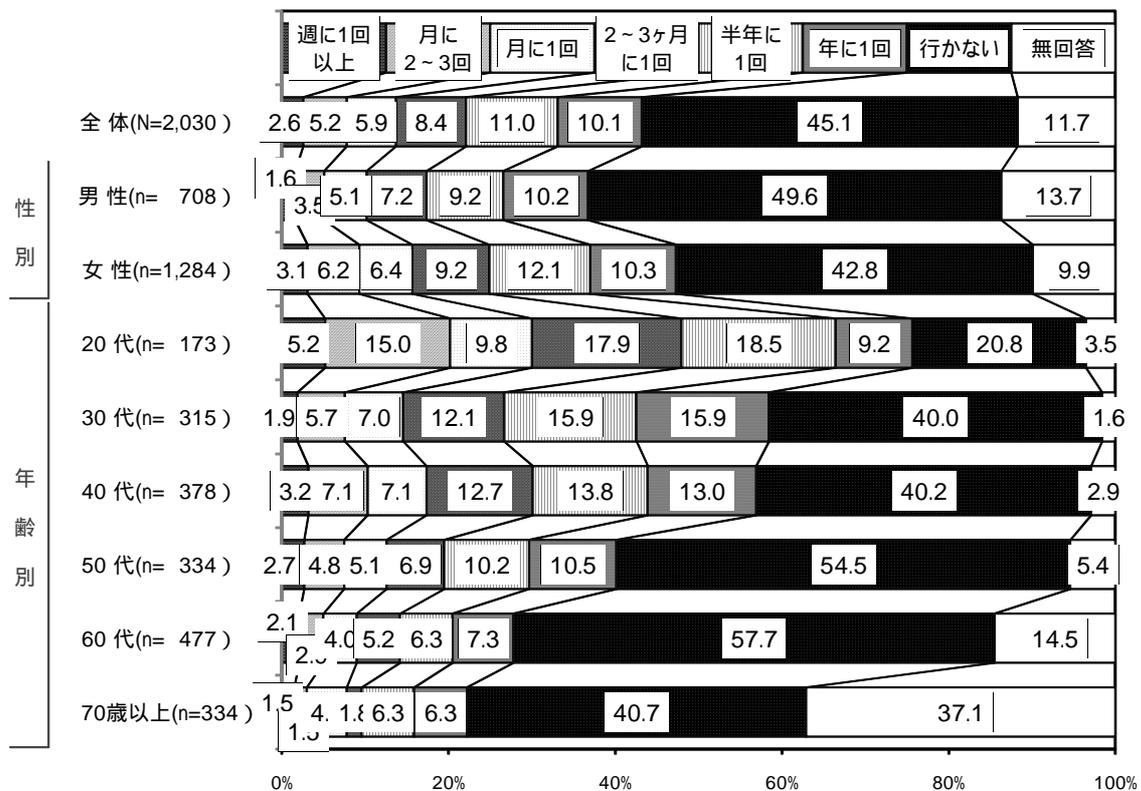
フォーラス

「半年に1回」(11.0%)が最も高く、次いで「年に1回」(10.1%)の順となっている。なお、『週1回以上』は2.6%、『月に1回以上』は13.7%となっている。なお、「行かない」と答えた割合は45.1%と、全体の4割を超えている。

性別にみると、『週に1回以上』は女性の方が男性よりも上回っているほか、『月に1回以上』も女性の方が男性よりも上回っている一方で、「行かない」は男性の方が女性よりも高い。

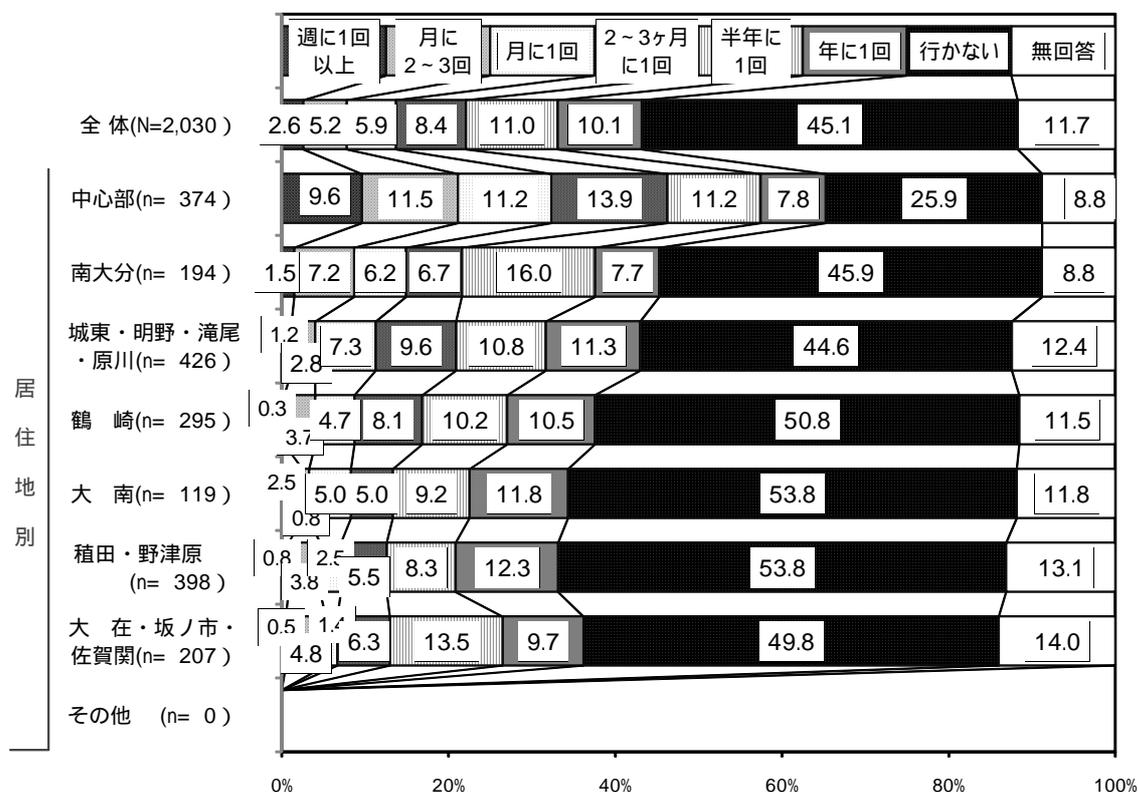
年齢別にみると、『週に1回以上』が最も高いのは20代(5.2%)で、『月に1回以上』(30.0%)も唯一3割に達している。一方、「行かない」が最も高いのは60代(57.7%)、次いで50代(54.5%)の順で、いずれも5割を超えている。

【商店街別の利用頻度 フォーラス(性別・年齢別)】



居住地別にみると、『週に1回以上』が最も高いのは中心部(9.6%)で、『月に1回以上』(32.3%)も唯一3割を超えている。一方、「行かない」が最も高いのは大南地区及び植田・野津原地区(いずれも53.8%)、次いで鶴崎地区(50.8%)、大在・坂ノ市・佐賀関地区(49.8%)の順で、いずれも過半数もしくは半数を占めている。

【商店街別の利用頻度 フォーラス(居住地別)】



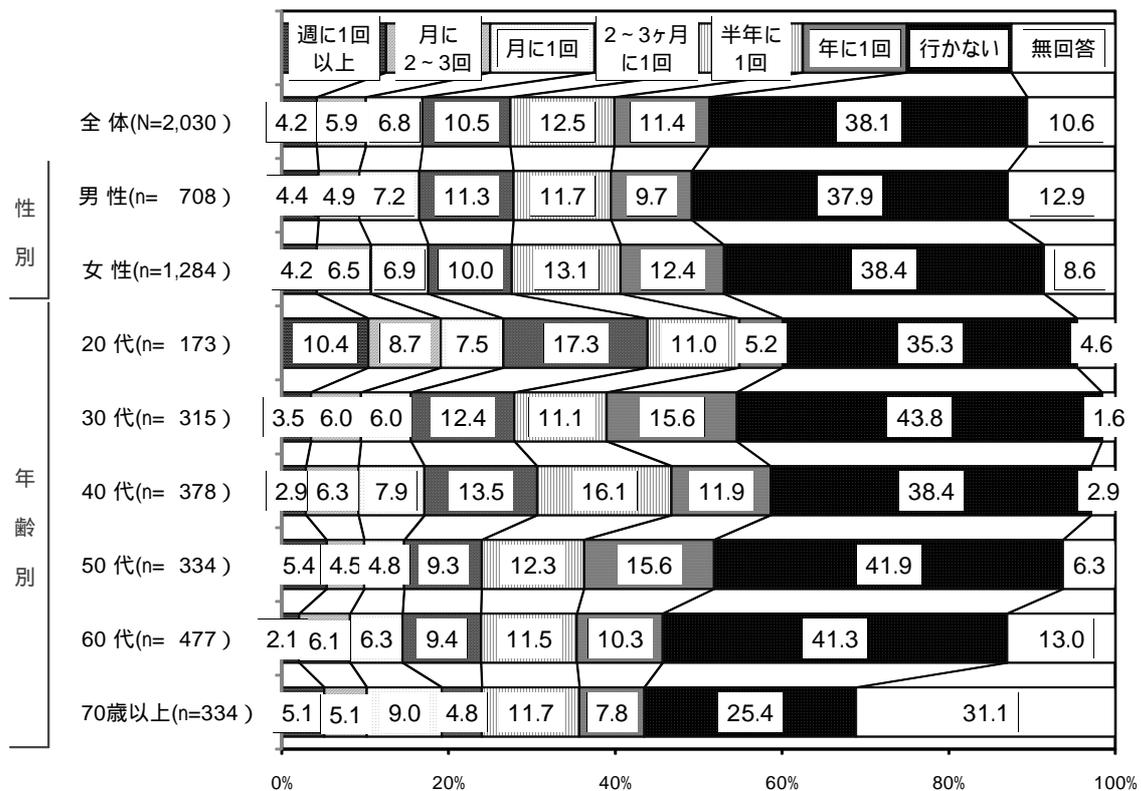
ギャラリー竹町

「半年に1回」(12.5%)が最も高く、次いで「年に1回」(11.4%)、「2~3カ月に1回」(10.5%)の順となっている。なお、「週1回以上」は4.6%、「月に1回以上」は16.9%となっている。なお、「行かない」と答えた割合は38.1%と、全体の約4割となっている。

性別にみると、「週に1回以上」は女性の方が男性よりも上回っているほか、「月に1回以上」も女性の方が男性よりも上回っている一方で、「行かない」は男性の方が女性よりも高い。

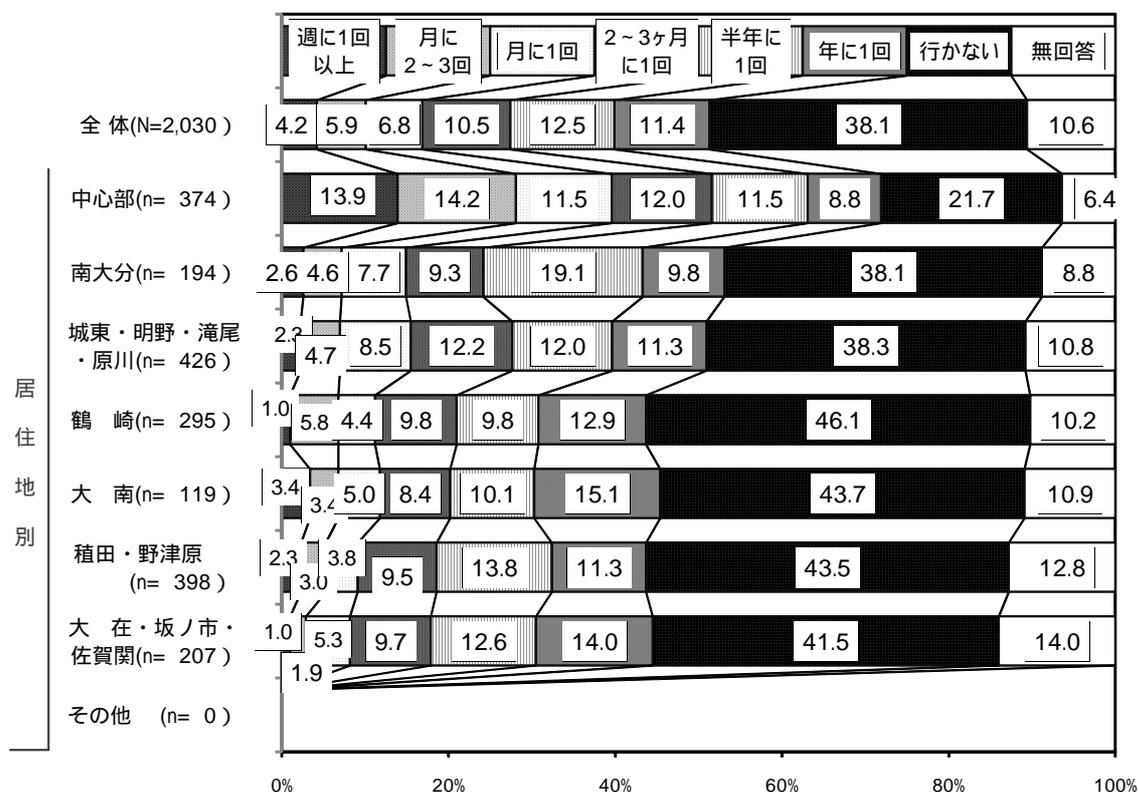
年齢別にみると、「週に1回以上」が最も高いのは20代(10.4%)で、「月に1回以上」(26.6%)も唯一2割を超えている。一方、「行かない」が最も高いのは30代(43.8%)、次いで50代(41.9%)、60代(41.3%)の順で、いずれも4割を超えている。

【商店街別の利用頻度 ギャラリー竹町(性別・年齢別)】



居住地別にみると、『週に1回以上』が最も高いのは中心部(13.9%)で、『月に1回以上』(39.6%)も唯一4割程度となっている。一方、『行かない』が最も高いのは鶴崎地区(46.1%)、次いで大南地区(43.7%)、植田・野津原地区(43.5%)、大在・坂ノ市・佐賀関地区(41.5%)の順で、いずれも4割を超えている。

【商店街別の利用頻度 ガレリア竹町(居住地別)】



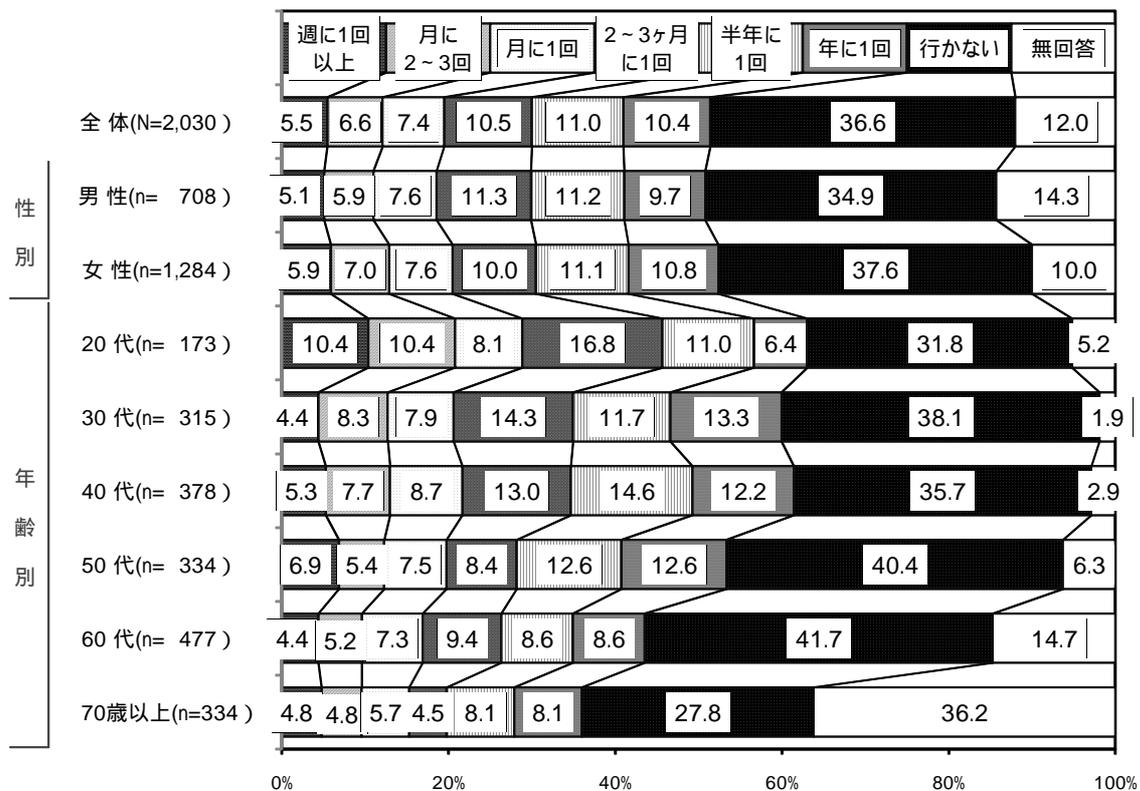
セントポルタ中央町

「半年に1回」(11.0%)が最も高く、次いで「2~3ヶ月に1回」(10.5%)、「年に1回」(10.4%)の順となっている。なお、『週1回以上』は5.5%、『月に1回以上』は19.5%となっている。なお、「行かない」と答えた割合は36.6%と、全体の3割を超えている。

性別にみると、『週に1回以上』は男女いずれも同程度で、『月に1回以上』も同程度となっている一方で、「行かない」は女性の方が男性よりも若干高い。

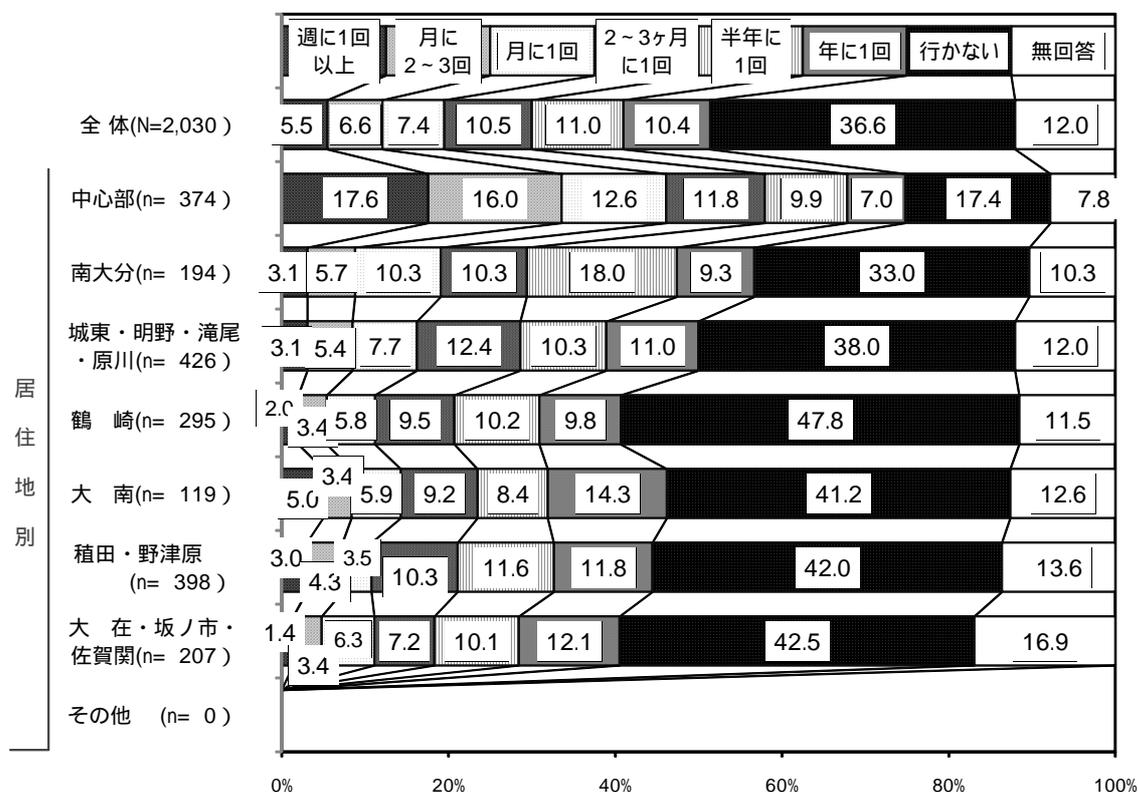
年齢別にみると、『週に1回以上』が最も高いのは20代(10.4%)で、『月に1回以上』(28.9%)も唯一約3割みられる。一方、「行かない」が最も高いのは60代(41.7%)、次いで50代(40.4%)の順で、いずれも4割程度を占めている。

【商店街別の利用頻度 セントポルタ中央町(性別・年齢別)】



居住地別にみると、『週に1回以上』が最も高いのは中心部(17.6%)で、『月に1回以上』(46.2%)も唯一4割を超えている。一方、「行かない」が最も高いのは鶴崎地区(47.8%)、次いで大在・坂ノ市・佐賀関地区(42.5%)、植田・野津原地区(42.0%)、大南地区(41.2%)の順で、いずれも4割を超えている。

【商店街別の利用頻度 セントポルタ中央町(居住地別)】



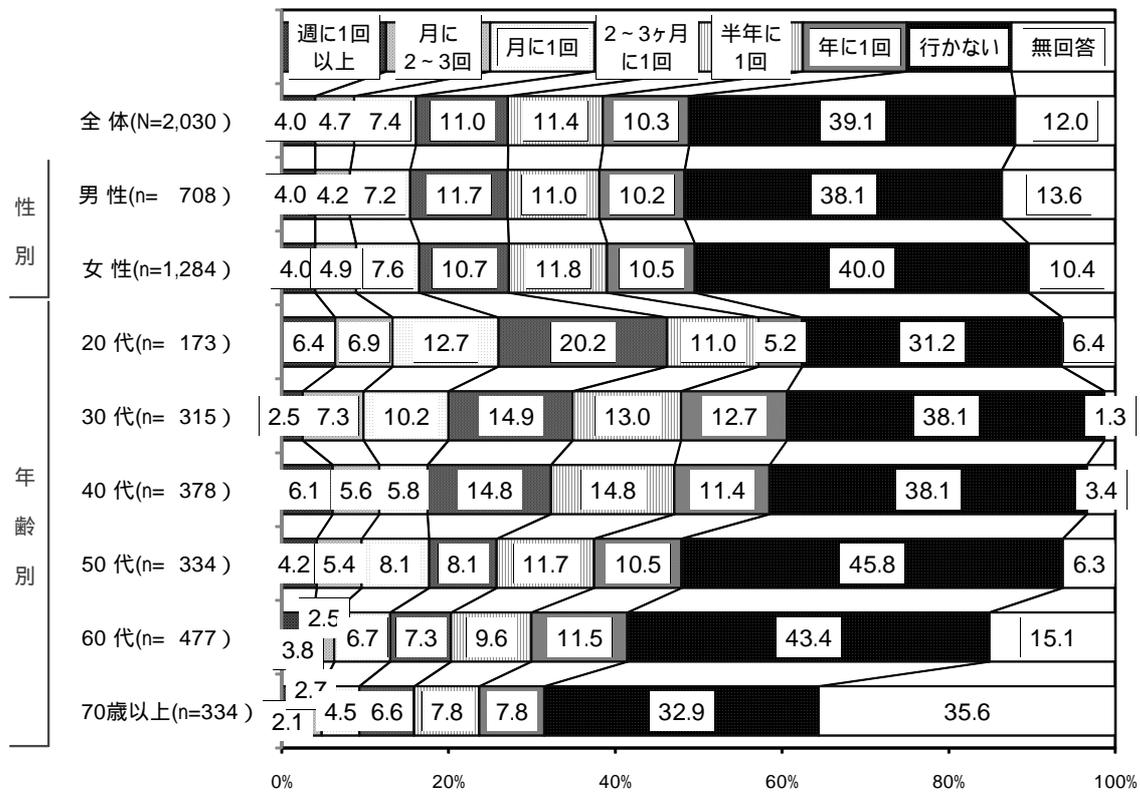
府内5番街

「半年に1回」(11.4%)が最も高く、次いで「2~3ヶ月に1回」(11.0%)、「年に1回」(10.3%)の順となっている。なお、『週1回以上』は4.0%、『月に1回以上』は16.1%となっている。なお、「行かない」と答えた割合は39.1%と、全体の約4割を占めている。

性別にみると、『週に1回以上』は男女いずれも同程度で、『月に1回以上』も同程度となっている。また、「行かない」も男女ほぼ同程度となっており、性差は特にみられない。

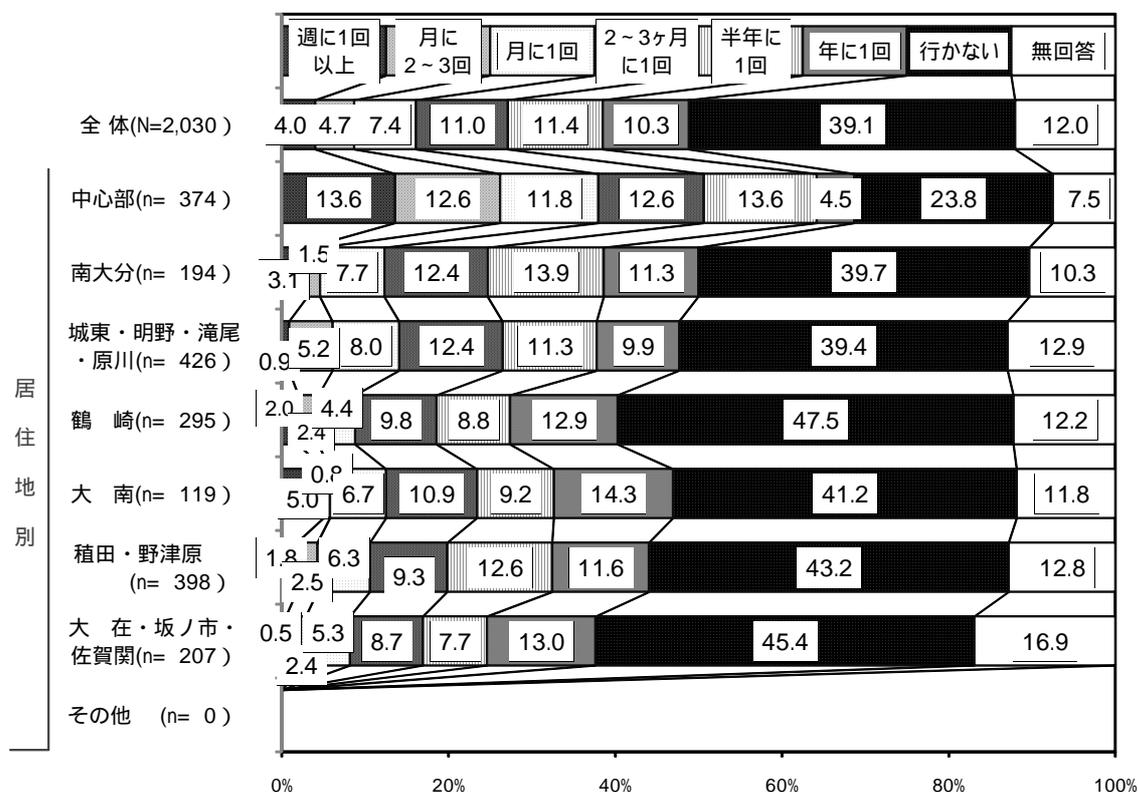
年齢別にみると、『週に1回以上』が最も高いのは20代(6.4%)、次いで40代(6.1%)の順となっているものの、『月に1回以上』は20代(26.9%)が2割を超えているほか、30代(20.0%)も2割みられる。一方、「行かない」が最も高いのは50代(45.8%)、次いで60代(43.4%)の順で、いずれも4割を超えている。

【商店街別の利用頻度 府内5番街(性別・年齢別)】



居住地別にみると、『週に1回以上』が最も高いのは中心部(13.6%)で、『月に1回以上』(38.0%)も唯一約4割となっている。一方、「行かない」が最も高いのは鶴崎地区(47.5%)、次いで大在・坂ノ市・佐賀関地区(45.4%)、植田・野津原地区(43.2%)、大南地区(41.2%)の順で、いずれも4割を超えている。

【商店街別の利用頻度 府内5番街(居住地別)】



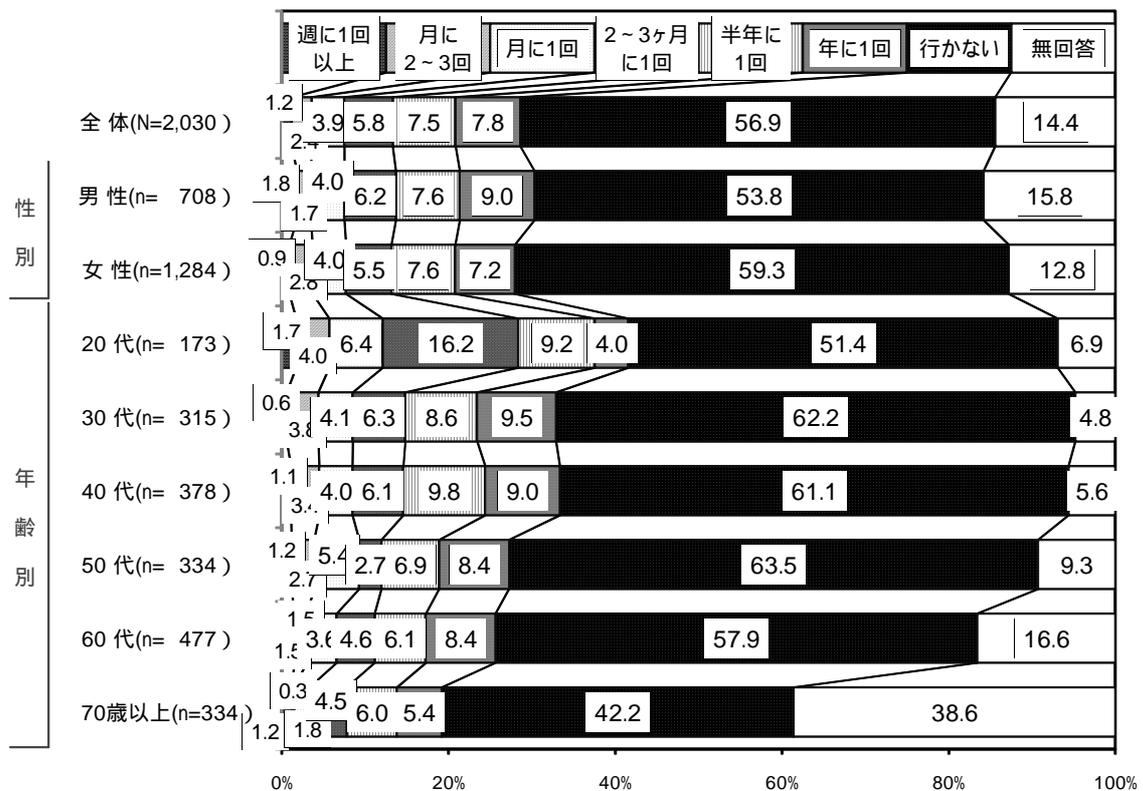
ふないポルトソール通り

「年に1回」(7.8%)が最も高く、次いで「半年に1回」(7.5%)の順となっている。なお、『週1回以上』は1.2%、『月に1回以上』は7.5%となっている。なお、「行かない」と答えた割合は56.9%と、全体の過半数を占めている。

性別にみると、『週に1回以上』は男女いずれも同程度で、『月に1回以上』も同程度となっている一方で、「行かない」は女性の方が男性よりも若干高い。

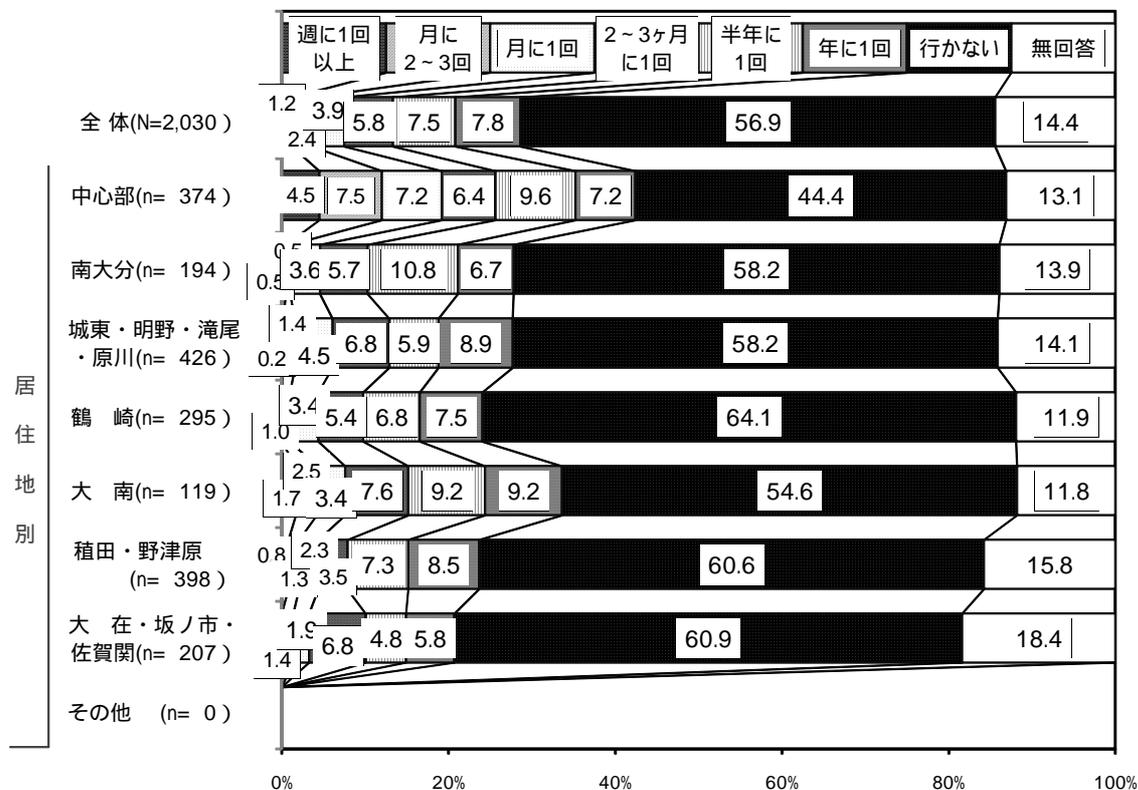
年齢別にみると、『週に1回以上』はいずれの年代も低いものの、『月に1回以上』は20代(12.1%)が唯一1割を超えている。一方、「行かない」が最も高いのは50代(63.5%)、次いで30代(62.2%)、40代(61.1%)の順で、いずれも6割を超えている。

【商店街別の利用頻度 ふないポルトソール通り(性別・年齢別)】



居住地別にみると、『週に1回以上』が最も高いのは中心部(4.5%)で、『月に1回以上』(19.2%)も唯一約2割となっている。一方、『行かない』が最も高いのは鶴崎地区(64.1%)、次いで大在・坂ノ市・佐賀関地区(60.9%)、植田・野津原地区(60.6%)の順で、いずれも6割を超えている。

【商店街別の利用頻度 ふないポルトソール通り(居住地別)】



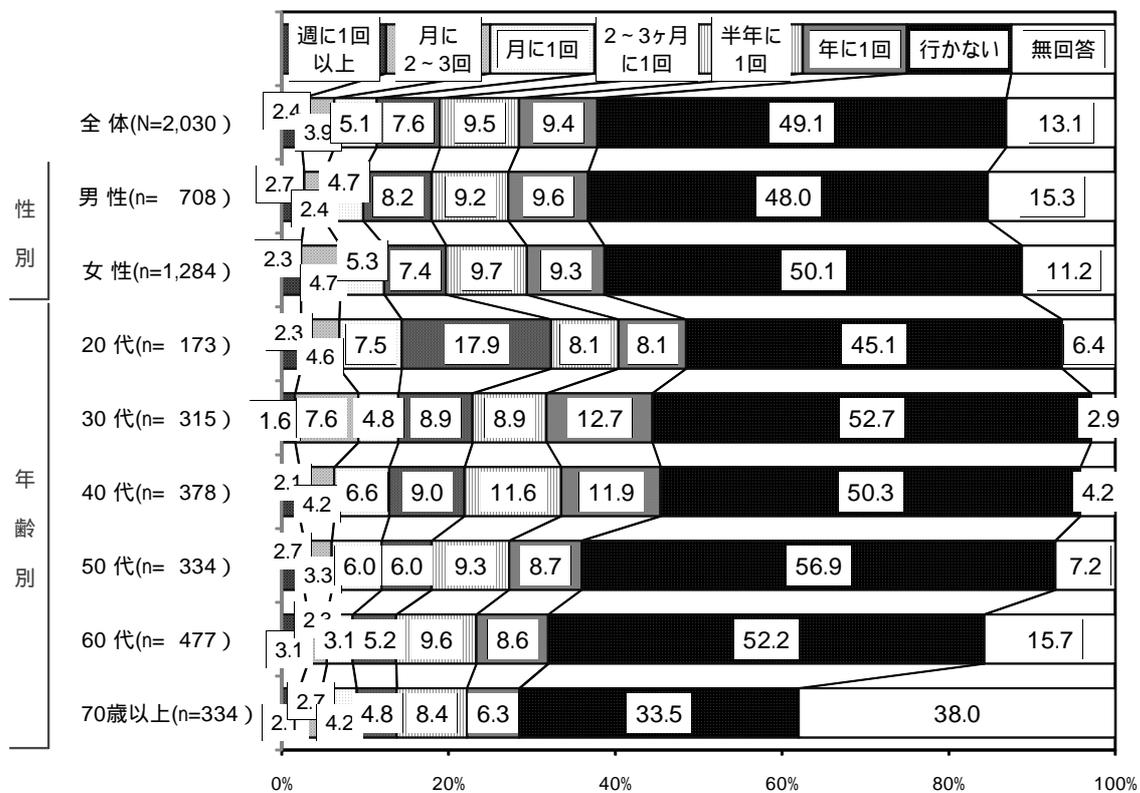
ふないサンサン通り

「半年に1回」(9.5%)が最も高く、次いで「年に1回」(9.4%)の順となっている。なお、『週1回以上』は2.4%、『月に1回以上』は11.4%となっている。なお、「行かない」と答えた割合は49.1%と、全体の約半数を占めている。

性別にみると、『週に1回以上』は男女いずれも同程度となっているものの、『月に1回以上』は女性の方が男性よりも若干高い。なお、「行かない」も女性の方が男性よりも若干高くなっている。

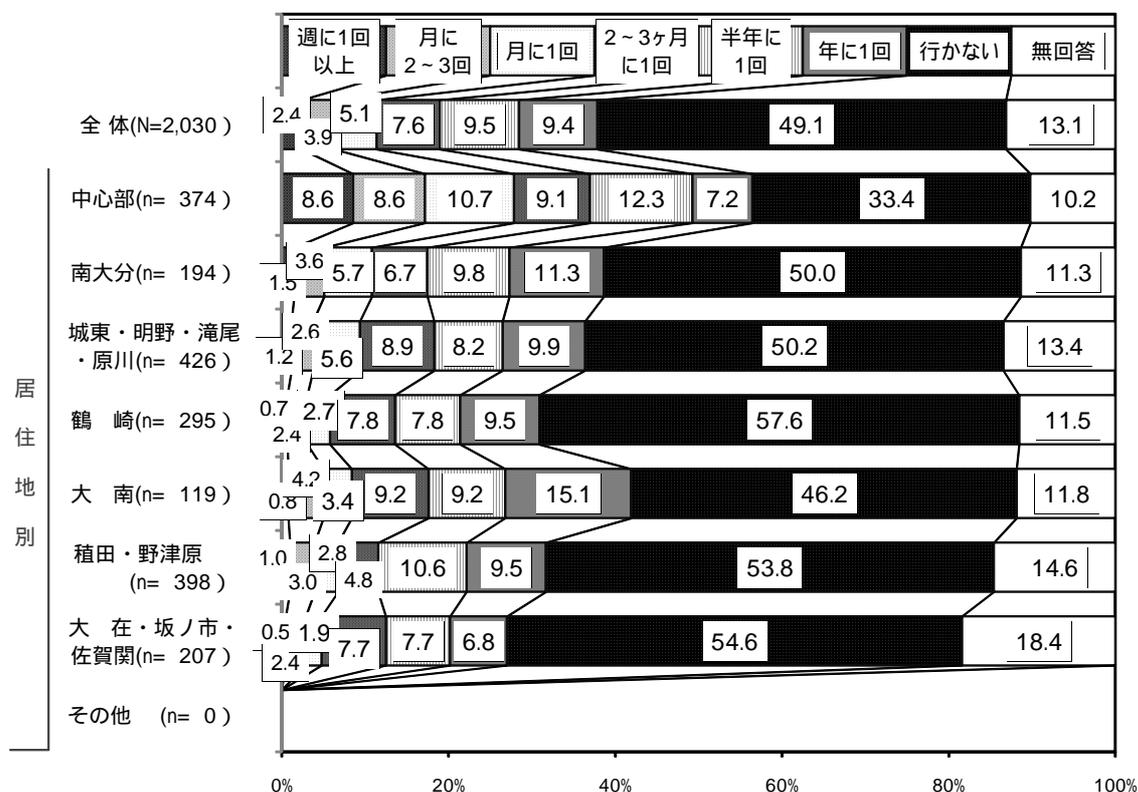
年齢別にみると、『週に1回以上』はいずれの年代も低いものの、『月に1回以上』は20代(14.4%)が最も高く、年代が上がるにつれて割合は減少している。一方、「行かない」が最も高いのは50代(56.9%)、次いで30代(52.7%)、60代(52.2%)、40代(50.3%)の順で、いずれも5割を超えている。

【商店街別の利用頻度 ふないサンサン通り(性別・年齢別)】



居住地別にみると、『週に1回以上』が最も高いのは中心部(8.6%)で、『月に1回以上』(27.9%)も唯一2割を超えている。一方、「行かない」が最も高いのは鶴崎地区(57.6%)、次いで大在・坂ノ市・佐賀関地区(54.6%)、植田・野津原地区(53.8%)、城東・明野・滝野・原川地区(50.2%)、南大分(50.0%)の順で、いずれも5割超もしくは5割を占めている。

【商店街別の利用頻度 ふないサンサン通り(居住地別)】



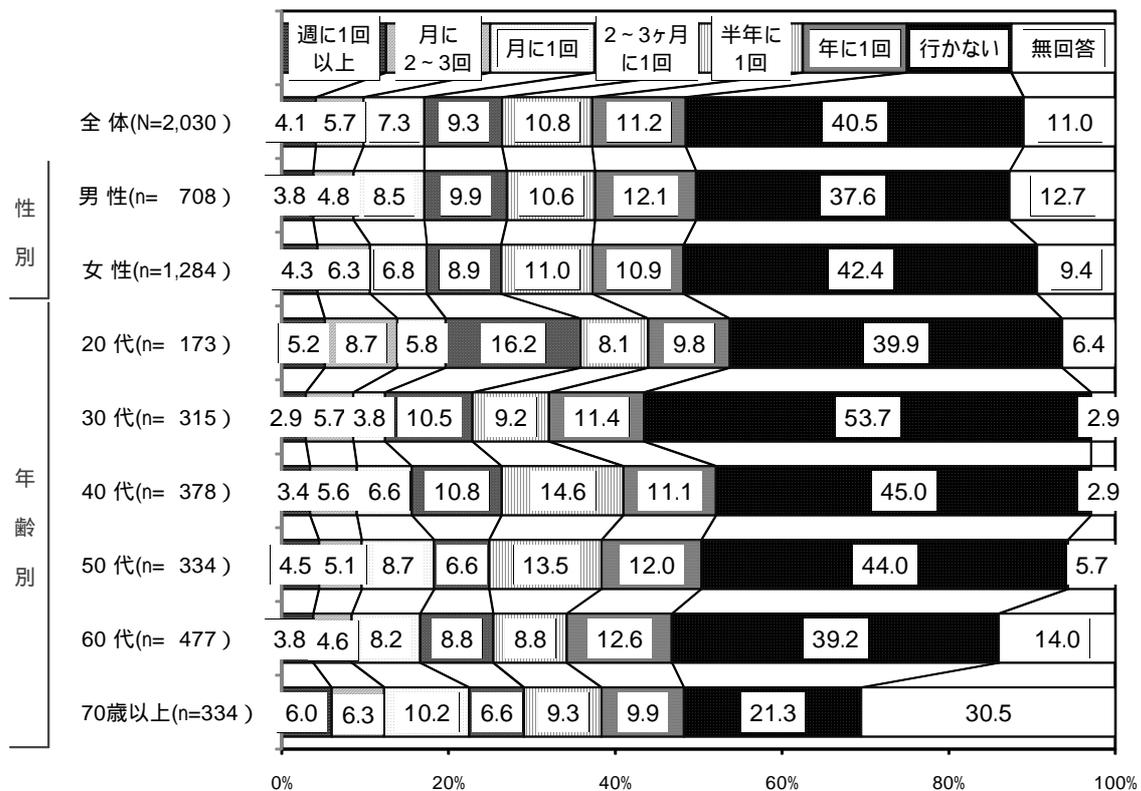
中央通り商店街

「年に1回」(11.2%)が最も高く、次いで「半年に1回」(10.8%)の順となっている。なお、『週1回以上』は4.1%、『月に1回以上』は17.1%となっている。なお、「行かない」と答えた割合は40.5%と、全体の4割程度を占めている。

性別にみると、『週に1回以上』は男女いずれも同程度で、『月に1回以上』も同程度となっている一方で、「行かない」は女性の方が男性よりも高い。

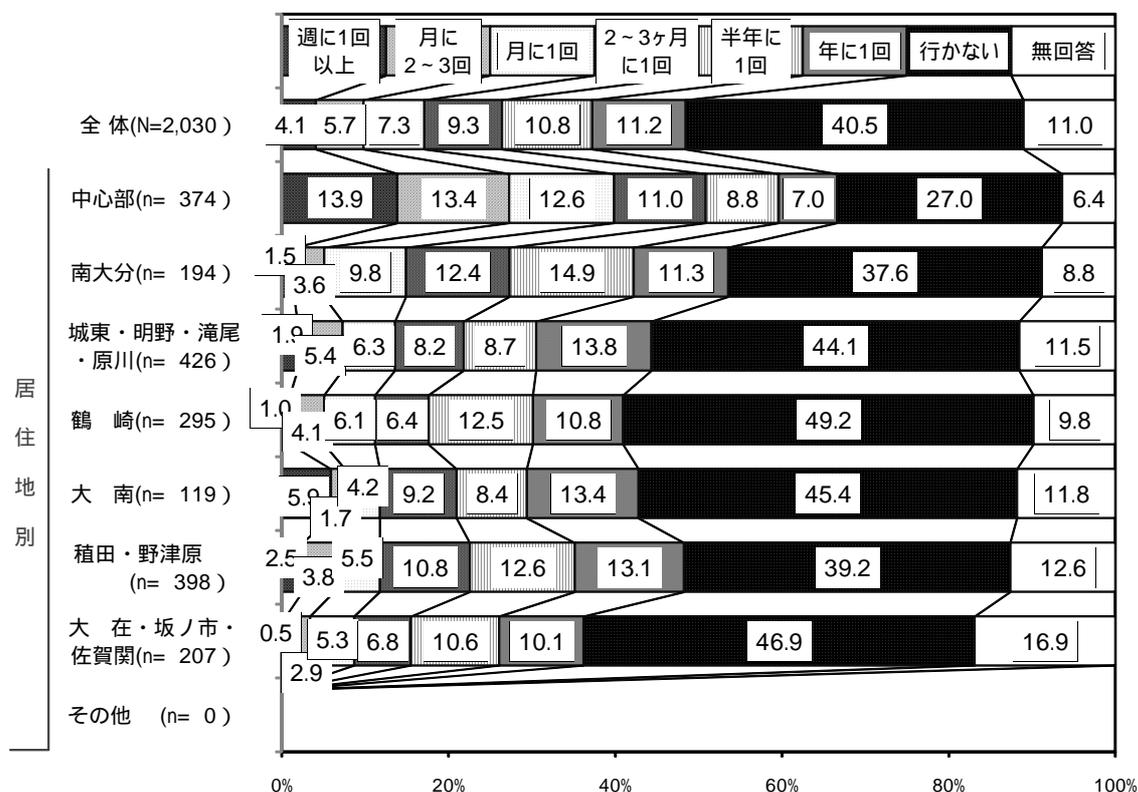
年齢別にみると、『週に1回以上』は70歳以上(6.0%)が最も高く、次いで20代(5.2%)の順となっている。また、『月に1回以上』も70歳以上(22.5%)が最も高く、次いで20代(19.7%)の順となっている。一方、「行かない」が最も高いのは30代(53.7%)で、唯一5割を超えている。

【商店街別の利用頻度 中央通り商店街(性別・年齢別)】



居住地別にみると、『週に1回以上』が最も高いのは中心部(13.9%)で、『月に1回以上』(39.9%)も唯一4割程度となっている。一方、「行かない」が最も高いのは鶴崎地区(49.2%)、次いで大在・坂ノ市・佐賀関地区(46.9%)、大南地区(45.4%)、城東・明野・滝野・原川地区(44.1%)の順で、いずれも4割を超えている。

【商店街別の利用頻度 中央通り商店街(居住地別)】



4. わさだタウンの利用について

(1) わさだタウンへ行く頻度

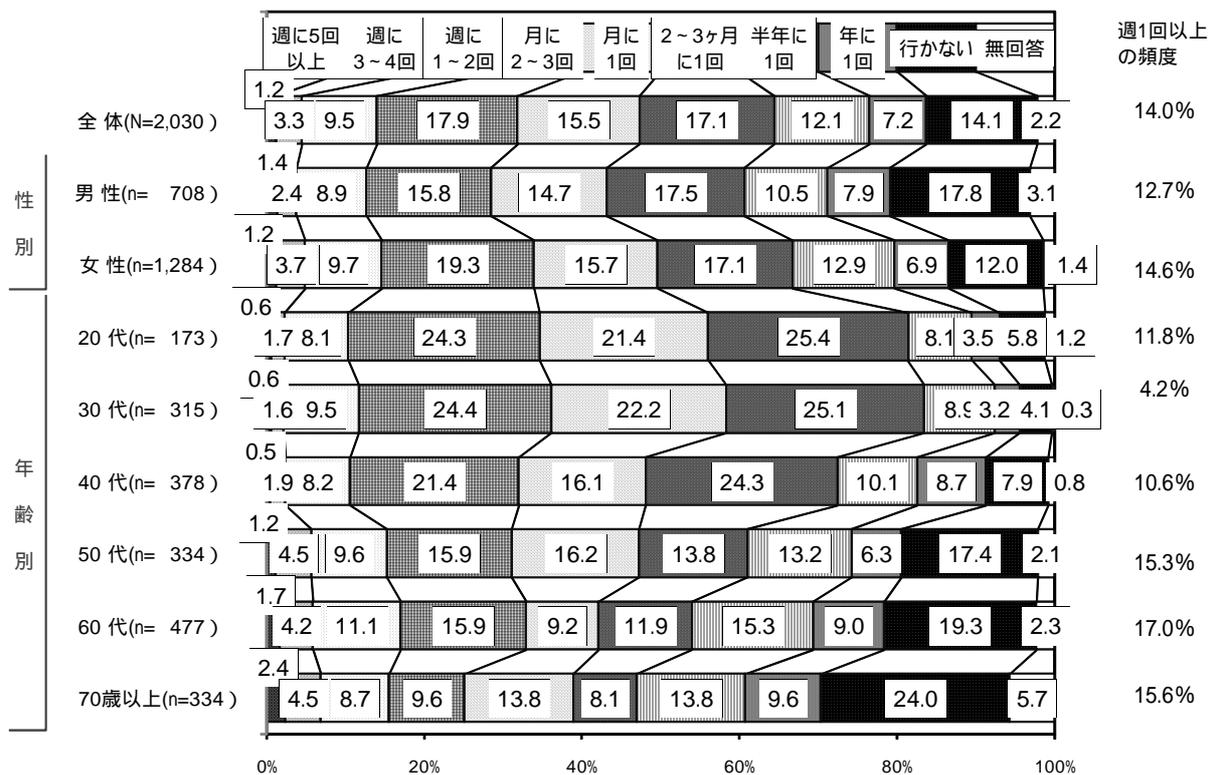
問 21 あなたはふだん、わさだタウンにどのくらいの頻度(買い物をする、しないに関係なく)で行きますか。通勤・通学をしている人は、これを含めてお答えください。(は 1 つ)

わさだタウンへの来街頻度は、『週に1回以上』(「週に5回以上」から「週に1~2回」までの合計)が14.0%となっている。また、『月に1回以上』(「週に5回以上」から「月に1回」までの合計)は47.4%と、ほぼ5割の来街頻度がみられる。なお、「行かない」は14.1%にとどまっている。

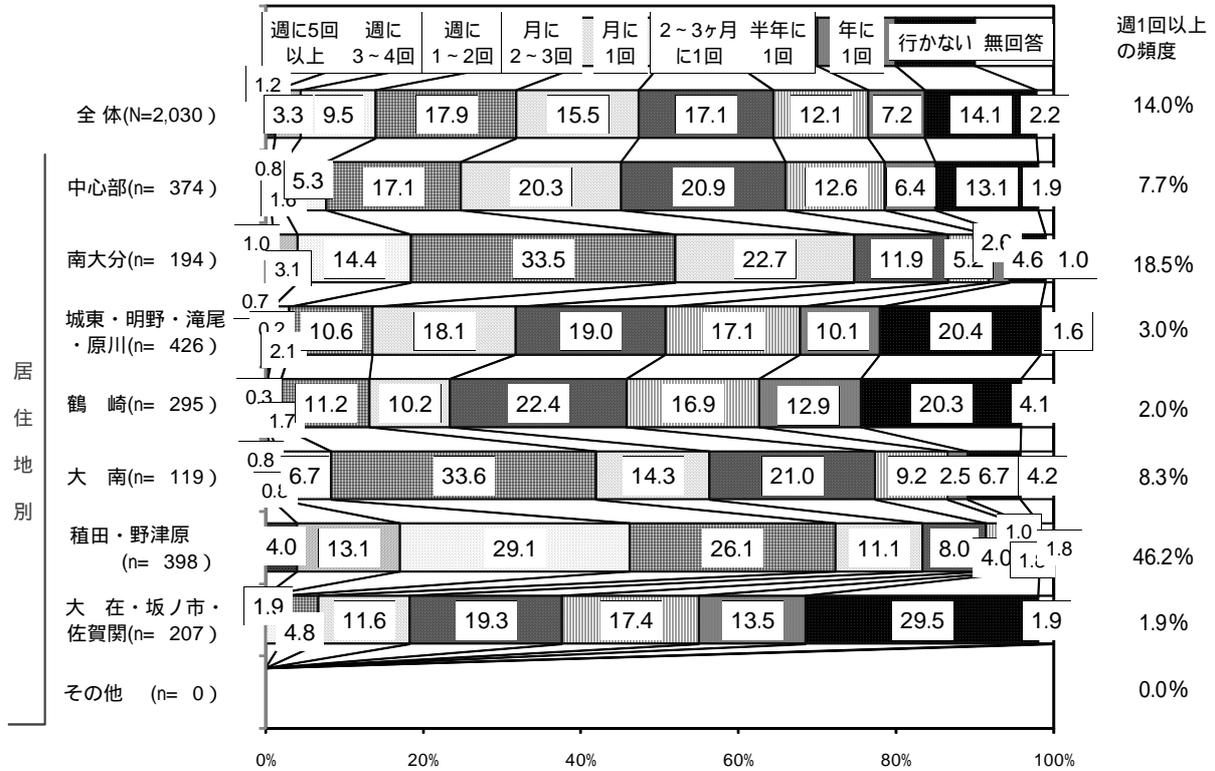
性別にみると、『週に1回以上』は女性の方が男性よりも若干高く、『月に1回以上』も女性の方が男性よりも高い。一方、「行かない」は男性の方が女性よりも高くなっている。

年齢別にみると、『週に1回以上』は60代(17.0%)が最も高く、次いで70歳以上(15.6%)、50代(15.3%)の順となっている。一方、『月に1回以上』は30代(58.3%)が最も高く、次いで20代(56.1%)の順となっており、いずれも5割を超えている。なお、「行かない」が最も高いのは70歳以上(24.0%)で、唯一2割を超えている。

【わさだタウンへ行く頻度(性別・年齢別)】



居住地別にみると、『週に1回以上』が最も高いのは植田・野津原地区（46.2%）で、『月に1回以上』（83.4%）は唯一8割を超えている。また、南大分地区も『月に1回以上』（74.7%）が7割を超えて高い。なお、「行かない」が最も高いのは大在・坂ノ市・佐賀関地区（29.5%）が最も高く、唯一3割程度みられる。



(2) わさだタウンへ行く目的

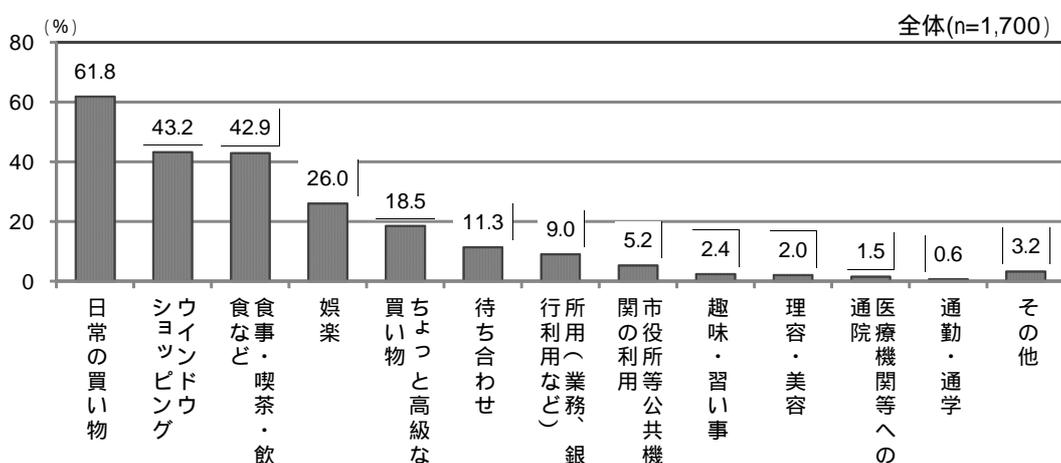
問 22 あなたはふだん、どのような目的でわさだタウンに行きますか。(はいいくつでも)

わさだタウンへの来街目的をみると、「日常の買い物」(61.8%)が最も高く、次いで「ウィンドウショッピング」(43.2%)、「食事・喫茶・飲食など」(42.9%)、「娯楽」(26.0%)などの順となっている。

性別にみると、女性は「ウィンドウショッピング」(51.6%)、「食事・喫茶・飲食など」(45.3%)が男性よりも高くなっている。

年齢別にみると、20代は「ウィンドウショッピング」(53.4%)、「食事・喫茶・飲食など」(50.3%)、30代は「ウィンドウショッピング」(53.8%)、40代は「娯楽」(35.4%)の割合が比較的高くなっている。

【わさだタウンへ行く目的(性別・年齢別) 複数回答】



		(単位: %)													
		サンプル数	日常の買い物	ウィンドウショッピング	食事・喫茶・飲食など	娯楽	ちよつと高級な買い物	待ち合わせ	行所用(業務、銀行)	市役所等公共機関の利用	趣味・習い事	理容・美容	通院 医療機関等への通	通勤・通学	その他
全体		1,700	61.8	43.2	42.9	26.0	18.5	11.3	9.0	5.2	2.4	2.0	1.5	0.6	3.2
性別	男性	560	60.2	27.1	37.9	25.4	19.8	6.8	7.7	5.5	2.7	2.0	1.4	0.4	3.0
	女性	1,112	62.4	51.6	45.3	26.5	17.9	13.6	9.6	5.1	2.2	2.0	1.6	0.8	3.2
年齢別	20代	161	56.5	53.4	50.3	29.8	13.7	12.4	5.6	0.6	2.5	6.2	1.2	-	3.1
	30代	301	63.8	53.8	43.9	30.2	15.0	9.0	6.6	2.3	1.0	1.7	0.7	0.7	3.0
	40代	345	65.2	48.1	40.3	35.4	17.7	8.4	7.2	2.3	1.2	1.7	0.9	0.9	3.8
	50代	269	65.4	45.0	44.2	23.8	20.4	16.0	10.4	5.9	3.0	0.7	1.1	0.4	3.7
	60代	374	58.6	37.4	42.0	23.0	22.5	13.4	13.4	9.1	4.3	1.3	1.1	1.1	3.2
	70歳以上	235	59.1	22.6	40.0	11.5	17.9	8.5	8.9	8.9	2.6	2.6	5.1	0.4	2.1
	無回答	15	60.0	46.7	53.3	26.7	33.3	20.0	-	13.3	-	-	-	-	-

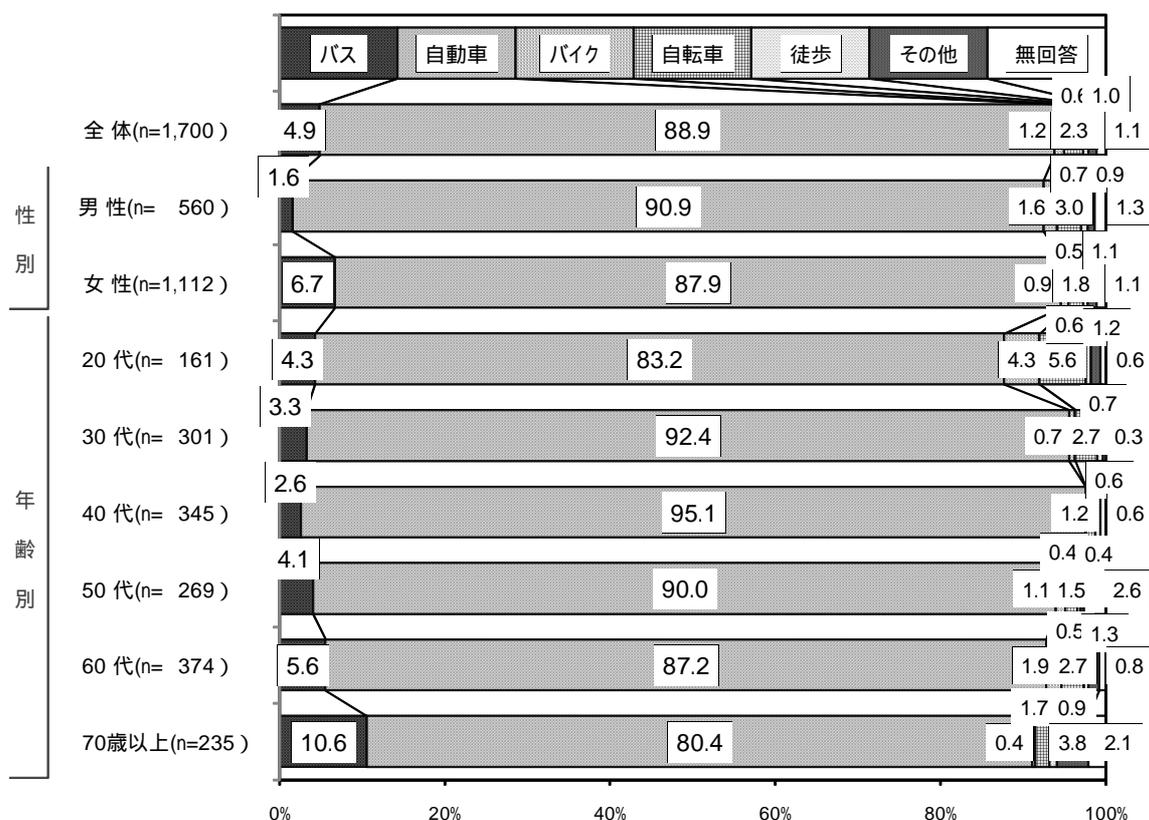
(3) わさだタウンへ行く交通手段

問 23 あなたはふだん、わさだタウンに行く場合、主にどのような交通手段を利用していますか。(は1つ)

わさだタウンへの交通手段をみると、「自動車」が 88.9%と 9 割弱を占め、突出している。性別にみると、「自動車」の利用が男女いずれも 9 割前後となっている。なお、女性は「バス」の利用が 6.7%みられる。

年齢別にみると、70 歳以上では「バス」の利用が 10.6%と、他の年代よりも高くなる一方で、「自動車」(80.4%) の利用が若干低くなる。

【わさだタウンへ行く交通手段(性別・年齢別)】



(4) わさだタウンへ行く際の同伴者

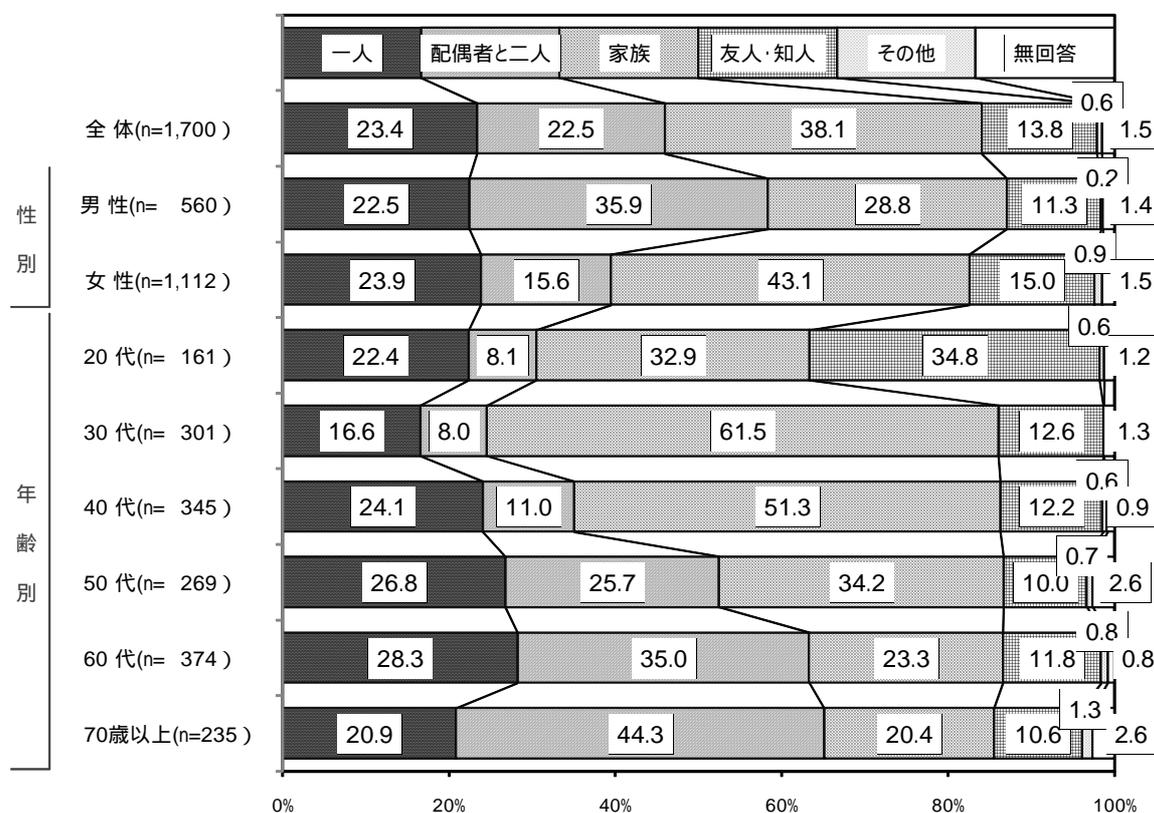
問 24 あなたはふだん、主にどなたとわさだタウンに行くことが多いですか。通勤・通学をしている人は、通勤・通学以外で行く場合についてお答えください。(1 は 1 つ)

わさだタウンに行く際の同伴者をみると、「家族」が 38.1% で最も高く、次いで「一人」(23.4%)、「配偶者と二人」(22.5%)、「友人・知人」(13.8%) と続く。なお、「家族」と「配偶者と二人」を合わせると 60.6% となり、6 割が『家族』で行っていることになる。

性別にみると、男性は「配偶者と二人」(35.9%) が最も高いのに対して、女性は「家族」(43.1%) が最も高い。

年齢別にみると、20 代では「友人・知人」、30～50 代では「家族」、60～70 歳以上では「配偶者と二人」がそれぞれ最も高くなっている。

【わさだタウンへ行く際の同伴者 (性別・年齢別)】



(5) わさだタウンへ行ったときの平均滞在時間

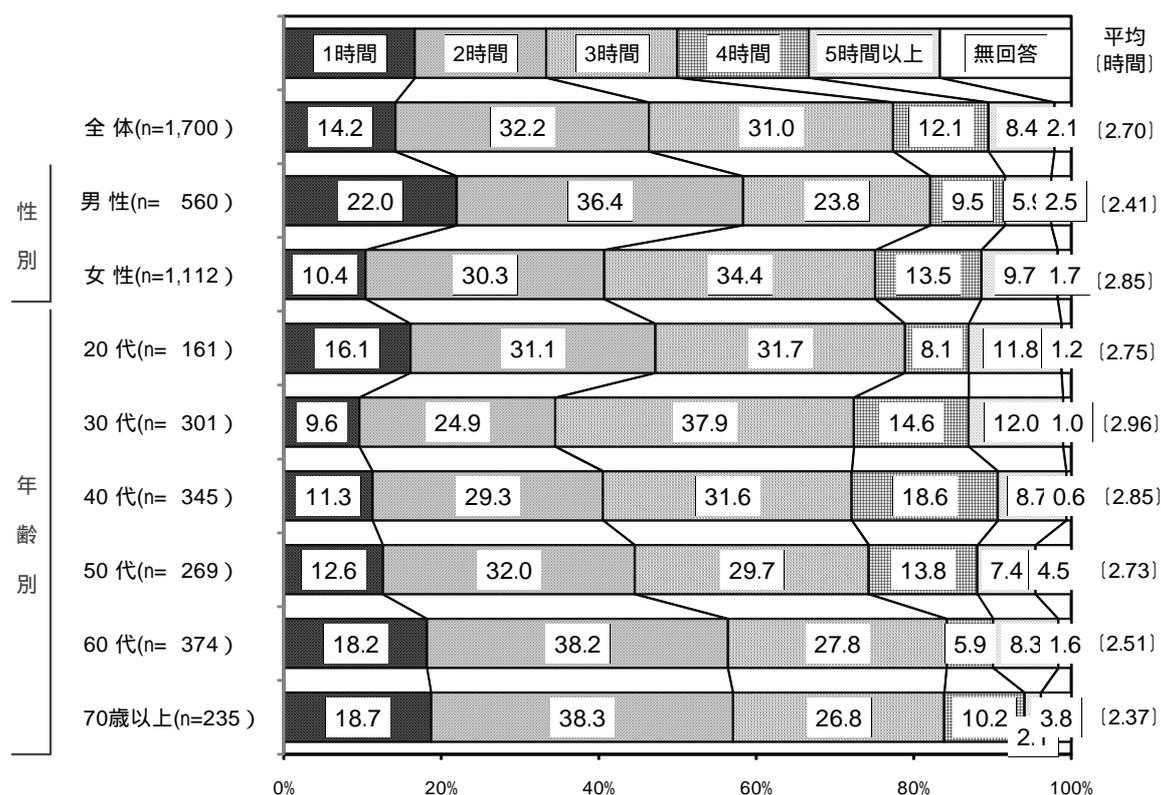
問 25 あなたはわさだタウンに行った時、平均すると何時間ぐらい滞在していますか。

わさだタウンでの滞在時間は「2時間」(32.2%)と「3時間」(31.0%)に2分されている。なお、平均滞在時間は2.70時間と、3時間を若干下回っている。

性別にみると、平均滞在時間は女性(2.85時間)の方が男性(2.41時間)よりも長い。

年齢別にみると、平均滞在時間は30代が2.96時間で最も長くなっている。

【わさだタウンへ行ったときの平均滞在時間(性別・年齢別)】



5. パークプレイスの利用について

(1) パークプレイスへ行く頻度

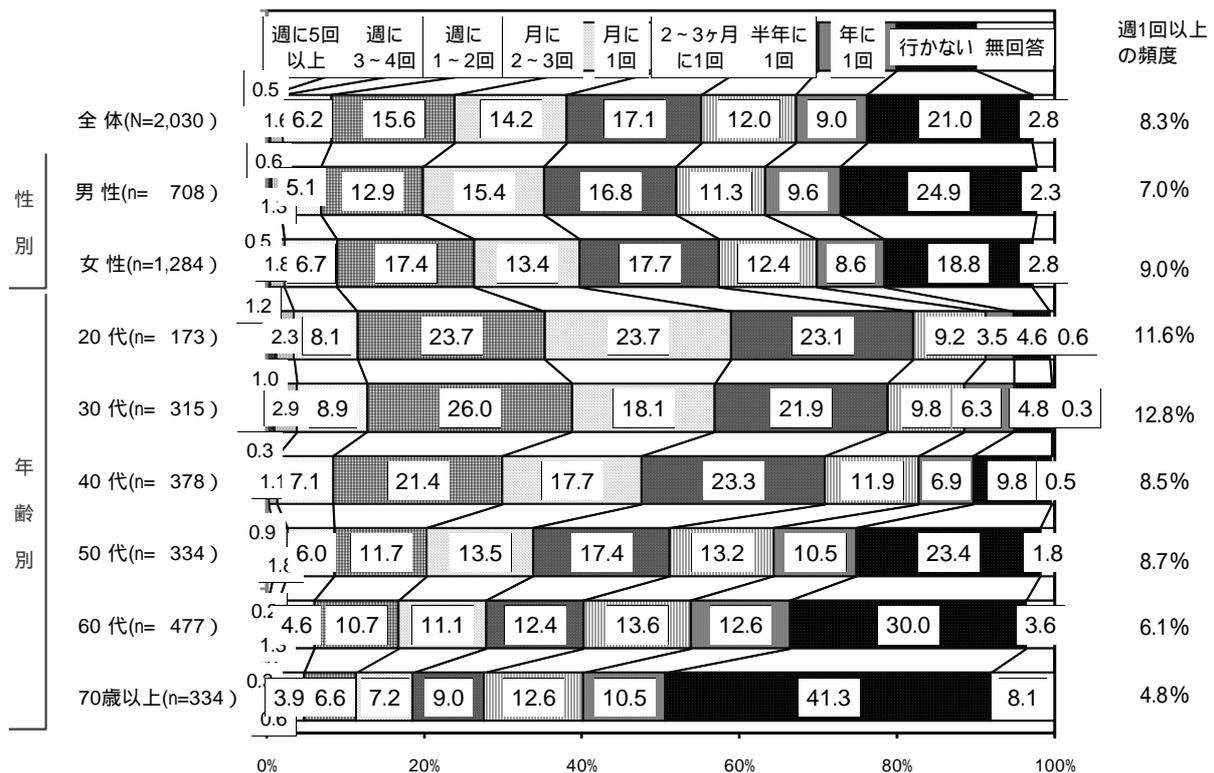
問 26 あなたはふだん、パークプレイスにどのくらいの頻度（買い物をする、しないに関係なく）で行きますか。通勤・通学をしている人は、これを含めてお答えください。（ は1つ）

パークプレイスへの来街頻度は、『週に1回以上』（「週に5回以上」から「週に1~2回」までの合計）が8.3%となっている。また、『月に1回以上』（「週に5回以上」から「月に1回」までの合計）は38.1%と、ほぼ4割の来街頻度がみられる。なお、「行かない」は21.0%と2割程度みられる。

性別にみると、『週に1回以上』は女性の方が男性よりも若干高く、『月に1回以上』も女性の方が男性よりも高い。一方、「行かない」は男性の方が女性よりも高くなっている。

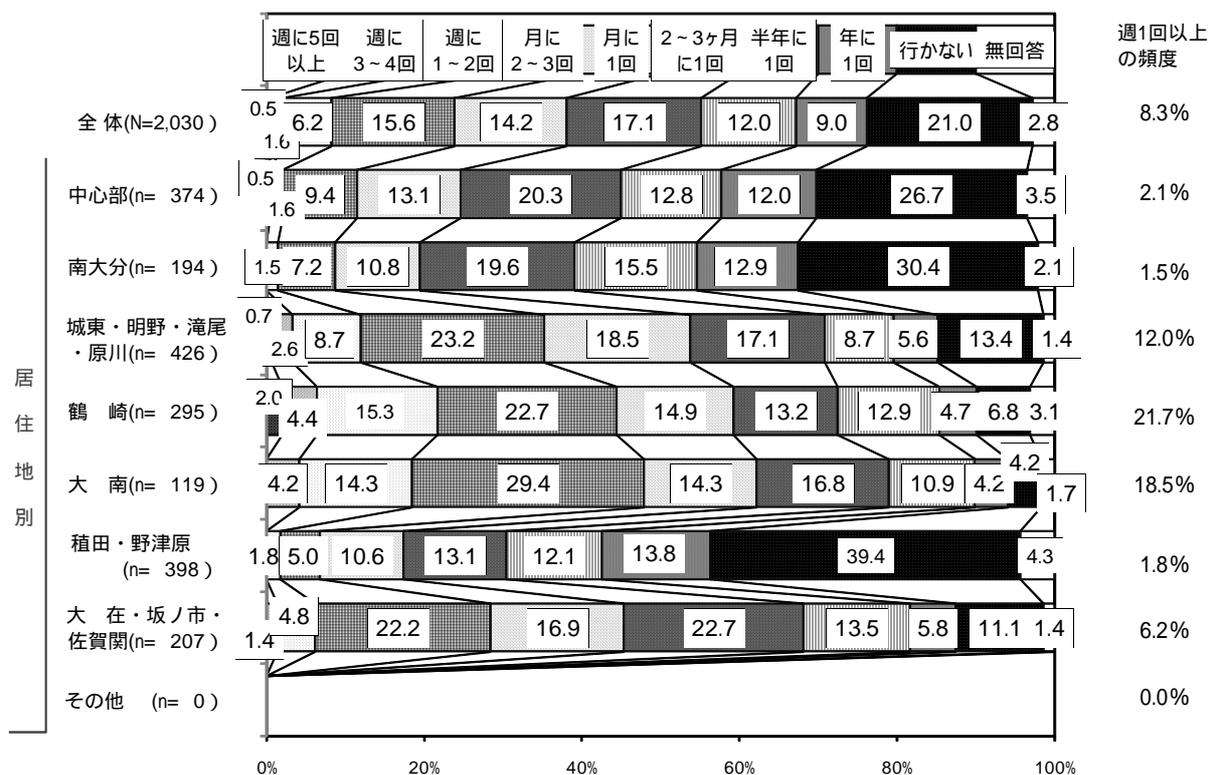
年齢別にみると、『週に1回以上』は30代（12.8%）が最も高く、次いで20代（11.6%）の順となっている。また、『月に1回以上』は20代（59.0%）が最も高く、次いで30代（56.9%）の順となっており、いずれも5割を超えている。なお、「行かない」が最も高いのは70歳以上（41.3%）で、唯一4割を超えている。

【パークプレイスへ行く頻度（性別・年齢別）】



居住地別にみると、『週に1回以上』が最も高いのは鶴崎地区(21.7%)、次いで大南地区(18.5%)の順となっている。一方、『月に1回以上』が最も高いのは大南地区(62.2%)で、唯一6割を超えている。次いで鶴崎地区(59.3%)、城東・明野・滝尾・原川地区(53.7%)の順で、これらは5割を超えている。なお、「行かない」が最も高いのは植田・野津原地区(39.4%)が最も高く、唯一4割程度みられる。

【パークプレイスへ行く頻度(居住地別)】



(2) パークプレイスへ行く目的

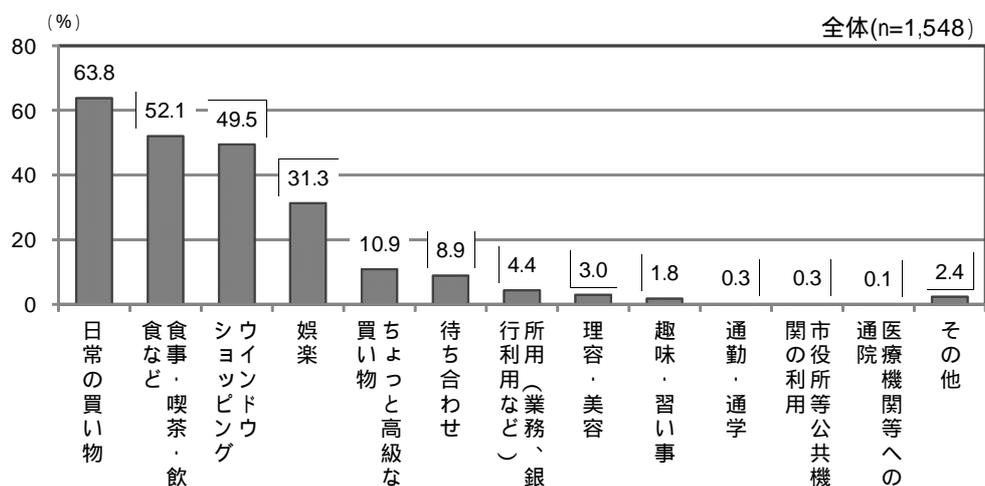
問 27 あなたはふだん、どのような目的でパークプレイスに行きますか。(はいいくつでも)

パークプレイスへの来街目的をみると、「日常の買い物」(63.8%)が最も高く、次いで「食事・喫茶・飲食など」(52.1%)、「ウィンドウショッピング」(49.5%)、「娯楽」(31.3%)などの順となっている。

性別にみると、女性は「ウィンドウショッピング」(57.1%)、「食事・喫茶・飲食など」(56.4%)が男性よりも高くなっている。

年齢別にみると、20代は「ウィンドウショッピング」(67.1%)、「娯楽」(39.0%)、30代は「日常の買い物」(70.9%)や「食事・喫茶・飲食など」(63.2%)、「ウィンドウショッピング」(60.2%)、40代は「日常の買い物」(70.8%)の割合が比較的高くなっている。

【パークプレイスへ行く目的(性別・年齢別) 複数回答】



		サンプル数	日常の買い物	食事・喫茶・飲食	ウィンドウショッピング	娯楽	ちよつと高級な買い物	待ち合わせ	行所用(業務、銀行)	理容・美容	趣味・習い事	通勤・通学	市役所等公共機関の利用	医療機関等への通院	その他
全体		1,548	63.8	52.1	49.5	31.3	10.9	8.9	4.4	3.0	1.8	0.3	0.3	0.1	2.4
性別	男性	516	59.5	44.4	35.5	31.4	14.5	5.6	3.3	1.6	2.9	0.2	0.6	0.2	2.5
	女性	1,007	65.8	56.4	57.1	31.5	9.0	10.5	4.8	3.8	1.3	0.4	0.2	0.1	2.3
	無回答	25	68.0	40.0	32.0	20.0	8.0	12.0	12.0	-	-	-	-	-	4.0
年齢別	20代	164	61.6	56.1	67.1	39.0	12.2	12.8	6.7	4.9	3.7	0.6	-	-	1.2
	30代	299	70.9	63.2	60.2	38.8	11.4	11.0	4.0	4.7	1.7	0.3	-	0.3	3.0
	40代	339	70.8	53.4	52.2	35.7	10.9	7.1	4.7	3.8	1.5	0.3	-	-	3.2
	50代	250	57.6	49.6	48.8	29.2	12.8	9.6	5.2	1.6	1.2	0.4	0.4	-	2.4
	60代	317	59.6	48.9	39.7	24.6	10.7	7.9	4.1	1.3	1.6	0.3	0.6	-	1.6
	70歳以上	169	55.0	34.9	26.6	17.2	5.3	5.3	1.2	1.8	2.4	-	1.2	0.6	2.4
	無回答	10	80.0	70.0	60.0	30.0	20.0	20.0	10.0	-	-	-	-	-	-

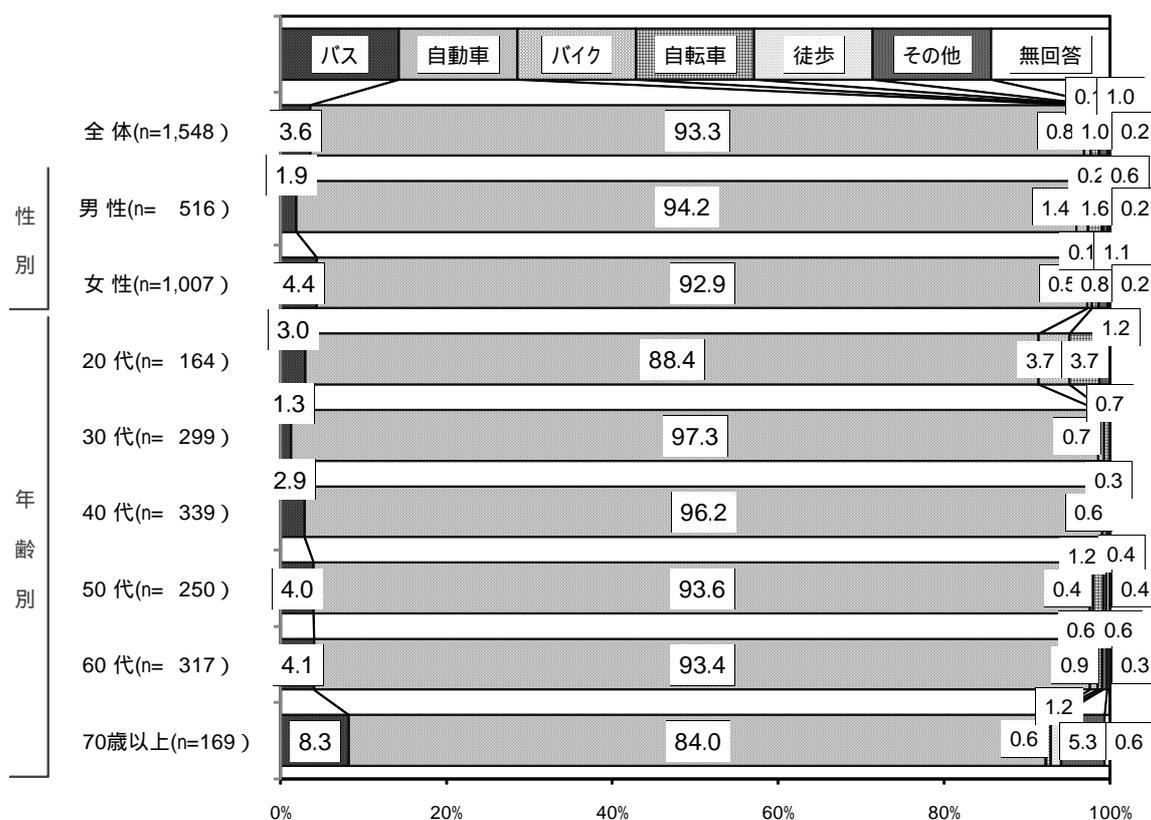
(3) パークプレイスへ行く交通手段

問 28 あなたはふだん、パークプレイスに行く場合、主にどのような交通手段を利用していますか。(は主なものに1つ)

パークプレイスへの交通手段をみると、「自動車」が93.3%と9割強を占め、突出している。性別にみると、「自動車」の利用が男女いずれも9割前後となっている。なお、女性は「バス」の利用が4.4%みられる。

年齢別にみると、70歳以上では「バス」の利用が8.3%と、他の年代よりも高くなる一方で、「自動車」(84.0%)の利用が若干低くなる。

【パークプレイスへ行く交通手段(性別・年齢別)】



(4) パークプレイスへ行く際の同伴者

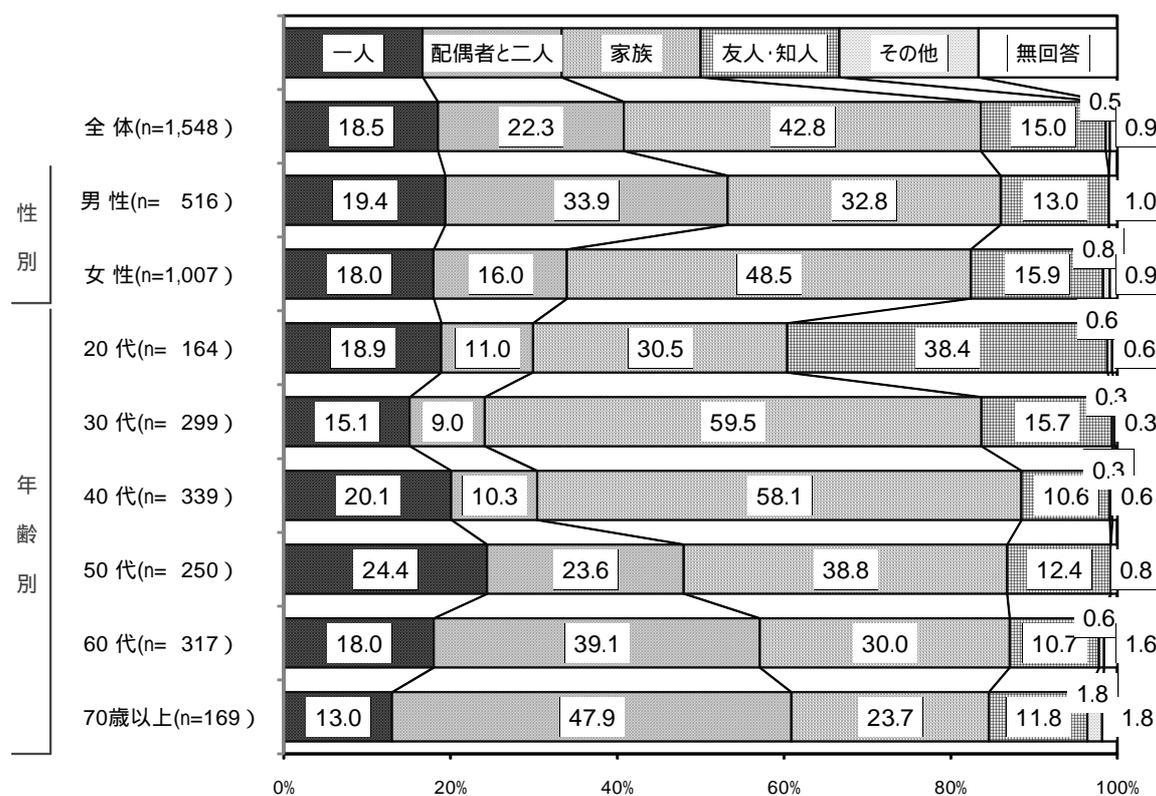
問 29 あなたはふだん、主にどなたとパークプレイスに行くことが多いですか。通勤・通学をしている人は、通勤・通学以外で行く場合についてお答えください。(1 は 1 つ)

パークプレイスに行く際の同伴者をみると、「家族」が 42.8%で最も高く、次いで「配偶者と二人」(22.3%)、「一人」(18.5%)、「友人・知人」(15.0%)と続く。なお、「家族」と「配偶者と二人」を合わせると 65.1%となり、6 割以上が『家族』で行っていることになる。

性別にみると、男性は「配偶者と二人」(33.9%)、「家族」(32.8%)がほぼ同率であるのに対して、女性は「家族」が 48.5%で最も高い。

年齢別にみると、20代では「友人・知人」、30～50代では「家族」、60～70歳以上では「配偶者と二人」がそれぞれ最も高くなっている。

【パークプレイスへ行く際の同伴者(性別・年齢別)】



(5) パークプレイスへ行ったときの平均滞在時間

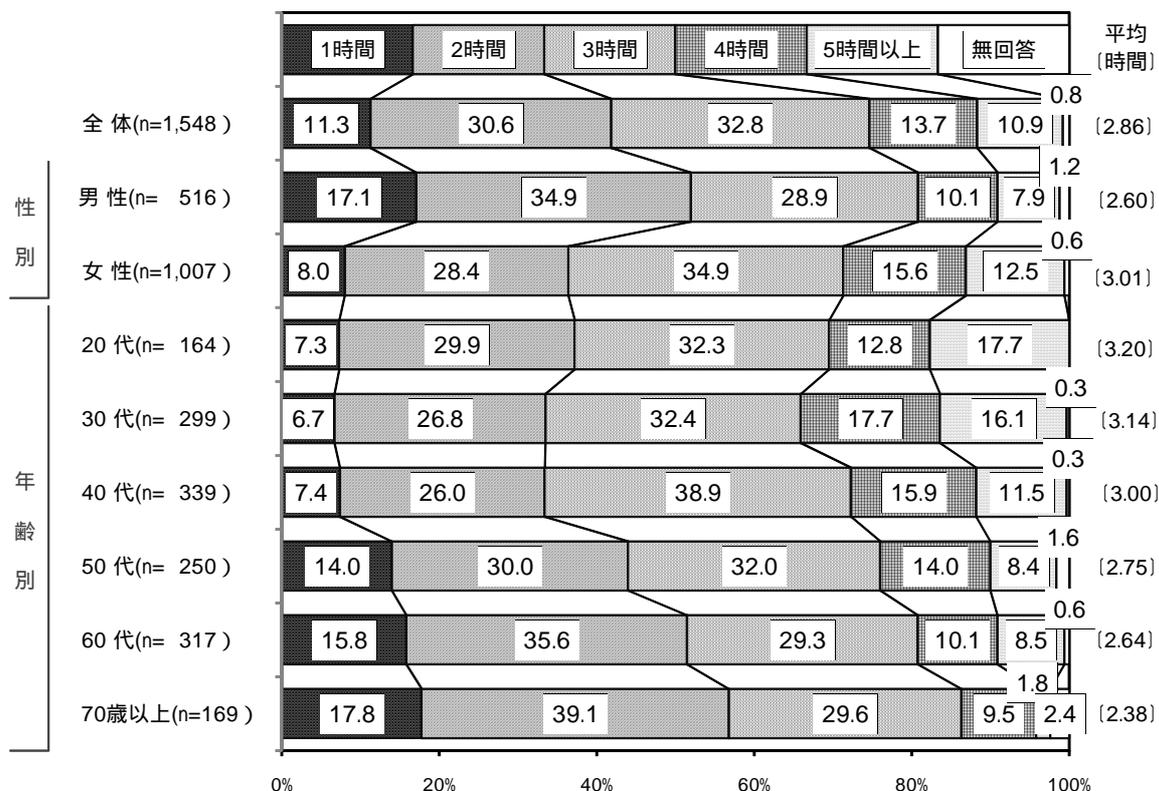
問 30 あなたはパークプレイスでは、平均すると何時間ぐらい滞在していますか。

パークプレイスでの滞在時間は「3時間」(32.8%)と「2時間」(30.6%)に2分されている。
 なお、平均滞在時間は2.86時間と、3時間を若干下回っている。

性別にみると、平均滞在時間は女性(3.01時間)の方が男性(2.60時間)よりも長い。

年齢別にみると、平均滞在時間は20代が3.20時間で最も長く、概ね年代が上がるにつれて滞在時間は短くなる傾向がみられる。

【パークプレイスへ行ったときの平均滞在時間(性別・年齢別)】



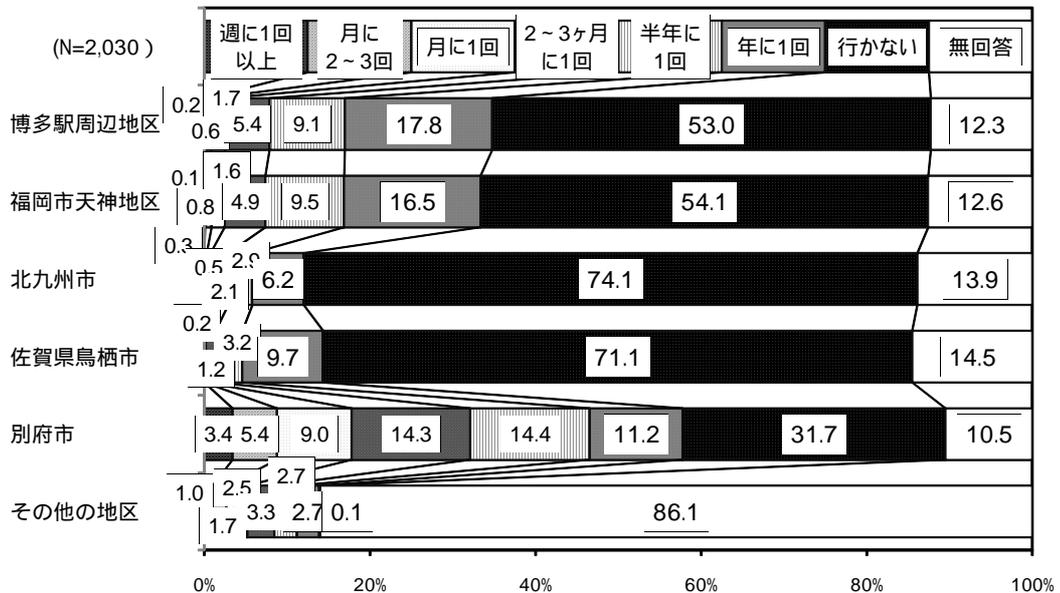
6. 市外への買い物について

(1) 大分市外の地区への買い物頻度

問 31 あなたは次にあげる ~ の大分市外の地区へはどのくらいの頻度(買い物をする、しないに関係なく)でいきますか。は ~ の項目ごとに1つ、全ての項目についてお答えください。

大分市外の地区への買い物頻度をみると、博多駅周辺地区は『週に1回以上』(「週に5回以上」から「週に1~2回」までの合計)は0.2%、『月に1回以上』(「週に5回以上」から「月に1回」までの合計)の利用は2.5%である。ちなみに『半年に1回以上』(「週に5回以上」から「半年に1回」までの合計)では17.0%となっている。福岡市天神地区は『半年に1回以上』で16.9%、北九州市は『半年に1回以上』で5.8%、佐賀県鳥栖市は『半年に1回以上』で4.7%である。別府市は『週に1回以上』が3.4%、『月に1回以上』は17.8%で、『半年に1回以上』は46.5%と4割を超えている。その他の地区は『半年に1回以上』で11.1%となっている。

【大分市外の地区への買い物頻度】



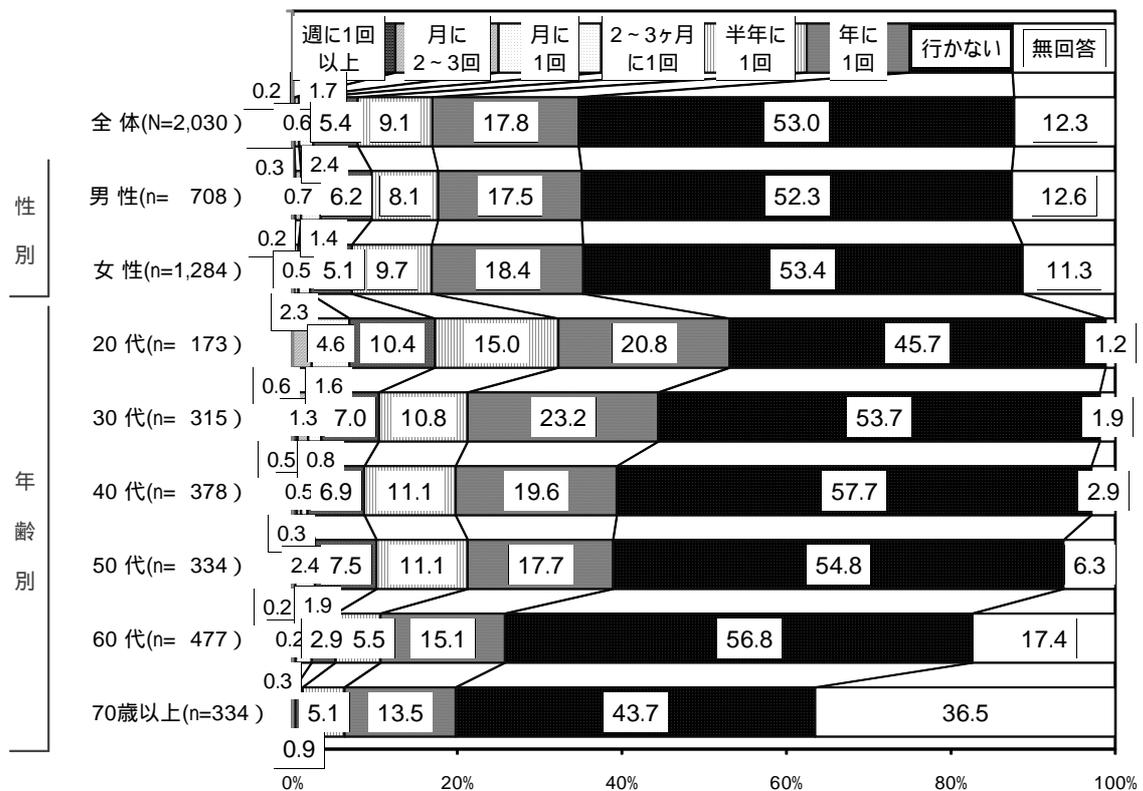
博多駅周辺地区

博多駅周辺地区への来街頻度は、『週に1回以上』が0.2%となっている。また、『月に1回以上』は2.5%、『半年に1回』は17.0%となっている。なお、「行かない」は53.0%と過半数を占めている。

性別にみると、『半年に1回』は男女いずれも同程度となっている一方で、「行かない」も男女いずれも同程度となっており、性差は特にみられない。

年齢別にみると、『半年に1回』は20代(32.3%)が最も高く、唯一3割を超えている。なお、「行かない」が最も高いのは40代(57.7%)、次いで60代(56.8%)、50代(54.8%)、30代(53.7%)の順となっており、いずれも過半数を占めている。

【大分市外の地区への買い物頻度 博多駅周辺地区(性別・年齢別)】



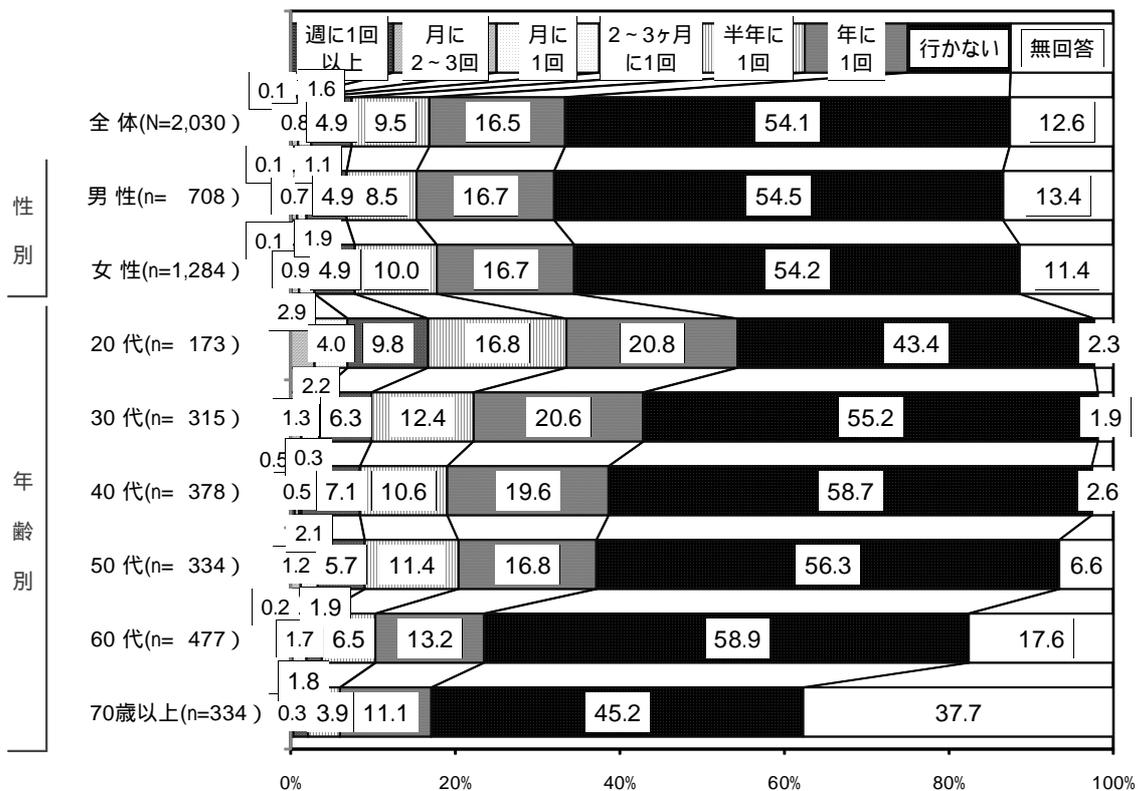
福岡市天神地区

福岡市天神地区への来街頻度は、『週に1回以上』が0.1%となっている。また、『月に1回以上』は2.5%、『半年に1回』は16.9%となっている。なお、「行かない」は54.1%と過半数を占めている。

性別にみると、『半年に1回』は女性の方が男性よりも高い。一方、「行かない」は男女いずれも過半数を占めているものの、男性の方が女性よりも若干高い。

年齢別にみると、『半年に1回』は20代(33.5%)が最も高く、唯一3割を超えている。なお、「行かない」が最も高いのは60代(58.9%)、次いで40代(58.7%)、50代(56.3%)、30代(55.2%)の順となっており、いずれも過半数を占めている。

【大分市外の地区への買い物頻度 福岡市天神地区(性別・年齢別)】



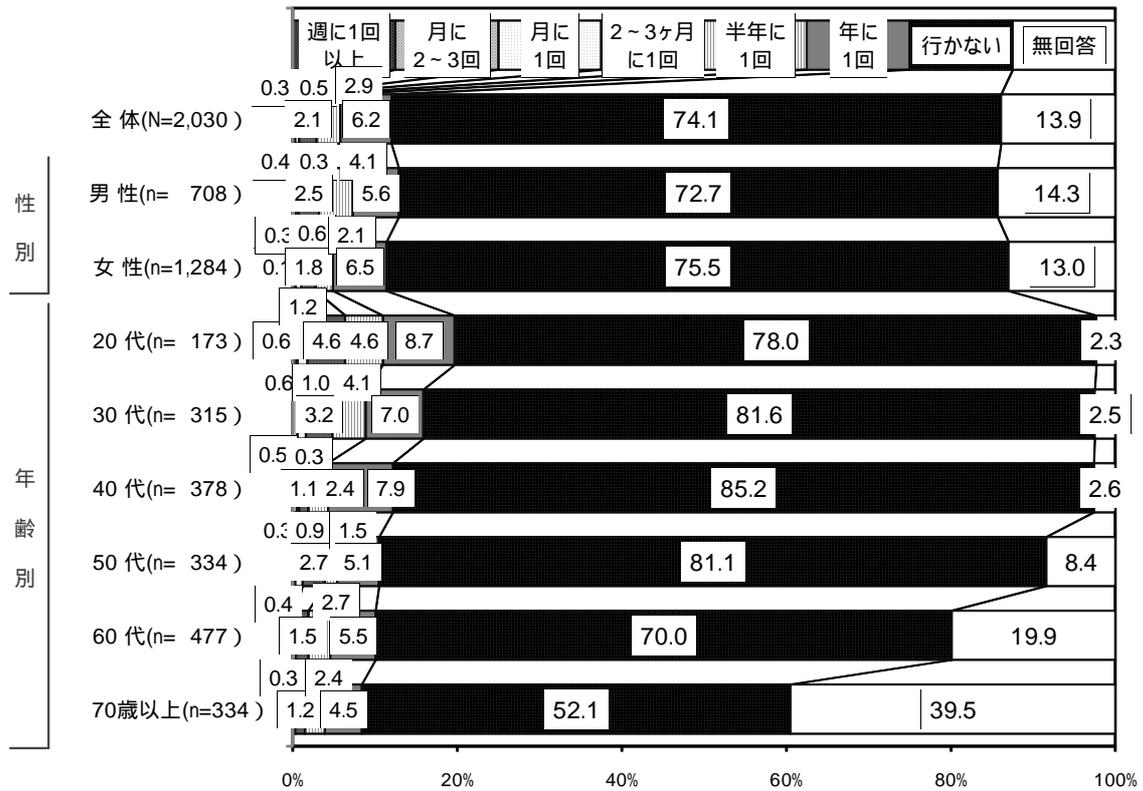
北九州市

北九州市への来街頻度は、『週に1回以上』が0.3%となっている。また、『月に1回以上』は0.8%、『半年に1回』は5.9%となっている。なお、「行かない」は74.1%と7割を超えている。

性別にみると、『半年に1回』は男性の方が女性よりも若干高い。一方、「行かない」は男女いずれも7割を超えているものの、女性の方が男性よりも若干高い。

年齢別にみると、『半年に1回』は20代(11.0%)が最も高く、次いで30代(8.9%)の順となっている。なお、「行かない」が最も高いのは40代(85.2%)、次いで30代(81.6%)、50代(81.1%)の順となっており、いずれも8割を超えている。

【大分市外の地区への買い物頻度 北九州市(性別・年齢別)】



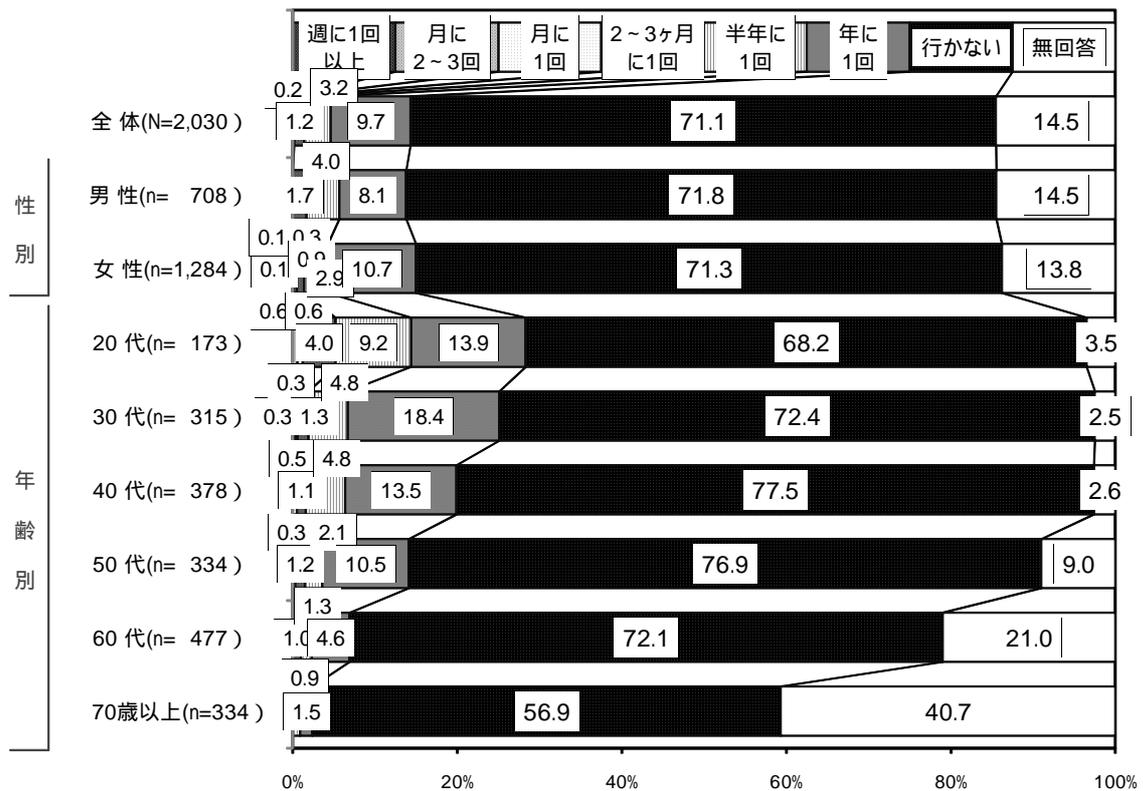
佐賀県鳥栖市

佐賀県鳥栖市への来街頻度は、『週に1回以上』が0.0%となっている。また、『月に1回以上』は0.2%、『半年に1回』は4.6%となっている。なお、『行かない』は71.1%と7割を超えている。

性別にみると、『半年に1回』は男性の方が女性よりも若干高い。一方、『行かない』は男女いずれも7割を超えてほぼ同程度となっており、性差は特にみられない。

年齢別にみると、『半年に1回』は20代(14.4%)が最も高く、唯一1割を超えている。なお、『行かない』が最も高いのは40代(77.5%)、次いで50代(76.9%)、30代(72.4%)、60代(72.1%)の順となっており、いずれも7割を超えている。

【大分市外の地区への買い物頻度 佐賀県鳥栖市(性別・年齢別)】



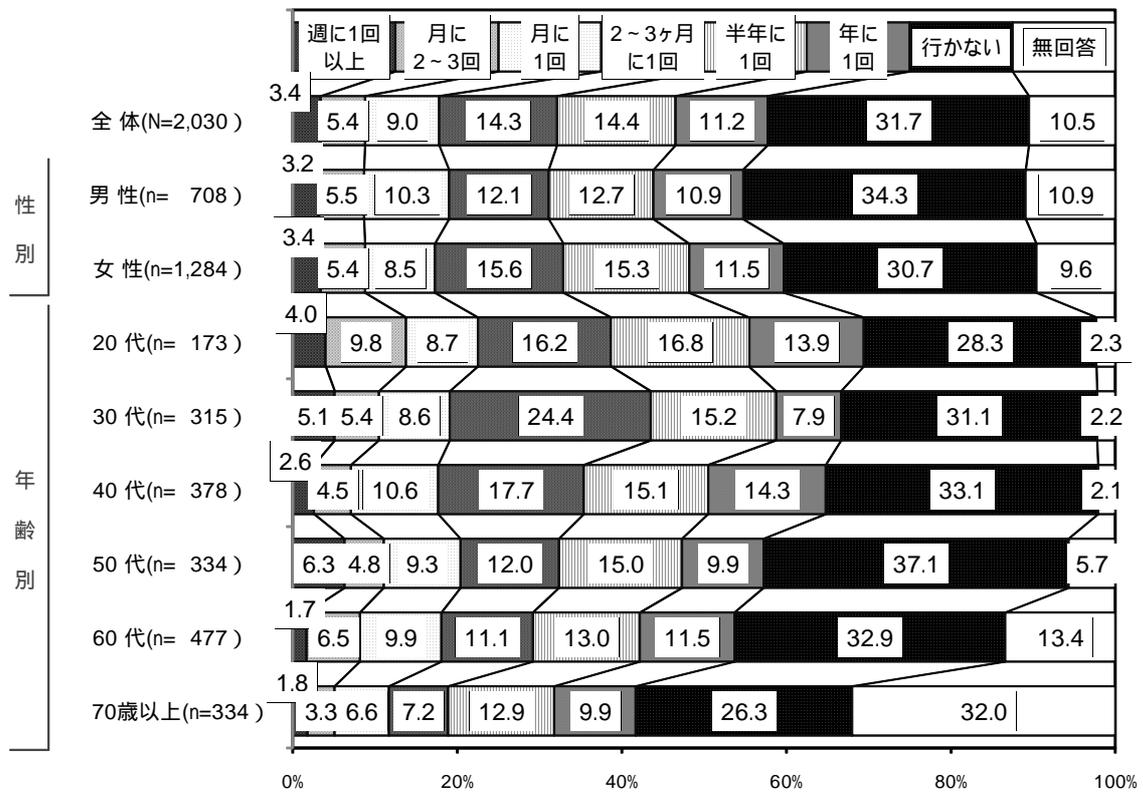
別府市

別府市への来街頻度は、『週に1回以上』が3.4%、『月に1回以上』は17.8%となっている。また、『半年に1回』は46.5%と4割を超えている。なお、「行かない」は31.7%と3割程度となっている。

性別にみると、『半年に1回』は女性の方が男性よりも若干高い。一方、「行かない」は男女いずれも3割を超えているものの、男性の方が女性よりも若干高い。

年齢別にみると、『半年に1回』は30代(58.7%)が最も高く、次いで20代(55.5%)、40代(50.5%)の順となっており、いずれも5割を超えている。なお、「行かない」が最も高いのは50代(37.1%)、次いで40代(33.1%)、60代(32.9%)、30代(31.1%)の順となっており、いずれも3割を超えている。

【大分市外の地区への買い物頻度 別府市(性別・年齢別)】

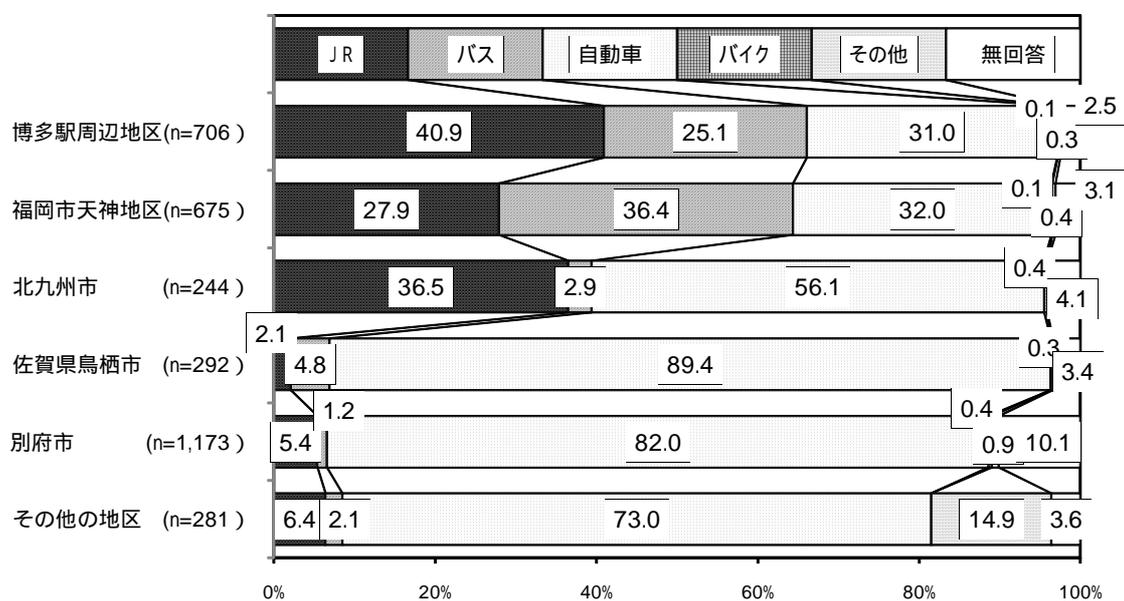


(2) 大分市外の地区へ行く交通手段

問 32 問 31 で「年に 1 回でも大分市外の地区に行く」と答えた方におたずねします。あなたは問 31 で回答した場所へ行く場合、どのような交通手段を利用していますか。(は主なものに 1 つ。)

大分市外への交通手段は、博多駅周辺地区へは「JR」(40.9%)が最も高く、「自動車」(31.0%)、「バス」(25.1%)と続き、福岡市天神地区へは「バス」(36.4%)と「自動車」(32.0%)、「JR」(27.9%)にあまり差がみられない。北九州市へは「自動車」(56.1%)と「JR」(36.5%)、佐賀県鳥栖市へは「自動車」(89.4%)、別府市へは「自動車」(82.0%)、その他の地区へは「自動車」(73.0%)がそれぞれ最も高くなっている。

【大分市外の地区へ行く交通手段】



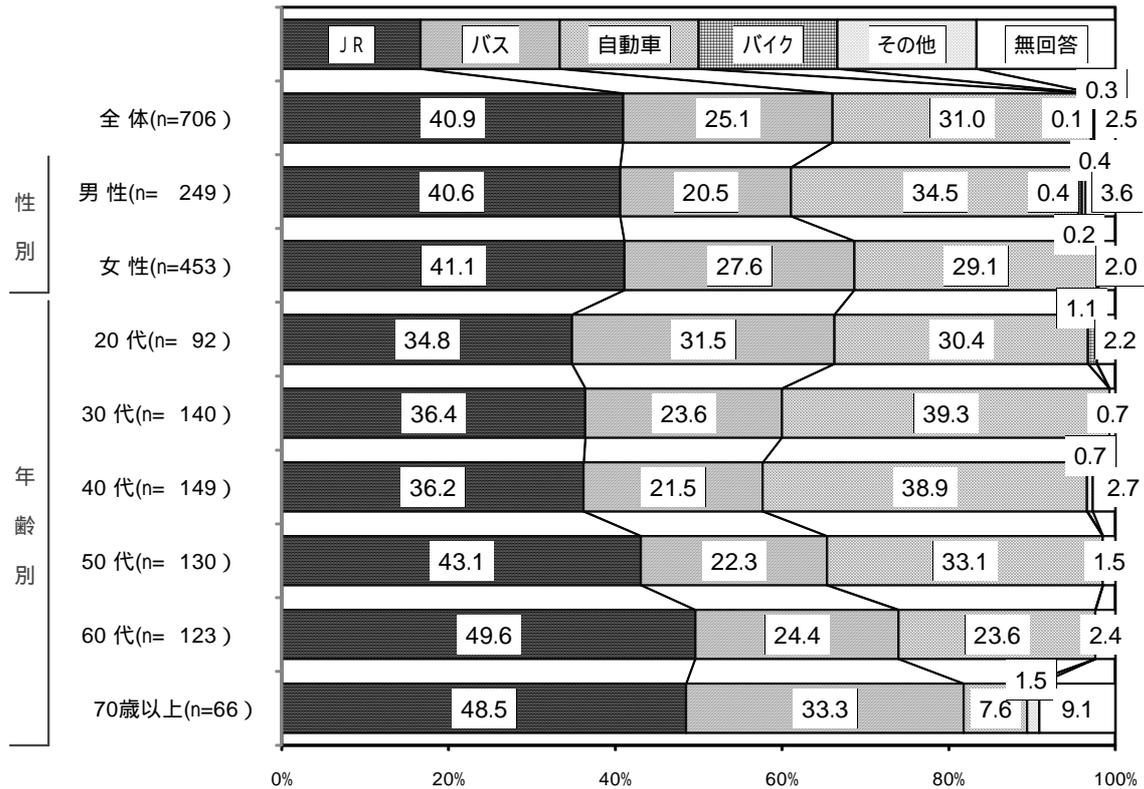
博多駅周辺地区

博多駅周辺地区への交通手段は「JR」(40.9%)が最も高く、次いで「自動車」(31.0%)、「バス」(25.1%)の順となっている。

性別にみると、男女いずれも「JR」が4割を超えて最も多いものの、「自動車」は男性の方が女性よりも高い一方、「バス」は女性の方が男性よりも高い。

年齢別にみると、「JR」が最も高いのは60代(49.6%)で、「自動車」は30代(39.3%)及び40代(38.9%)、「バス」は70歳以上(33.3%)となっている。

【大分市外の地区へ行く交通手段 博多駅周辺地区(性別・年齢別)】



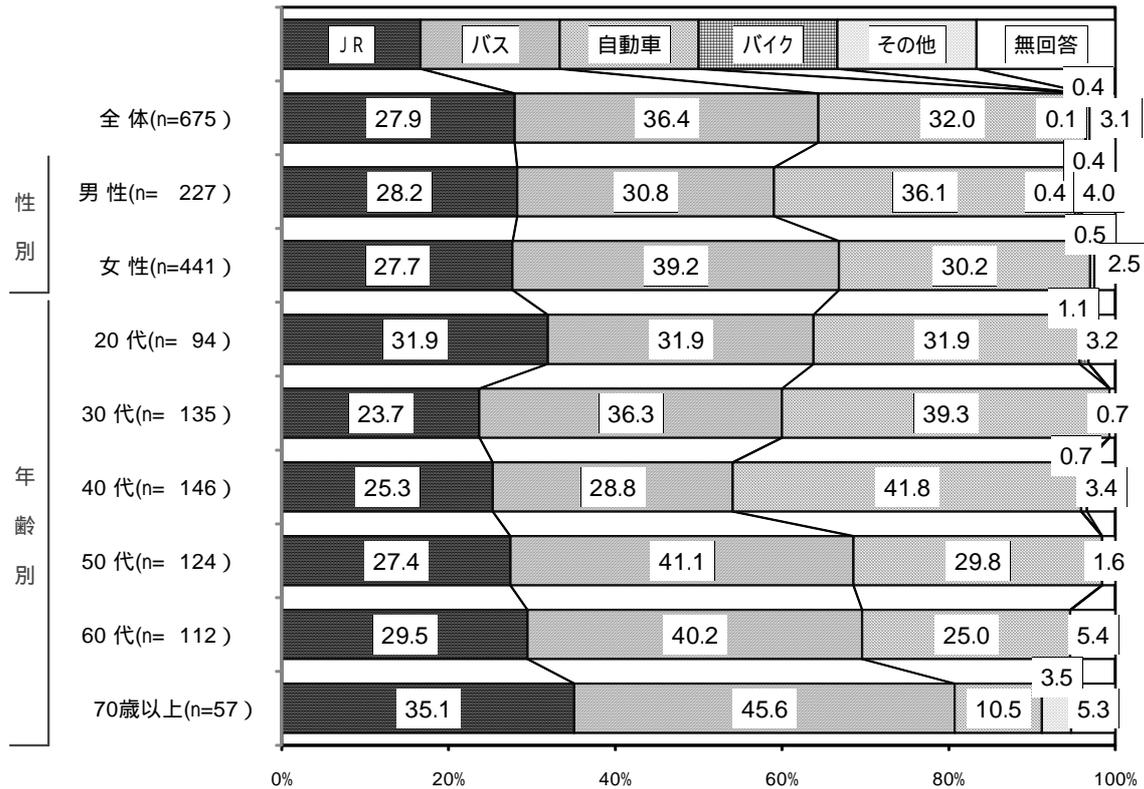
福岡市天神地区

福岡市天神地区への交通手段は「バス」(36.4%)が最も高く、次いで「自動車」(32.0%)、「JR」(27.9%)の順となっている。

性別にみると、「バス」は女性の方が男性よりも高い一方、「自動車」は男性の方が女性よりも高い。なお、「JR」は男女いずれも同程度となっている。

年齢別にみると、70歳以上は「バス」と「JR」の割合が最も高い。一方、「自動車」は40代(41.8%)が最も高く、唯一4割を超えている。

【大分市外の地区へ行く交通手段 福岡市天神地区(性別・年齢別)】



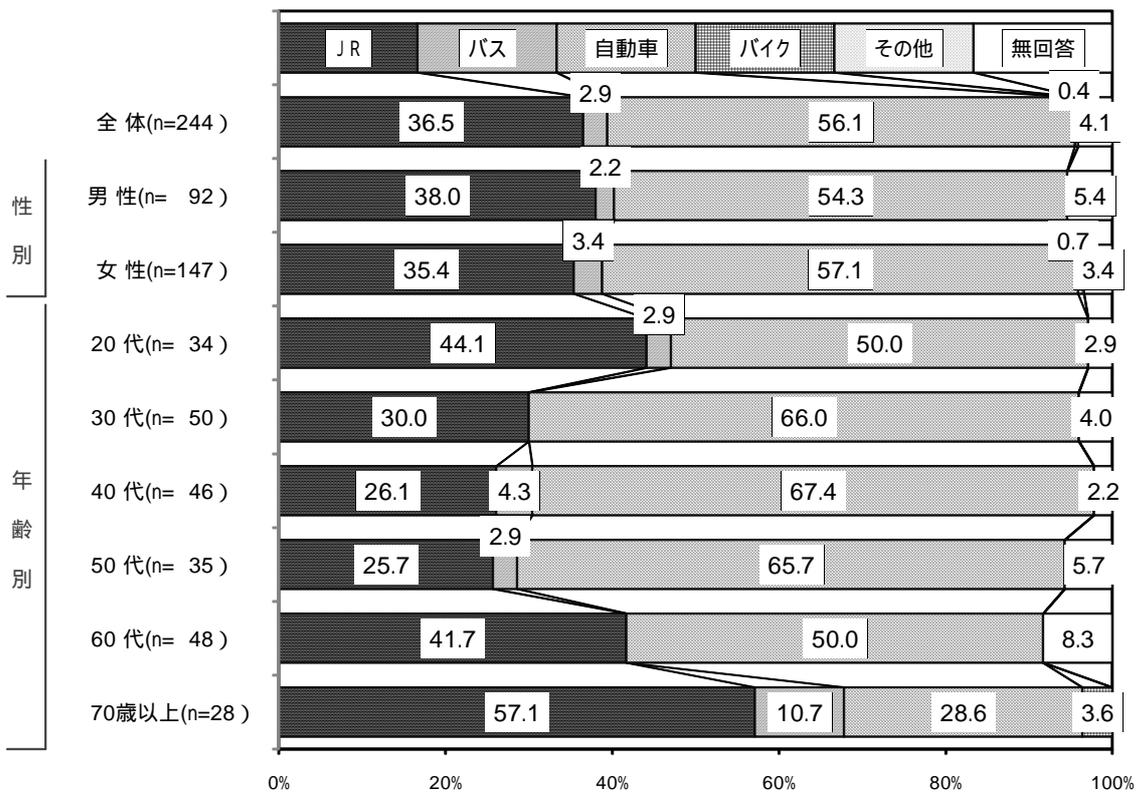
北九州市

北九州市への交通手段は「自動車」(56.1%)が最も高く、過半数を占めている。次いで「JR」(36.5%)の順となっている。

性別にみると、「自動車」は女性の方が男性よりも若干高い一方、「JR」は男性の方が女性よりも若干高くなっている。

年齢別にみると、「自動車」は40代(67.4%)が最も高く、次いで30代(66.0%)、50代(65.7%)の順となっており、いずれも6割を超えている。一方、「JR」は70歳以上(57.1%)が最も高く、唯一5割を超えている。次いで20代(44.1%)、60代(41.7%)の順となっており、いずれも4割を超えている。

【大分市外の地区へ行く交通手段 北九州市(性別・年齢別)】



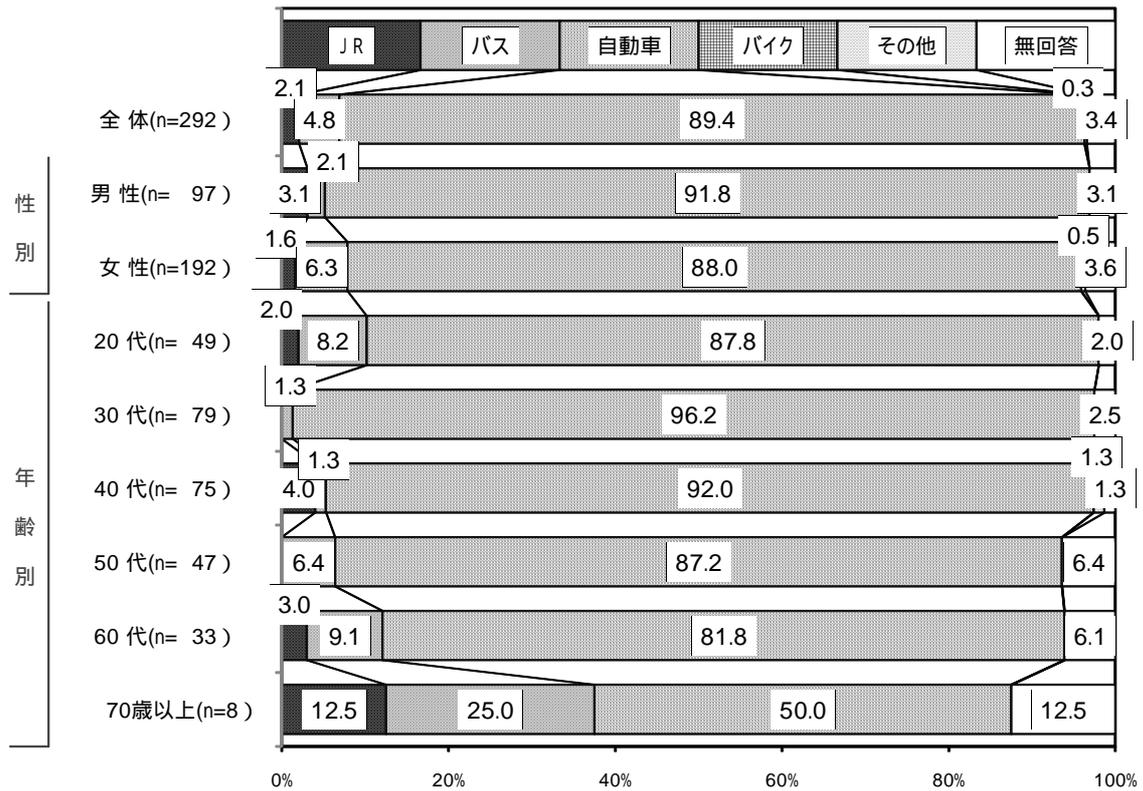
佐賀県鳥栖市

佐賀県鳥栖市への交通手段は「自動車」(89.4%)が群を抜いて高く、全体の9割程度を占めている。

性別にみると、男女いずれも「自動車」が大半を占めている。

年齢別にみると、いずれの年代も「自動車」が大半を占めている(なお、70歳以上はサンプル数が少ないため、ここでは参考扱いとする)。

【大分市外の地区へ行く交通手段 佐賀県鳥栖市(性別・年齢別)】



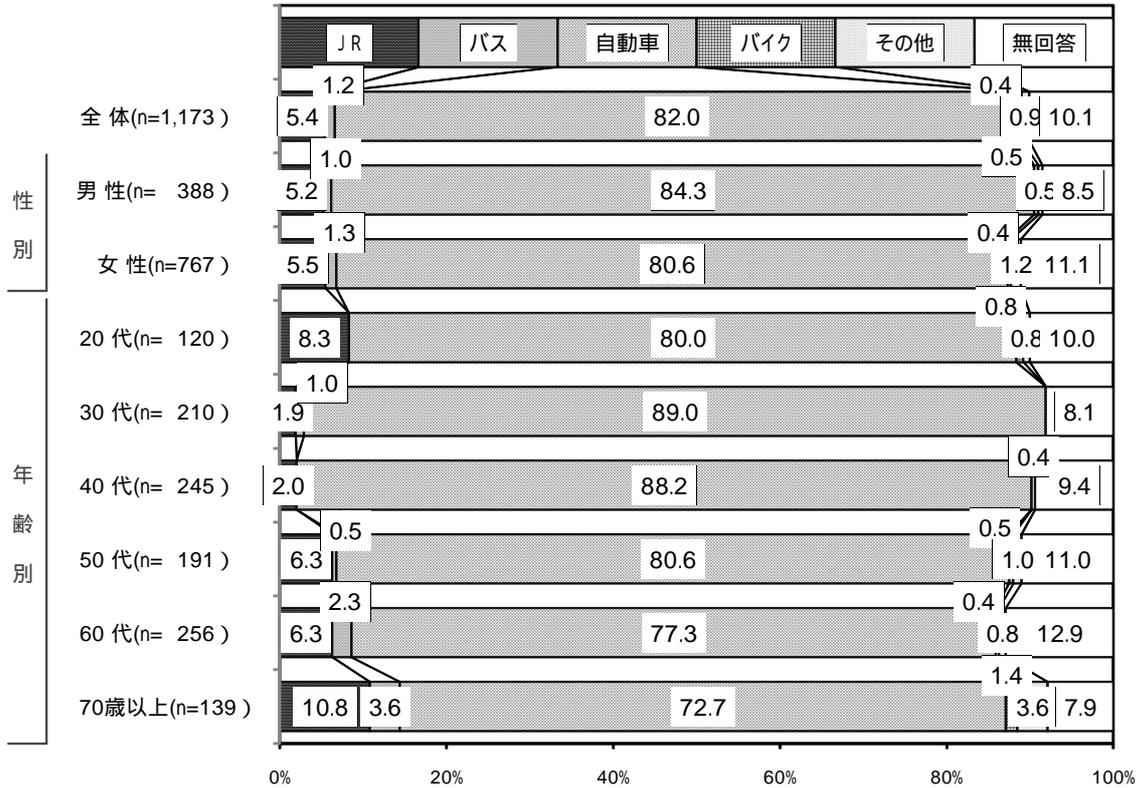
別府市

別府市への交通手段は「自動車」(82.0%)が群を抜いて高く、全体の8割程度を占めている。

性別にみると、男女いずれも「自動車」が大半を占めている。

年齢別にみると、70歳以上で「JR」が1割程度みられるものの、いずれの年代も「自動車」が大半を占めている。

【大分市外の地区へ行く交通手段 別府市(性別・年齢別)】



(3) 大分市外の地区での買い物物品目

問 33 問 31 で「年に 1 回でも大分市外の地区に行く」と答えた方におたずねします。あなたは問 31 で回答した場所では何を購入しますか。下記の選択肢一覧の中から、あてあまると思うものから順に 5 つお答えください。

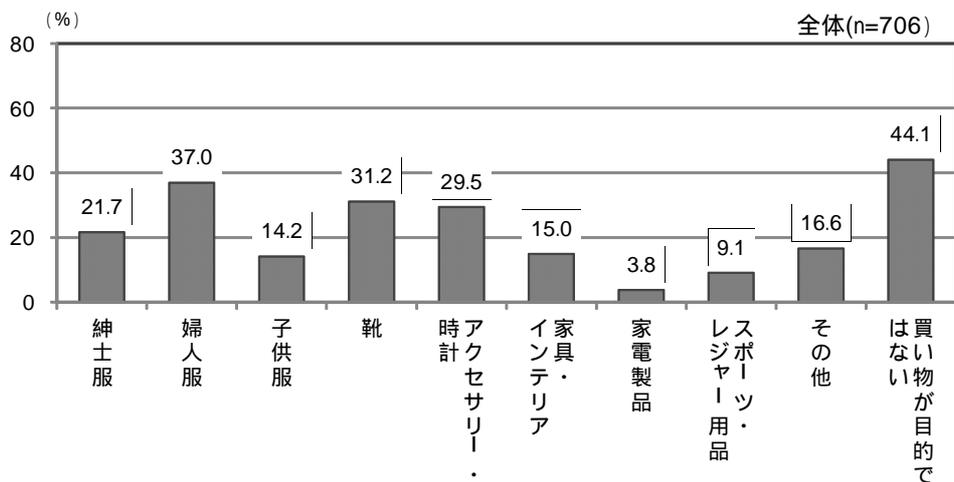
博多駅周辺地区

博多駅周辺地区での買い物物品目をみると、「婦人服」(37.0%)が最も高く、次いで「靴」(31.2%)、「アクセサリー・時計」(29.5%)の順となっている。なお、「買い物が目的ではない」と答えた割合は44.1%と、4割を超えている。

性別にみると、男性は「買い物が目的ではない」(56.6%)が5割を超えて最も高い。一方、女性は「婦人服」(50.8%)が最も高くなっている。

年齢別にみると、20代は「靴」、30代及び40代は「婦人服」が最も高い。なお、50代以上は「買い物が目的ではない」が5割を超えて最も高くなっている。

【大分市外の地区での買い物物品目 博多駅周辺地区(性別・年齢別)】



(単位:%)

		サンプル数	紳士服	婦人服	子供服	靴	時計・アクセサリー	家具・インテリア	家電製品	レジャー用品	その他	は買わない物が目的
全体		706	21.7	37.0	14.2	31.2	29.5	15.0	3.8	9.1	16.6	44.1
性別	男性	249	26.1	11.2	8.0	19.7	18.5	8.0	5.6	9.2	10.4	56.6
	女性	453	19.0	50.8	17.4	37.3	35.3	19.0	2.9	8.6	19.6	37.3
	無回答	4	50.0	75.0	25.0	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0	25.0
年齢別	20代	92	37.0	46.7	10.9	58.7	57.6	33.7	9.8	13.0	22.8	26.1
	30代	140	32.9	48.6	25.7	41.4	37.9	22.9	5.0	9.3	17.9	39.3
	40代	149	20.8	49.7	19.5	41.6	32.9	18.8	6.7	10.7	24.2	35.6
	50代	130	16.2	33.1	8.5	22.3	23.8	6.2	0.8	10.8	10.0	53.1
	60代	123	13.0	16.3	7.3	11.4	12.2	4.1	-	4.1	8.9	58.5
	70歳以上	66	4.5	15.2	4.5	1.5	7.6	3.0	-	4.5	12.1	56.1
	無回答	6	33.3	50.0	33.3	33.3	33.3	-	-	16.7	50.0	16.7

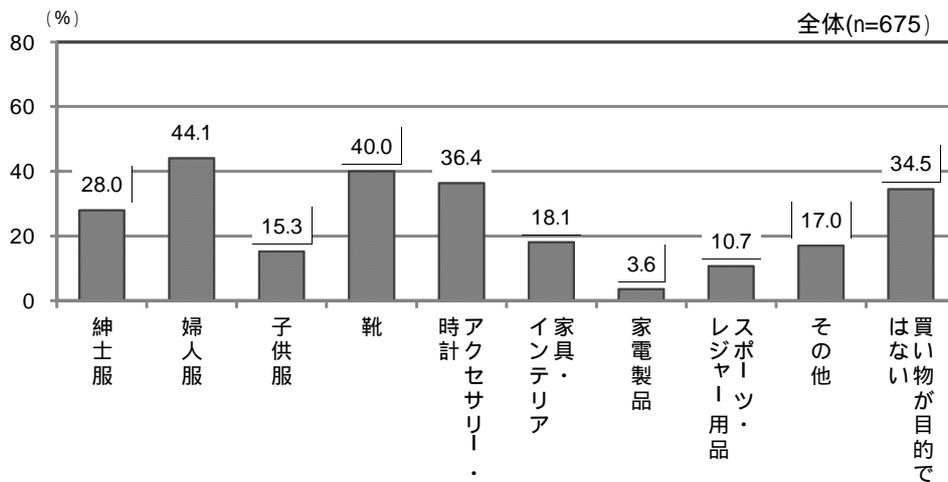
福岡市天神地区

福岡市天神地区での買い物品目をみると、「婦人服」(44.1%)が最も高く、次いで「靴」(40.0%)、「アクセサリー・時計」(36.4%)の順となっている。なお、「買い物が目的ではない」と答えた割合は34.5%となっている。

性別にみると、男性は「買い物が目的ではない」(45.4%)が最も高い。一方、女性は「婦人服」(57.6%)が最も高く、次いで「靴」(45.8%)、「アクセサリー・時計」(41.7%)の順となっている。

年齢別にみると、20代は「靴」、30代及び40代は「婦人服」が最も高い。なお、50代以上は「買い物が目的ではない」が5割を超えて最も高くなっている。

【大分市外の地区での買い物品目 福岡市天神地区(性別・年齢別)】



(単位:%)

		サンプル数	紳士服	婦人服	子供服	靴	時計・アクセサリー	家具・インテリア	家電製品	レジャー用品	その他	買い物が目的ではない
全体		675	28.0	44.1	15.3	40.0	36.4	18.1	3.6	10.7	17.0	34.5
性別	男性	227	37.9	17.6	10.1	28.6	26.0	10.6	6.2	11.9	12.3	45.4
	女性	441	22.9	57.6	17.9	45.8	41.7	22.2	2.3	9.5	19.3	29.0
	無回答	7	28.6	57.1	14.3	42.9	42.9	-	-	42.9	28.6	28.6
年齢別	20代	94	43.6	48.9	8.5	61.7	54.3	31.9	10.6	10.6	25.5	17.0
	30代	135	40.7	58.5	30.4	51.9	50.4	28.1	4.4	10.4	19.3	25.9
	40代	146	29.5	55.5	19.2	50.0	37.7	19.2	4.8	12.3	22.6	27.4
	50代	124	20.2	41.1	8.1	33.1	29.0	12.1	0.8	12.1	8.9	46.0
	60代	112	17.0	23.2	8.0	17.0	19.6	8.9	-	8.9	8.9	53.6
	70歳以上	57	5.3	19.3	8.8	10.5	17.5	1.8	-	5.3	14.0	43.9
	無回答	7	42.9	57.1	28.6	42.9	57.1	-	-	28.6	42.9	-

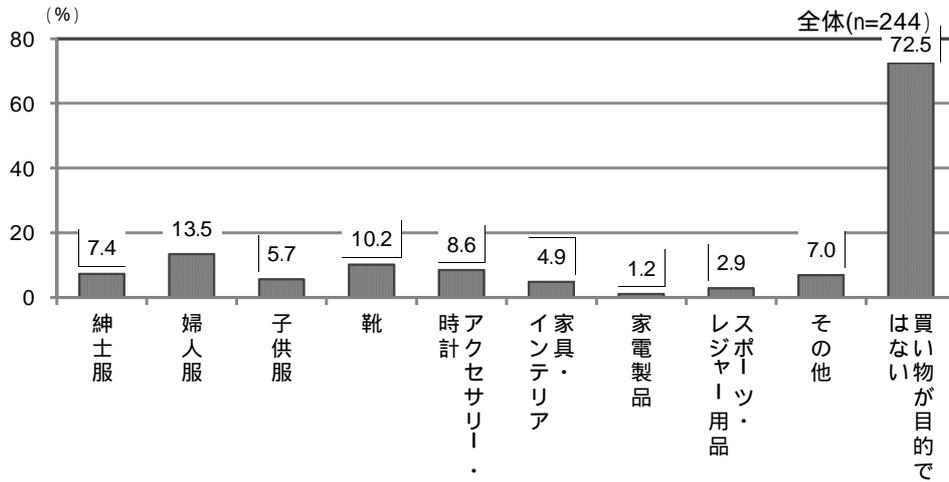
北九州市

北九州市では、「買い物目的ではない」と答えた割合が72.5%と、群を抜いて高くなっている。

性別にみると、男女いずれも「買い物目的ではない」が群を抜いて高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「買い物目的ではない」が群を抜いて高い。

【大分市外の地区での買い物品目 北九州市（性別・年齢別）】



(単位:%)

	サンプル数	紳士服	婦人服	子供服	靴	時計	アクセサリ	家具・インテリア	家電製品	レジャー用品	その他	買い物目的ではない
全体	244	7.4	13.5	5.7	10.2	8.6	4.9	1.2	2.9	7.0	72.5	
性別	男性	92	12.0	5.4	5.4	8.7	5.4	3.3	1.1	4.3	1.1	71.7
	女性	147	4.8	18.4	6.1	10.9	10.2	5.4	1.4	2.0	10.9	72.8
	無回答	5	-	20.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-	-	80.0
年齢別	20代	34	11.8	23.5	2.9	23.5	29.4	20.6	8.8	8.8	8.8	58.8
	30代	50	16.0	18.0	12.0	12.0	10.0	2.0	-	-	8.0	70.0
	40代	46	-	4.3	2.2	2.2	2.2	-	-	2.2	10.9	82.6
	50代	35	5.7	25.7	8.6	17.1	8.6	5.7	-	2.9	-	62.9
	60代	48	8.3	6.3	4.2	6.3	4.2	2.1	-	4.2	4.2	77.1
	70歳以上	28	-	7.1	3.6	3.6	-	3.6	-	-	7.1	82.1
	無回答	3	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7

佐賀県鳥栖市

佐賀県鳥栖市での買い物品目をみると、「婦人服」(62.7%)が最も高く、次いで「靴」(53.1%)、「紳士服」(52.7%)の順となっている。

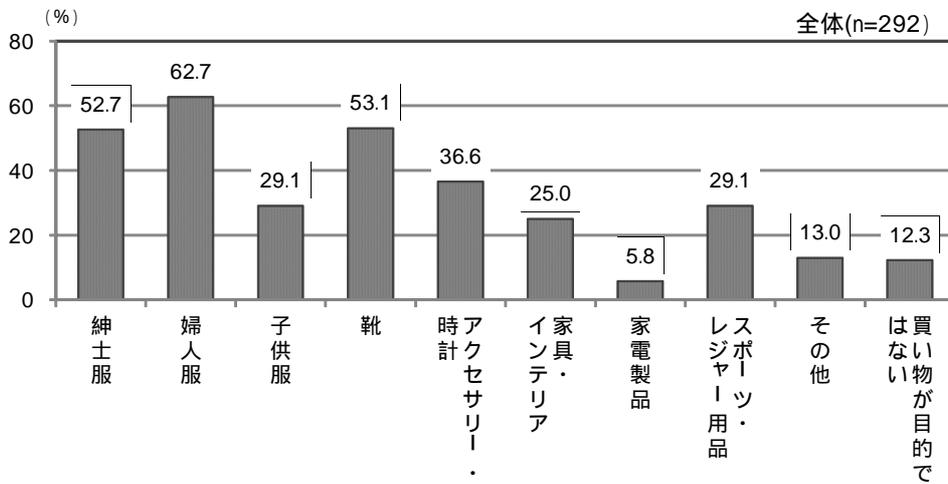
性別にみると、男性は「紳士服」(61.9%)が最も高く、次いで「靴」(49.5%)の順となっている。一方、女性は「婦人服」(80.2%)が群を抜いて高い。

年齢別にみると、20代は「靴」、30代から50代は「婦人服」が最も高い(なお、60代、70歳以上はサンプル数が少ないため、ここでは参考扱いとする)。

性別にみると、

年齢別にみると、

【大分市外の地区での買い物品目 佐賀県鳥栖市(性別・年齢別)】



(単位: %)

	サンプル数	紳士服	婦人服	子供服	靴	時計	インテリ・家具	家電製品	レジャー用品	その他	買っていないが目的		
全体	292	52.7	62.7	29.1	53.1	36.6	25.0	5.8	29.1	13.0	12.3		
性別	男性	97	61.9	27.8	23.7	49.5	30.9	13.4	7.2	26.8	10.3	19.6	
	女性	192	48.4	80.2	32.3	54.7	39.1	31.3	5.2	29.7	14.1	8.3	
	無回答	3	33.3	66.7	-	66.7	66.7	-	-	66.7	33.3	33.3	
年齢別	20代	49	65.3	55.1	16.3	75.5	55.1	32.7	14.3	30.6	12.2	6.1	
	30代	79	64.6	73.4	43.0	63.3	41.8	31.6	3.8	26.6	21.5	8.9	
	40代	75	56.0	72.0	37.3	56.0	36.0	29.3	6.7	37.3	10.7	9.3	
	50代	47	46.8	74.5	21.3	38.3	29.8	14.9	2.1	29.8	6.4	10.6	
	60代	33	21.2	27.3	15.2	24.2	18.2	9.1	3.0	21.2	9.1	33.3	
	70歳以上	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37.5
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	

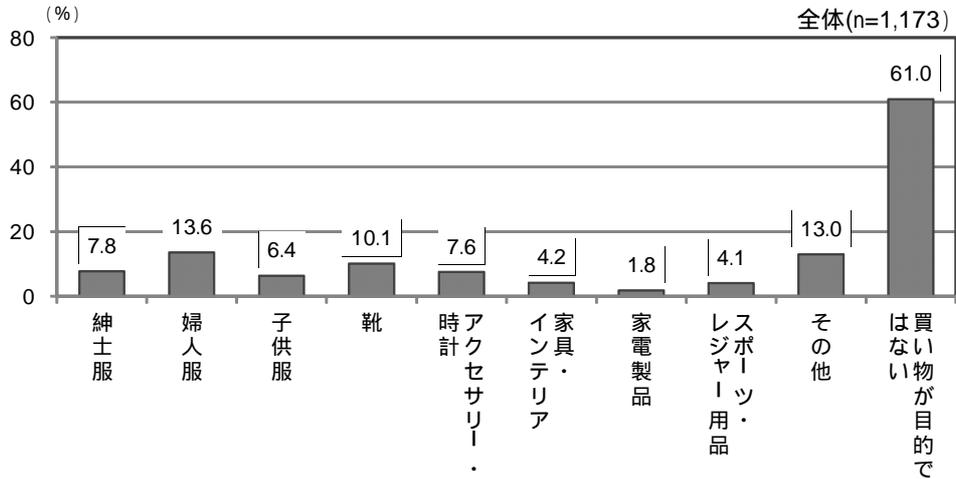
別府市

別府市では、「買い物目的ではない」と答えた割合が61.0%と、群を抜いて高くなっている。

性別にみると、男女いずれも「買い物目的ではない」が群を抜いて高い。

年齢別にみると、いずれの年代も「買い物目的ではない」が群を抜いて高い。

【大分市外の地区での買い物目 別府市（性別・年齢別）】



(単位:%)

	サンプル数	紳士服	婦人服	子供服	靴	時計	家具・インテリア	家電製品	レジャー用品	その他	買い物目的ではない	
全体	1,173	7.8	13.6	6.4	10.1	7.6	4.2	1.8	4.1	13.0	61.0	
性別	男性	388	8.5	5.4	4.1	5.7	3.9	2.3	1.3	3.4	9.5	67.0
	女性	767	7.3	17.6	7.7	12.1	9.4	5.1	2.0	4.3	14.5	58.3
	無回答	18	11.1	16.7	-	22.2	11.1	5.6	5.6	11.1	22.2	50.0
年齢別	20代	120	7.5	15.0	1.7	15.8	14.2	10.0	4.2	4.2	13.3	61.7
	30代	210	11.9	16.2	14.3	11.9	9.5	5.2	1.9	4.3	19.0	59.0
	40代	245	12.2	18.0	8.2	13.9	9.4	5.3	1.6	4.9	16.7	58.0
	50代	191	5.8	14.1	5.8	11.5	7.9	2.6	2.1	5.2	11.5	59.7
	60代	256	4.7	10.5	3.9	5.5	4.7	2.0	1.2	3.5	8.6	62.9
	70歳以上	139	1.4	5.0	1.4	2.2	1.4	2.2	-	2.2	5.8	67.6
	無回答	12	16.7	16.7	-	16.7	-	-	8.3	-	25.0	58.3

7. 調査結果の総括

以下は、本調査の各論分析の結果からみられる大分市中心市街地の課題、および大分市が目指すまちづくりへの提言を総括するものです。

(1) にぎわいのあるまちづくりのために

大分市中心市街地（以下、「中心市街地」と記述）への来街頻度は『月に1回以上』が60.9%と、6割の人が月に1回は中心市街地へ出向いており、『月に1回以上』の割合はわさだタウン（47.4%）やパークプレイス（38.1%）よりも上回っています。しかしながら、中心市街地への来街者は男性の方が女性よりも多く、買い物の中心となる女性の方が多いわさだタウンやパークプレイスとは傾向が異なります。また、中心市街地への来街目的は「食事・喫茶・飲食など」（38.6%）が最も高く、次いで「ちょっと高級な買い物」（33.4%）の順で、「日常の買い物」や「ウィンドウショッピング」は21.7%、「娯楽」は12.0%となっています。一方、わさだタウンやパークプレイスは「日常の買い物」が6割を超えて最も高く、次いで「ウィンドウショッピング」、「娯楽」、「食事・喫茶・飲食など」などの順となっていることから、中心市街地へ買い物を楽しんだり、娯楽やレジャーなど遊び感覚で来街する人は、わさだタウンやパークプレイスに比べて少ないと考えられます。

特に注目すべき調査結果として、1年前と比べて中心市街地への来街頻度が『増えた』と答えた人は6.6%と1割に満たず、逆に『減った』と答えた人が42.6%と4割を超えて『増えた』人を大きく上回っていることです。来街頻度が『減った』理由については、「街に魅力がない」（38.2%）が最も高く、次いで「自宅近くに魅力的な店がある」（37.0%）、「買い物以外に楽しめない」（21.6%）などが理由の上位となっていることも注目すべき結果です。これらの結果から鑑みるに、中心市街地に出向いても娯楽性に欠け、楽しみが少ないと感じている人が少なからずいることが想像できます。また、中心市街地への同伴者についてみると、「一人」で訪れる人が47.7%で最も多くなっています。一方、わさだタウンやパークプレイスは「家族」が最も多くなっています。このことから、中心市街地は家族で出かけて、楽しめるのには向いていない、と感じている人も少なからずいることが想像できます。

にぎわいのある商店街づくり、まちづくりのためには、人が集まり、交流し、滞在することに楽しさを感じる事が大切です。買い物を楽しめることは無論のこと、買い物でなくても娯楽やレジャー、イベントなど、遊び感覚でまちあるきを楽しめる工夫が必要と考えます。

今回の調査結果で得られた結果の中で、『街に魅力がない』と答えた人が多かった理由は、まさにここにあると考えられます。にぎわいの少なさ、人との交流やまちあるきの楽しさに欠けている点、これが現在の中心市街地が抱えている課題と考えられます。いかにして、老若男女問わず中心市街地に人が集い、交流を深め、まちあるきを楽しむことができるかが、『街の魅力』につながっていくと考えます。

他都市での事例をあげると、例えば、長崎県佐世保市の商店街では、「YOSAKOI させば祭り」や「きらきらフェスティバル」など、市民参加型のイベントを開催し、イベントの主役を「市民」とすることにより、商店街と市民の一体感の醸成を図ることで、市中心部における交流人口やにぎわいを創出するとともに、まちづくりに対する住民参加意識の向上にもつながっています。また、熊本県熊本市では、市現代美術館のオープンをきっかけに、商店街の通りや公共スペース等オープンパブリックな場所でのアート・パフォーマンスが年間を通じて多く開催され、市民が日常の中で芸術に触れる機会を演出しているほか、市民への出演公募や子どもたちが出演するイベントも展開しており、市民からの支持を得ています。

(2) 訪れやすく回遊しやすいまちづくりのために

中心市街地への来街手段は「自動車」が61.1%と6割を超えており、次いで「バス」(18.4%)の順となっています。年齢が上がるにつれて「バス」の利用割合が増えていますが、「自動車」の利用割合は60代まで「バス」を上回っており、70歳以上でも「自動車」を利用している人が38.5%と約4割みられます。また、性別でみると、女性も「自動車」を利用している人が59.8%と、約6割みられることから、自動車利用が高齢者及び女性にも拡大している傾向がみられます。

近年のモータリゼーションの進展により、郊外型大型集客施設が整備され、買い物に自家用車を利用する人が増えるに伴い、中心市街地への来街も自家用車を利用する人が増えていると考えられます。特に、若い年齢層はその傾向が顕著であるほか、高齢者及び女性も自動車利用が増えていると考えられます。

中心部商店街は大分駅から北へ延びる中央通りを挟み、西側にガレリア竹町、セントポルタ中央町、東側に府内5番街、ふないポルトソール通り、ふないサンサン通りなどの商店街と、その中にトキハ、フォーラスなどの大型店が混在した広域型商店街となっています。調査結果における中心市街地の滞在時間は平均3.03時間となっていますが、年齢が上がるにつれて滞在時間は短くなる傾向がみられ、最も長いのは20代の3.51時間、最も短いのは70歳以上の2.70時間と、平均で約1時間弱の開きがみられます。参考までに、わさだタウンの滞在時間は平均2.70時間、パークプレイスの滞在時間は平均は2.86時間となっており、中心市街地の方が上回っています。この理由としては、わさだタウン、パークプレイスの滞在時間は2～3時間に集中していますが、中心市街地は1時間から5時間まで分散しており、郊外型の施設に比べて面的な広がり大きい中心部商店街を回遊するには時間を要することが推測されます。

回遊しやすいまちづくりのためには、中心市街地内の動線のみならず、まちの中で誰もが楽しく過ごすことができる工夫が必要と考えます。先述の『街に魅力がない』と答えた人が多かった理由が、ここにもあると考えられます。まちなかでの滞留しやすさ、まちで過ごす時間が楽しいと感じさせることができるかが、『街の魅力』につながっていくと考えます。特に、大分市は高齢者人口が増加傾向にあり、今後高齢化が進展していく中で、高齢者等でも買い物しやすいまちづくり、高齢者等がまち中でも安心して過ごすことができる工夫は必要不可欠であると考えられます。

他都市での事例をあげると、例えば、鹿児島県鹿児島市では、商店街のアーケードと道路等既存施設の有効活用としてオープンカフェを設置し、土日を中心に来街者の休憩スペースとして活用され、滞在時間の延長につながったとともに、従来少なかった商店街の通り客のコミュニケーションも増え、集客に貢献しています。また、毎週末を中心に常に何らかのイベントを開催することで来街者の期待感を高め、にぎわい創出も促進しています。他にも、福岡県久留米市の六門商店街ではタウンモビリティ事業に取り組み、高齢者の送迎、買い物サポートやコミュニケーション活動を行っているほか、電動スクーターの貸出、相談コーナーや休憩スペースを設置して、高齢者等が安心して買い物ができる空間を構築しています。熊本県熊本市の健軍商店街では、高齢者、障がい者や買い物をされた方が、重かったり、かさばったりする荷物を一時的に預かり、自宅まで直接配送するシステムを構築し、誰もが何不自由なく買い物ができるまちづくりを推進しています。

主な調査結果の特徴

- ・大分市中心市街地への来街頻度は『月に1回以上』が60.9%と、6割の人が月に1回は中心市街地へ出向いている。
 - ・来街頻度は男性の方が女性よりも多い傾向がみられる。
 - ・来街目的は、「食事・喫茶・飲食など」(38.6%)が最も高く、次いで「ちょっと高級な買い物」(33.4%)の順となっており、「日常の買い物」や「ウィンドウショッピング」は21.7%、「娯楽」は12.0%となっている。
 - ・同伴者は「一人」が47.7%で最も多く、次いで「家族」(20.1%)の順となっている。
 - ・1年前と比べて来街頻度が『増えた』と答えた人は6.6%にすぎず、逆に『減った』と答えた人が4割を超えて『増えた』人を大きく上回っている。
 - ・来街頻度が『減った』理由については、「街に魅力がない」(38.2%)、「自宅近くに魅力的な店がある」(37.0%)、「買い物以外に楽しめない」(21.6%)などが理由の上位となっている。
 - ・中心市街地への交通手段は「自動車」が61.1%と6割を超えており、次いで「バス」(18.4%)の順となっている。年齢別にみると、「バス」は年齢があがるにつれて利用割合が増加する傾向がみられ、70歳以上は44.2%と4割を超えている。一方、「自動車」の利用割合は60代まで「バス」を上回っており、70歳以上でも「自動車」を利用している人が38.5%と、約4割みられます。また、性別にみると、女性で「自動車」を利用している人が59.8%と、約6割みられる。
 - ・滞在時間は平均3.03時間となっている。年齢別にみると、最も長いのは20代の3.51時間、最も短いのは70歳以上の2.70時間となっており、年齢が上がるにつれて滞在時間は短くなる傾向がみられる。
-
- ・わさだタウンへの来街頻度は『月に1回以上』が47.4%と、約5割の人が月に1回はわさだタウンへ出向いている。
 - ・来街頻度は女性の方が男性よりも多い傾向がみられる。
 - ・来街目的は、「日常の買い物」(61.8%)が最も高く、次いで「ウィンドウショッピング」(43.2%)、「食事・喫茶・飲食など」(42.9%)、「娯楽」(26.0%)の順となっている。
 - ・同伴者は「家族」が38.1%で最も多く、次いで「一人」(23.4%)の順となっている。
 - ・交通手段は「自動車」が88.9%と、約9割を占めている。
 - ・滞在時間は「3時間」(32.8%)と「2時間」(30.6%)に2分されている。なお、平均は2.70時間となっている。
-
- ・パークプレイスへの来街頻度は『月に1回以上』が38.1%と、約4割の人が月に1回はパークプレイスへ出向いている。
 - ・来街頻度は女性の方が男性よりも多い傾向がみられる。
 - ・来街目的は、「日常の買い物」(63.8%)が最も高く、次いで「食事・喫茶・飲食など」(52.1%)、「ウィンドウショッピング」(49.5%)、「娯楽」(31.3%)の順となっている。
 - ・同伴者は「家族」が42.8%で最も多く、次いで「配偶者と二人」(22.3%)の順となっている。
 - ・交通手段は「自動車」が93.3%と、9割を占めている。
 - ・滞在時間は「2時間」(32.2%)と「3時間」(31.0%)に2分されている。なお、平均は2.86時間となっている。

平成 23 年度 大分市消費者購買実態調査

このたび大分市では、今後の商業振興の資料とするため、消費者の皆さんの購買実態について、別紙調査票による調査を行うことになりました。

この調査は、大分市内に居住する方から無作為抽出させていただいた方を対象に行っております。

また、ご回答の内容は統計処理（ との回答は %等）を行うので、個人名を含めて内容が外部に漏れることは決してございません。

突然のお願いであり、また質問内容も多岐にわたることから大変ご迷惑をおかけすることと思いますが、趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

つきましては、調査結果集計分析のため、平成 24 年 2 月 20 日（月）までに同封の封筒（切手不要）にてご返送くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

- アンケートの趣旨について

大分市役所商工労政課

097 - 537 - 5959

担当 熊瀬

- アンケートの記入等について

(株)西日本リサーチ・センター

092 - 751 - 8062

担当 早川

【アンケートにお答えいただきご本人様ご自身のことについておたずねします】

問1 あなたの性別をお知らせください。(は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問2 あなたの年齢をお知らせください。(は1つ)

- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1 20～24歳 | 4 35～39歳 | 7 50～54歳 | 10 65～69歳 |
| 2 25～29歳 | 5 40～44歳 | 8 55～59歳 | 11 70～74歳 |
| 3 30～34歳 | 6 45～49歳 | 9 60～64歳 | 12 75歳以上 |

問3 あなたのお住まいはどちらの地区ですか。(は1つ)

- | |
|---------------------------------|
| 1 大分中央地区(金池小・長浜小・荷揚町小・中島小・住吉小) |
| 2 大分西部地区(春日町小・大道小・西の台小・八幡小・神崎小) |
| 3 南大分地区(南大分小・豊府小・城南小・荏隈小) |
| 4 滝尾地区(滝尾小・下郡小・森岡小) |
| 5 城東・原川地区(津留小・舞鶴小・東大分小・日岡小・桃園小) |
| 6 明野地区(明野東小・明野西小・明野北小) |
| 7 鶴崎地区(鶴崎中・大東中・東陽中) |
| 8 大南地区(戸次中・吉野中・竹中中・判田中) |
| 9 植田地区(植田中・植田西中・植田東中・植田南中・賀来中) |
| 10 大在地区(大在中) |
| 11 坂ノ市地区(坂ノ市中) |
| 12 佐賀関地区(神崎中・佐賀関中) |
| 13 野津原地区(野津原中) |
| 14 その他() |
- ()内は小学校区又は中学校区

問4 現住所にお住まいになられてから、何年くらいになりますか。(は1つ)

- | | | | |
|---------|----------|----------|----------|
| 1 ~5年 | 3 10～15年 | 5 20～25年 | 7 30～35年 |
| 2 5～10年 | 4 15～20年 | 6 25～30年 | 8 35年～ |

問5 現在お住まいの住居形態は、次のどれにあてはまりますか。(は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1 持ち家一戸建 | 4 賃貸マンション | 7 社宅・官舎 |
| 2 分譲マンション | 5 民間アパート | 8 その他() |
| 3 民間借家一戸建 | 6 県営・市営住宅 | |

問6 あなたの勤務地(学校)はどちらの地区ですか。(は1つ)

- 1 大分中央地区(金池小・長浜小・荷揚町小・中島小・住吉小)
- 2 大分西部地区(春日町小・大道小・西の台小・八幡小・神崎小)
- 3 南大分地区(南大分小・豊府小・城南小・荏隈小)
- 4 滝尾地区(滝尾小・下郡小・森岡小)
- 5 城東・原川地区(津留小・舞鶴小・東大分小・日岡小・桃園小)
- 6 明野地区(明野東小・明野西小・明野北小)
- 7 鶴崎地区(鶴崎中・大東中・東陽中)
- 8 大南地区(戸次中・吉野中・竹中中・判田中)
- 9 植田地区(植田中・植田西中・植田東中・植田南中・賀来中)
- 10 大在地区(大在中)
- 11 坂ノ市地区(坂ノ市中)
- 12 佐賀関地区(神崎中・佐賀関中)
- 13 野津原地区(野津原中)
- 14 別府市
- 15 その他の市町村
- 16 無職(通勤・通学をしていない)

()内は小学校区又は中学校区

問7 あなたはふだん、通勤(通学)には主にどのような交通手段を利用していますか。(は1つ)

- | | | | | | | |
|------|------|-------|-------|-------|------|-------|
| 1 JR | 2 バス | 3 自動車 | 4 バイク | 5 自転車 | 6 徒歩 | 7 その他 |
|------|------|-------|-------|-------|------|-------|

問8 あなたは、お勤め(学校)の帰りに、次の買い物をすることがありますか。(は1つ)

生鮮食品について

- (1 いつも購入して帰る 2 時々購入して帰る 3 ほとんど購入して帰らない)

お惣菜について

- (1 いつも購入して帰る 2 時々購入して帰る 3 ほとんど購入して帰らない)

加工食品(即席・冷凍食品、缶詰など)について

- (1 いつも購入して帰る 2 時々購入して帰る 3 ほとんど購入して帰らない)

菓子類について

- (1 いつも購入して帰る 2 時々購入して帰る 3 ほとんど購入して帰らない)

酒類について

- (1 いつも購入して帰る 2 時々購入して帰る 3 ほとんど購入して帰らない)

【日常の買い物についておたずねします】

問 9 あなたのご家庭では、次に上げる ~ の商品を、ふだんどこでお買い求めになりますか。それぞれの商品について、**最も多く利用する場所と2番目に多く利用する場所**について次ページの選択肢一覧（問9の選択肢一覧）の中から選んで、その番号をご記入ください。

問 10 問9の ~ の商品について、最も多く利用する場所と2番目に多く利用する場所それぞれのお店の形態について、次ページの選択肢一覧（問10の選択肢一覧）から該当するものを1つずつ選んで、その番号をご記入ください。

商品	最も多く利用する場所		2番目に多く利用する場所	
	問9 買い物 場所	問10 店舗 形態	問9 買い物 場所	問10 店舗 形態
生鮮食品				
加工食品（即席・冷凍食品、缶詰など）				
菓子・パン類				
酒類				
日用品（台所・洗濯・ふる・トイレ用品など）				
医薬品				
化粧品				
肌着・下着				
紳士服				
婦人服				
子供服				
靴				
アクセサリ・時計				
家具・インテリア				
家電製品				
スポーツ・レジャー用品				
書籍				
DVD・CD				
文具				

《問 9 の選択肢一覧》

- 1 大分中央地区（金池小・長浜小・荷揚町小・中島小・住吉小）
 - 2 大分西部地区（春日町小・大道小・西の台小・八幡小・神崎小）
 - 3 南大分地区（南大分小・豊府小・城南小・荏隈小）
 - 4 滝尾地区（滝尾小・下郡小・森岡小）
 - 5 城東・原川地区（津留小・舞鶴小・東大分小・日岡小・桃園小）
 - 6 明野地区（明野東小・明野西小・明野北小）
 - 7 鶴崎地区（鶴崎中・大東中・東陽中）
 - 8 大南地区（戸次中・吉野中・竹中中・判田中）
 - 9 植田地区（植田中・植田西中・植田東中・植田南中・賀来中）
 - 10 大在地区（大在中）
 - 11 坂ノ市地区（坂ノ市小）
 - 12 佐賀関地区（神崎中・佐賀関中）
 - 13 野津原地区（野津原中）
 - 14 別府市
 - 15 その他の市町村
 - 16 生協・宅配（ここを選択した場合、問 10 は空欄になります）
 - 17 インターネット（ここを選択した場合、問 10 は空欄になります）
 - 18 カタログによる通信販売（ここを選択した場合、問 10 は空欄になります）
 - 19 その他（移動販売など）（ここを選択した場合、問 10 は空欄になります）
 - 20 この商品は購入しない（ここを選択した場合、問 10 は空欄になります）
- （ ）内は小学校区又は中学校区

《問 10 の選択肢一覧》

- 1 デパート
- 2 食品スーパー（食料品を扱うスーパー：マルシヨクなど）
- 3 総合スーパー・SC（食料品以外に衣料品などを扱うスーパーや大規模なショッピングセンター（SC）：わさだタウン、パークプレイスなど）
- 4 アウトレット（鳥栖プレミアム・アウトレットなど）
- 5 コンビニエンスストア
- 6 ホームセンター
- 7 ディスカウントストア（各種商品を低価格で販売している店舗：トライアルなど）
- 8 専門店（紳士服・家電製品・家具・スポーツ用品・書籍などの専門店：洋服の青山、ケーズデンキ、スポーツDEPOなど）
- 9 ドラッグストア

問 11 あなたは、食料品などの日常の買い物に不便だと感じますか。感じるとお答えの方は、その理由もお答えください。(は3つまで)

1 感じる(その理由をお答えください)	1 近くに食料品店や日用品店がない
	2 近くにお惣菜・お弁当店がない
	3 近くにコンビニエンスストアがない
	4 宅配サービスがない
	5 親族など頼れる人が近くにいない
	6 坂道・階段が多い
	7 公共交通機関の利便性が悪い
	8 その他()
2 感じない	

【大分市中心市街地の利用についておたずねします】

問 12 あなたはふだん、買い物をする、しないに関係なく、大分市中心市街地にどのくらいの頻度で行きますか。通勤・通学を含めてお答えください。(は1つ)

1 週に5回以上	4 月に2~3回	7 半年に1回
2 週に3~4回	5 月に1回	8 年に1回
3 週に1~2回	6 2~3ヶ月に1回	9 行かない

問 13 あなたはふだん、どのような目的で大分市中心市街地に行きますか。(はいくつでも)

1 通勤・通学	6 理容・美容	11 所用(業務、銀行利用など)
2 日常の買い物	7 娯楽	12 待ち合わせ
3 ちょっと高級な買い物	8 趣味・習い事	13 その他()
4 ウィンドウショッピング	9 医療機関等への通院	
5 食事・喫茶・飲食など	10 市役所等公共機関の利用	

問 14 あなたはふだん、大分市中心市街地に行く時、主にどのような交通手段を利用していますか。(は1つ)

1 JR	2 バス	3 自動車	4 バイク	5 自転車	6 徒歩	7 その他
------	------	-------	-------	-------	------	-------

問 15 あなたはふだん、どなたと大分市中心市街地に行くことが多いですか。通勤・通学をしている人は、通勤・通学以外で行く場合についてお答えください。(は主なものに1つ)

1 一人	2 配偶者と二人	3 家族	4 友人・知人	5 その他()
------	----------	------	---------	----------

問 16 あなたは大分市中心市街地に行った時、平均すると何時間ぐらい滞在していますか。

時間

問 17 あなたは1年前と比べて、大分市中心市街地に行く頻度(買い物をする、しないに関係なく)はどのように変化しましたか(は1つ)

1 非常に増えた	問 18 へ	3 変わらない	4 やや減った	問 19 へ
2 やや増えた	問 18 へ	5 非常に減った	問 19 へ	

問 18 問 17 で「1 非常に増えた」または「2 やや増えた」とお答えの方におたずねします。1 年前と比べて、大分市中心市街地に行く頻度（買い物をする、しないに関係なく）が増えた理由は何ですか。（はいくつでも）

1 転入・転勤してきた	4 流行品が多い店がある	7 自宅近くに魅力的な店がない
2 就職・進学した	5 品揃えが豊富な店がある	8 その他（ ）
3 街が魅力的	6 買い物以外に楽しい所がある	

問 19 問 17 で「4 やや減った」または「5 非常に減った」とお答えの方におたずねします。1 年前と比べて、大分市中心市街地に行く頻度（買い物をする、しないに関係なく）が減った理由は何ですか。（はいくつでも）

1 引越し・職場の移動	4 流行品が少ない	7 自宅近くに魅力的な店がある
2 就職・進学した	5 品揃えが不十分	8 その他（ ）
3 街に魅力がない	6 買い物以外に楽しめない	

問 20 あなたは次にあげる ~ の商店（商店街）へはどのくらいの頻度（買い物をする、しないに関係なく）で行きますか。は ~ の項目ごとに 1 つ、全ての項目についてお答えください。

商店（商店街）	1 週に 5 回 以上	2 週に 3 ~ 4 回	3 週に 1 ~ 2 回	4 月に 2 ~ 3 回	5 月に 1 回	6 2 ~ 3 ヶ 月に 1 回	7 半年に 1 回	8 年に 1 回	9 行 か な い
トキ八	1	2	3	4	5	6	7	8	9
フォーラス	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ギャラリー竹町	1	2	3	4	5	6	7	8	9
セントボルタ中央町	1	2	3	4	5	6	7	8	9
府内 5 番街	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ふないポルトソール通り	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ふないサンサン通り	1	2	3	4	5	6	7	8	9
中央通り商店街	1	2	3	4	5	6	7	8	9
その他の商店街	1	2	3	4	5	6	7	8	9

【わさだタウンの利用についておたずねします】

問 21 あなたはふだん、わさだタウンにどのくらいの頻度（買い物をする、しないに関係なく）で行きますか。通勤・通学をしている人は、これを含めてお答えください。（は 1 つ）

1 週に 5 回以上	4 月に 2 ~ 3 回	7 半年に 1 回
2 週に 3 ~ 4 回	5 月に 1 回	8 年に 1 回
3 週に 1 ~ 2 回	6 2 ~ 3 ヶ月に 1 回	9 行かない

問 26 へ

問 22 あなたはふだん、どのような目的でわさだタウンに行きますか。(はいくつでも)

1 通勤・通学	6 理容・美容	11 所用(業務、銀行利用など)
2 日常の買い物	7 娯楽	12 待ち合わせ
3 ちょっと高級な買い物	8 趣味・習い事	13 その他()
4 ウインドウショッピング	9 医療機関等への通院	
5 食事・喫茶・飲食など	10 市役所等公共機関の利用	

問 23 あなたはふだん、わさだタウンに行く場合、主にどのような交通手段を利用していますか。(は1つ)

1 バス	2 自動車	3 バイク	4 自転車	5 徒歩	6 その他
------	-------	-------	-------	------	-------

問 24 あなたはふだん、主にどなたとわさだタウンに行くことが多いですか。通勤・通学をしている人は、通勤・通学以外で行く場合についてお答えください。(は1つ)

1 一人	2 配偶者と二人	3 家族	4 友人・知人	5 その他()
------	----------	------	---------	----------

問 25 あなたはわさだタウンに行った時、平均すると何時間ぐらい滞在していますか。

時間

【パークプレイスの利用についておたずねします】

問 26 あなたはふだん、パークプレイスにどのくらいの頻度(買い物をする、しないに関係なく)で行きますか。通勤・通学をしている人は、これを含めてお答えください。(は1つ)

1 週に5回以上	4 月に2~3回	7 半年に1回
2 週に3~4回	5 月に1回	8 年に1回
3 週に1~2回	6 2~3ヶ月に1回	9 行かない

問 31 へ

問 27 あなたはふだん、どのような目的でパークプレイスに行きますか。(はいくつでも)

1 通勤・通学	6 理容・美容	11 所用(業務、銀行利用など)
2 日常の買い物	7 娯楽	12 待ち合わせ
3 ちょっと高級な買い物	8 趣味・習い事	13 その他()
4 ウインドウショッピング	9 医療機関等への通院	
5 食事・喫茶・飲食など	10 市役所等公共機関の利用	

問 28 あなたはふだん、パークプレイスに行く場合、主にどのような交通手段を利用していますか。(は主なものに1つ)

1 バス	2 自動車	3 バイク	4 自転車	5 徒歩	6 その他
------	-------	-------	-------	------	-------

問 29 あなたはふだん、主にどなたとパークプレイスに行くことが多いですか。通勤・通学をしている人は、通勤・通学以外で行く場合についてお答えください。(は1つ)

1 一人	2 配偶者と二人	3 家族	4 友人・知人	5 その他()
------	----------	------	---------	----------

問 30 あなたはパークプレイスでは、平均すると何時間ぐらい滞在していますか。

時間

【市外への買い物についておたずねします】

問 31 あなたは次にあげる ～ の大分市外の地区へはどのくらいの頻度(買い物をする、しないに関係なく)でいきますか。 は ～ の項目ごとに1つ、全ての項目についてお答えください。(その他は、 ～ 以外にあればお答えください。)

大分市外の地区	1 週に5回以上	2 週に3～4回	3 週に1～2回	4 月に2～3回	5 月に1回	6 2～3ヶ月に1回	7 半年に1回	8 年に1回	9 行かない
博多駅周辺地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9
福岡市天神地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9
北九州市	1	2	3	4	5	6	7	8	9
佐賀県鳥栖市	1	2	3	4	5	6	7	8	9
別府市	1	2	3	4	5	6	7	8	9
その他の地区()	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問 32 問 31 で「年に1回でも大分市外の地区に行く」と答えた方におたずねします。あなたは問 31 で回答した場所へ行く場合、どのような交通手段を利用していますか。(は主なものに1つ。)

大分市外の地区	1 J R	2 バ ス	3 自 動 車	4 バ イ ク	5 そ の 他
博多駅周辺地区	1	2	3	4	5
福岡市天神地区	1	2	3	4	5
北九州市	1	2	3	4	5
佐賀県鳥栖市	1	2	3	4	5
別府市	1	2	3	4	5
その他の地区()	1	2	3	4	5

問 33 問 31 で「年に 1 回でも大分市外の地区に行く」と答えた方におたずねします。あなたは問 31 で回答した場所では何を購入しますか。下記の選択肢一覧の中から、あてあまると思うものから順に 5 つお答えください。また、買い物は目的ではない方は「買い物は目的ではない」の欄に記入してください。

大分市外の地区	買い物が目的の方					買い物が目的ではない
	1 番購入したい物	2 番目に購入したい物	3 番目に購入したい物	4 番目に購入したい物	5 番目に購入したい物	
博多駅周辺地区						
福岡市天神地区						
北九州市						
佐賀県鳥栖市						
別府市						
その他の地区 ()						

《問 33 の選択肢一覧》

1 紳士服	4 靴	7 家電製品
2 婦人服	5 アクセサリー・時計	8 スポーツ・レジャー用品
3 子供服	6 家具・インテリア	9 その他

これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

大変お手数ですが、平成 24 年 2 月 20 日(月)までに、同封の返信用封筒

で最寄りのポストへご投函ください。なお、切手は不要です。

平成 23 年度 大分市消費者購買実態調査報告書

平成 24 年 3 月発行

発行 大分市商工労政課
大分市荷揚町 2 番 31 号
電話 097 537 5959 (直通)

調査機関 株式会社西日本リサーチ・センター
福岡市中央区今泉 1 丁目 4 番 1 号
電話 092 751 7968 (代表)
